次期川越市教育振興基本計画に係る
アンケート調査報告書

令和２年３月

川越市教育委員会

目次

Ⅰ　調査の概要 1

１　調査の目的 3
２　調査の対象 3
３　調査の方法 3
４　調査期間 3
５　回収状況 3
６　集計方法 4

Ⅱ　保護者調査の結果 5

１　回答者の属性について 7
（１）性別 7
（２）年齢 8
２　学校教育について 9
（１）子どもの通っている学校に対する満足度 9
（２）満足度の主な理由となっているもの 10
（３）学校に期待する役割 12
（４）教師に期待すること 14
（５）児童生徒に対する指導で大切なこと 16
（６）いじめ・不登校対策の取組の効果 18
（７）いじめ・不登校対策として取り組むべきこと 19
（８）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと 24
３　家庭や地域の教育について 26
（１）学校、家庭、地域の役割 26
（２）家庭教育で困っていること 32
（３）家庭教育で困ったことを相談する先 34
（４）家庭の教育力が低下している原因 36
（５）家庭の教育力向上に必要な取組 38
（６）地域の教育力についての課題 40
（７）地域の教育力向上に必要な取組 42
（８）協力・参加してもよいと思う行事・活動 44
４　公民館・図書館・博物館について 46
（１）公民館の利用頻度 46
（２）公民館の利用目的 47
（３）公民館に対する満足度 48
（４）公民館を利用しない理由 49
（５）公民館で学びたいこと 50
（６）公民館への要望 51

（７）図書館の利用頻度 53
（８）最も利用する図書館 53
（９）図書館の利用目的 54
(10) 図書館に対する満足度 55
(11) 図書館を利用しない理由 56
(12) 図書館への要望 57
(13) 博物館の利用頻度 59
(14) 博物館の利用目的 59
(15) 博物館に対する満足度 60
(16) 博物館を利用しない理由 61
(17) 博物館への要望 62
(18) 公民館・図書館・博物館についての意見・要望 64
５　教育施策について 69
（１）充実させたほうが良いと思う教育施策 69
（２）自由記述 71

Ⅲ　教員調査の結果 77

１　回答者の属性について 79
（１）年齢 79
（２）教員経験年数 80
（３）勤務先 80
（４）担任の状況 80
２　学校教育について 81
（１）勤務していて感じること 81
（２）職務の多忙感 83
（３）職務の多忙感解消のために必要なこと 84
（４）直近１年間でのストレス増加の有無 86
（５）ストレスが増加した主な理由 87
（６）教員としての生きがいの有無 89
（７）職務の中で感じる課題 90
（８）学校施設・設備等で特に充実・改善してほしいもの 92
（９）いじめ・不登校対策の取組の効果 94
(10) いじめ・不登校対策として取り組むべきこと 95
(11) 自己啓発の取組状況 97
(12) 行っている自己啓発 98
(13) 受けたい研修 99
(14) 保護者や地域の方に期待されていると思うこと 101
(15) これからの学校教育で特に重視すべきこと 103
(16) 教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと 105
３　家庭や地域の教育について 107

（１）学校、家庭、地域の役割 107
（２）家庭の教育力が低下している原因 113
（３）地域の教育力についての課題 115
（４）地域の教育力向上に必要な取組 117
（５）保護者、地域の方などに期待すること 119
４　教育施策について 121
（１）充実させたほうが良いと思う教育施策 121
（２）公民館・図書館・博物館と学校が連携する取組に関する意見 123
（３）自由記述 126
Ⅳ　市民調査の結果 129
１　回答者の属性について 131
（１）性別 131
（２）年齢 131
（３）家族構成 131
（４）同居している子ども 132
（５）居住地区 132
（６）川越市での居住年数 133
２　学校教育について 134
（１）現在の学校教育の問題 134
（２）学校に期待する役割 136
（３）教師に期待すること 138
（４）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと 140
３　家庭や地域の教育について 142
（１）学校、家庭、地域の役割 142
（２）家庭の教育力が低下している原因 148
（３）地域の教育力についての課題 150
（４）地域の教育力向上に必要な取組 152
（５）学校と地域の連携で重要なこと 154
（６）協力・参加してもよいと思う行事・活動 156
４　公民館・図書館・博物館について 158
（１）公民館の利用頻度 158
（２）公民館の利用目的 159
（３）公民館に対する満足度 160
（４）公民館を利用しない理由 161
（５）公民館で学びたいこと 162
（６）公民館への要望 164
（７）図書館の利用頻度 166
（８）最も利用する図書館 167
（９）図書館の利用目的 167

(10) 図書館に対する満足度 168
(11) 図書館を利用しない理由 169
(12) 図書館への要望 170
(13) 博物館の利用頻度 172
(14) 博物館の利用目的 173
(15) 博物館に対する満足度 174
(16) 博物館を利用しない理由 175
(17) 博物館への要望 176
(18) 公民館・図書館・博物館についての意見・要望 178
５　教育施策について 182
（１）充実させたほうが良いと思う教育施策 182
（２）自由記述 184
Ⅴ　共通設問の比較 187
１　学校教育について 190
（１）学校に期待する役割 190
（２）教師に期待すること／保護者や地域の方に期待されていると思うこと 191
（３）いじめ・不登校対策の取組の効果 192
（４）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと 194
２　家庭や地域の教育について 195
（１）学校、家庭、地域の役割 195
（２）家庭の教育力が低下している原因 199
（３）地域の教育力についての課題 200
（４）地域の教育力向上に必要な取組 201
（５）協力・参加してもよいと思う行事・活動 202
３　教育施策について 203
（１）充実させたほうが良いと思う教育施策 203
資料編 205
保護者調査票 207
教員調査票 215
市民調査票 221

Ⅰ　調査の概要

１　調査の目的

平成 28 年２月に策定した「第二次川越市教育振興基本計画」が令和２年度で計画期間を終えることから、小中学校の保護者、校長及び教員、市民の教育に関する意識やニーズを把握し、次期川越市教育振興基本計画策定にあたっての基礎資料とするとともに、今後の教育施策の推進に活用することを目的として、本調査を実施しました。

２　調査の対象

種類	対象
①保護者調査	市立小学校５年生及び中学校２年生の保護者 1,781 人
②教員調査	市立小学校及び中学校の校長及び教員 336 人
③市民調査	住民基本台帳から無作為抽出した市内在住の 20 歳以上の市民 1,500 人

３　調査の方法

「①保護者調査」、「②教員調査」は、学校を通じて配布・回収しました。
「③市民調査」は、郵送配布・郵送回収しました。

４　調査期間

令和元年 10 月 23 日～11 月８日（令和元年 12 月 16 日到着分まで集計）

５　回収状況

	配布数 （A）	回収数 （B）	有効回収数 （C）	有効回収率 （C／A）
①保護者調査	1,781 件	1,600 件	1,595 件	89.6%
②教員調査	336 件	314 件	314 件	93.5%
③市民調査	1,500 件	497 件	497 件	33.1%

６　集計方法

① 集計した数値（%）は小数第２位を四捨五入し、小数第１位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が１つだけの場合、選択肢の数値（%）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。

② 回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100.0%を超えます。

③ 表では、特別の表記がない限り、上段が実数、下段が%（少数第１位まで）を表示しています。

④ 表に「－」と表示してあるのは回答者がいなかった場合、「＊」と表示してあるのは、対象者がいなかった場合です。

⑤ アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図表の中では要約して表記している場合があります。

※ 各回答において、回答者が少数である場合の比率については、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として掲載しています。

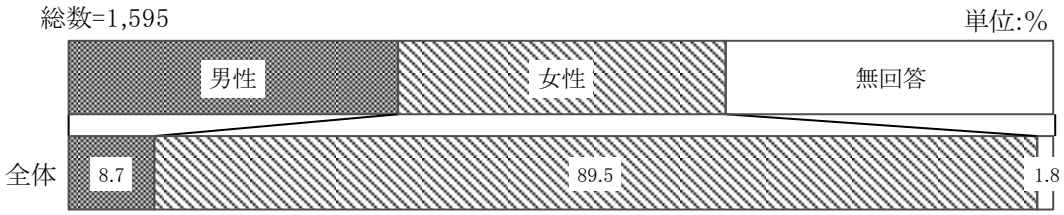
Ⅱ　保護者調査の結果

１　回答者の属性について

（１）性別

Ｆ１　あなたの性別はどちらですか。（１つに○）

「男性」が 8.7%、「女性」が 89.5%となっています。



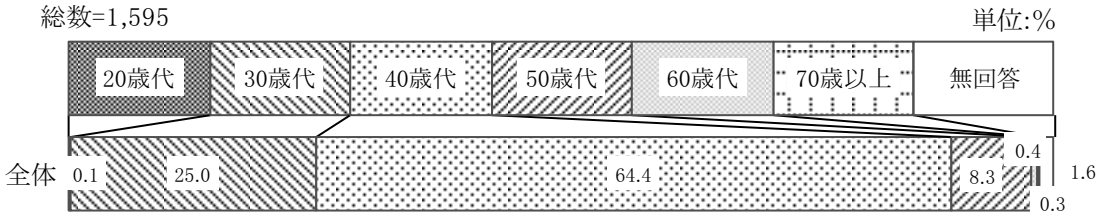
校種別に見ると、大きな違いは見られません。

		全体	男性	女性	無回答
全体		1,595	8.7	89.5	1.8
校種	小学校保護者	886	7.9	90.3	1.8
	中学校保護者	709	9.6	88.6	1.8

（２） 年齢

Ｆ２　あなたの年齢は何歳ですか。（１つに○）

「40 歳代」が 64.4%で最も多く、次いで「30 歳代」が 25.0%、50 歳代が 8.3%となっています。



校種別に見ると、「30 歳代」という回答では小学校保護者の割合が多く、「40 歳代」、「50 歳代」という回答では中学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

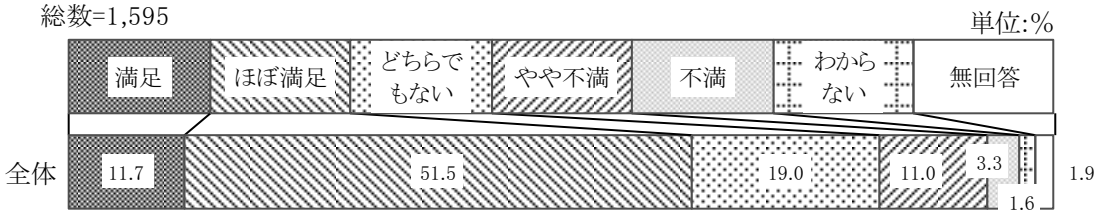
		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		1,595	0.1	25.0	64.4	8.3	0.4	0.3	1.6
校種	小学校保護者	886	0.1	31.6	61.4	4.7	0.5	0.2	1.5
	中学校保護者	709	0.1	16.6	68.1	12.7	0.4	0.3	1.7

２　学校教育について

（１）子どもの通っている学校に対する満足度

問１　あなたは、お子さんの通っている学校にどのくらい満足していますか。（１つに○）

「満足」が 11.7%、「ほぼ満足」が 51.5%で、合わせて 63.2%が『満足』と回答しています。



校種別に見ると、大きな違いは見られません。

		全体	満足①	ほぼ満足②	どちらでもない	やや不満③	不満④	わからない	無回答	『満足』（①＋②）	『不満』（③＋④）
全体		1,595	11.7	51.5	19.0	11.0	3.3	1.6	1.9	63.2	14.3
校種	小学校保護者	886	12.8	51.6	18.1	10.4	3.6	1.6	2.0	64.4	14.0
	中学校保護者	709	10.4	51.3	20.2	11.8	2.8	1.7	1.7	61.7	14.6

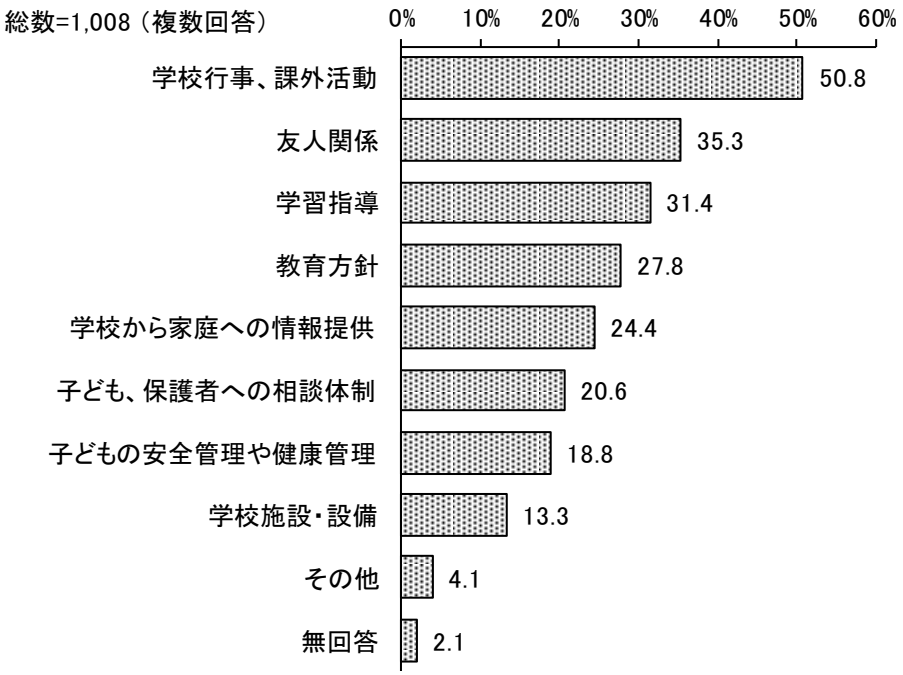
（２）満足度の主な理由となっているもの

【問１で「１、２、４、５」と答えた方におたずねします。】

問 1－1　あなたが、「満足、ほぼ満足」または「やや不満、不満」だと思う主な理由となっているものを選んでください。（３つまで○）

①「満足」または「ほぼ満足」だと思う主な理由

「学校行事、課外活動」が 50.8%で最も多く、次いで「友人関係」が 35.3%、「学習指導」が 31.4%となっています。

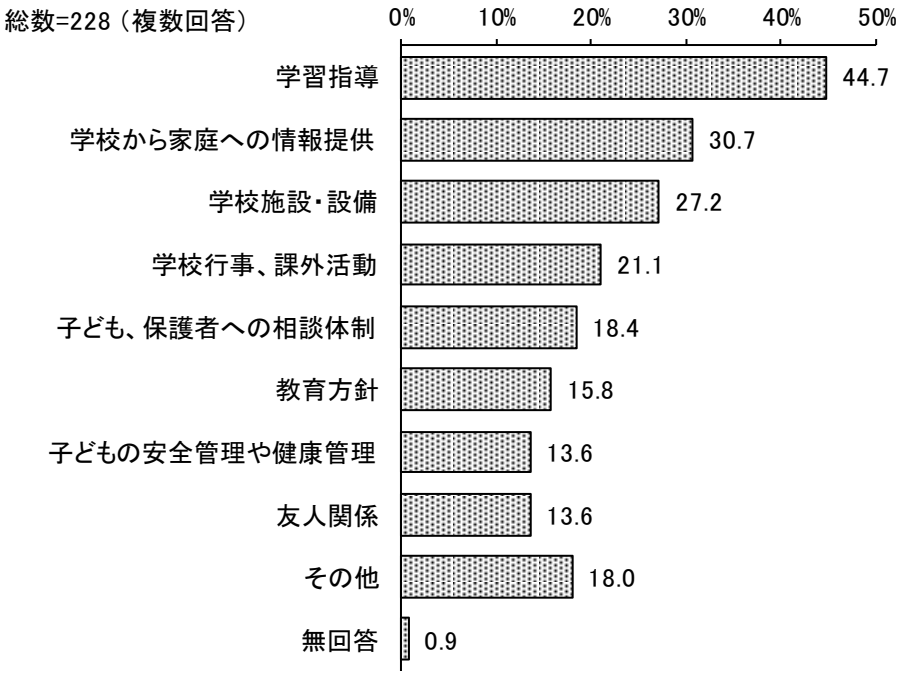


校種別に見ると、「学習指導」、「子どもの安全管理や健康管理」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	学習指導	教育方針	子ども、保護者への相談体制	子どもの安全管理や健康管理	学校から家庭への情報提供	友人関係	学校行事、課外活動	学校施設・設備	その他	無回答
全体		1,008	31.4	27.8	20.6	18.8	24.4	35.3	50.8	13.3	4.1	2.1
校種	小学校保護者	570	34.6	29.1	22.3	21.1	23.9	34.4	48.8	15.1	3.5	1.9
	中学校保護者	438	27.4	26.0	18.5	16.0	25.1	36.5	53.4	11.0	4.8	2.3

②「やや不満」または「不満」だと思う主な理由

「学習指導」が 44.7%で最も多く、次いで「学校から家庭への情報提供」が 30.7%、「学校施設・設備」が 27.2%となっています。



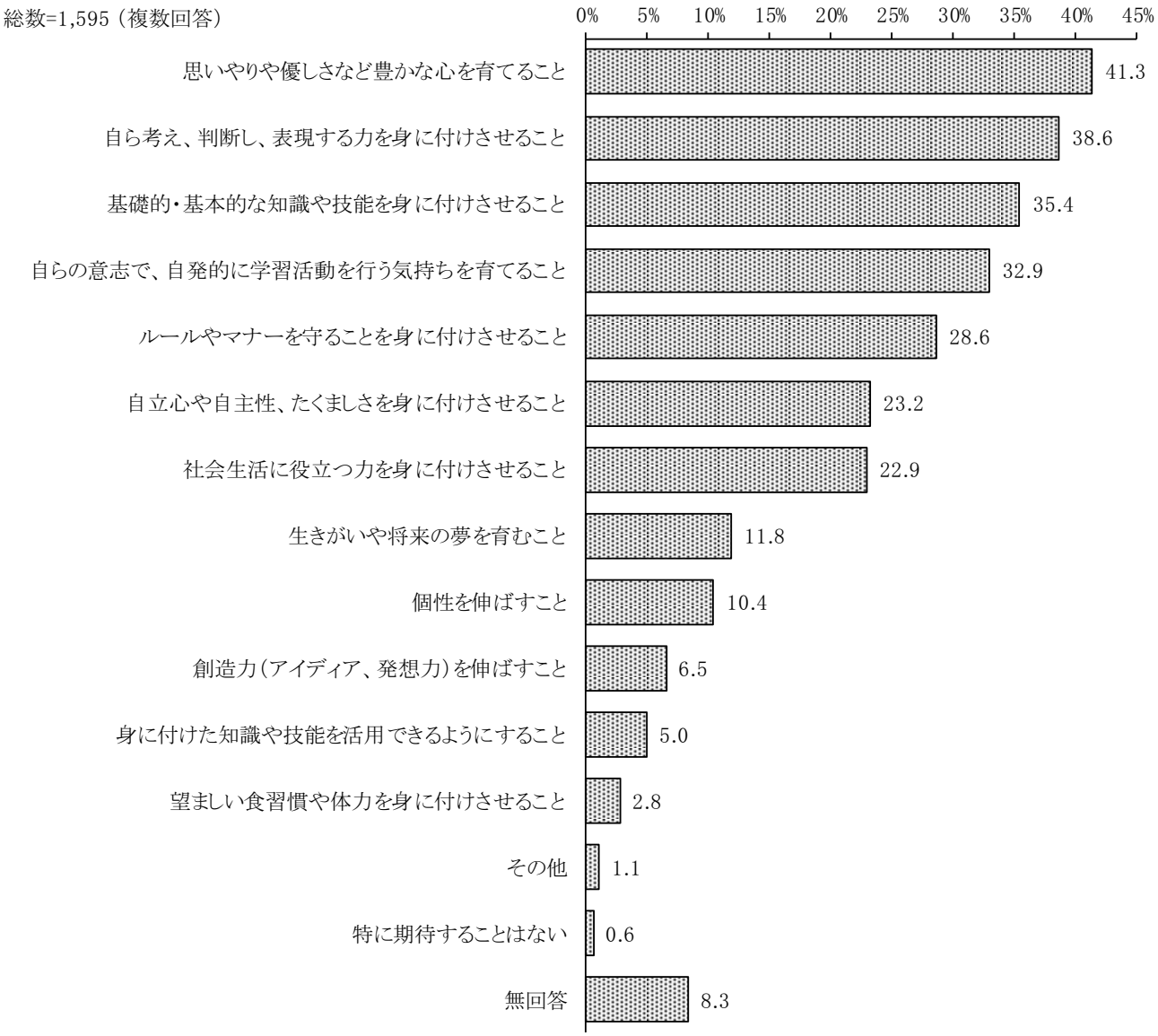
校種別に見ると、「子ども、保護者への相談体制」、「学校から家庭への情報提供」、「友人関係」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多く、「学習指導」、「学校行事、課外活動」という回答では中学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	学習指導	教育方針	子ども、保護者への相談体制	子どもの安全管理や健康管理	学校から家庭への情報提供	友人関係	学校行事、課外活動	学校施設・設備	その他	無回答
全体		228	44.7	15.8	18.4	13.6	30.7	13.6	21.1	27.2	18.0	0.9
校種	小学校保護者	124	41.9	14.5	21.8	12.9	38.7	16.9	13.7	27.4	16.1	0.8
	中学校保護者	104	48.1	17.3	14.4	14.4	21.2	9.6	29.8	26.9	20.2	1.0

（３）学校に期待する役割

問２　小中学校が、お子さんに対してどのような役割を果たすことを期待しますか。（３つまで○）

「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」が 41.3%で最も多く、次いで「自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること」が 38.6%、「基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせること」が 35.4%となっています。



校種別に見ると、「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」、「ルールやマナーを守ることを身に付けさせること」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

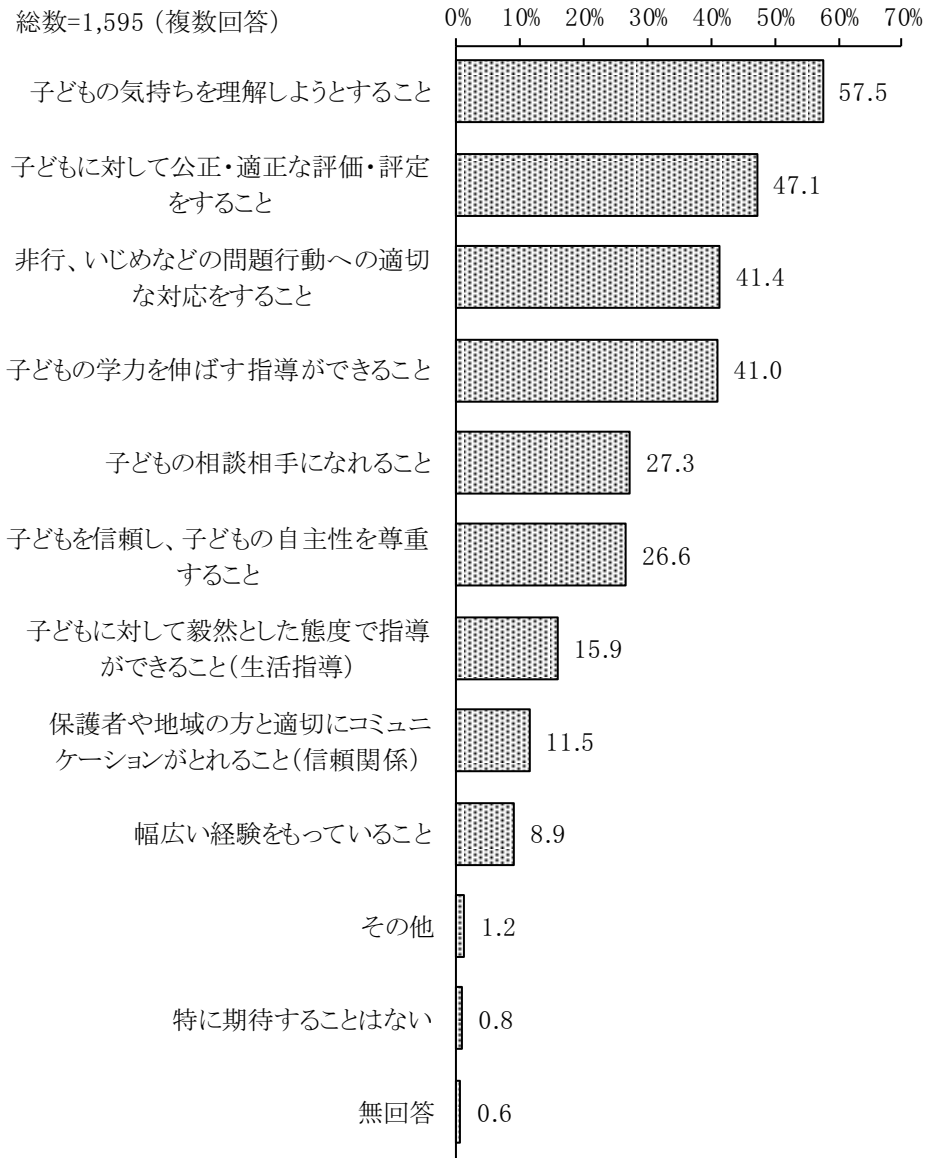
		全体	自らの意志で、自発的に学習活動を行う気持ちを育てること	基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせること	自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること	自立心や自主性、たくましさを身に付けさせること	望ましい食習慣や体力を身に付けさせること	生きがいや将来の夢を育むこと	個性を伸ばすこと	創造力（アイディア、発想力）を伸ばすこと	社会生活に役立つ力を身に付けさせること	身に付けた知識や技能を活用できるようにすること
全体		1,595	32.9	35.4	38.6	23.2	2.8	11.8	10.4	6.5	22.9	5.0
校種	小学校保護者	886	31.0	37.0	40.0	22.3	2.6	10.4	9.1	7.7	22.1	4.3
	中学校保護者	709	35.3	33.4	37.0	24.3	3.0	13.7	12.0	5.1	23.8	5.8

		全体	思いやりや優しさなど豊かな心を育てること	ルールやマナーを守ることを身に付けさせること	その他	特に期待することはない	無回答
全体		1,595	41.3	28.6	1.1	0.6	8.3
校種	小学校保護者	886	46.4	31.3	1.1	0.6	7.7
	中学校保護者	709	35.0	25.2	1.0	0.6	9.2

（４）教師に期待すること

問３　小中学校の教師にどのようなことを期待しますか。（３つまで○）

「子どもの気持ちを理解しようとすること」が 57.5％で最も多く、次いで「子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること」が 47.1％、「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」が 41.4％となっています。



校種別に見ると、「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」という回答では小学校保護者の割合が多く、「子どもの学力を伸ばす指導ができること」、「子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること」という回答では中学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

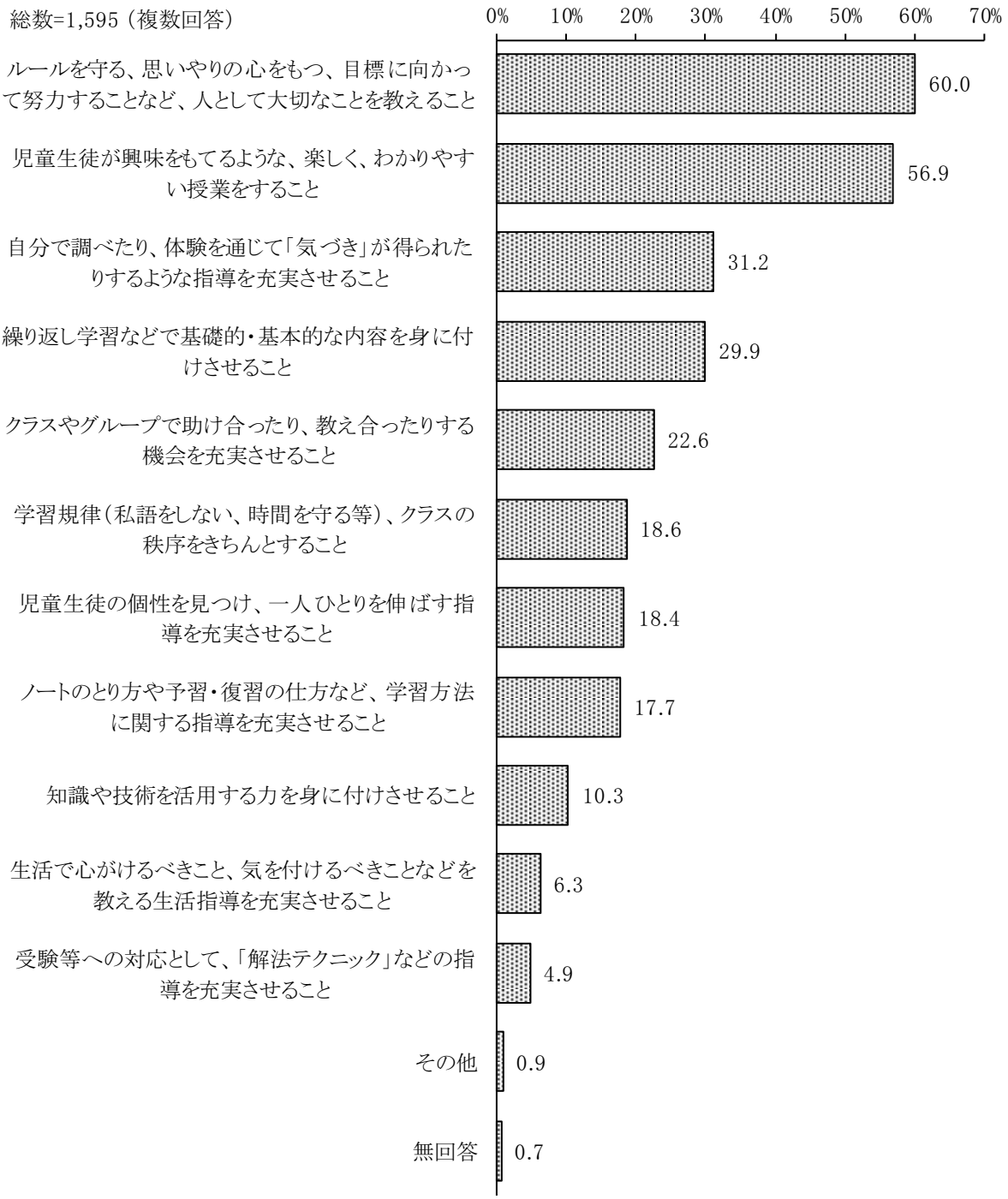
		全体	子どもの気持ちを理解しようとすること	子どもの学力を伸ばす指導ができること	子どもの相談相手になれること	子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること	子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）	幅広い経験をもっていること	特に期待することはない
全体		1,595	57.5	41.0	27.3	15.9	41.4	47.1	26.6	11.5	8.9	0.8
校種	小学校保護者	886	58.1	38.5	28.6	16.7	46.0	43.3	28.8	12.5	8.1	0.6
校種	中学校保護者	709	56.7	44.1	25.7	15.0	35.5	51.9	24.0	10.2	9.9	1.0

		全体	無回答
全体		1,595	0.6
校種	小学校保護者	886	0.5
校種	中学校保護者	709	0.7

（５）児童生徒に対する指導で大切なこと

問４　あなたは、学校教育における児童生徒に対する指導について、特にどのようなことが大切であると思いますか。（３つまで○）

「ルールを守る、思いやりの心をもつ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること」が 60.0%で最も多く、次いで「児童生徒が興味をもてるような、楽しく、わかりやすい授業をすること」が 56.9%、「自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られたりするような指導を充実させること」が 31.2%となっています。



校種別に見ると、「自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られたりするような指導を充実させること」、「ルールを守る、思いやりの心をもつ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多く、「受験等への対応として、「解法テクニック」などの指導を充実させること」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	学習規律（私語をしない、時間を守る等）、クラスの秩序をきちんとすること	児童生徒が興味をもてるような、楽しく、わかりやすい授業をすること	繰り返し学習などで基礎的・基本的な内容を身に付けさせること	知識や技術を活用する力を身に付けさせること	ノートのとり方や予習・復習の仕方など、学習方法に関する指導を充実させること	自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られたりするような指導を充実させること	受験等への対応として、「解法テクニック」などの指導を充実させること	クラスやグループで助け合ったり、教え合ったりする機会を充実させること	児童生徒の個性を見つけ、一人ひとりを伸ばす指導を充実させること	ルールを守る、思いやりの心をもつ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること
全体		1,595	18.6	56.9	29.9	10.3	17.7	31.2	4.9	22.6	18.4	60.0
校種	小学校保護者	886	20.0	58.0	29.0	8.7	18.6	33.9	2.1	24.5	16.9	63.7
	中学校保護者	709	16.9	55.6	31.0	12.4	16.6	27.8	8.3	20.2	20.2	55.4

		全体	生活で心がけるべきこと、気を付けるべきことなどを教える生活指導を充実させること	その他	無回答
全体		1,595	6.3	0.9	0.7
校種	小学校保護者	886	6.3	0.6	0.5
	中学校保護者	709	6.3	1.4	1.0

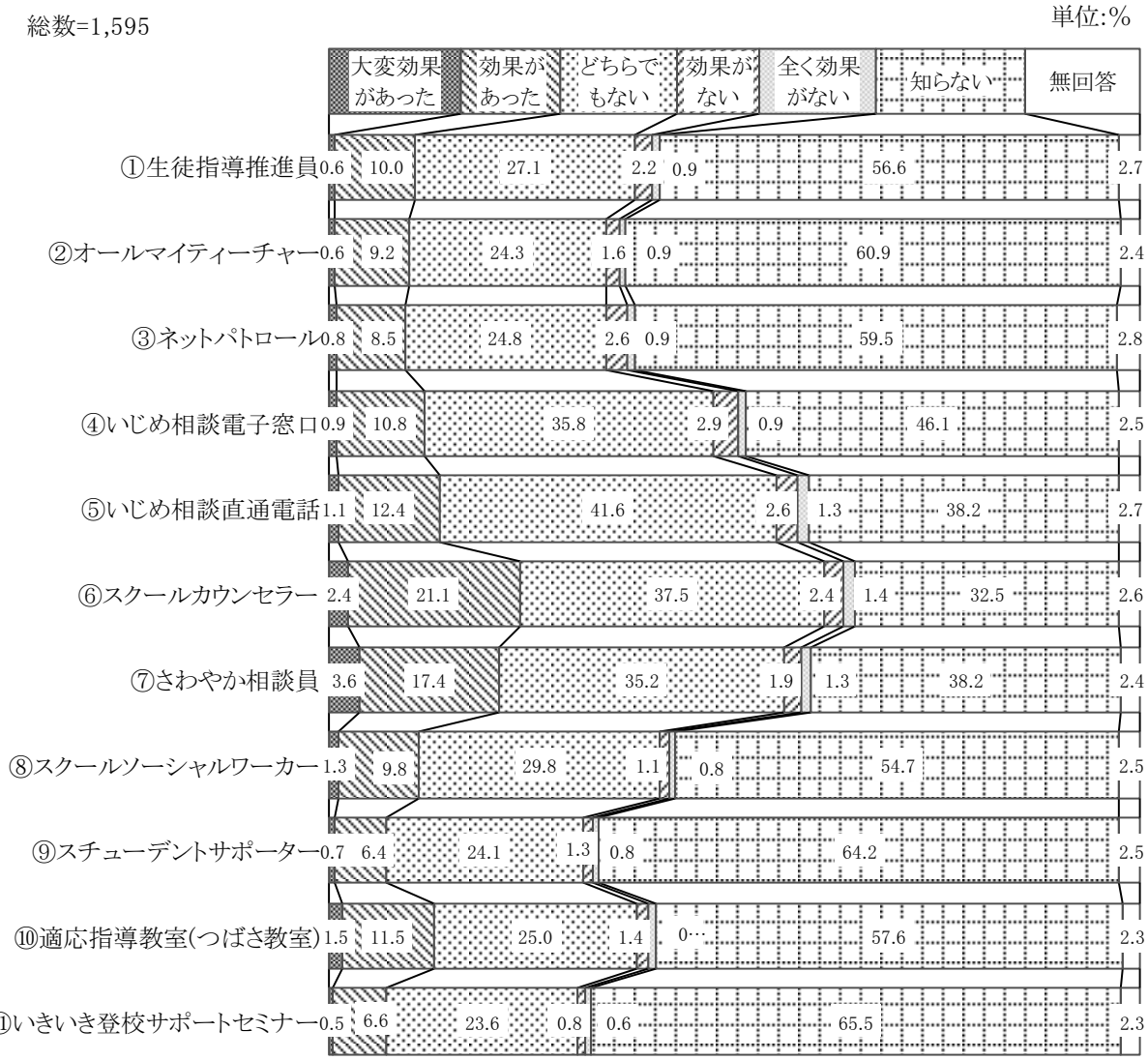
（６）いじめ・不登校対策の取組の効果

問５　いじめ・不登校対策における以下の取組について効果があったと思いますか。（それぞれの項目について１つに○）

『効果があった』（「大変効果があった」＋「効果があった」）という回答は、「⑥スクールカウンセラー」が 23.5%で最も多く、次いで「⑦さわやか相談員」が 21.0%、「⑤いじめ相談直通電話」が 13.5%となっています。

一方、『効果がない』（「効果がない」＋「全く効果がない」）という回答は、どの項目も１割未満となっています。

また、「知らない」という回答は、「⑪いきいき登校サポートセミナー」が 65.5%で最も多く、次いで「⑨スチューデントサポーター」が 64.2%、「②オールマイティーチャー」が 60.9%となっています。



（７）いじめ・不登校対策として取り組むべきこと

問６　いじめ・不登校対策として問５に示された項目のほかに取り組むべき項目があればご自由にお書きください。

有効回収数 1595 票中 179 票に意見の記述がありました（１票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 179 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

〇保護者への対応（32 件）

・イジメ不登校は家庭にも問題があると思うので、家族と話す時間を作った方がよいと思う。自分が子供の頃は放課後、友達と遊んだり親とゆっくりおやつを食べて会話したりしていたが、今の子は宿題が多すぎて毎日こなすので、子どもも親も一杯一杯だと思う。それで早寝早起きしなければならないので、のんびりする時間が全くない。授業参観でもイジメや不登校について取りあげると良いと思う。親の対応の仕方も教えて貰えると良いと思う。

・家庭（保護者）に対して、子どものどのような点に注意するべきか、又対応についてアドバイスがあればいいと思う。いじめ、不登校についてはもっと家庭で気付き、対応できることがあると思うので・・・。

・虐めている加害者の親の面談や話し合いをしっかりして欲しい。

・自分の子どもを信じているが、もしいじめをしていたら、速やかに教えて欲しいです。また逆に何か悩んでいたりいじめを受けているような様子が見られたら、少しの変化でも教えて欲しいです。

・色々取り組んでいただきありがとうございます。自分が親となり思うことはいじめやもめ事など全く情報が入ってこないので、子どもの指導や協力などが出来ないのが歯がゆいです。こんな事がありましたと、知ることができれば当事者でなくても各家庭で一緒に考えられたらなと思います。

・いじめ、不登校の保護者のサポート対策があるといい。親も心を病んでいたりする・・・。

・不登校となっている子どもの保護者同士のコミュニケーションや会話など、もう少し子どもだけでなく保護者の輪があると良いと思う。

〇家庭・地域・関係機関との連携（８件）

・いじめが起きたり学級崩壊が起きたときは、川越市一丸となって対応してほしい。

・現在、各クラスに２～３名くらいの、不登校児がいるようです。各家庭で抱え込む事のないように、学校またはそれぞれの機関が連携してサポートしていくことが必要だと思います。個々に活動していても効率は良くならないと思います。一人の児童、それを取り巻く家庭や環境に対してどの機関がサポートしていくべきなのか？何が出来るのか？一つのケースに対して各機関が集合し、検討会議のような物が必要。

・教職員、教育委員会の情報の共有をきちんと行う。

・警察との連携をして悪質なケースは取り締まる。

〇教職員の体制（９件）

・担任二人体制。
・先生が全て対応することは不可能だと思うので、各学校に専門の担当者を常駐する必要があると思います。学校間、格差が酷いと思います。
・教員の勤務状況も問題である。働きやすく、教員の力を十分発揮できる職場環境を改善して欲しい。
・教師の指導が出来る立場の心理職。

〇教員の対応や指導力（32 件）

・最近の先生達は教室にいる時間が少なく、休み時間になると直ぐに教室から居なくなってしまうため､生徒とのコミュニケーションがとれなかったり､1 人 1 人の変化にも気付かないようです。いじめられてる本人も周りの友達も、先生のその事を伝えたら、いじめがエスカレートしたり、次は自分がやられてしまうと思うと・・・子どもは言っていました。もう少し生徒１人１人に寄り添っていただきたいと思います。
・学校に在籍して居る先生一人一人が学年、クラス関係なく情報を共有していること。また、先生同士（上司、部下、同僚）で相談が出来る環境であること。
・元気が無くなってきている子供を、さわやか相談員やスクールカウンセラーにつなげる担任などの働きかけ。
・信頼できる教員・相談員を育てる場、サポートする場が充実していないと、大人が子供を守ることは難しいと思う。本当の意味で子どもの心に寄り添える、大人の心を育てることが大事だと思う。
・いじめ不登校の子への心のケア、寄り添い方、声かけなど先生達にももっと学んで欲しいです。
・先生が常々、いじめは最低なことなのだと子ども達に発信してくれると良い。
・不登校に理解のある職員が少ない。
・子どもが起立性調節障害による体調不良で長欠しています。幸い子どもの学校の先生は大変理解があり、十分な対応をしていただいています。先生方のそう言った知識を深めて頂く機会が、より多くあればと思います。
・いじめは子ども達の中だけのものとは思えません。教育者の発言、態度から始まるいじめもあると思います。先生からの心ない発言で傷つく”いじめ”もあるのですが、それを相談しても良いものなのか、解決方法が欲しいと思います。
・ＳＮＳによるいじめ等の問題についての対策や使い方の指導に更に力を入れて欲しい。

〇相談しやすい環境づくり（11 件）

・イジメになる前に、不登校になる前に、普段から良く話を聞き、話しをして相談し易い環境をつくる事。
・子ども１人１人と面談する時間を作り、学期毎に状況を把握する。
・先生自身が悩まれることもあると思うので、先生が相談できる窓口があると良いです。
・子どもにも本音と建て前があります。誰かをかばって言わないこともあります。高圧的な態度で詰め寄るような話しの聞き方は、言語道断です。子どもの真意心に寄り添おうとせず、形だけ解決させようとする教師は、親や子も信用できません。話しやすい状況を作って耳を傾けるべきで

はないでしょうか。先ずは。

〇安心して教育を受けられる環境づくり（19 件）

・誰もが安心して楽しく通学できる環境を整えることが必要だと思います。
・各クラスで月に一度くらい担任と生徒でイジメについての話し合いをする。
・命の大切さの授業。
・学校の画一的教育を目指していくと自然と、その流れにのれない子ども達は扱いにくい子どもとなっていく。その結果、本人が生きづらさ学校での居場所がない等、困り事に繋がるのではないか。もう少し得意なことも伸ばして行く教育に方向性をかえていくと、それぞれの子ども達の「個」の尊重にもなり、自信もついていくような気がします。
・いじめの対策は常に子どもと学校、クラスで行動を共にしないと、人それぞれの性格等も分からないので、各クラスなどに生徒で 2～3 人くらいのいじめ対策委員などをつくった方がいじめも減るのではないでしょうか・・・。
・いじめを許さない徹底した姿勢（学校方針）。
・行事の部分参加など出来ることから頑張ろう、協力しようと言う雰囲気を先ず学校側からつくって欲しい。
・根本的な所（人に対して悪口を言わないとか、勝手に秘密をばらさないとか）をもっともっと、丁寧に教えてあげて欲しいです。皆平気で他人の悪口を言いすぎだと思う。

〇未然防止・早期発見・早期対応（９件）

・休み時間など大人の目が届かない事。いじめなど起きてからではなく、起きる前を考えて欲しい。
・担任先生が素早く対応してくれて、状況が酷くなる前に解決してくれた事が良かったです。
・いじめ、不登校は早期発見、早期対策をできるように、一番近くにいる大人（担任の先生や親など）に指導できる機会あれば良いと思います。

〇いじめている児童生徒への対応（12 件）

・いじめは大人の居ないところであります。そこをどう見ていくかだと思います。サポーターがいようがパトロールしようが大人の居るときに子どもはよい子です。
・虐めた側の生徒に対する徹底した指導を行うことが大切だと思います。
・「いじめ」と言うといじめられている方の対応のみ行いがちだが、いじめている方が特定できた時は、何故いじめるのか、いじめている方にも SOS があると思うので、こちらの対応もしないといじめは無くならない。
・いじめ防止対策推進法にある通り、「いじめる側が登校できない」という措置をしっかり取る。

〇学校・教室以外の居場所（16 件）

・学校以外でも学習できるシステムや施設など。
・不登校の子やいじめに悩む子の為のスクールを別に市で造ってあげれば、同じ問題で悩んでいる子ども同士で、新しく友達が出来るのではないかと思います。
・保健室でも、もし学校までこれるならば、そこで授業が受けられたり、中学生だったら定期テストもあるので受けられるようにする。中学は受験も関わるので出席できる（出席になる）形を取

って欲しい（欠席が増えると受験に不利になってしまうから)。親は心配です。
・つばさ教室のような教室を市内に増やして欲しい。遠くて送迎が大変となると断念することもある。
・通級の充実。

〇無理に登校させない（４件）
・いじめを 100%防ぐのは無理。心が病んでいれば学校を休むのも有りだと思う。”皆と仲良く”は所詮無理。
・無理に登校させるのではなく提出物やテストなどで評価できるようにして欲しい。

〇アンケート（２件）
・定期的に子ども達全員にアンケートを取る（1 学期内に最低 2 回)。

〇隠さないこと（７件）
・学校での隠蔽体質。全ての事実を全ての保護者にあきらかにすべき。
・学校の先生は、校長先生に、いじめがクラスであっても気付かれないようにしています。その時点でいじめ対策は何をやっても本当に酷いいじめは見つからない。子ども達も自分がいじめられたくないから大人に言わない。
・その様な事実があった場合、公平、公正な取組を切に願います。間違っても学校、教育委員会等で、事実の隠蔽や知らぬふり等あってはならないと思います。マスコミに取りあげられたから慌てて対応すると言うことがないように望みます。

〇既存の取組の周知・充実（26 件）
・問５に示された対策をもっとアピールして欲しい。知らないことが多かった。実際の活動内容報告も知らせて欲しい。
・問５で取組されていることが周知されていない。推進員、スクールカウンセラー、相談員の方が何処にいるのか分からない。→簡単に利用できる仕組みになっていない。相談しても相談員の方は最終的には学校の意見に添うように感じる。
・不登校の児童、生徒に対して、担任の先生が家庭訪問されているのは目にするが、他の職種の方が積極的に動かれている印象がなく、話も聞かない←⑥～⑨、①、②。学校に派遣されている数が少ないのか分からないが、活動について報告など情報が欲しいと思う。
・スクールカウンセラーやさわやか相談員は全ての小学校に配置されて欲しいです。
・事業がきちんと機能しているか検証すべきと思います。
・小中学校においてこの様な取組が有ることすら、よく知りませんでした。なので他に思い当たりませんが、今行われている取り組みをしっかり深く長く、子ども達や保護者のためになる様、続けて頂けると良いのではと思いました。

〇その他（22 件）
・いじめは大人社会が原因で子ども達や学校に影響していると思います。先ずは大人の社会（例えば会社）から直していく必要があると思っています。強い国が弱い国を武力、戦力でいじめてい

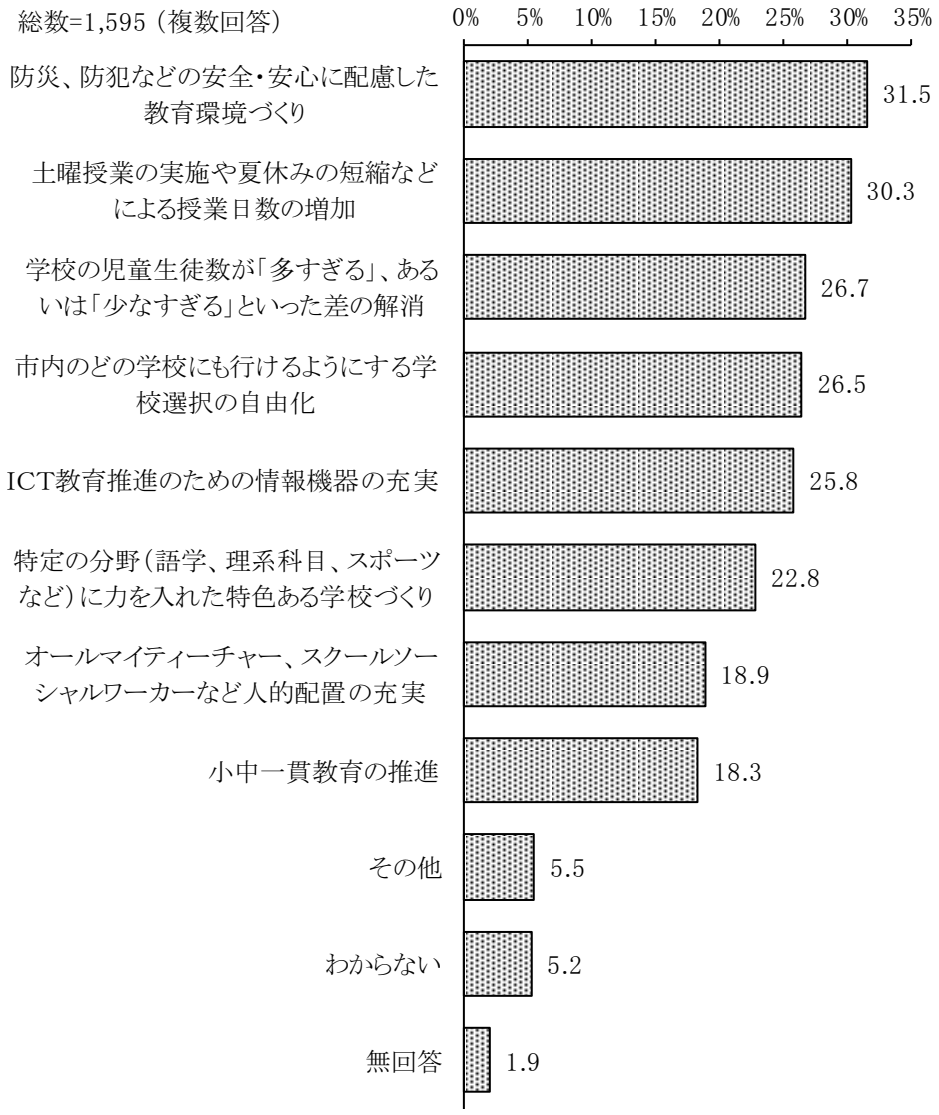
る。根本的なところを解決しない限り、子ども社会だけのいじめや対策では何も始まりません。不登校はいじめをはじめ授業についていけない事が考えられます。スマホやゲーム機などあるために、学校や会社に行かなくても時間をつぶせる。”昼夜逆転”現象の、引きこもりはその典型ではないでしょうか・・・。

・不登校に「いけないこと」「問題児」「それを育てた悪い親」、周りの人の心ない言動が生きにくい世の中にしてしまっています。一つの個性なのに。
・別室登校ができない子のフォローを充実させる。
・地域、大人の教育。大人が悪い手本を見せている。日本全体が変わらなければ、なくならない。
・不登校については、オフラインで出向くことが難しい事もあると思うので、リアルタイムはなくても、望めばオンラインで繋がれる環境があると良いのではと思う。
・”いじめ”という言葉でなく犯罪とはっきり分かる言い方にする。

（８）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと

問７　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（３つまで○）

「防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり」が 31.5％で最も多く、次いで「土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加」が 30.3％、「学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消」が 26.7％となっています。



校種別に見ると、「小中一貫教育の推進」という回答では小学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消	市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化	小中一貫教育の推進	特定の分野（語学、理系科目、スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり	オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実	ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実	防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり	土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加	その他	わからない
全体		1,595	26.7	26.5	18.3	22.8	18.9	25.8	31.5	30.3	5.5	5.2
校種	小学校保護者	886	25.6	26.9	21.6	21.2	18.6	25.3	33.1	31.4	5.8	5.0
校種	中学校保護者	709	28.1	26.0	14.2	24.8	19.2	26.5	29.6	28.9	5.1	5.5

		全体	無回答
全体		1,595	1.9
校種	小学校保護者	886	1.7
校種	中学校保護者	709	2.3

３　家庭や地域の教育について

（１）学校、家庭、地域の役割

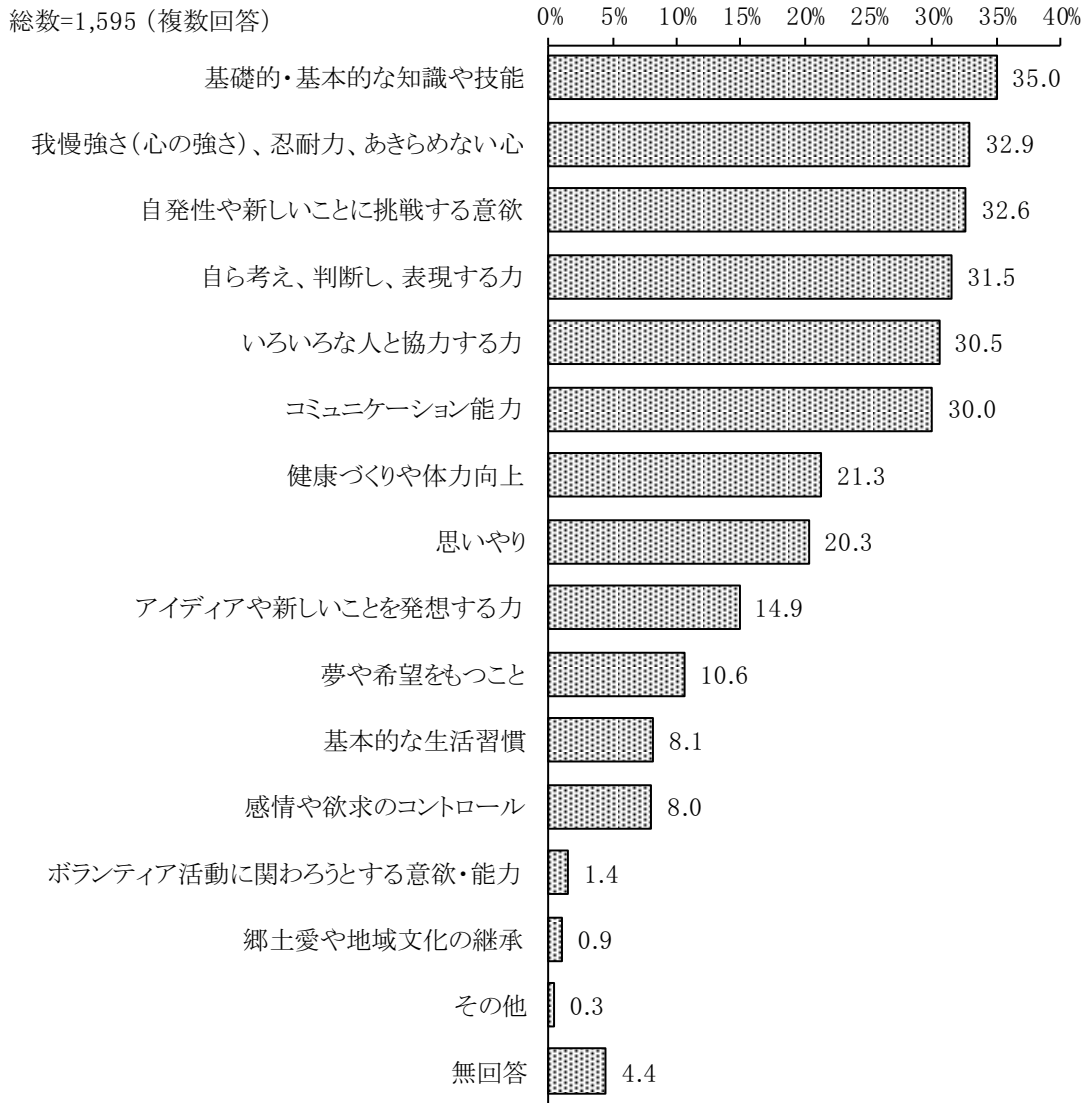
問８　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ３つまで番号を選んでください）

※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。

※「15. その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割

「基礎的・基本的な知識や技能」が 35.0%で最も多く、次いで「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」が 32.9%、「自発性や新しいことに挑戦する意欲」が 32.6%となっています。



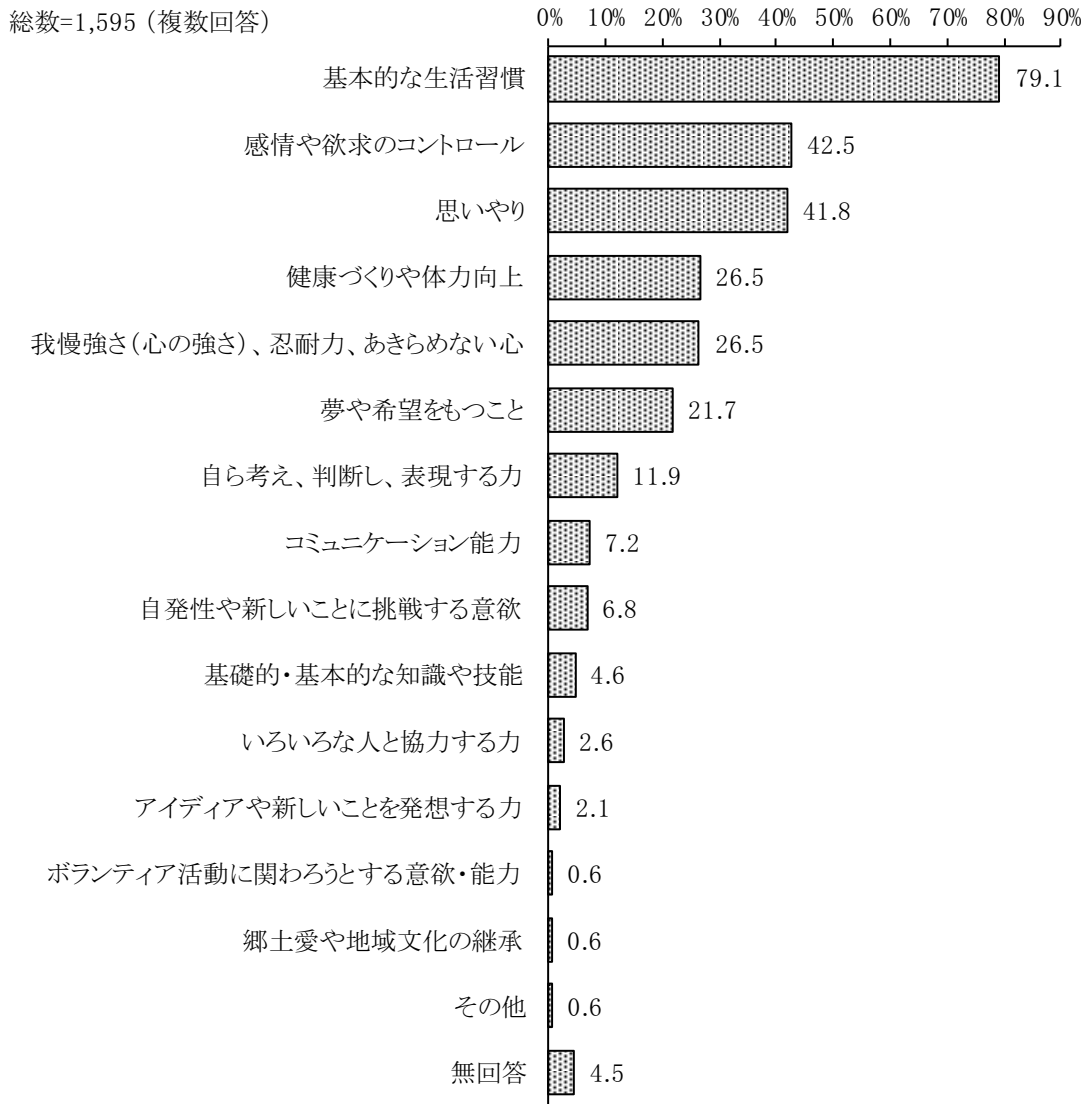
校種別に見ると、大きな違いは見られません。

		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイデアや新しいことを発想する力	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		1,595	21.3	8.1	8.0	14.9	32.6	32.9	20.3	10.6	30.5	1.4
校種	小学校保護者	886	21.1	8.8	8.2	15.6	33.9	33.3	22.5	9.5	31.0	1.6
	中学校保護者	709	21.6	7.2	7.6	14.0	31.0	32.4	17.6	12.0	29.8	1.3

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		1,595	30.0	0.9	35.0	31.5	0.3	4.4
校種	小学校保護者	886	29.5	1.0	34.2	32.8	0.5	3.2
	中学校保護者	709	30.6	0.8	36.0	29.8	0.1	5.9

②家庭の役割

「基本的な生活習慣」が 79.1%で最も多く、次いで「感情や欲求のコントロール」が 42.5%、「思いやり」が 41.8%となっています。



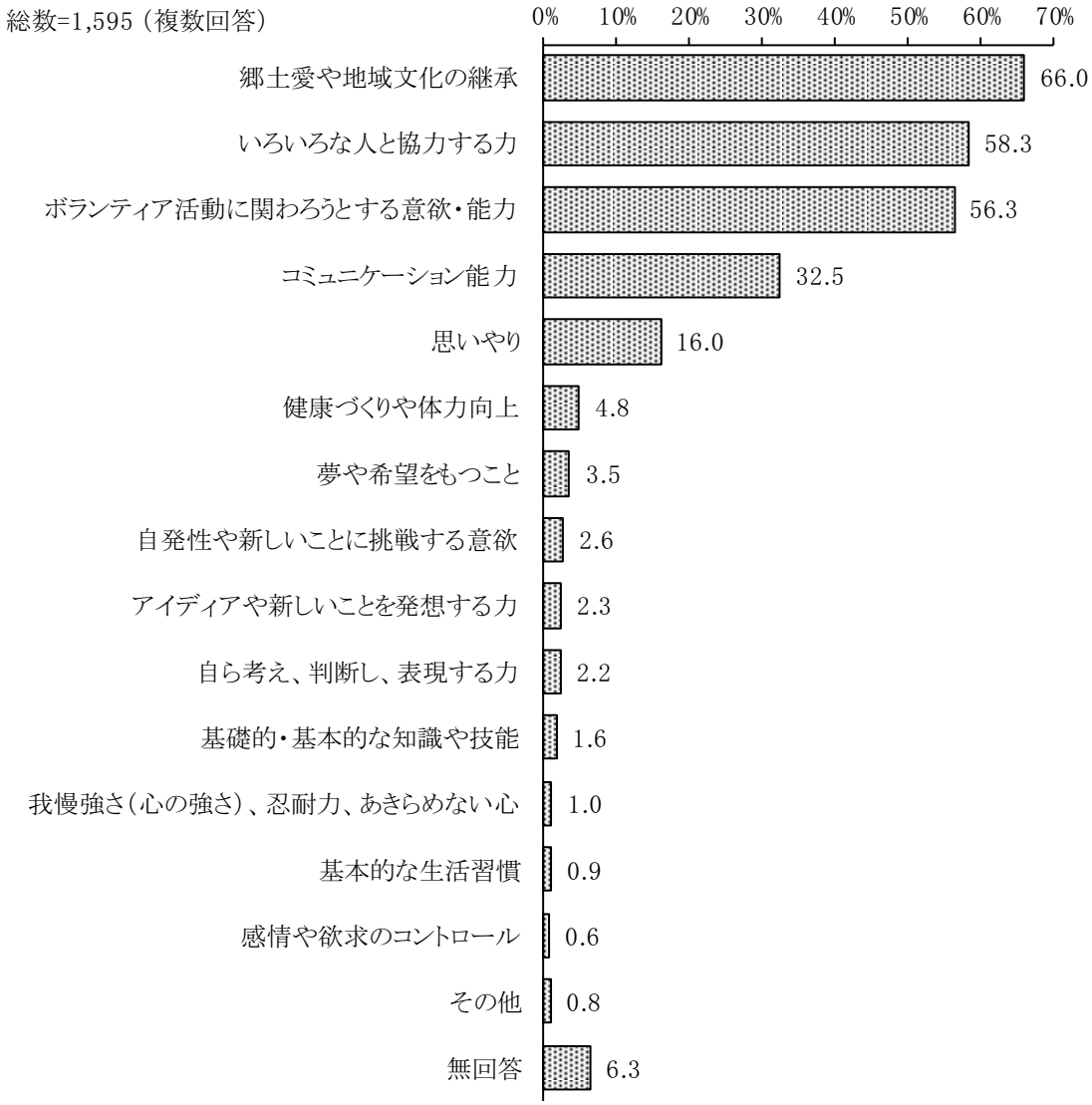
校種別に見ると、「感情や欲求のコントロール」という回答では小学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	健康づくりや体力の向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイディアや新しいことを発想する力	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		1,595	26.5	79.1	42.5	2.1	6.8	26.5	41.8	21.7	2.6	0.6
校種	小学校保護者	886	27.7	79.2	45.8	2.3	7.0	25.7	41.1	23.4	2.6	0.7
	中学校保護者	709	25.1	79.0	38.4	1.8	6.5	27.4	42.6	19.6	2.7	0.6

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		1,595	7.2	0.6	4.6	11.9	0.6	4.5
校種	小学校保護者	886	7.1	0.5	5.0	12.8	0.6	3.2
	中学校保護者	709	7.3	0.7	4.2	10.9	0.7	6.2

③地域の役割

「郷土愛や地域文化の継承」が 66.0%で最も多く、次いで「いろいろな人と協力する力」が 58.3%、「ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力」が 56.3%となっています。



校種別に見ると、大きな違いは見られません。

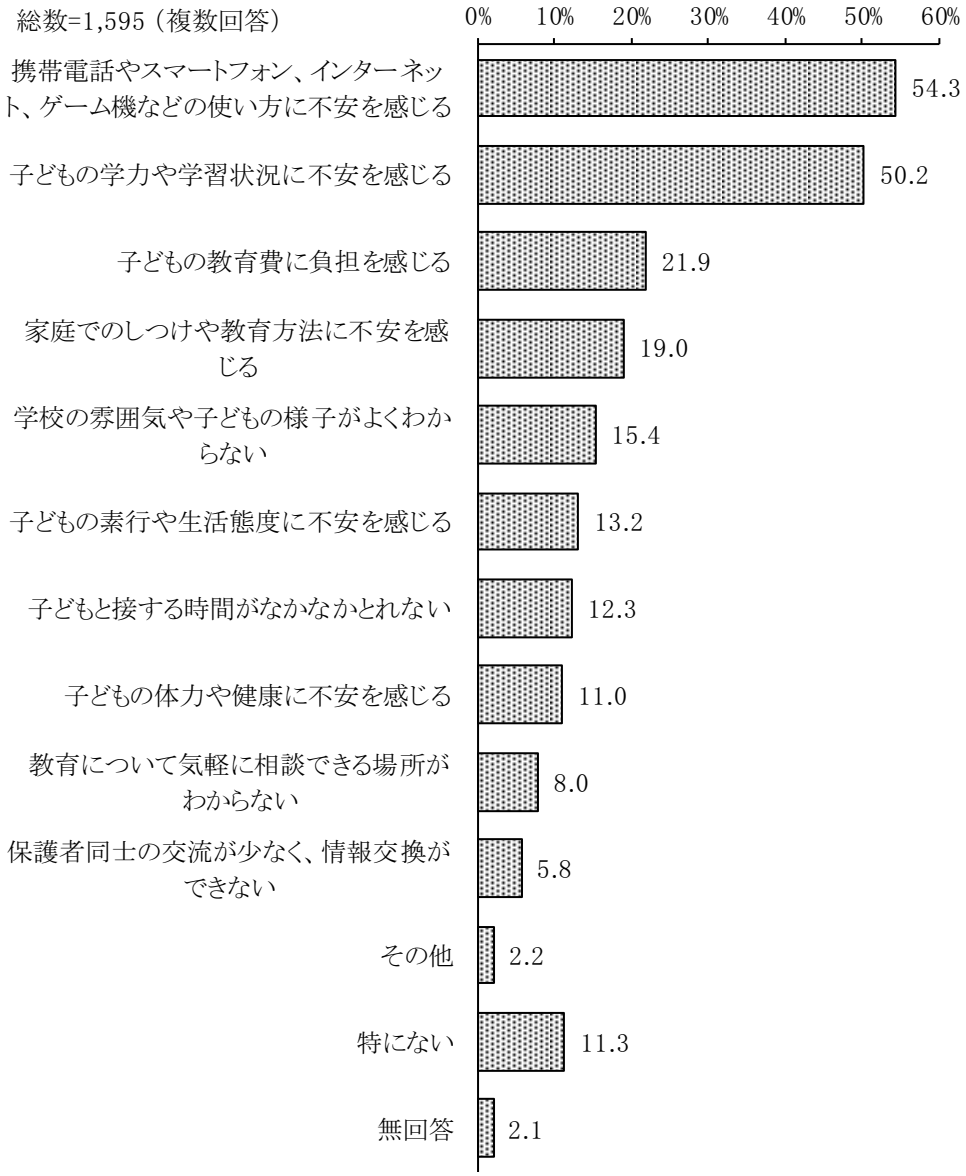
		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイデアや新しいことを発想する力	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		1,595	4.8	0.9	0.6	2.3	2.6	1.0	16.0	3.5	58.3	56.3
校種	小学校保護者	886	5.5	0.8	0.6	2.0	2.9	0.8	16.7	3.2	60.5	56.7
校種	中学校保護者	709	3.8	1.0	0.7	2.5	2.1	1.3	15.1	3.9	55.6	55.9

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		1,595	32.5	66.0	1.6	2.2	0.8	6.3
校種	小学校保護者	886	32.8	65.8	1.9	2.7	0.8	4.9
校種	中学校保護者	709	32.0	66.3	1.3	1.6	0.8	8.0

（２）家庭教育で困っていること

問９　家庭での教育について困っていることはありますか。（○はいくつでも）

「携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方に不安を感じる」が 54.3%で最も多く、次いで「子どもの学力や学習状況に不安を感じる」が 50.2%、「子どもの教育費に負担を感じる」が 21.9%となっています。



校種別に見ると、「家庭でのしつけや教育方法に不安を感じる」という回答では小学校保護者の割合が多く、「子どもの学力や学習状況に不安を感じる」、「子どもの教育費に負担を感じる」という回答では中学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

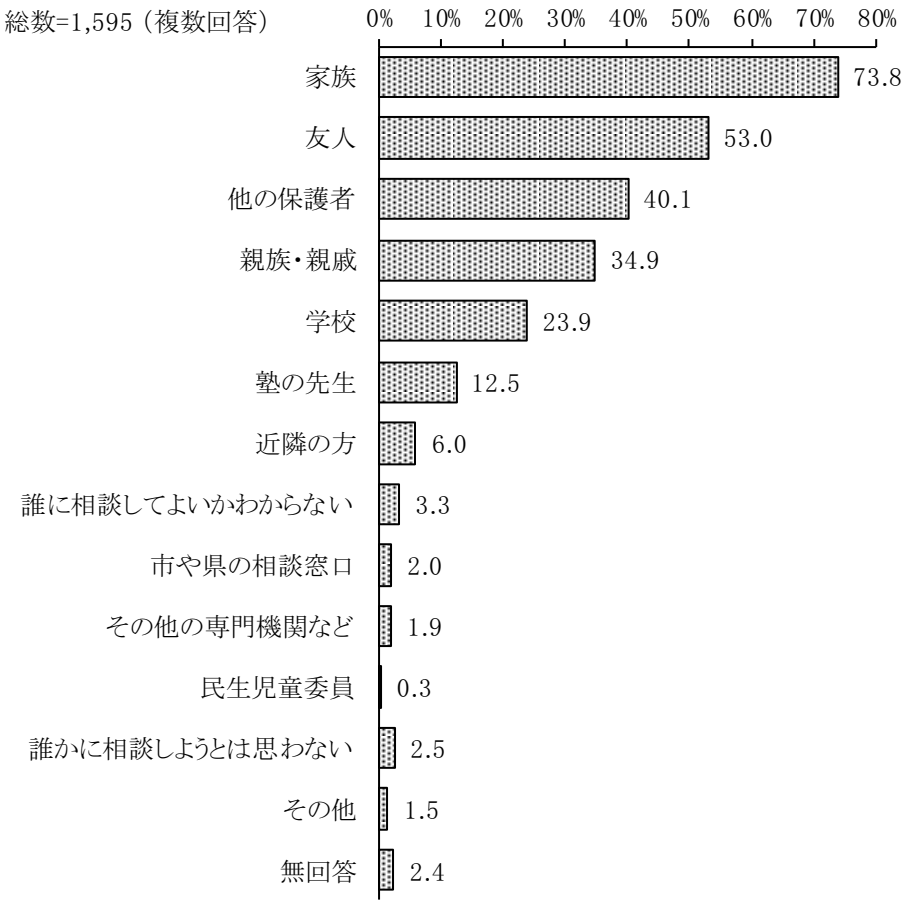
		全体	子どもの学力や学習状況に不安を感じる	子どもの体力や健康に不安を感じる	子どもの素行や生活態度に不安を感じる	家庭でのしつけや教育方法に不安を感じる	子どもと接する時間がなかなかとれない	教育について気軽に相談できる場所がわからない	保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない	学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない	子どもの教育費に負担を感じる	携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方に不安を感じる
全体		1,595	50.2	11.0	13.2	19.0	12.3	8.0	5.8	15.4	21.9	54.3
校種	小学校保護者	886	47.1	11.2	15.0	21.8	12.6	6.7	5.3	15.1	17.4	53.7
	中学校保護者	709	54.0	10.9	10.9	15.5	11.8	9.6	6.3	15.7	27.5	55.0

		全体	その他	特にない	無回答
全体		1,595	2.2	11.3	2.1
校種	小学校保護者	886	2.7	11.5	1.9
	中学校保護者	709	1.6	11.1	2.3

（３）家庭教育で困ったことを相談する先

問 10　家庭での教育で困ったことについて誰に相談しますか。（○はいくつでも）

「家族」が 73.8%で最も多く、次いで「友人」が 53.0%、「他の保護者」が 40.1%となっています。



校種別に見ると、「学校」、「家族」、「親族・親戚」、「他の保護者」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多く、「塾の先生」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	学校	市や県の相談窓口	民生児童委員	家族	親族・親戚	他の保護者	近隣の方	友人	塾の先生	その他の専門機関など
全体		1,595	23.9	2.0	0.3	73.8	34.9	40.1	6.0	53.0	12.5	1.9
校種	小学校保護者	886	26.5	2.1	0.3	77.9	38.1	42.6	6.9	55.2	9.0	2.5
	中学校保護者	709	20.7	1.8	0.3	68.7	30.7	37.1	4.8	50.4	16.8	1.3

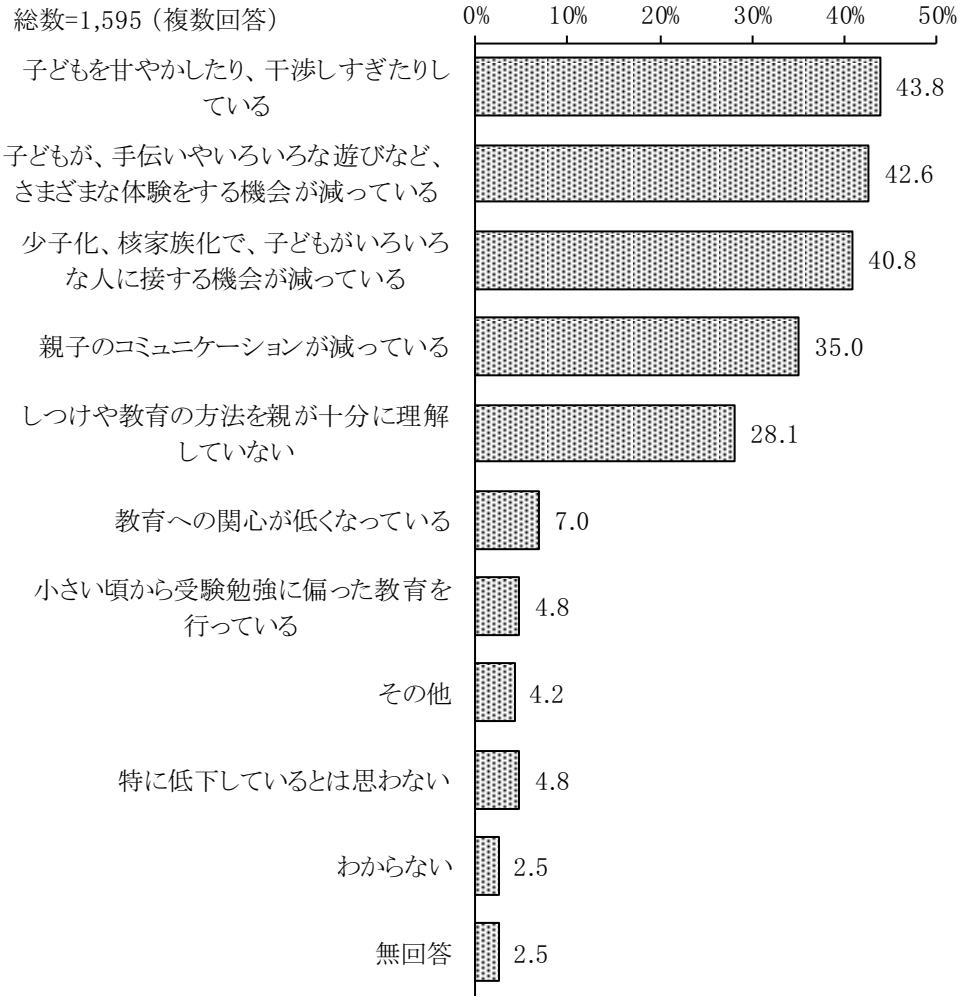
		全体	誰に相談してよいかわからない	誰かに相談しようとは思わない	その他	無回答
全体		1,595	3.3	2.5	1.5	2.4
校種	小学校保護者	886	2.3	2.1	2.0	2.3
	中学校保護者	709	4.7	3.0	0.8	2.5

（４）家庭の教育力が低下している原因

問 11　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「家庭の教育力」とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」が 43.8%で最も多く、次いで「子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている」が 42.6%、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が 40.8%となっています。



校種別に見ると、「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」という回答では小学校保護者の割合が多くなっています。

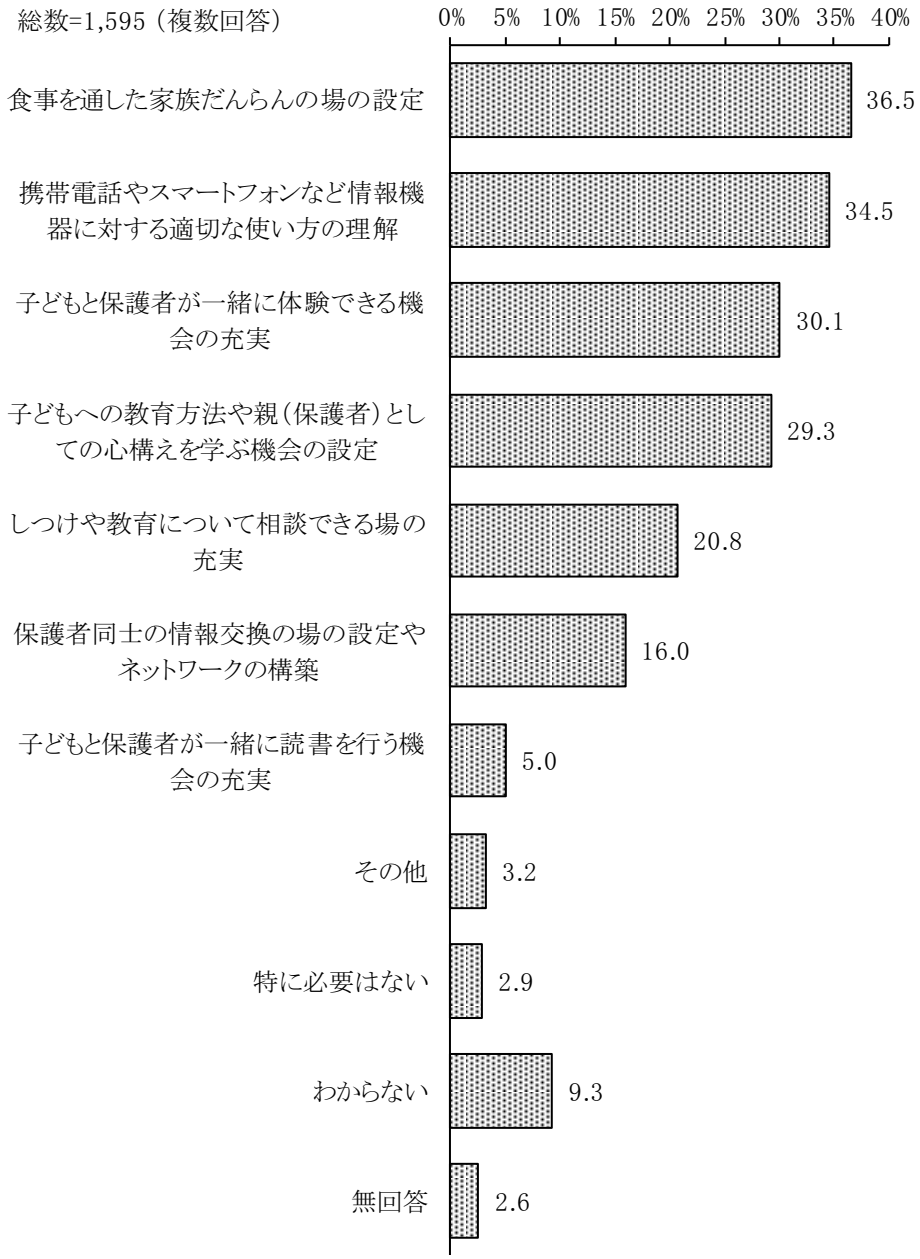
		全体	親子のコミュニケーションが減っている	子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている	教育への関心が低くなっている	しつけや教育の方法を親が十分に理解していない	小さい頃から受験勉強に偏った教育を行っている	子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている	少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている	その他	特に低下しているとは思わない	わからない
全体		1,595	35.0	43.8	7.0	28.1	4.8	42.6	40.8	4.2	4.8	2.5
校種	小学校保護者	886	34.2	46.4	6.7	29.3	3.6	43.0	42.7	4.1	4.9	2.0
	中学校保護者	709	36.1	40.6	7.3	26.5	6.3	42.2	38.5	4.4	4.8	3.1

		全体	無回答
全体		1,595	2.5
校種	小学校保護者	886	2.3
	中学校保護者	709	2.8

（５）家庭の教育力向上に必要な取組

問 12　家庭での教育力向上に必要な取組は何ですか。（３つまで○）

「食事を通した家族だんらんの場の設定」が 36.5％で最も多く、次いで「携帯電話やスマートフォンなど情報機器に対する適切な使い方の理解」が 34.5％、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」が 30.1％となっています。



校種別に見ると、「子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実」という回答では小学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	子どもへの教育方法や親（保護者）としての心構えを学ぶ機会の設定	保護者同士の情報交換の場の設定やネットワークの構築	しつけや教育について相談できる場の充実	子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実	子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実	食事を通した家族だんらんの場の設定	携帯電話やスマートフォンなど情報機器に対する適切な使い方の理解	その他	特に必要はない	わからない
全体		1,595	29.3	16.0	20.8	30.1	5.0	36.5	34.5	3.2	2.9	9.3
校種	小学校保護者	886	28.7	15.0	20.2	33.2	5.8	35.4	33.1	3.0	2.1	10.2
校種	中学校保護者	709	30.0	17.2	21.4	26.2	4.1	37.8	36.4	3.4	3.8	8.2

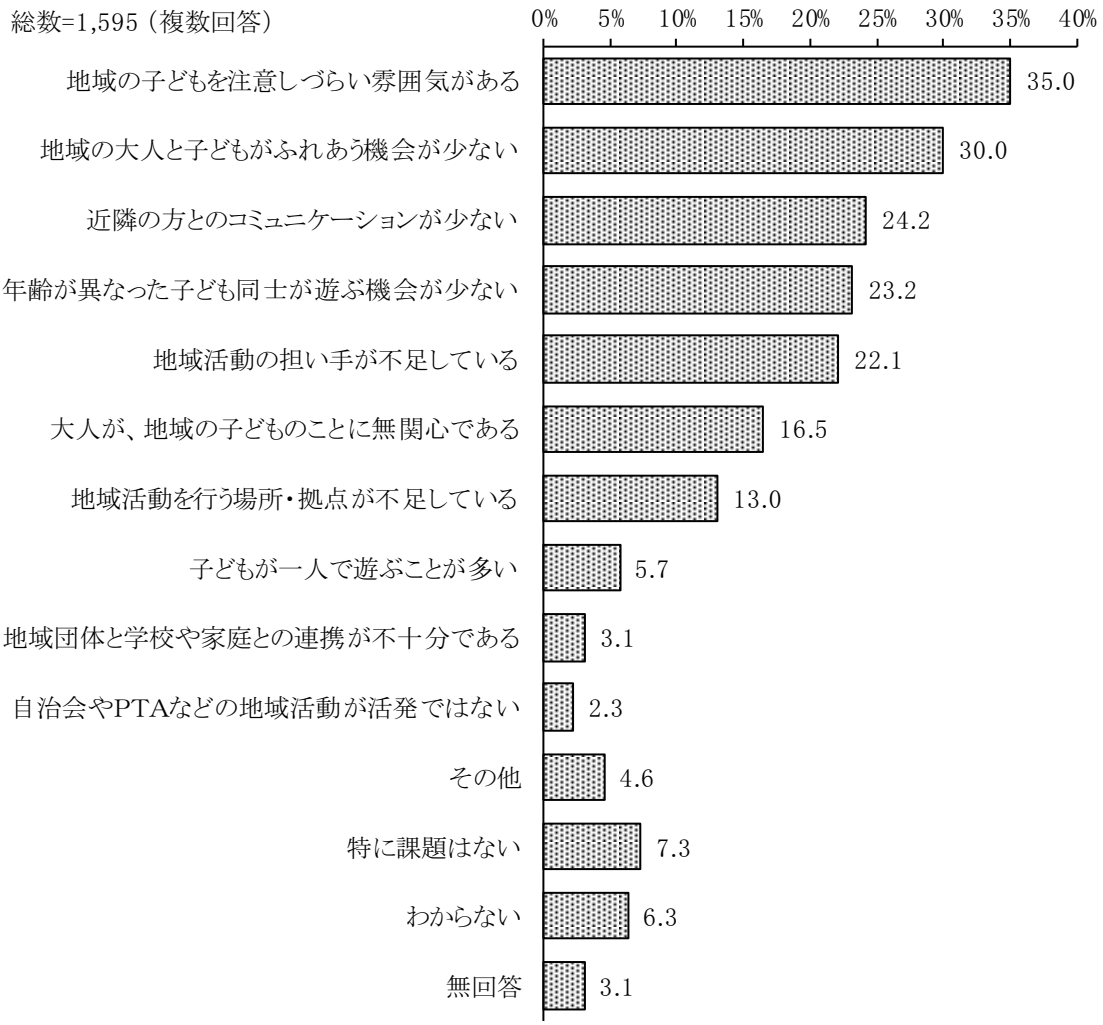
		全体	無回答
全体		1,595	2.6
校種	小学校保護者	886	2.5
校種	中学校保護者	709	2.7

（６）地域の教育力についての課題

問 13　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「地域の教育力」とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

「地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある」が 35.0%で最も多く、次いで「地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない」が 30.0%、「近隣の方とのコミュニケーションが少ない」が 24.2%となっています。



校種別に見ると、大きな違いは見られません。

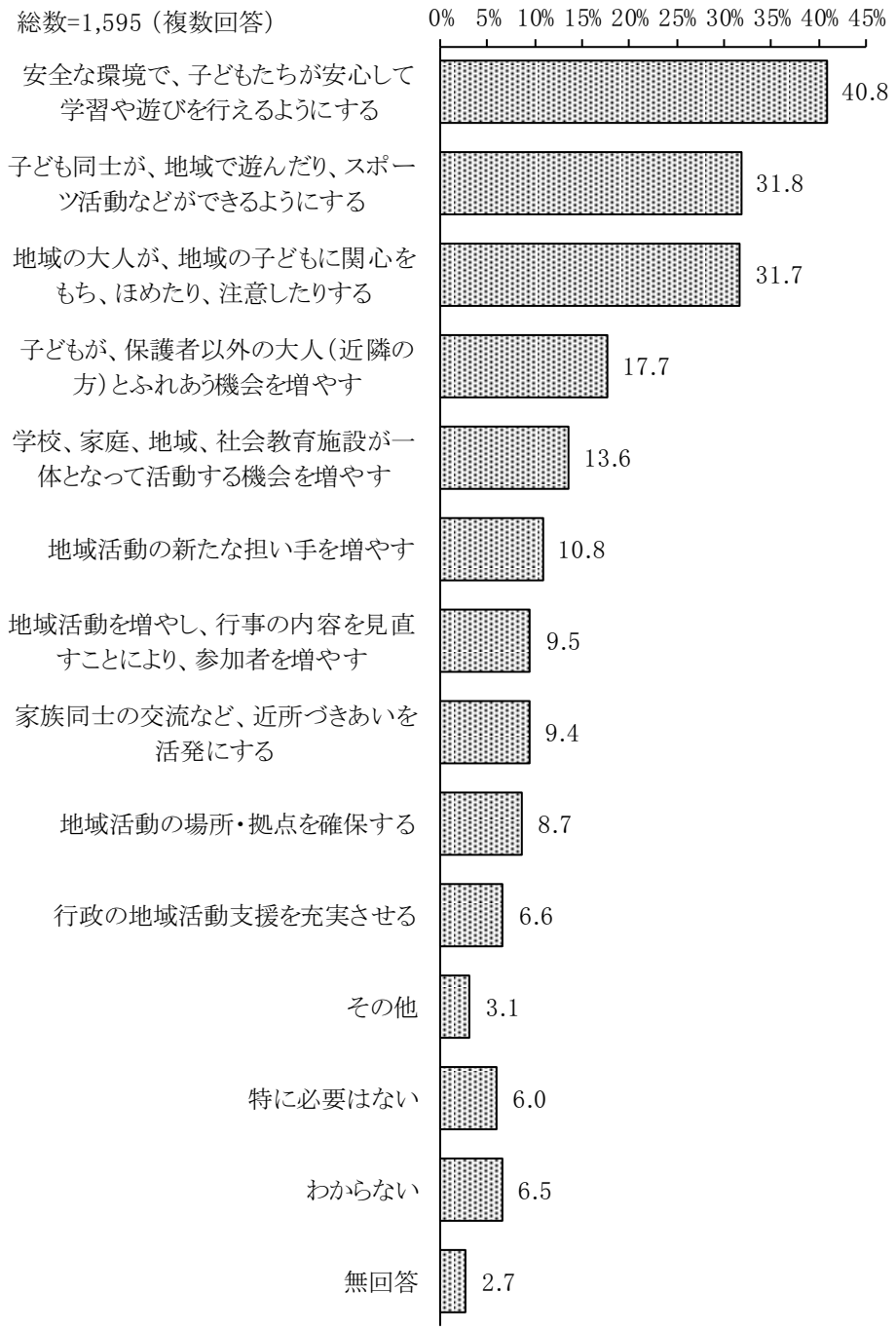
		全体	大人が、地域の子どものことに無関心である	地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある	地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない	地域活動の担い手が不足している	地域活動を行う場所・拠点が不足している	子どもが一人で遊ぶことが多い	年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない	近隣の方とのコミュニケーションが少ない	自治会やＰＴＡなどの地域活動が活発ではない	地域団体と学校や家庭との連携が不十分である
全体		1,595	16.5	35.0	30.0	22.1	13.0	5.7	23.2	24.2	2.3	3.1
校種	小学校保護者	886	15.8	35.6	30.5	22.8	13.1	5.8	24.0	22.8	2.6	3.4
	中学校保護者	709	17.3	34.4	29.3	21.3	13.0	5.6	22.1	26.0	1.8	2.8

		全体	その他	特に課題はない	わからない	無回答
全体		1,595	4.6	7.3	6.3	3.1
校種	小学校保護者	886	5.4	7.3	5.4	3.3
	中学校保護者	709	3.5	7.3	7.5	2.8

（７）地域の教育力向上に必要な取組

問 14　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（３つまで○）

「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」が 40.8%で最も多く、次いで「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」が 31.8%、「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」が 31.7%となっています。



校種別に見ると、「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」という回答では小学校保護者の割合が多くなっています。

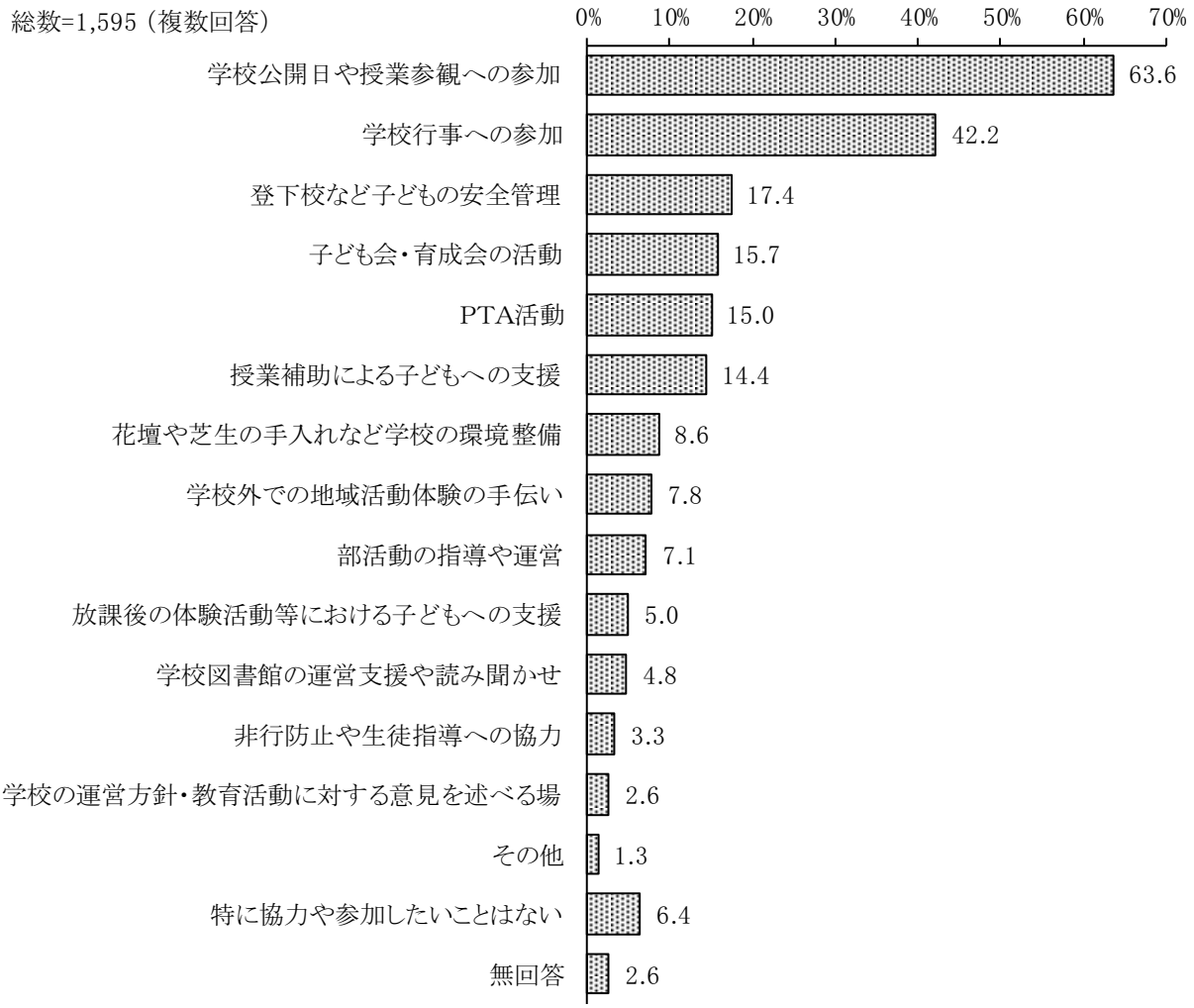
		全体	地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす	地域活動の新たな担い手を増やす	安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする	子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす	学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす	行政の地域活動支援を充実させる	地域活動の場所・拠点を確保する
全体		1,595	31.7	31.8	9.4	9.5	10.8	40.8	17.7	13.6	6.6	8.7
校種	小学校保護者	886	32.1	33.3	10.0	9.1	10.9	43.2	16.5	12.1	7.2	9.1
	中学校保護者	709	31.3	29.9	8.6	10.0	10.7	37.8	19.2	15.5	5.9	8.0

		全体	その他	特に必要はない	わからない	無回答
全体		1,595	3.1	6.0	6.5	2.7
校種	小学校保護者	886	3.0	5.6	5.9	2.6
	中学校保護者	709	3.2	6.3	7.3	2.8

（８）協力・参加してもよいと思う行事・活動

問 15　次のような行事・活動の中で今後、あなたが学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。（３つまで○）

「学校公開日や授業参観への参加」が 63.6％で最も多く、次いで「学校行事への参加」が 42.2％、「登下校など子どもの安全管理」が 17.4％となっています。



校種別に見ると、「授業補助による子どもへの支援」、「登下校など子どもの安全管理」、「学校公開日や授業参観への参加」、「子ども会・育成会の活動」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多く、「部活動の指導や運営」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	PTA活動	授業補助による子どもへの支援	放課後の体験活動等における子どもへの支援	部活動の指導や運営	登下校など子どもの安全管理	非行防止や生徒指導への協力	学校行事への参加	花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備	学校図書館の運営支援や読み聞かせ	学校の運営方針・教育活動に対する意見を述べる場
全体		1,595	15.0	14.4	5.0	7.1	17.4	3.3	42.2	8.6	4.8	2.6
校種	小学校保護者	886	14.0	18.3	4.4	4.3	21.0	3.3	43.6	7.8	4.5	2.1
	中学校保護者	709	16.2	9.6	5.6	10.7	13.0	3.4	40.5	9.6	5.1	3.2

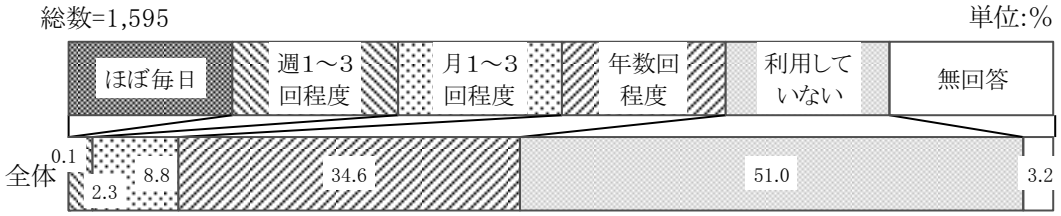
		全体	学校公開日や授業参観への参加	子ども会・育成会の活動	学校外での地域活動体験の手伝い	その他	特に協力や参加したいことはない	無回答
全体		1,595	63.6	15.7	7.8	1.3	6.4	2.6
校種	小学校保護者	886	66.9	18.6	6.7	1.2	5.8	2.8
	中学校保護者	709	59.4	12.1	9.2	1.3	7.2	2.4

４　公民館・図書館・博物館について

（１）公民館の利用頻度

問 16　川越市の公民館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）に川越市の公民館をどのくらい利用しましたか。（１つに○）

「利用していない」が 51.0%で最も多く、次いで「年数回程度」が 34.6%、「月１～３回程度」が 8.8%となっています。



校種別に見ると、「利用していない」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

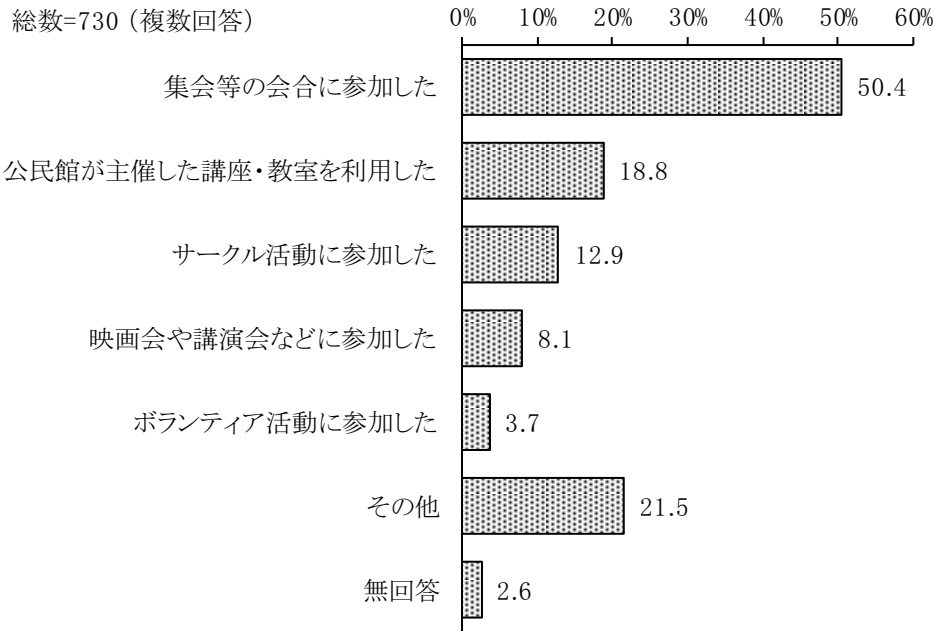
		全体	ほぼ毎日	週1～3回程度	月1～3回程度	年数回程度	利用していない	無回答
全体		1,595	0.1	2.3	8.8	34.6	51.0	3.2
校種	小学校保護者	886	0.1	2.7	9.7	36.8	47.2	3.5
	中学校保護者	709	0.0	1.7	7.8	31.9	55.9	2.8

（２）公民館の利用目的

【問 16 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 16－1　あなたは、公民館を利用してどのようなことを行いましたか。（○はいくつでも）

「集会等の会合に参加した」が 50.4％で最も多く、次いで「公民館が主催した講座・教室を利用した」が 18.8％、「サークル活動に参加した」が 12.9％となっています。



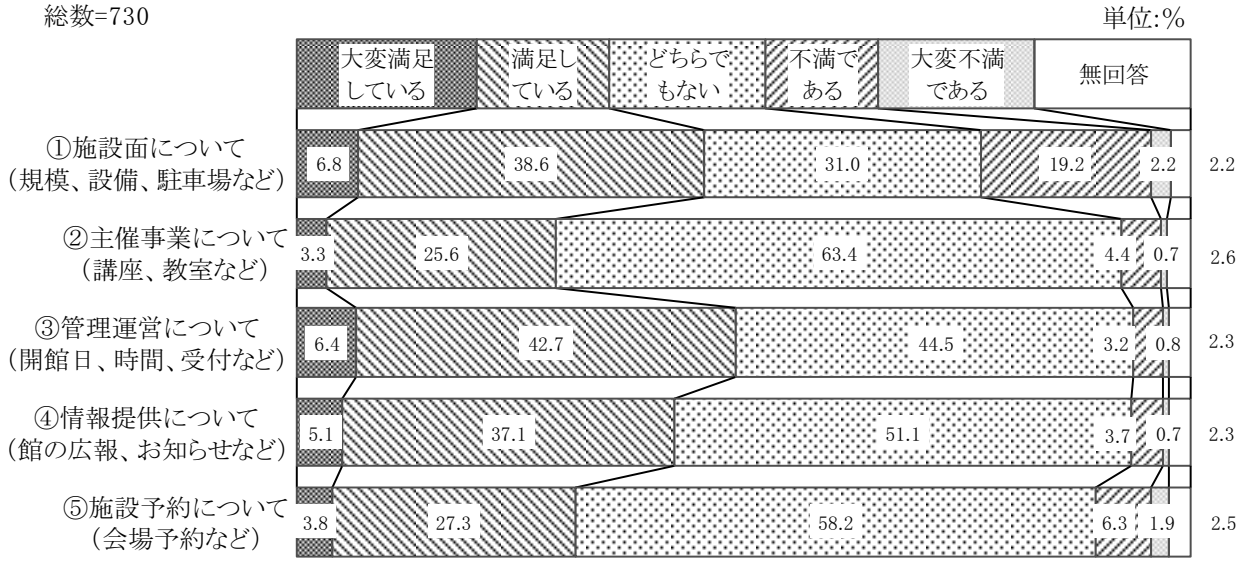
（３）公民館に対する満足度

【問 16 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 16－2　あなたは、公民館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について１つに○）

『満足している』（「大変満足している」＋「満足している」）という回答は、「③管理運営について（開館日、時間、受付など）」が 49.1%で最も多く、次いで「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 45.4%、「④情報提供について（館の広報、お知らせなど）」が 42.2%となっています。

一方、『不満である』（「大変不満である」＋「不満である」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 21.4%で最も多く、それ以外の項目は１割未満となっています。

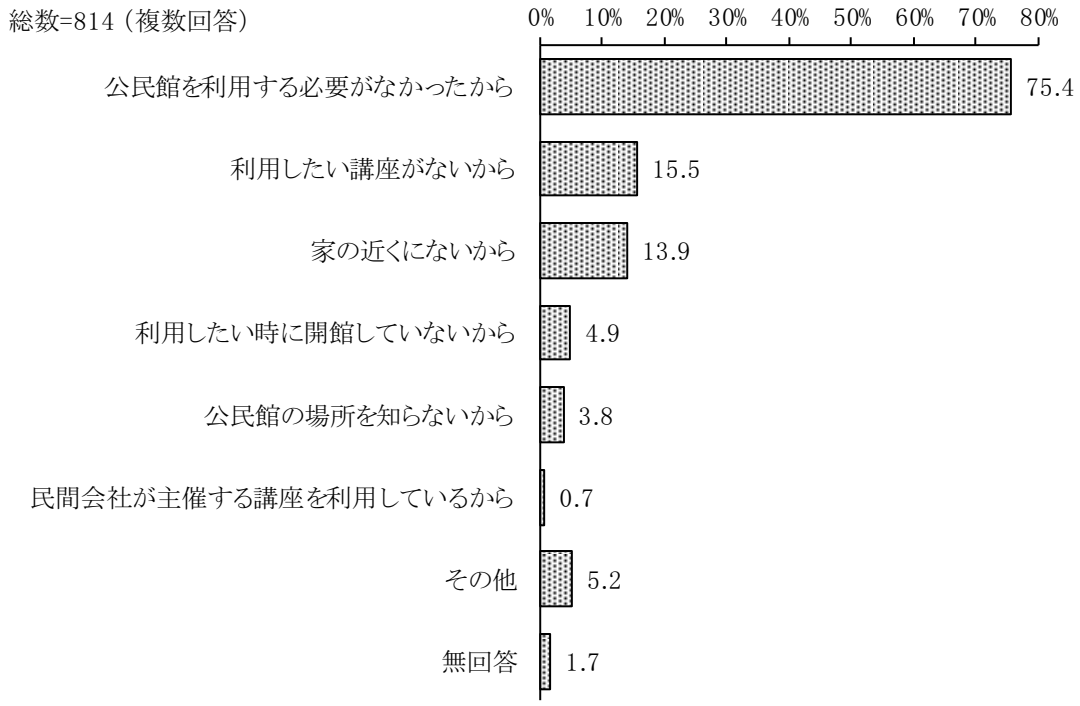


（４）公民館を利用しない理由

【問 16 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 16－3　あなたが、公民館を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

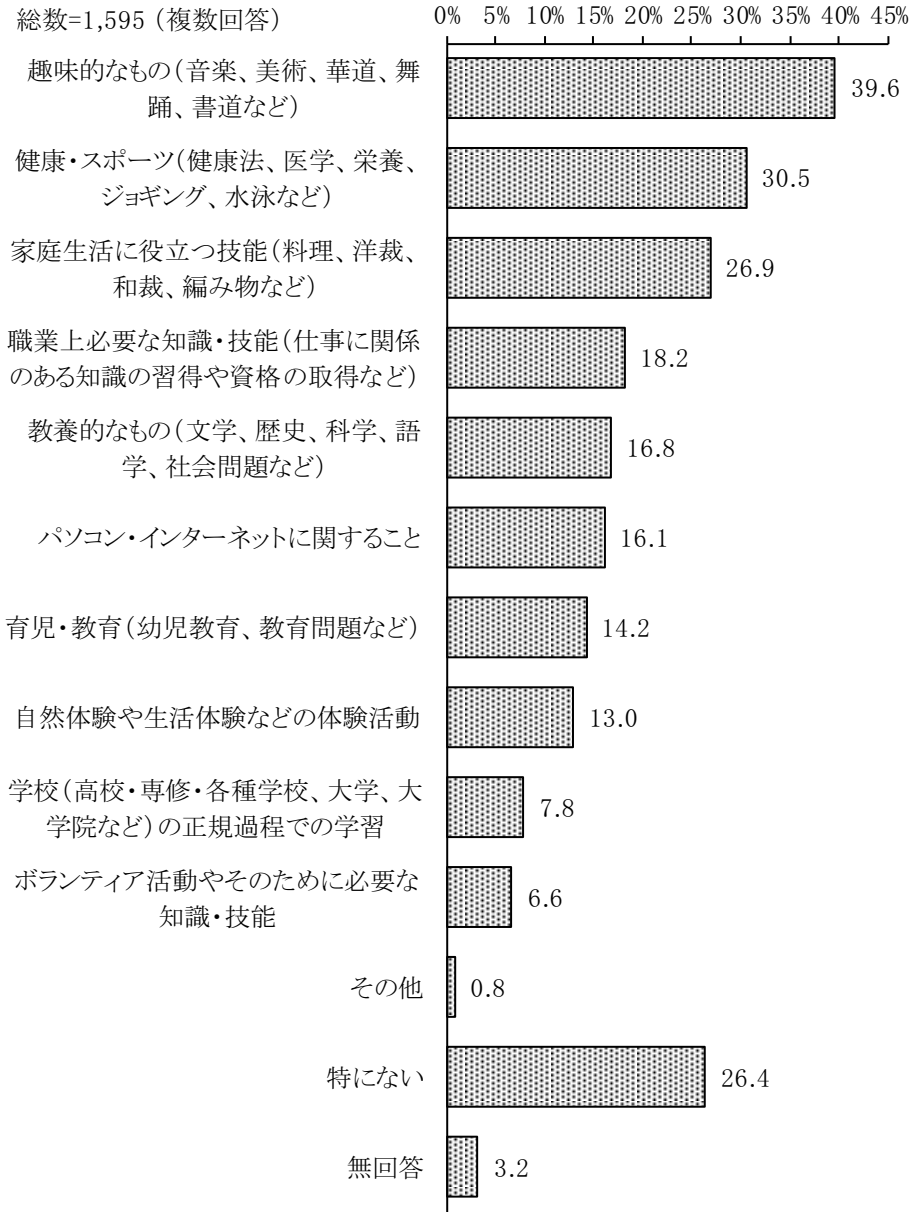
「公民館を利用する必要がなかったから」が 75.4％で最も多く、次いで「利用したい講座がないから」が 15.5％、「家の近くにないから」が 13.9％となっています。



（５）公民館で学びたいこと

問 17　あなたは、公民館においてどんなことを学びたいですか。（○はいくつでも）

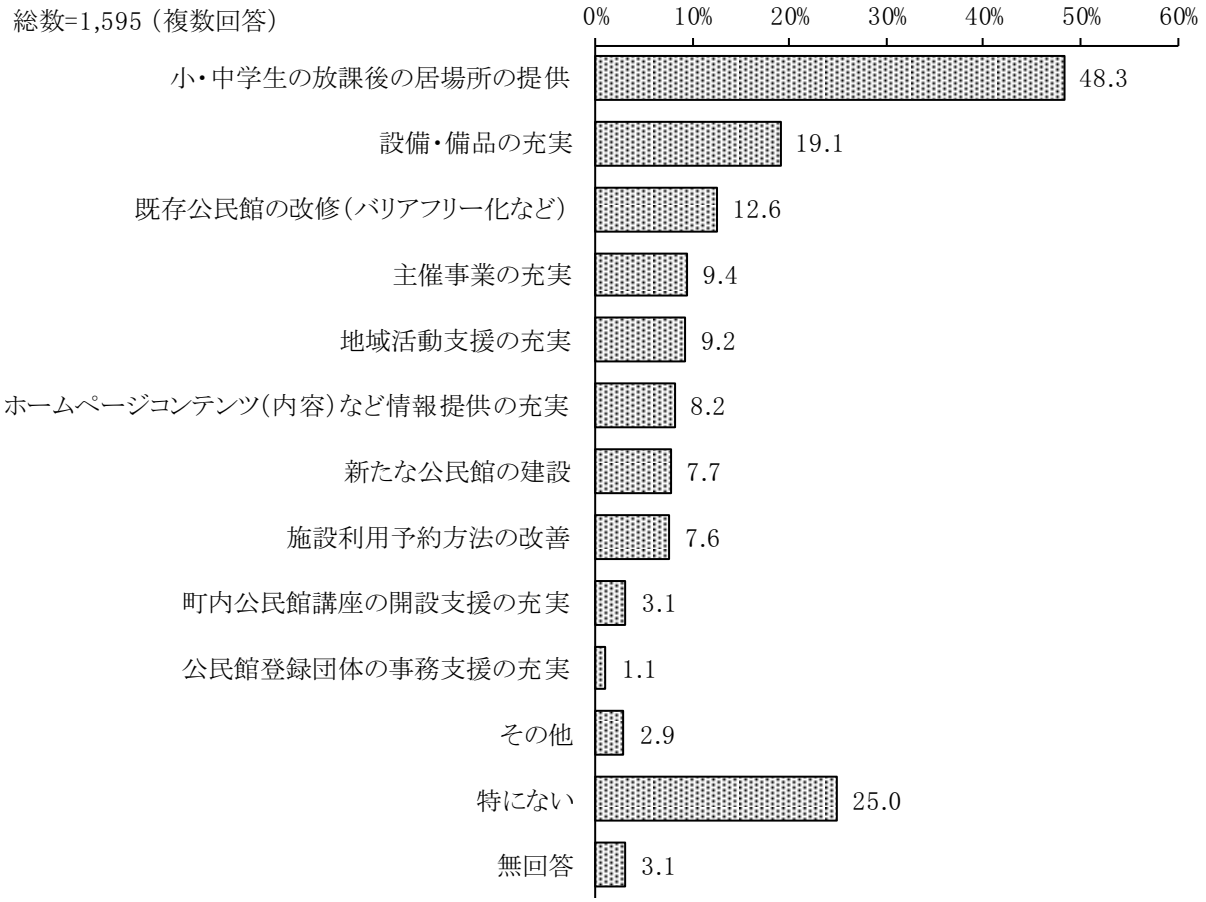
「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が 39.6％で最も多く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が 30.5％、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」が 26.9％となっています。



（６）公民館への要望

問 18　これからの公民館に要望したいことは何ですか。（３つまで○）

「小・中学生の放課後の居場所の提供」が 48.3%で最も多く、次いで「設備・備品の充実」が 19.1%、「既存公民館の改修（バリアフリー化など）」が 12.6%となっています。



校種別に見ると、「小・中学生の放課後の居場所の提供」という回答では小学校保護者の割合が多くなっています。

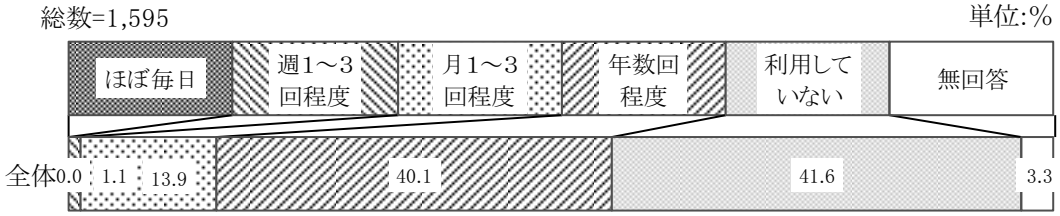
		全体	新たな公民館の建設	既存公民館の改修（バリアフリー化など）	設備・備品の充実	主催事業の充実	公民館登録団体の事務支援の充実	町内公民館講座の開設支援の充実	地域活動支援の充実	ホームページコンテンツ（内容）など提供情報の充実	施設利用予約方法の改善	小・中学生の放課後の居場所の提供
全体		1,595	7.7	12.6	19.1	9.4	1.1	3.1	9.2	8.2	7.6	48.3
校種	小学校保護者	886	8.1	13.3	17.9	9.1	0.7	3.4	10.2	7.9	6.9	52.8
	中学校保護者	709	7.2	11.7	20.5	9.7	1.6	2.8	8.0	8.5	8.5	42.6

		全体	その他	特にない	無回答
全体		1,595	2.9	25.0	3.1
校種	小学校保護者	886	2.6	23.0	2.8
	中学校保護者	709	3.4	27.4	3.4

（７）図書館の利用頻度

問 19　川越市の図書館についておたずねします。あなたは、川越市の図書館をこの１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい利用しましたか。（１つに○）

「利用していない」が 41.6%で最も多く、次いで「年数回程度」が 40.1%、「月１～３回程度」が 13.9%となっています。



校種別に見ると、「月１～３回程度」、「年数回程度」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多く、「利用していない」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

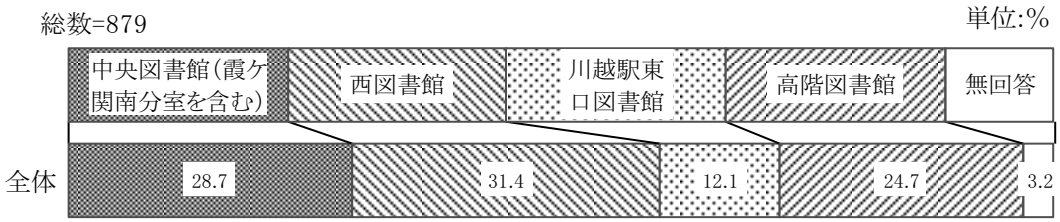
		全体	ほぼ毎日	週1～3回程度	月1～3回程度	年数回程度	利用していない	無回答
全体		1,595	0.0	1.1	13.9	40.1	41.6	3.3
校種	小学校保護者	886	0.0	1.1	16.6	43.2	35.6	3.5
	中学校保護者	709	0.0	1.1	10.4	36.2	49.1	3.1

（８）最も利用する図書館

【問 19 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 19－1　あなたが、最も利用する図書館は、次のどの図書館ですか。（１つに○）

「西図書館」が 31.4%で最も多く、次いで「中央図書館（霞ケ関南分室を含む）」が 28.7%、「高階図書館」が 24.7%となっています。

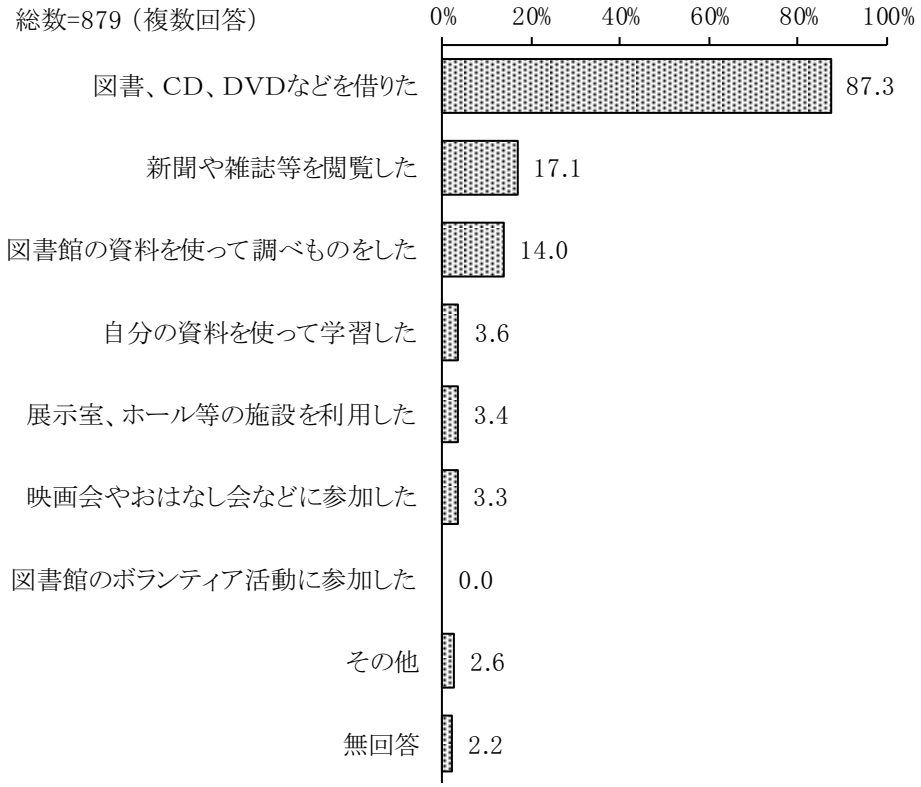


（９）図書館の利用目的

【問 19 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 19－2　あなたは、図書館に行ってどのようなことをしましたか。（○はいくつでも）

「図書、ＣＤ、ＤＶＤなどを借りた」が 87.3％で最も多く、次いで「新聞や雑誌等を閲覧した」が 17.1％、「図書館の資料を使って調べものをした」が 14.0％となっています。



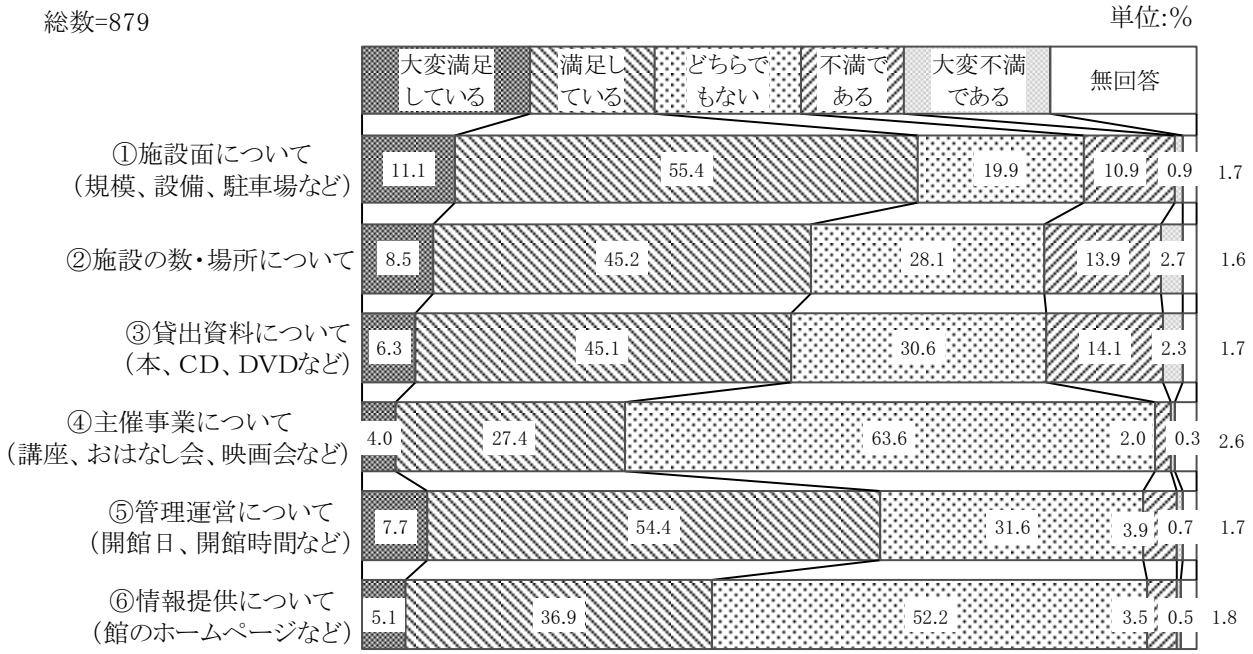
（10）図書館に対する満足度

【問 19 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 19－3　あなたは、図書館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について、１つに○）

『満足している』（「大変満足している」＋「満足している」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 66.5%で最も多く、次いで「⑤管理運営について（開館日、開館時間など）」が 62.1%、「②施設の数・場所について」が 53.7%となっています。

一方、『不満である』（「大変不満である」＋「不満である」）という回答は、「②施設の数・場所について」が 16.6%で最も多く、次いで「③貸出資料について（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）」が 16.4%、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 11.8%となっています。

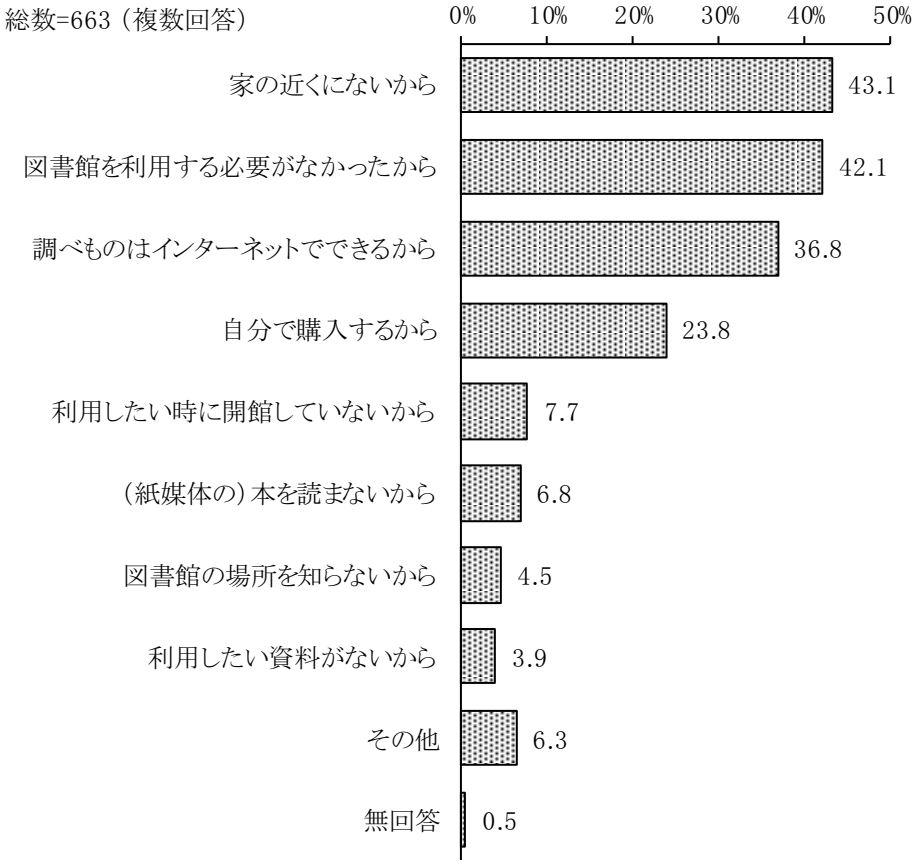


（11）図書館を利用しない理由

【問 19 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 19－4　あなたが、図書館を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

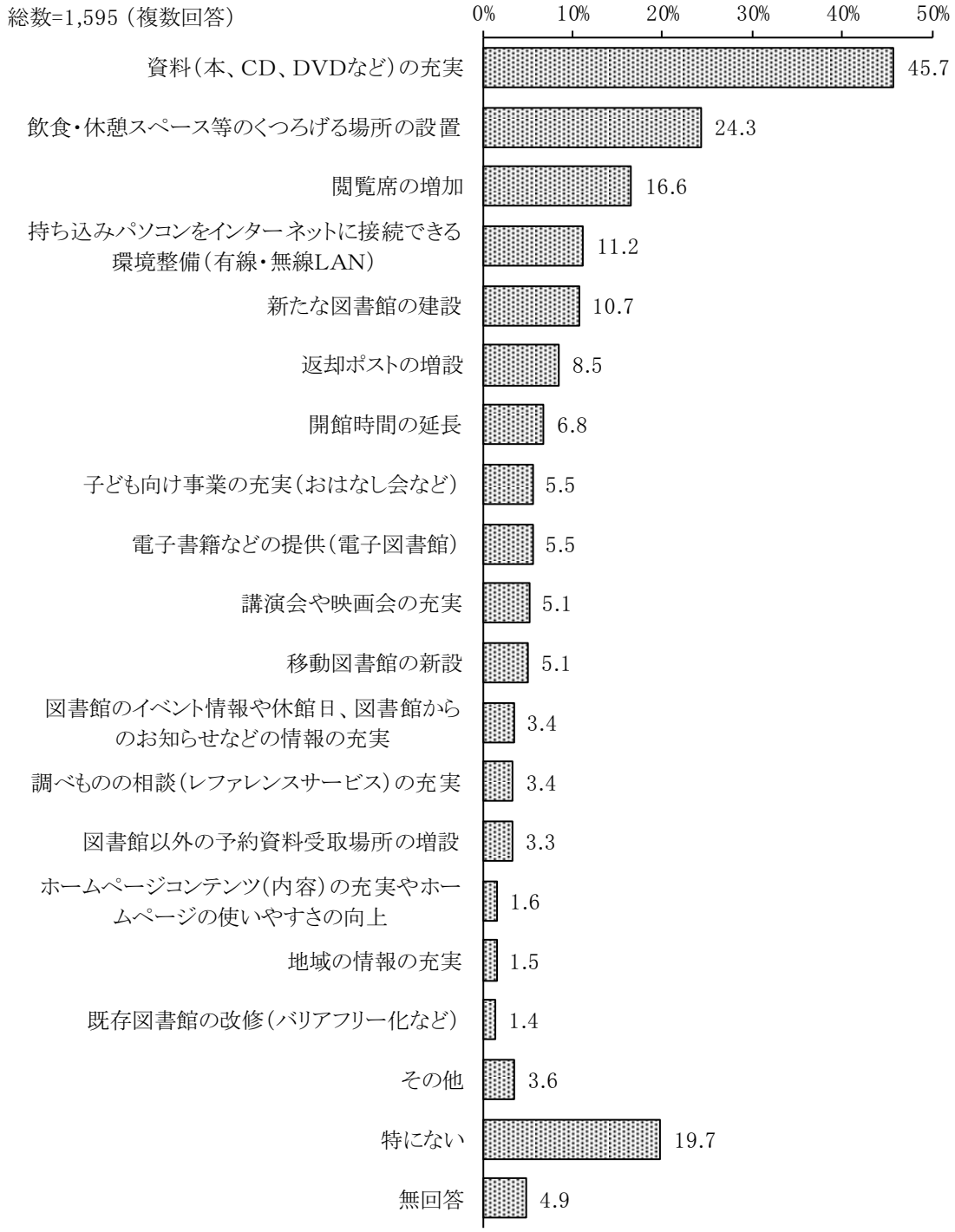
「家の近くにないから」が 43.1％で最も多く、次いで「図書館を利用する必要がなかったから」が 42.1％、「調べものはインターネットでできるから」が 36.8％となっています。



（12）図書館への要望

問 20　これからの図書館に要望したいことは何ですか。（３つまで○）

「資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実」が 45.7％で最も多く、次いで「飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置」が 24.3％、「閲覧席の増加」が 16.6％となっています。



校種別に見ると、「閲覧席の増加」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

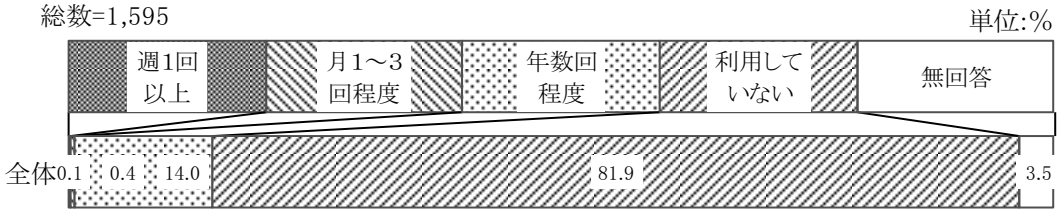
		全体	資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実	講演会や映画会の充実	調べものの相談（レファレンスサービス）の充実	子ども向け事業の充実（おはなし会など）	図書館のイベント情報や休館日、図書館からのお知らせなどの情報の充実	閲覧席の増加	電子書籍などの提供（電子図書館）	地域の情報の充実	持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備（有線・無線ＬＡＮ）	返却ポストの増設
全体		1,595	45.7	5.1	3.4	5.5	3.4	16.6	5.5	1.5	11.2	8.5
校種	小学校保護者	886	46.8	6.2	3.4	7.2	4.2	14.1	5.5	1.8	10.6	8.9
校種	中学校保護者	709	44.3	3.8	3.4	3.4	2.5	19.6	5.5	1.1	11.8	8.0

		全体	図書館以外の予約資料受取場所の増設	新たな図書館の建設	移動図書館の新設	既存図書館の改修（バリアフリー化など）	飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置	開館時間の延長	ホームページコンテンツ（内容）の充実やホームページの使いやすさの向上	その他	特にない	無回答
全体		1,595	3.3	10.7	5.1	1.4	24.3	6.8	1.6	3.6	19.7	4.9
校種	小学校保護者	886	3.7	12.8	5.2	1.4	24.3	5.0	1.8	4.2	18.8	4.5
校種	中学校保護者	709	2.8	8.0	4.9	1.6	24.3	9.2	1.3	2.8	20.9	5.4

（13）博物館の利用頻度

問 21　川越市立博物館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい来館しましたか。（１つに○）

「利用していない」が 81.9%で最も多く、次いで「年数回程度」が 14.0%、「月１～３回程度」が 0.4%となっています。



校種別に見ると、「年数回程度」という回答では小学校保護者の割合が多く、「利用していない」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

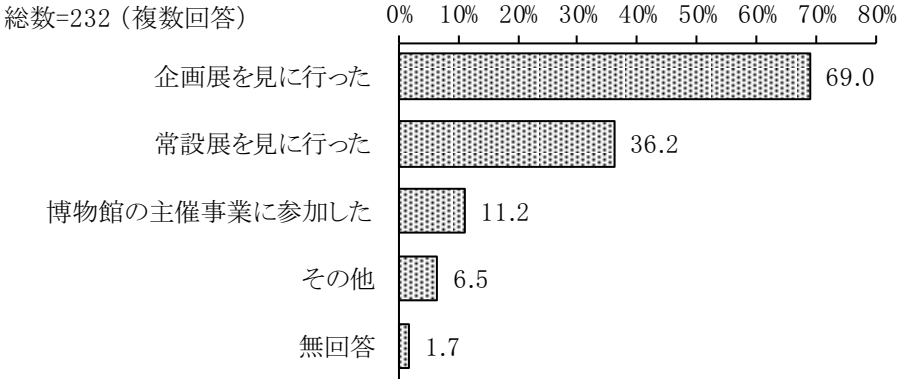
		全体	週1回以上	月1～3回程度	年数回程度	利用していない	無回答
全体		1,595	0.1	0.4	14.0	81.9	3.5
校種	小学校保護者	886	0.1	0.6	16.3	79.1	4.0
	中学校保護者	709	0.1	0.1	11.3	85.5	3.0

（14）博物館の利用目的

【問 21 で「１～３」と答えた方におたずねします。】

問 21－1　あなたは、博物館にどのような目的で行きましたか。（○はいくつでも）

「企画展を見に行った」が 69.0%で最も多く、次いで「常設展を見に行った」が 36.2%、「博物館の主催事業に参加した」が 11.2%となっています。



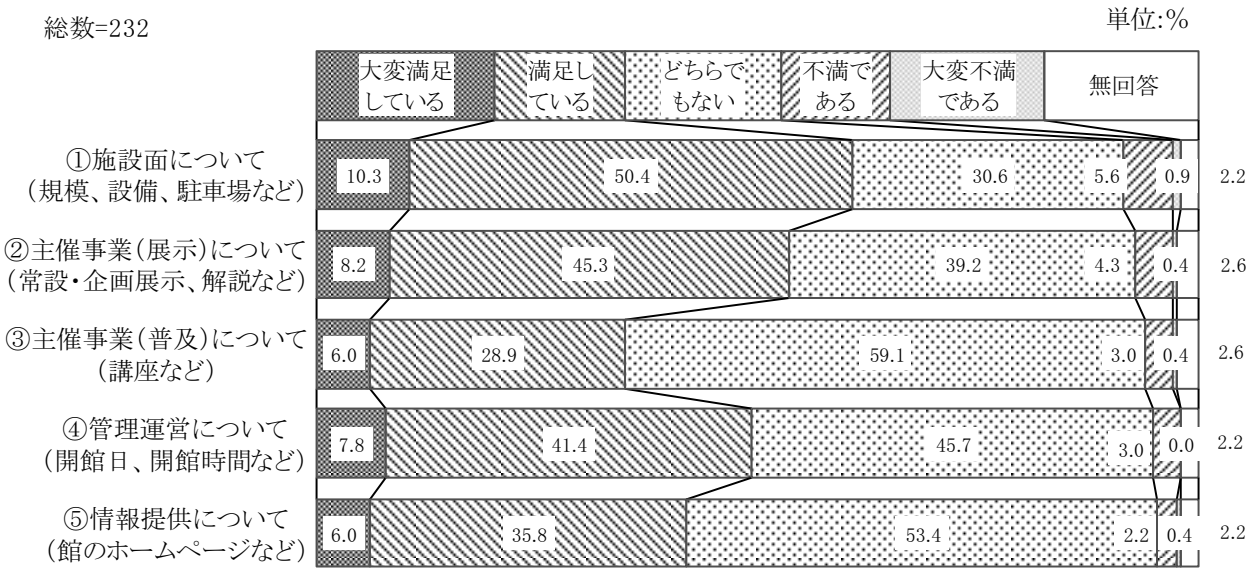
（15）博物館に対する満足度

【問 21 で「１～３」と答えた方におたずねします。】

問 21－2　あなたは、博物館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について、１つに○）

『満足している』（「大変満足している」＋「満足している」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 60.7%で最も多く、次いで「②主催事業（展示）について（常設・企画展示、解説など）」が 53.5%、「④管理運営について（開館日、開館時間など）」が 49.2%となっています。

一方、『不満である』（「大変不満である」＋「不満である」）という回答は、どの項目は１割未満となっています。

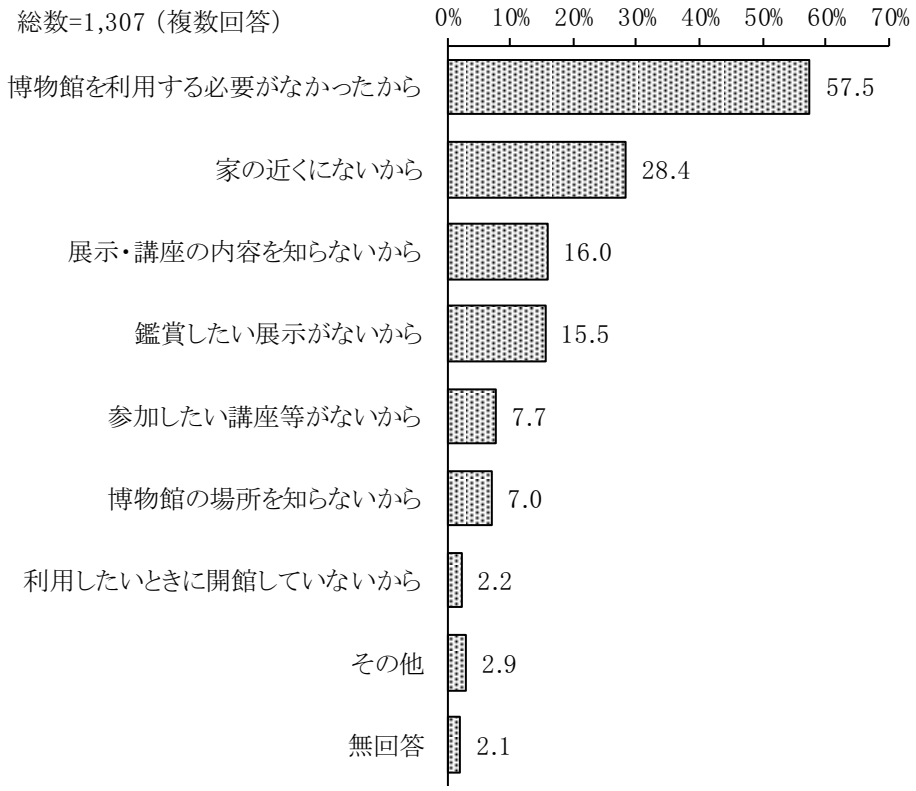


（16）博物館を利用しない理由

【問 21 で「４．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 21－3　あなたが、博物館を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

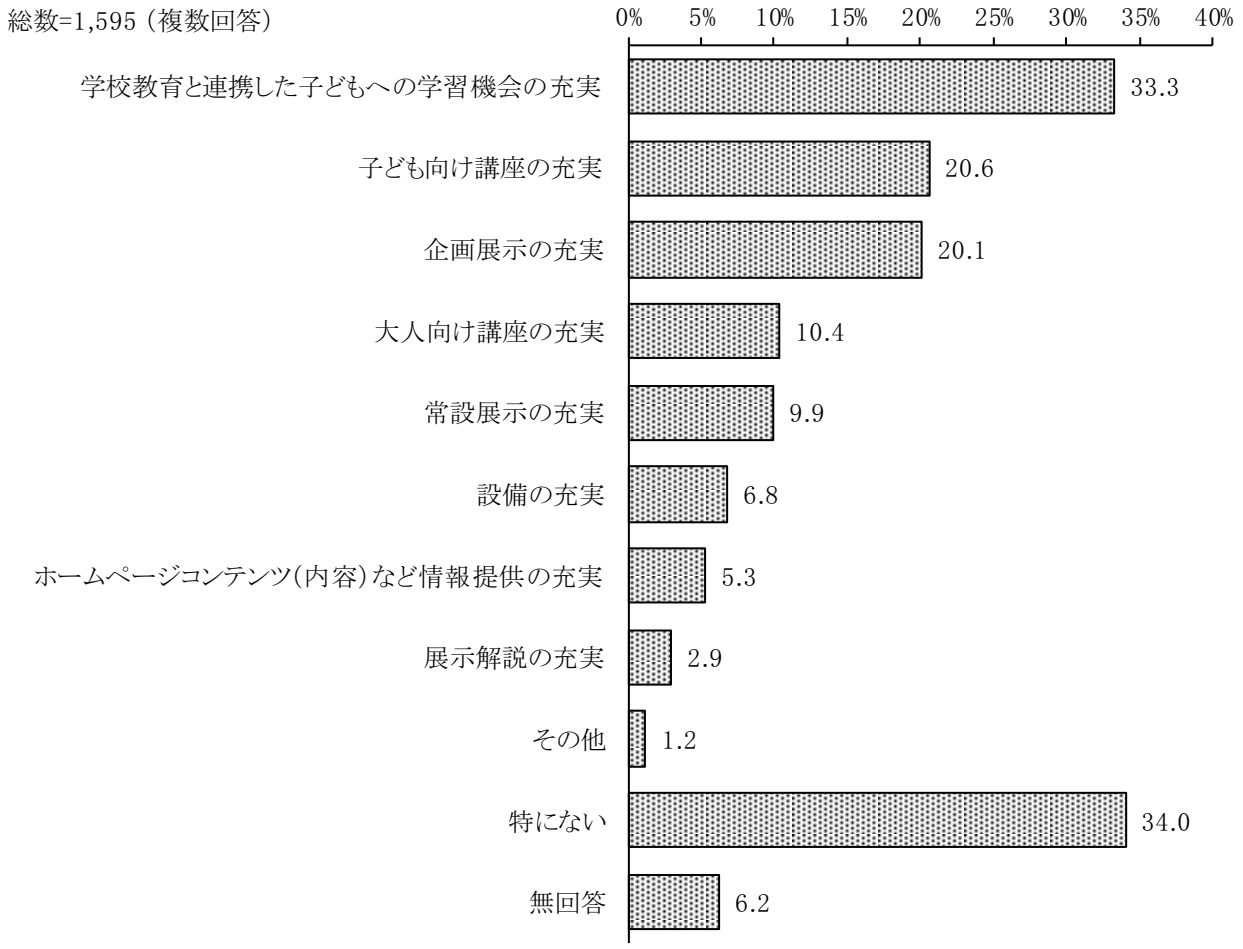
「博物館を利用する必要がなかったから」が 57.5％で最も多く、次いで「家の近くにないから」が 28.4％、「展示・講座の内容を知らないから」が 16.0％となっています。



（17）博物館への要望

問 22　これからの博物館に要望したいことは何ですか。（３つまで○）

「学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実」が 33.3%で最も多く、次いで「子ども向け講座の充実」が 20.6%、「企画展示の充実」が 20.1%となっています。



校種別に見ると、「子ども向け講座の充実」、「学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実」という回答では小学校保護者の割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	設備の充実	常設展示の充実	企画展示の充実	展示解説の充実	大人向け講座の充実	子ども向け講座の充実	学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実	ホームページコンテンツ（内容）など情報提供の充実	その他	特にない
全体		1,595	6.8	9.9	20.1	2.9	10.4	20.6	33.3	5.3	1.2	34.0
校種	小学校保護者	886	6.4	9.3	20.4	2.9	9.4	25.1	35.7	5.0	1.0	31.4
	中学校保護者	709	7.2	10.7	19.7	3.0	11.7	15.1	30.3	5.6	1.4	37.4

		全体	無回答
全体		1,595	6.2
校種	小学校保護者	886	6.9
	中学校保護者	709	5.4

（18）公民館・図書館・博物館についての意見・要望

問 23　川越市の公民館・図書館・博物館について、学校との連携を含めご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

有効回収数 1595 票中 141 票に意見の記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 141 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

公民館（32 件）

〇子どもの居場所・学習スペース（14 件）

・放課後の居場所に公民館など、子どもが行きやすい環境があると良いと思う。
・共働き家庭としては夏休みに歩いて行ける（学区内）公民館にして自主勉強できるスペースを開放して欲しい（学区内)。
・公民館と併設して児童館が、とにかく近くにないのであったらとても利用したいです。
・中学生が放課後気軽に立ち寄って利用できる場を造って欲しい（自習スペースや文化祭のダンスの練習の場など)。

〇施設・設備（６件）

・公民館も古い建物が多く避難して大丈夫か不安。
・家の近くの公民館はとても古いです。せめてトイレは全て洋式にし、キレイにしてはどうでしょうか。

〇近くにないので利用しづらい（３件）

・川越市は子ども達だけで気軽にいける距離に公民館、図書館が少ないので子ども達の交流が少ない感じがします。
・福原方面に公民館と図書館がない。

〇予約システム（２件）

・定期で利用している団体が多く、予約が取りづらい。必要なときに利用できない。
・公民館の予約方法がもう少し簡単になると良い。

〇その他（７件）

・公民館での利用者は高齢層が高いイメージがあり（60 代くらい)、もっと若い方や、30～40 代の人達も気軽にいけるようになるといいと思います。
・図書館､博物館は学校の授業で体験があったが､公民館を使って何かを体験することはなかった。公民館は何をするところなのか？　子ども達伝わっていないと思う。
・私の地域の公民館は古くて汚いけれども、地域には凄く密な立場で関わって頂けます。

図書館（81 件）

○図書の充実（24 件）

・新しい本を充実させて欲しい。
・図書館は新しい本や借りたい本がないときが良くある。
・全体的に古く汚い本が多い（中央図書館)。
・小学校高学年向けの本が古い物ばかりで残念。
・図書館、新刊や課題本など沢山入れて欲しい。絵本の新刊もお願いしたい。
・今時の中学生が好むような新しい本がない。
・以前やって下さっていた、図書館での本のリクエストが出来ると嬉しいです。
・図書館での電子書籍の提供を是非お願い致します。iPad などで読むことができれば。子ども達が本を読む機会が増えると思います。

○近くにないので利用しづらい（16 件）

・家から図書館までもう少し近ければ、子どもが利用することが増えるのにと思います。
・図書館は子どもが一人で歩きや自転車で通える位の距離にあると良い。うちは遠いので自分の仕事帰りに自分が本を選んで子どもに読ませている。土日図書館に出向くのも難しいので、子どもが好きなときに好きな本を選べる環境が望ましい。
・図書館を利用したいのに遠くて行きたくなくなる。近くの小中高校が日にちを決めて図書館を開放していただけたらいいなと思う。

○施設・設備（12 件）

・住民の増えているエリアに新しい図書館を造って欲しい。
・川越駅西口にも（ウエスタの中)、図書館を造って欲しいです。
・川越市の図書館の駐車場が、とても狭く台数も制限があるのでとても使いづらいです。
・学習スペースを増やして欲しい。

○子どもの居場所・学習スペース（７件）

・図書館に子どもの自習スペースや集団ワークを出来るスペースを増やして欲しい。
・公民館、図書館は子ども達が自由に行けて、勉強したり、お友達とお話しできるスペースなどが欲しいです。平日は無くても良いので土日や長期休暇にあって欲しいです。共働きで親が日中家にいないので、友達を家に呼ぶのは少し考えてしまうが、公民館や図書館なら安心して行って良いと言えるから。

○学校図書館（５件）

・以前図書館を利用した際、子どもの本を選ぶのに図書館員の方が大変親切に教えてくれて（年齢にあった本、評判の良い本など) 助かりました。学校にも図書館員、市のお勧め本を紹介したり、新しく購入する際に意見を取り入れるなど、連携があると良いと思います。
・保護者も学校の図書館が利用できるようになるとよいと思う。

〇移動図書館（３件）

・図書館がない地域に住んでいるので、移動図書館が定期的に来てくれることを希望。子どもは本を読むのが好きだが、本を与えられない。

〇学校への出張授業（２件）

・本の楽しさを知る機会の頻度を増やして欲しいです。夏休み以外でもおすすめ本や人気本を提供する資料を配ってくれるとか、本について語ってくれる講座を学校で行うなど。

・小学校で図書館利用方法等、子どもに直接行って教えて欲しい。

〇開館時間（２件）

・開館時間を早めて欲しい。

・他市町村は中高生のテスト前の勉強スペースに恵まれているが、川越市は本当にない。きちんと机が仕切られている自習室なるものが 50 人定員規模で、どの図書館にも確保すべきである。ゆえに閉館時間も延長（～21：00 まで）を希望する。

〇読書貯金通帳（２件）

・テレビでやっていました。図書館の子ども向け通帳。借りた本の名前と金額が銀行の通帳ふうに記帳され、まるで貯金のようになるのです。川越もあったら子ども達が喜ぶだろうと思います。

〇その他（８件）

・図書館の使用方法等、学校でやっていただけたことは良かったと思います。

・小学校からでる課題のブックリスト 30 選や推薦図書の本を探しやすい環境をつくってくれると、子ども自身から図書館へ行く機会が増えると思います。

・学校で図書館、博物館見学をしているので、子どもも親しみを持っているようです。川越は今は観光地でもあるので、親戚が来たときに博物館 etc に連れていったりしています。学校で川越の歴史について学ぶ機会がもう少しあると良いと思いますが、概ね上手に図書館、博物館と学校の連携が上手く行っているのではないでしょうか。

博物館（22 件）

〇展示物（４件）

・レプリカでも良いので有名な作品を見たい。

・川越市の歴史資料を充実させ、企画して欲しい。

〇講座・催し物の開催（４件）

・公民館、図書館は必要に応じて利用したことがありますが、博物館へは一度も行ったことがありませんでした。立派な施設なので学校教育や大人向けの足を運びやすい催しがあると良いと思います。

・講座の開講等、工夫した取組をしていただいていると思います。博物館の講座はとりわけ子ども達が伝統技能を知るのに効果的なものが多く、興味深いです。もう少し参加できる人数を増やし

ていただけると有り難いです。あと機織りなども加わると良いと思います。
・博物館でのイベントは私たちにインパクトがないのでもう少し定期的に発信して欲しいです。

〇子どもが興味・関心を持つような工夫（４件）
・夏休みに博物館へ行きましたが、解説など大人向けの文で難しくもう少し小中学生に分かり易いと、もっと楽しめるのになぁと思いました。
・博物館については子ども達が興味を持てるように工夫して欲しい。大人や役人が良いと思っても、子ども達が良い興味を持たなければ意味がない。子ども達が何度も来館してたくなるようにして欲しい。

〇近くにないので利用しづらい（２件）
・場所が遠すぎる。車を持っていない人や交通機関が悪い所であるので、利用できるところに設置して欲しい。小学生が歩いていける所があったら良いと思います。
・近くにあったら利用したいです。

〇その他（８件）
・用事がなければ子どもは行かない。
・中学生はあまり足を運ばないので、強制的にでも宿題を出して博物館に行かせると良いかも？
・博物館等、折角ですので足を運びたいと思っています。

全体（43 件）

〇子どもの居場所・学習スペース（11 件）
・子どもの居場所となるようにして貰いたい。
・中学生が友人と勉強できる場所がないので、市内の中学に通っている子ども達のテスト期間に合わせて、勉強スペースを提供して貰えると嬉しいです。
・子ども達が放課後や休日に行き場所が無かった時など、気軽に行って時を過ごせる場所になると、親も安心できると思います。

〇近くにないので利用しづらい（７件）
・全て市街地に集中している。自宅近くにないので利用したくても利用できない。
・子どもが一人で行けるような場所にない。車で送り迎えが必要になるため。

〇施設・設備（５件）
・各公民館に図書館が入っていると、行きやすいので助かります。
・休憩スペースや無料駐車場を増やして欲しい。
・駐車場の充実。狭すぎて接触事故を２度起こした。

〇子どもが興味・関心を持つような工夫（４件）
・小学校の授業内容とリンクしている展示等があると、子どもも興味を持ち利用することが多くな

ると思います。
・授業の一環で体験授業、夏休みの宿題などで、公民館や図書館の利用の仕方をサポートしたり、博物館に学年で見学に行き、班毎に見学したものをまとめ、紹介するなど、又はオリエンテーリングのように問題を出しておいて、その答えを探すように、楽しみながら見学できる工夫。

〇校外学習での活用（３件）
・１か月に１回等、直接学校から授業の一環でそれぞれに行くことがあれば、もっと活用できると思う。
・授業で利用する機会が増えれば、子どももももっと身近に感じ、親子での利用の回数も増えるのではと思います。

〇情報発信（２件）
・情報の発信をどんどんして欲しい。

〇その他（11 件）
・学校の振替休日が月曜日が多いので閉館日を検討して欲しい。全館一斉月曜定休ではなく、順番制等を導入して欲しい等。
・子ども達が自分の住んでいる市の歴史や特徴などを色々知る機会があると良いかと思いました。
・ここ数年は子どもが大きくなり、利用機会が減ってしまいましたが、子どもが保育園、小学校低学年の頃は、公民館主催の講座や博物館、美術館のワークショップによく行きました。どれも楽しい体験だったのでこれからも続けて欲しいです。

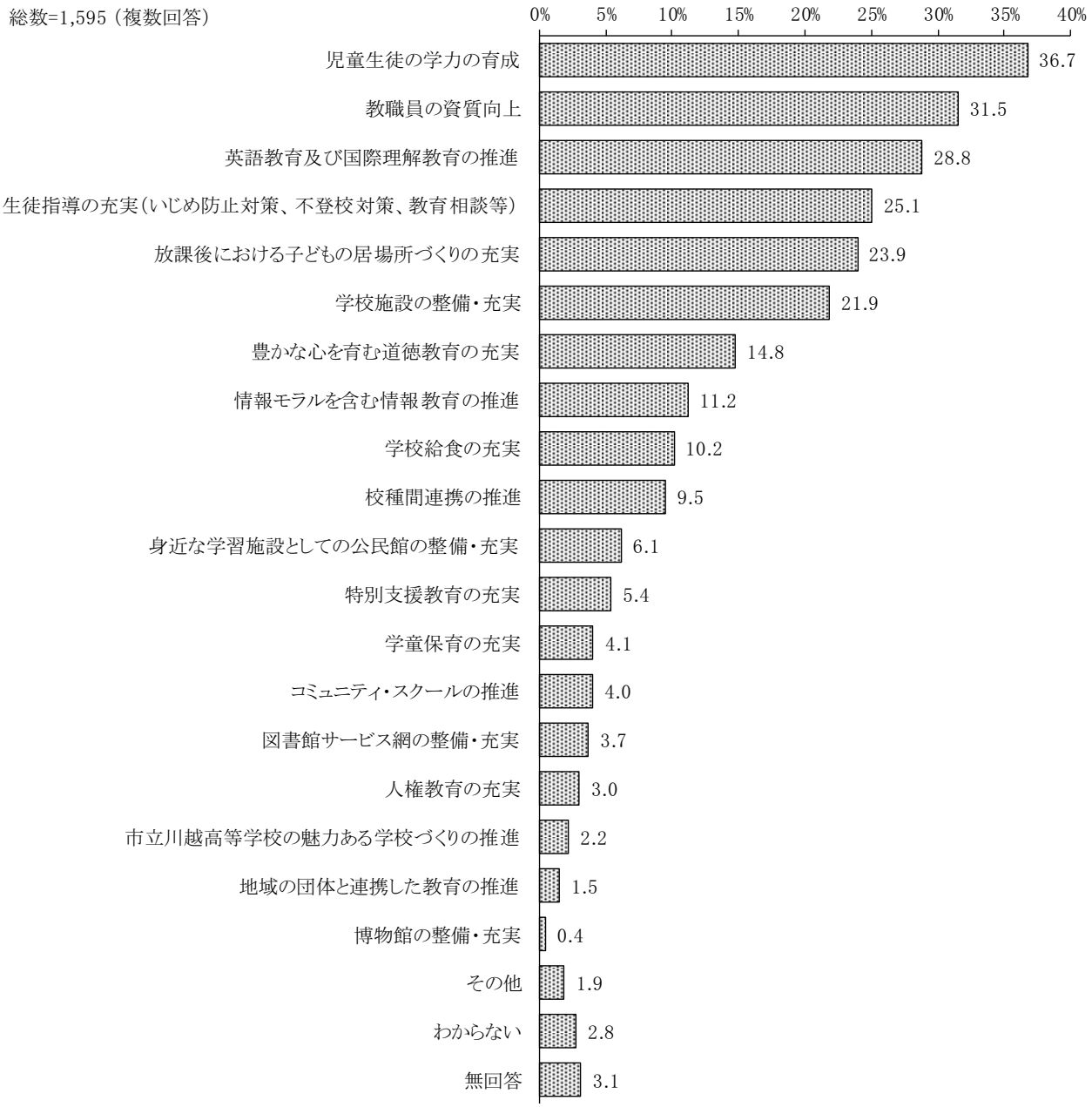
その他（６件）
・美術館に子どもの作品が展示されたときは市報でもっと日時や対象が分かり易いように周知して欲しい。
・大東地区に児童館的な施設を造って頂きたいです。
・防犯カメラの充実。不審者の監視!!

５　教育施策について

（１）充実させたほうが良いと思う教育施策

問 24　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。（３つまで○）

「児童生徒の学力の育成」が 36.7％で最も多く、次いで「教職員の資質向上」が 31.5％、「英語教育及び国際理解教育の推進」が 28.8％となっています。



校種別に見ると、「放課後における子どもの居場所づくりの充実」という回答では小学校保護者の割合が多く、「教職員の資質向上」という回答では中学校保護者の割合が多くなっています。

		全体	児童生徒の学力の育成	校種間連携の推進	英語教育及び国際理解教育の推進	情報モラルを含む情報教育の推進	特別支援教育の充実	豊かな心を育む道徳教育の充実	生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）	教職員の資質向上	学校施設の整備・充実	学校給食の充実	市立川越高等学校の魅力ある学校づくりの推進
全体		1,595	36.7	9.5	28.8	11.2	5.4	14.8	25.1	31.5	21.9	10.2	2.2
校種	小学校保護者	886	35.6	11.5	29.1	10.7	5.4	15.2	26.9	29.2	22.5	10.0	1.6
	中学校保護者	709	38.2	6.9	28.5	11.8	5.4	14.2	22.8	34.4	21.2	10.3	3.0

		全体	コミュニティ・スクールの推進	学童保育の充実	放課後における子どもの居場所づくりの充実	地域の団体と連携した教育の推進	人権教育の充実	身近な学習施設としての公民館の整備・充実	図書館サービス網の整備・充実	博物館の整備・充実	その他	わからない	無回答
全体		1,595	4.0	4.1	23.9	1.5	3.0	6.1	3.7	0.4	1.9	2.8	3.1
校種	小学校保護者	886	3.8	5.4	26.9	1.6	2.9	6.1	3.2	0.6	1.7	2.8	2.5
	中学校保護者	709	4.2	2.4	20.3	1.4	3.1	6.2	4.4	0.3	2.1	2.7	3.9

（２）自由記述

問 25　川越市の教育に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。

有効回収数 1,595 票中 268 票に意見の記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 268 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

〇生きる力の育成（52 件）

・基礎学力の定着、向上できるように指導して頂きたいと思う。自ら学ぶ姿勢を伸ばす学習をして欲しいと思う。
・学校の授業についていけない子どもは、放課後に毎日補習授業をして欲しい。
・分からないところを分からないままにして居るところがあります。先生は忙しいから聞けないと言っていました。もう少し聞きやすい状況をつくって頂けたらと思います。
・学力について他の地域と比べると、劣っている（転校してきたこともあり他の地域に通う子どもや自分の経験からも感じている)。学習内容（特に復習が足りない）が少なすぎると思うので、他地域の状況をもっと細かく調査して、かえたり工夫する必要があると思います。川越の子ども達の学力が低いのはそう言う部分だと痛感している。
・これからはグローバル社会にどんどんなっていくと思うので、外国語の授業も週 1 回ではなく、もっと増やして外国人の先生も増やした方が良いと思います。
・宿題が毎日、計算ドリル、漢字の書き取りがあるので、もう少し授業時間内にその日の学習の復習をして、放課後は子どもの時間にした方がいいのではと思います。
・経済的に塾に通わせるのは厳しいが、学校の授業だけではついていけない（理解できない)。学習指導の支援などを広く色々な地区でやって欲しい。
・子どもの学力などに不安がありながらも、どのようにして良いのか分からない家庭は多いのではないかと思います。
・塾に行かないと高校の情報が無かったり、授業内容が理解できないというのは問題だと思います。高校受験（普通レベル）くらいの学力は学校で見て欲しいと思います。
・知識ばかりを詰め込むのではなく、体を動かす時間を増やすべきだと思います。運動を通じて学ぶことが大切だと思います。
・川越という歴史のある場所に住んでいるのだから、子ども達がもっと地元に関心を持てるような機会があると良いと思う。
・夏休み中のプールの回数が少ないと思います。授業の中でのプールの回数も少なく感じます。

〇いじめ・不登校（８件）

・子どものいじめ解決には両保護者の立場的理解が必要です。しかし、それには教職員が事実把握の大切さ、両保護者にその事実を包み隠さず伝えることの大切さを理解し、その認識を高く持って頂かなければ不可能です。毅然とした態度で親のご機嫌取りは必要有りません。加害生徒、被害生徒、両者を救う覚悟を持って親に事実を報告すべきです。今後の対応を真剣にお願いします。
・子どもが不登校になったときに、先ず何をするべきなのか、どう行動をしたらいいのか経験した

方々の情報が欲しいです。いじめについても同じです。沢山の解決手段が知りたいです。
・子どもが不登校です。学校にはいけないけれど、好きな教科は勉強するのが楽しいようです。家の中で学習できるような制度があると良いなと思ってます。リベーラのような場所がもう少し市内に増えると有り難いなと思います。遠いと言うだけで中学生の子どもは行きたがらないので・・・。

〇特別支援教育（10 件）

・学校の先生の障害への理解が浅いと感じます。視野を広げて知識を増やしていただきたい。どんな障害があろうとも教育を受けている現状を見て、知って子ども達に伝えていって欲しいです。
・川越市内の小中学校の特別支援教室の設置数がまだまだ少ないのが現状です。特に大東地区にはないです。学習の遅れがある子（発達障害ではなく）が学ぶ為の支援が、もう少し手厚くなることを希望します。
・発達障害へのサポートが年々縮小されている。小学校～高校までグレーゾーンの子どもが増加している現状を逆行しているように思う。区別し施設を別の所につくって見えなくするのではなく、同一施設内での教育の多様化が進むと、将来的に社会や地域が力強くなると思う。

〇部活動（16 件）

・中学校の部活動の充実をお願いします。
・生徒の自主的活動である部活動を制限しないで欲しい。
・中学校によっては有る部活、無い部活があるので、手続を簡素化して越境入学できるようにして欲しい。学区外 OK にするなど。
・部活動に外部のコーチを使うのも悪くないと思う。

〇教職員（49 件）

・教員数をもっと増やすべき。学校の催しが多いのは有り難いが、勤務時間等を考えるとキャパシティが不足している。先生が多忙な姿（余裕を感じられない）を目の当たりにして、子ども達も遠慮してしまうことが多々ある。保護者も同様。
・教師の子どもへの「～させる」という意識を改めて欲しい。また、教員の人数を増やす。臨時教師の１年での転勤を取りやめて、継続的指導のかなう状況にして欲しいです。子どもにとっても落ち着きません。
・小学校での教育内容が近年、多岐に渡る点から、英語、コンピューター、体育、理科実験等、専門性の高い教科指導の補助員を充実させるとよいのではないでしょか。
・先生方の勤務時間が長く心配に思っています。先生方の仕事は、必要なことに時間が使えるように、また子ども達が沢山の大人と接することが出来るように、環境整備や〇つけなど、保護者を含めた地域の大人の参加が気軽にできたらいいなと感じます（防犯面や個人情報保護で難しい所もありますが・・・）。
・中学ではないが、小学校での教師のレベルの低さには驚いた。人間なので感情があるのは当たり前だが、自分の気分や好き嫌いで接する教師が多く、子ども達が大人の教師に気を遣っていることを分かっていないのか、分かっていてもそれで良しとしているのか・・・という人間が教師として存在していた。

・新人の先生とベテランの先生のクラスでは授業内容等、差が出ているように感じます。人手が足りないという現状もあると思いますが、新人の先生は副担任の期間が設けられているといいなと思うときもあります。ベテランの先生がフォローについて授業を行っているときもありますが、生徒の理解が低いのも現状です。
・我が子は今までとても良い先生に恵まれました。熱心で１人１人の個性を見て下さり、感謝の気持ちで一杯です。今、先生の勤務が大変すぎて・・・教える教科を専門の先生にするなど対応できれば良いのにと思います。
・先生方は頑張って下さっていると思いますが、校長先生の舵取りで先生方も児童もかわってくると思います。校長先生の資質向上をお願いしたいです。
・先生方が働きやすい環境であって欲しいです。忙しい仕事だと思うので、少しでも先生方が楽しく、余裕を持って子ども達と過ごせたらと思います。
・所謂モンスターペアレントと言われる理不尽な意見を述べてくる保護者に対しての対応が甘すぎる。そのため何も言わない、知らない人達が巻き込まれている。もっと毅然とした態度で誰かのためのクラス運営などにならないようにして頂きたい。

〇学校運営、教育方針（47 件）

・クラス担任制ではなく、学年担任制にして、教師同士の連携を強め、多くの目で子どもの指導に当たって貰いたい。
・子どもの通う学校が荒れていて子どもにも悪影響があり困っています。少人数制の推進を学校により進めて欲しいです。
・子どもが「学校はつまらない」と言っております。子どもにとって「学校が好き、行きたい」と思えるような学校づくりをお願い致します。
・あまり先進的な取り組みを行っている印象がない。既存の教育ではこれからの時代は合わなくなると思うので、もう少しチャレンジ精神を持った考えを持った先生を応援する仕組みが必要では・・・。全国的には様々な新しい教育活動が行われているので、それらを取り入れてみてはどうだろう。
・夏休みが長すぎると思います。せめて１ヶ月くらいにして欲しいです。例えば７月は学校、８月１ヶ月間を夏休みにする。
・私は今まで通り、学校週５日制に賛成です。子どもの好きなことを伸ばしてあげるのも大切なので、土曜も学校に行くようになったら、ストレスが溜まって子どもがかわいそうに思います。又夏休みを短くするのも子ども達がかわいそうに思います。
・小学校や中学校でも学校行事や参観、保護者会など沢山企画していただき参加させて貰っています。学校については先生から学校の様子やクラスだよりの様な、子どもの様子がもっとわかるようなものを配布して貰えると、より学校の様子がわかって良いなと思います。
・子どもの通う小学校は､授業時間確保のため大幅な時間変更がありました｡休み時間も短くなり、対応が大変な児童もいたようです。夏休み短縮などで時間を確保して貰いたい。通常は余裕有る日常生活が送れたらよいかと思います。
・土曜日の授業を月１回でも始めて欲しいです。坂戸市など、他の市では始まっています。川越市は何故土曜日学校がないのか？と聞かれます。
・一クラス生徒数がもう少し少ないと生徒一人一人に目が届くと思います（特に小学生)。３年生ま

で 35 人学級になると、或いは 1 年生が 30 人学級になるといいなと思っています。

〇学校施設・設備（21 件）

・学校施設等、特にトイレは劣化が酷く大人でも利用することを考えてしまうほどなので改修して欲しい。
・学校のトイレを和式から洋式にして欲しい、うちの子どもは学校のトイレが嫌で入らず。帰ってくるまでトイレに行きません。今の時代洋式トイレが当たり前です。大至急、洋式トイレにして下さい。
・夏のクーラーの使用時間を増やして欲しい。特に中学校は午後からしか使えない。中学校の特別教室にも早くクーラーをつけて欲しい。理科室なんて暑すぎて授業できない。実際に暑い日のクーラーがかかってない中学校を見学して欲しい。
・全体的に建物や設備が老朽化していると思います。避難所としての側面もあるので改修改善にもう少し力を入れて頂きたいです。

〇給食（10 件）

・給食の時間が短いので、もう少しゆっくり食べられるようにして頂きたいです。
・給食について、パンの日が多すぎる。もっとお米を出して欲しい（健康面や腹持ちの面で不満がある)。和食中心にして欲しい。
・学校給食無償化。

〇小・中学校の適正規模・適正配置、学校選択（５件）

・学区の見直し。近くに小学校があるのに学区外の為遠い小学校へ通っている。小学校でも一番遠い地区で歩いて 30 分位かかる。夏は暑いので帰りは特に可哀想です(熱中症にならないか心配)。申請して近くの小学校へ行けるようになったとしても、親の送り迎えが必要だと聞いた事があるが、もっと通いやすいようにして欲しい。
・学校が多すぎてそれぞれが充実できていないこと。区分もあるが近い学校は個人が通う学校を選択できると良い（近くに複数の学校があるため)。

〇市立川越高等学校（３件）

・川越市に在住する子どもには、市立川越高等学校への通学を優先させて欲しいと思います。
・市立川越高校の先生の指導力に疑問を感じます。特に男子が少なく、男子の進学率も今一の様に思う。市の高校なのにそれで良いのか気になります。もっと子どもにも親にも魅力的な学校になって欲しい。

〇放課後・休日・長期休業期間に過ごす場や過ごし方（30 件）

・学童保育においても申請者全員が利用できる川越の学童保育は非常に有り難いですが、指導員の増加などが（よりよい物にするためには）必要だと思います。
・学童の閉室時間が保育園と同じように出来ないのでしょうか？お迎えの時間が早く残業も出来ません。又、送り迎えを高校生から OK として頂けると個人的には助かります。
・学童保育室の指導員のレベルが低い。地域の安全面が不安な為、仕事をしている為、仕方なく預

けているがとても不安で不満です。
・学童以外にも放課後に子ども達が安全に自由に参加できる場所が欲しい。
・夏休み中だけ子どもを預けられるところが欲しい。学童でなくても児童館でお弁当を食べて１日居られるようにするなどして貰えると、仕事をしやすいです。
・児童館が近くにないので雨の日等、子ども達が放課後遊ぶ場所が無く、近所の老人ホーム等におじゃましています。遊ぶものはないので、ゲームばかり。児童館が有ればなあ・・・といつも思います。早く造って欲しいです。
・放課後や休みの日に勉強教えて貰える環境などつくって欲しい。お金も凄くかかって塾へは行けない。そしたら地域のコミュニケーション取れる。
・子どもの放課後の居場所が少ない。ゲームや危ない遊びに走りやすい。公園など遊ぶ場所がもっとあると良いと思います。

〇安全安心な環境（６件）
・市内や家が多い所には外灯がきちと配置されているが、家の近くには外灯が少なく、帰宅する子どもが怖がる。通学路なのに不公平に感じる。
・安全面でシルバー人材など利用して、元気な年配の方たちなど、登下校の子どもの安全を見守って欲しい。

〇ＰＴＡ、育成会、子供会等（25 件）
・PTA、育成会は必要有りません。直ぐにでも希望者だけの参加にして欲しい。仕事をわざわざ休んでまでやらなくてはいけないというのは、とても馬鹿らしい。子どものためになっているとは思えない。
・育成会は子どものための活動なのに、役員になると毎回子どもを留守番させて準備等の活動に当たることも多く、逆に子どもと過ごせる貴重な時間が削られているのが現状です。働いている両親も多く、負担が大きすぎると感じています。根本的に活動内容を見直すべきと考えます。早急に・・・。
・ＰＴＡや地域の父母会など子どもを持つ親世代は仕事をしていたりで、必ず一度は役員をしないといけないという現状は、今の時代に合っていないと思う。元気な祖父母世代や子ども達との接点が欲しい方々の協力も得て、運営すべきと思う。仕事と役員の両立は厳しいので、もう１人子どもが欲しいなんて思えない状況となっています。
・育成会と班登下校加入は別にして貰い、任意にして欲しいです。
・子供会、育成会の役員の負担が多すぎる。登校班、連絡網の為だけに仕事家庭を後回しにして、役員をやっている人が沢山いる。ラジオ体操、夏のスポーツ大会を含め、育成会に丸投げでは、やむを得ず役員が出来ないために育成会を辞めると、学校生活自体に影響が出てしまい子どもが可哀想だ。

〇学校・家庭・地域との連携（６件）
・担任ではなくとも気軽に相談したり、話を聞いてくれる人材が学校にもいて欲しい。子ども達の変化に気付いたり、集団の中だからこそ手を差しのべる大人の手があって欲しいと思います。学校で起きている問題も、背景には家庭の事情や地域の問題があり、切り離せる物ではなく連携が

大切になってくると思います。
・お互い信頼しあえる環境がなければ、学校、地域、家庭、全ての子どもへのやるべき事は成り立たない。一人一人の存在を大切にして安心して自分を表現できる環境や意識付けを徹底する必要性を感じる。

〇多文化共生（２件）
・教育に関係ないかも知れませんが､外国人の方が増えゴミ出しのルールが守られていなかったり、子どもの登校時間に公園で飲酒してたりと、不安に感じる。学校の役員活動には外国人の参加が殆どありません。考え方や感じ方に違いがあるのかもしれませんが、もっとお互いが歩み寄るべきだと思います。外国人の方が理解できるよう、情報共有できる場が必要だと思います（言葉、コミュニケーション)。

〇社会教育施設（５件）
・観光ばかりに力を入れないで、子育て、教育体制をきちんと整えて欲しい。自習スペースの全くない図書館、公民館は役に立ちません。特に川越駅近くを希望する。
・図書館サービスも充実して欲しいです。

〇教育施策全般（10 件）
・“川越市の教育”についてよく知らない家庭も多いと思います。私も今回のアンケートで初めて知る事も多く勉強になりました。
・川越市の伝統に拘らず、子ども達に合わせ、新たな発想で、教育施策をして欲しい。周りの市町村のモデルとなっていって欲しいです。
・新しい箱物を造るのではなく、今ある殆ど人の来ない建物を活用することを考えて下さい。

〇その他（25 件）
・子ども達が毎日笑顔で過ごせますように、よろしくお願い致します。
・子ども達のために様々な施策、取組ありがとうございます。社会の一員として成長できるように日々悩みながら子育てしています。私自身何が良くてどうしたらいいのか判断に難しいことも多く、その度、周りの大人達に意見を求め、ベストになるように努力しています。子どもだけでなく大人達も周りの人々とつながれるような川越市を望みます。どうぞこれからもよろしくお願いします。
・公立の中高一貫校を造って欲しい。
・観光ばかりでなく市民のための設備を充実させて欲しい（公園、道路、防犯など)。
・アンケートの結果を確実に反映していただきたい。

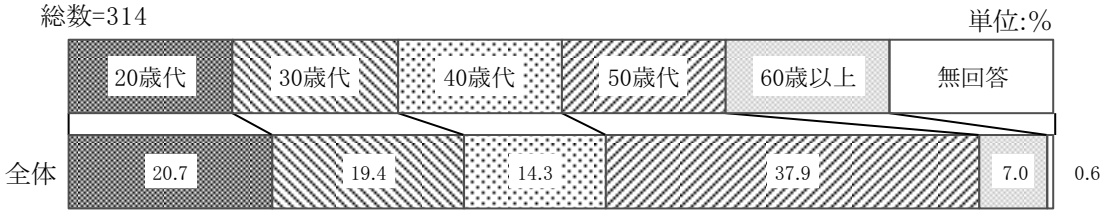
Ⅲ　教員調査の結果

１　回答者の属性について

（１）年齢

Ｆ１　あなたの年齢は何歳ですか。（１つに○）

「50 歳代」が 37.9%で最も多く、次いで「20 歳代」が 20.7%、「30 歳代」が 19.4%となっています。



勤務先別に見ると、「40 歳代」という回答では小学校の割合が多く、「50 歳代」という回答では中学校の割合が多くなっています。

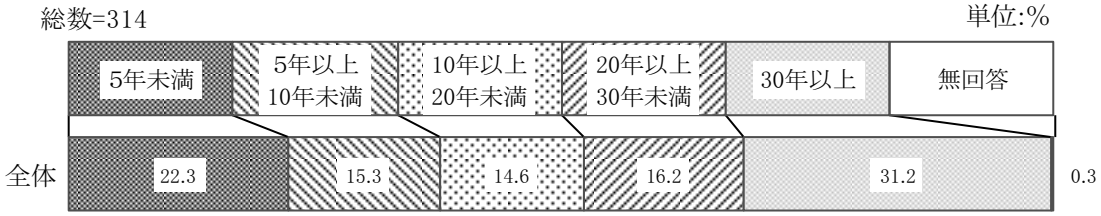
担任の状況別に見ると、「20 歳代」、「30 歳代」という回答では担任をしているの割合がそれぞれ多く、「50 歳代」、「60 歳以上」という回答では担任をしていないの割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
全体		314	20.7	19.4	14.3	37.9	7.0	0.6
勤務先	小学校	151	21.9	19.2	19.2	35.1	4.6	0.0
	中学校	163	19.6	19.6	9.8	40.5	9.2	1.2
担任	担任をしている	154	35.1	37.0	14.3	13.0	0.6	0.0
	担任をしていない	159	6.9	2.5	14.5	62.3	13.2	0.6

（２）教員経験年数

Ｆ２　あなたの教員経験年数は何年ですか。（１つに○）

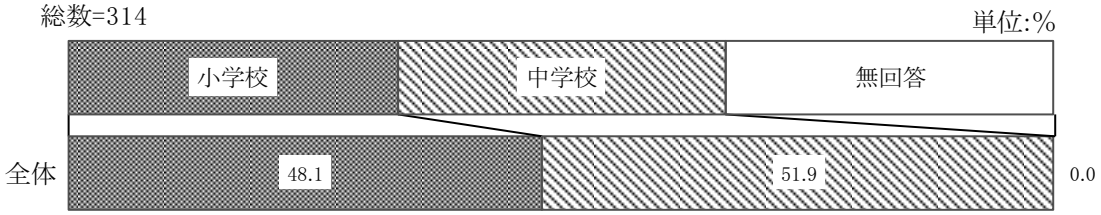
「30 年以上」が 31.2%で最も多く、次いで「５年未満」が 22.3%、「20 年以上 30 年未満」が 16.2%となっています。



（３）勤務先

Ｆ３　あなたの勤務先はどちらですか。（１つに○）

「小学校」が 48.1%、「中学校」が 51.9%となっています。



（４）担任の状況

Ｆ４　現在、あなたは、担任をしていますか。（１つに○）

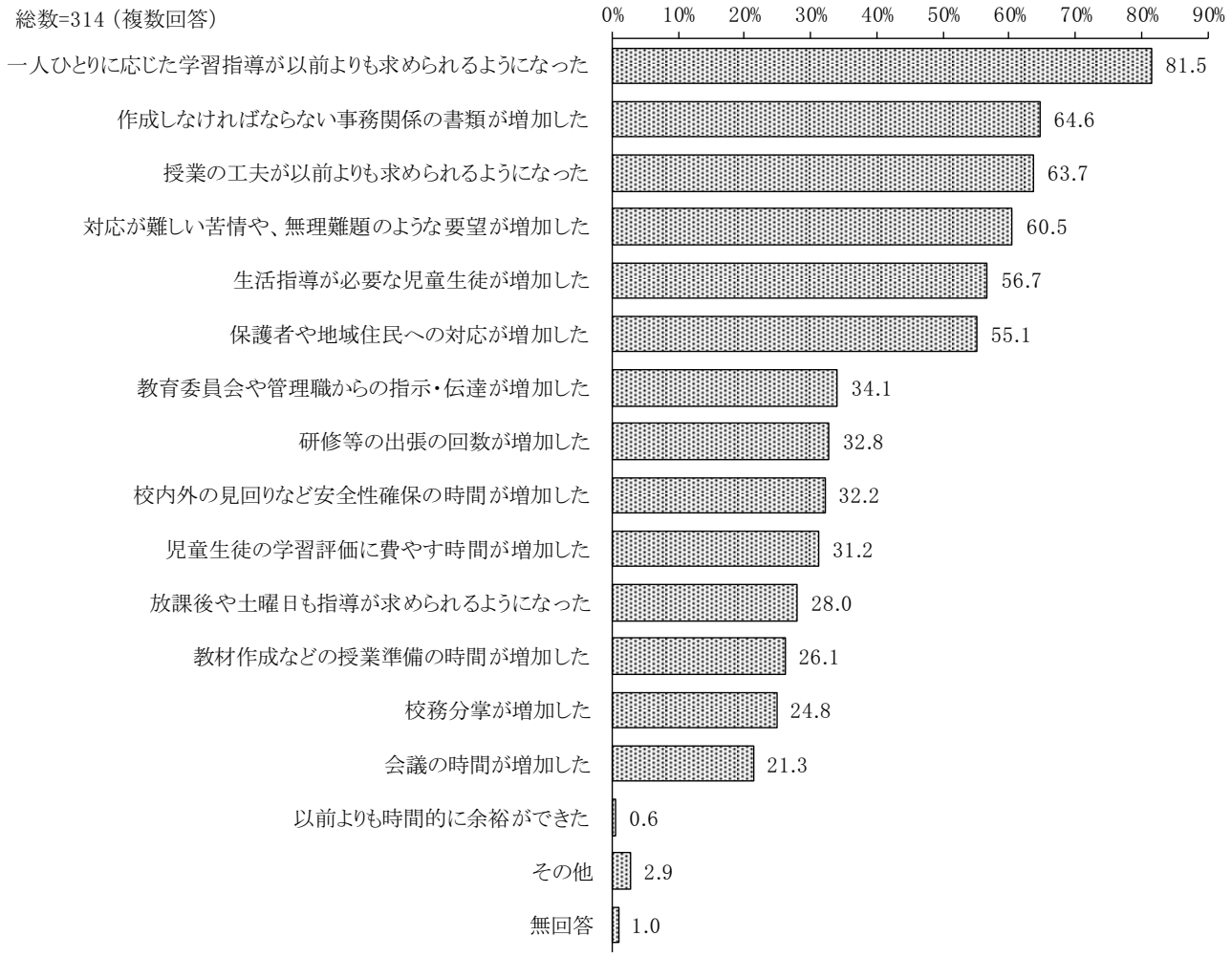
「担任をしている」が 49.0%、「担任をしていない」が 50.6%となっています。

２　学校教育について

（１）勤務していて感じること

問１　あなたは勤務していて次のようなことを感じますか。（○はいくつでも）

「一人ひとりに応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」が 81.5%で最も多く、次いで「作成しなければならない事務関係の書類が増加した」が 64.6%、「授業の工夫が以前よりも求められるようになった」が 63.7%となっています。



勤務先別に見ると、「生活指導が必要な児童生徒が増加した」、「一人ひとりに応じた学習指導が以前よりも求められるようになった」、「校内外の見回りなど安全性確保の時間が増加した」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「放課後や土曜日も指導が求められるようになった」という回答では中学校の割合が多くなっています。

担任の状況別に見ると、多くの項目で担任をしていないの割合が多くなっており、特に「対応が難しい苦情や、無理難題のような要望が増加した」、「保護者や地域住民への対応が増加した」、「校内外の見回りなど安全性確保の時間が増加した」という回答では担任をしていないの割合がそれぞれ多くなっています。担任をしているでは「会議の時間が増加した」、「校務分掌が増加した」、「教材作成などの授業準備の時間が増加した」という回答の割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	生活指導が必要な児童生徒が増加した	一人ひとりに応じた学習指導が以前よりも求められるようになった	授業の工夫が以前よりも求められるようになった	放課後や土曜日も指導が求められるようになった	対応が難しい苦情や、無理難題のような要望が増加した	保護者や地域住民への対応が増加した	会議の時間が増加した	作成しなければならない事務関係の書類が増加した	校務分掌が増加した	教育委員会や管理職からの指示・伝達が増加した
全体		314	56.7	81.5	63.7	28.0	60.5	55.1	21.3	64.6	24.8	34.1
勤務先	小学校	151	69.5	85.4	64.9	23.8	61.6	55.6	23.2	65.6	25.2	33.1
	中学校	163	44.8	77.9	62.6	31.9	59.5	54.6	19.6	63.8	24.5	35.0
担任	担任をしている	154	53.9	81.8	59.1	29.2	49.4	40.9	26.0	60.4	33.1	27.3
	担任をしていない	159	59.7	81.1	68.6	26.4	71.1	68.6	17.0	68.6	17.0	40.9

		全体	研修等の出張の回数が増加した	校内外の見回りなど安全性確保の時間が増加した	教材作成などの授業準備の時間が増加した	児童生徒の学習評価に費やす時間が増加した	以前よりも時間的に余裕ができた	その他	無回答
全体		314	32.8	32.2	26.1	31.2	0.6	2.9	1.0
勤務先	小学校	151	30.5	37.1	28.5	31.1	0.7	0.7	0.0
	中学校	163	35.0	27.6	23.9	31.3	0.6	4.9	1.8
担任	担任をしている	154	29.2	14.9	29.9	33.8	1.3	3.2	0.0
	担任をしていない	159	36.5	48.4	22.6	28.9	0.0	2.5	1.9

（２）職務の多忙感

問２　あなた自身の職務について忙しいと感じていますか。（１つに○）

「常に忙しい」が 67.8%、「時期によって忙しい」が 31.2%で、合わせて 99.0%が『忙しい』と回答しています。

教員経験年数別に見ると、「常に忙しい」という回答では 10 年以上 20 年未満、20 年以上 30 年未満の割合が多く、「時期によって忙しい」という回答では５年以上 10 年未満の割合が多くなっています。

勤務先別に見ると、「常に忙しい」という回答では小学校の割合が多く、「時期によって忙しい」という回答では中学校の割合が多くなっています。

担任の状況別に見ると、大きな違いは見られません。

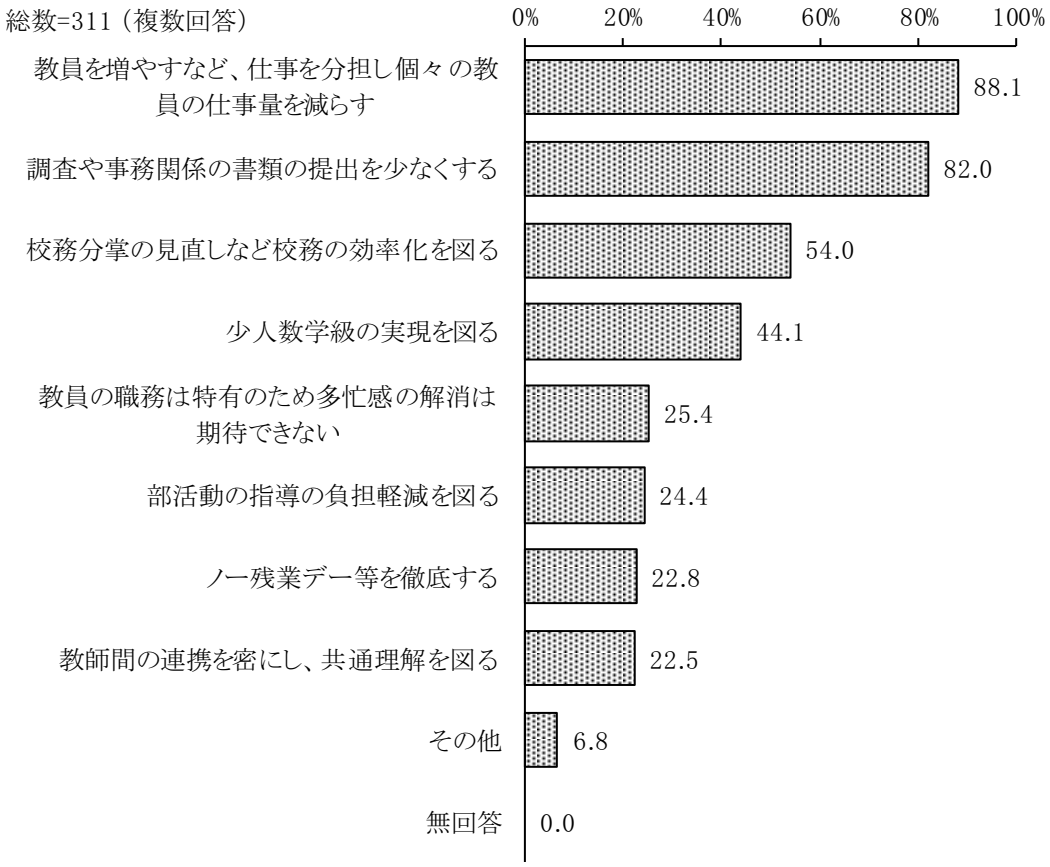
		全体	常に忙しい	時期によって忙しい	あまり忙しくない	忙しくない	無回答
全体		314	67.8	31.2	0.3	0.0	0.6
教員経験年数	５年未満	70	67.1	32.9	0.0	0.0	0.0
	５年以上10年未満	48	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	10年以上20年未満	46	80.4	17.4	0.0	0.0	2.2
	20年以上30年未満	51	82.4	17.6	0.0	0.0	0.0
	30年以上	98	63.3	34.7	1.0	0.0	1.0
勤務先	小学校	151	71.5	27.8	0.7	0.0	0.0
	中学校	163	64.4	34.4	0.0	0.0	1.2
担任	担任をしている	154	69.5	29.9	0.0	0.0	0.6
	担任をしていない	159	66.0	32.7	0.6	0.0	0.6

（３）職務の多忙感解消のために必要なこと

【問２で「１または２」と回答された方におたずねします。】

問 2－1　職務の多忙感を解消するために必要なこととしてあてはまることを教えてください。（○はいくつでも）

「教員を増やすなど、仕事を分担し個々の教員の仕事量を減らす」が 88.1％で最も多く、次いで「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」が 82.0％、「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」が 54.0％となっています。



勤務先別に見ると、「調査や事務関係の書類の提出を少なくする」、「少人数学級の実現を図る」、「ノー残業デー等を徹底する」、「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「部活動の指導の負担軽減を図る」、「教員の職務は特有のため多忙感の解消は期待できない」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

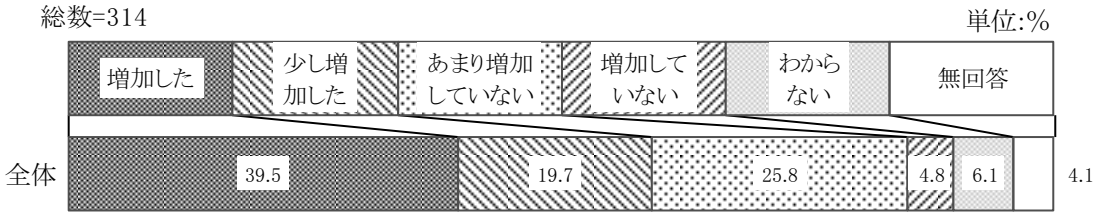
担任の状況別に見ると、「校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る」、「教員の職務は特有のため多忙感の解消は期待できない」という回答では担任をしているの割合がそれぞれ多く、「部活動の指導の負担軽減を図る」、「ノー残業デー等を徹底する」という回答では担任をしていないの割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	教員を増やすなど、仕事を分担し個々の教員の仕事量を減らす	調査や事務関係の書類の提出を少なくする	部活動の指導の負担軽減を図る	教師間の連携を密にし、共通理解を図る	少人数学級の実現を図る	ノー残業デー等を徹底する	校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る	教員の職務は特有のため多忙感の解消は期待できない	その他	無回答
全体		311	88.1	82.0	24.4	22.5	44.1	22.8	54.0	25.4	6.8	0.0
勤務先	小学校	150	86.0	84.7	2.7	20.7	48.0	28.7	56.7	20.7	7.3	0.0
	中学校	161	90.1	79.5	44.7	24.2	40.4	17.4	51.6	29.8	6.2	0.0
担任	担任をしている	153	90.2	79.7	19.6	20.9	43.1	16.3	58.2	30.1	9.2	0.0
	担任をしていない	157	86.0	84.1	29.3	24.2	45.2	29.3	50.3	21.0	4.5	0.0

（４）直近１年間でのストレス増加の有無

問３　直近１年間でストレスは増加しましたか。（１つに○）

「増加した」が 39.5%、「少し増加した」が 19.7%で、合わせて 59.2%が『増加した』と回答しています。



教員経験年数別に見ると、『増加した』という回答では５年以上 10 年未満、10 年以上 20 年未満の割合がそれぞれ多くなっています。

勤務先別に見ると、『増加した』という回答では小学校の割合が多くなっています。

担任の状況別に見ると、『増加した』という回答では担任をしているの割合が多くなっています。

		全体	増加した①	少し増加した②	あまり増加していない③	増加していない④	わからない	無回答	『増加した』（①＋②）	『増加していない』（③＋④）
全体		314	39.5	19.7	25.8	4.8	6.1	4.1	59.2	30.6
教員経験年数	５年未満	70	37.1	15.7	27.1	7.1	7.1	5.7	52.8	34.2
	５年以上10年未満	48	41.7	27.1	18.8	4.2	6.3	2.1	68.8	23.0
	10年以上20年未満	46	43.5	21.7	26.1	2.2	4.3	2.2	65.2	28.3
	20年以上30年未満	51	39.2	17.6	27.5	2.0	11.8	2.0	56.8	29.5
	30年以上	98	37.8	19.4	27.6	6.1	3.1	6.1	57.2	33.7
勤務先	小学校	151	41.7	21.9	21.9	2.0	6.6	6.0	63.6	23.9
	中学校	163	37.4	17.8	29.4	7.4	5.5	2.5	55.2	36.8
担任	担任をしている	154	44.2	18.2	22.7	4.5	6.5	3.9	62.4	27.2
	担任をしていない	159	34.6	21.4	28.9	5.0	5.7	4.4	56.0	33.9

（５）ストレスが増加した主な理由

【問３で「１または２」と回答された方におたずねします。】

問 3－1　その主な理由はどのようなことか教えてください。

有効回収数 314 票中 176 票に意見の記述がありました（１票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 176 件より多くなっています)。

〇児童生徒の教育活動に関すること（58 件）

・児童生徒数の増加（２件）
・児童生徒への対応の増加、対応困難な児童生徒への指導（20 件）
・特別な支援を必要とする児童生徒への対応（８件）
・授業数の増加（３件）
・授業の工夫を以前より求められる（３件）
・一人ひとりに応じた学習指導が求められる（５件）
・児童生徒の学習等の評価に費やす時間が増えた（４件）
・学校行事の対応（２件）
・部活動の指導（８件）

〇学校教育環境に関すること（142 件）

・教員数が少ない（３件）
・若手教員等の指導（４件）
・業務量（事務業務、校務分掌を含む）が多い・増えている（51 件）
・教員間の仕事の偏り、負担の差が大きい（８件）
・会議、研修、出張が多い（12 件）
・学校内外の安全確保の対応の増加（２件）
・災害時の対応（２件）
・教育委員会や管理職からの指示・伝達が増加した（３件）
・職務の責任の重さ・増加（８件）
・新しい職場への異動、新規採用での着任（14 件）
・新しい役職・職務に就いたため（７件）
・職場の環境の変化（４件）
・職場の人間関係（17 件）
・その他（７件）

〇保護者・地域・関係機関等に関すること（73 件）

・保護者への対応（51 件）
・地域への対応（７件）
・対応が難しい苦情や、無理難題のような要望が増加した（６件）
・地域の行事・イベントへの対応（７件）
・他機関・他職種との連携（２件）

〇その他（20 件）

・ワーク・ライフ・バランスが難しい（７件）

・勤務時間外も常に仕事のことが頭から離れない（２件）

・その他（11 件）

（６）教員としての生きがいの有無

問４　学校の教員として生きがいを感じるか教えてください。（１つに○）

「感じる」が 56.4%、「どちらかといえば感じる」が 29.0%で、合わせて 85.4%が『感じる』と回答しています。

教員経験年数別に見ると、「感じる」という回答では 20 年以上 30 年未満の割合が多くなっています。

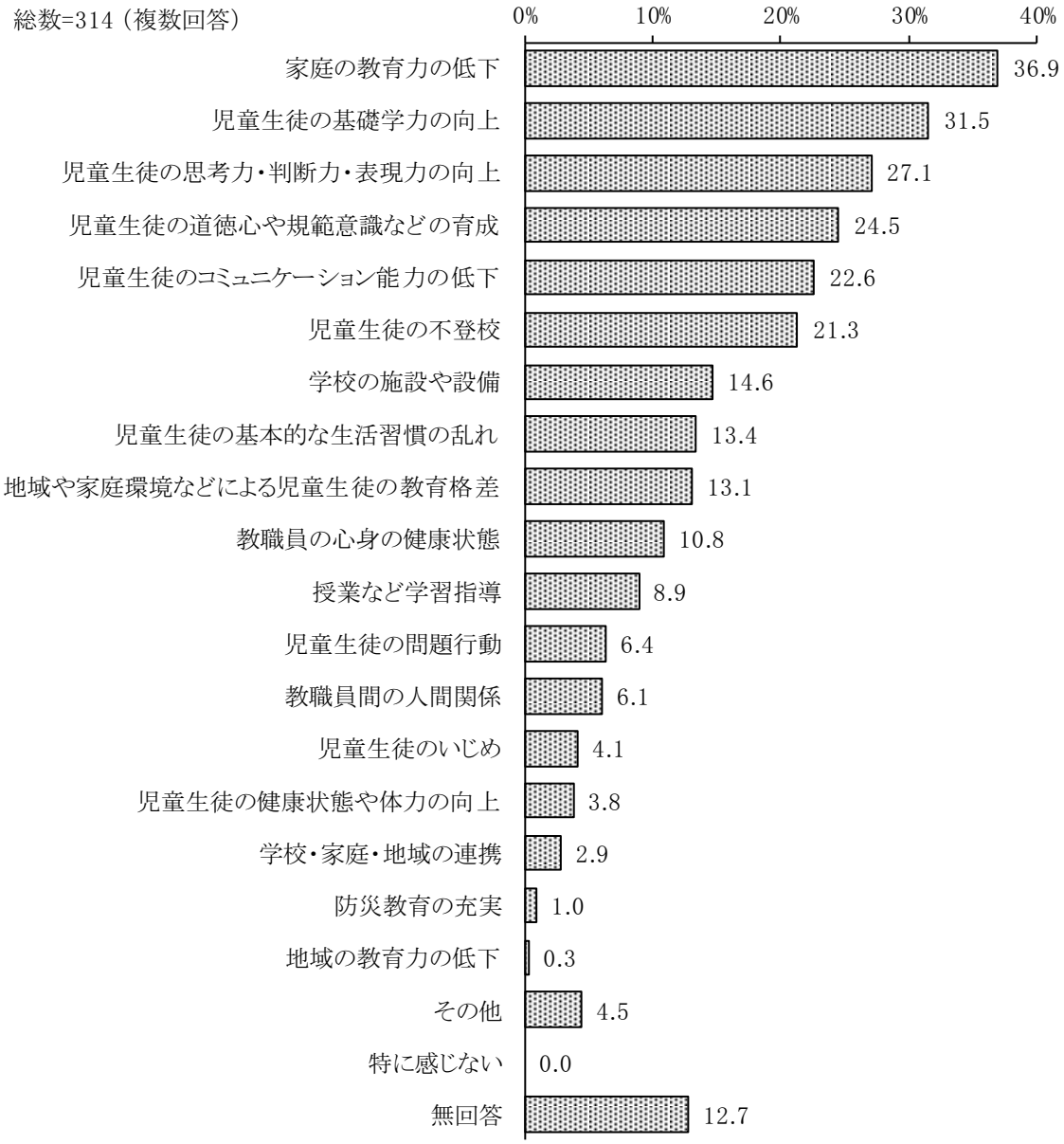
勤務先別、担任の状況別では、大きな違いは見られません。

		全体	感じる①	どちらかといえば感じる②	あまり感じない③	感じない④	わからない	無回答	『感じる』（①＋②）	『感じない』（③＋④）
全体		314	56.4	29.0	3.8	1.3	7.0	2.5	85.4	5.1
教員経験年数	５年未満	70	61.4	30.0	2.9	0.0	4.3	1.4	91.4	2.9
	５年以上10年未満	48	45.8	35.4	4.2	0.0	10.4	4.2	81.2	4.2
	10年以上20年未満	46	47.8	34.8	0.0	4.3	13.0	0.0	82.6	4.3
	20年以上30年未満	51	68.6	13.7	2.0	0.0	9.8	5.9	82.3	2.0
	30年以上	98	55.1	30.6	7.1	2.0	3.1	2.0	85.7	9.1
勤務先	小学校	151	57.6	29.1	2.6	0.7	7.3	2.6	86.7	3.3
	中学校	163	55.2	28.8	4.9	1.8	6.7	2.5	84.0	6.7
担任	担任をしている	154	54.5	31.2	2.6	0.6	8.4	2.6	85.7	3.2
	担任をしていない	159	57.9	27.0	5.0	1.9	5.7	2.5	84.9	6.9

（７）職務の中で感じる課題

問５　日々の職務の中で課題と感じることは何ですか。（３つまで○）

「家庭の教育力の低下」が 36.9%で最も多く、次いで「児童生徒の基礎学力の向上」が 31.5%、「児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上」が 27.1%となっています。



教員経験年数別に見ると、「児童生徒の道徳心や規範意識などの育成」という回答では５年未満の割合が多く、「家庭の教育力の低下」という回答では 10 年以上 20 年未満の割合が多くなっています。

勤務先別に見ると、「児童生徒の道徳心や規範意識などの育成」、「児童生徒の問題行動」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「児童生徒の不登校」、「児童生徒のコミュニケーション能力の低下」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

担任の状況別に見ると、「児童生徒のコミュニケーション能力の低下」という回答では担任をしているの割合が多く、「児童生徒の不登校」、「地域や家庭環境などによる児童生徒の教育格差」、「学校の施設や設備」、「教職員の心身の健康状態」という回答では担任をしていないの割合がそれぞれ多くなっています。

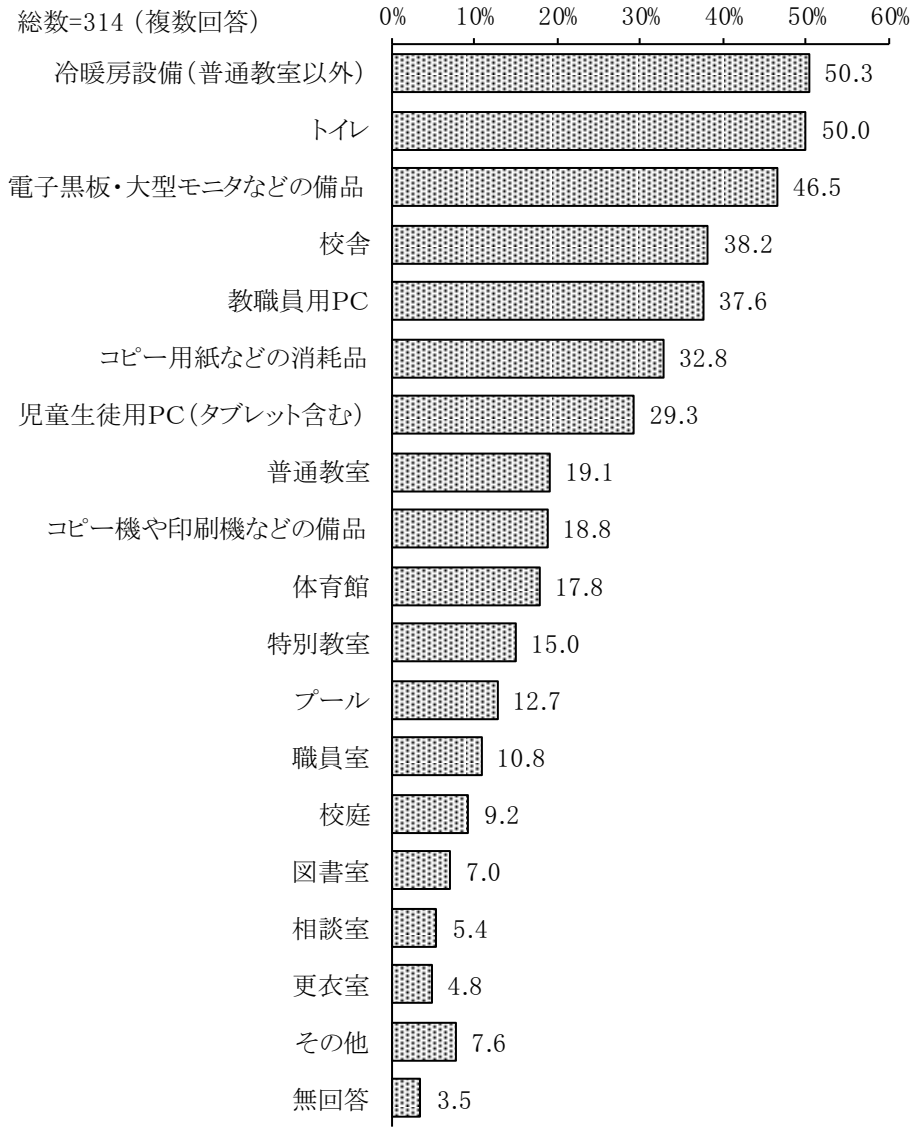
		全体	児童生徒の基礎学力の向上	児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上	児童生徒の道徳心や規範意識などの育成	児童生徒の健康状態や体力の向上	児童生徒の基本的な生活習慣の乱れ	児童生徒の問題行動	児童生徒のいじめ	児童生徒の不登校	児童生徒のコミュニケーション能力の低下	地域や家庭環境などによる児童生徒の教育格差	家庭の教育力の低下
全体		314	31.5	27.1	24.5	3.8	13.4	6.4	4.1	21.3	22.6	13.1	36.9
教員経験年数	５年未満	70	34.3	31.4	35.7	11.4	18.6	7.1	2.9	14.3	11.4	12.9	38.6
	５年以上10年未満	48	22.9	20.8	22.9	4.2	16.7	6.3	2.1	18.8	29.2	6.3	29.2
	10年以上20年未満	46	30.4	19.6	26.1	0.0	8.7	6.5	4.3	26.1	28.3	8.7	45.7
	20年以上30年未満	51	29.4	35.3	11.8	2.0	11.8	5.9	2.0	13.7	19.6	17.6	31.4
	30年以上	98	35.7	26.5	23.5	1.0	11.2	6.1	7.1	29.6	26.5	16.3	38.8
勤務先	小学校	151	32.5	26.5	29.1	4.6	13.9	9.9	5.3	9.3	17.9	14.6	37.1
	中学校	163	30.7	27.6	20.2	3.1	12.9	3.1	3.1	32.5	27.0	11.7	36.8
担任	担任をしている	154	31.2	27.3	26.6	5.8	15.6	7.8	2.6	18.8	26.6	10.4	35.1
	担任をしていない	159	32.1	27.0	22.6	1.9	11.3	5.0	5.7	23.9	18.9	15.7	39.0

		全体	地域の教育力の低下	学校・家庭・地域の連携	学校の施設や設備	授業など学習指導	教職員の心身の健康状態	教職員間の人間関係	防災教育の充実	その他	特に感じない	無回答
全体		314	0.3	2.9	14.6	8.9	10.8	6.1	1.0	4.5	0.0	12.7
教員経験年数	５年未満	70	0.0	1.4	7.1	10.0	2.9	1.4	0.0	1.4	0.0	17.1
	５年以上10年未満	48	0.0	0.0	16.7	12.5	10.4	8.3	0.0	8.3	0.0	18.8
	10年以上20年未満	46	2.2	4.3	19.6	8.7	10.9	10.9	0.0	4.3	0.0	8.7
	20年以上30年未満	51	0.0	3.9	19.6	13.7	15.7	3.9	0.0	7.8	0.0	15.7
	30年以上	98	0.0	4.1	14.3	4.1	14.3	7.1	3.1	3.1	0.0	6.1
勤務先	小学校	151	0.7	2.6	13.9	10.6	10.6	7.3	0.7	6.0	0.0	13.9
	中学校	163	0.0	3.1	15.3	7.4	11.0	4.9	1.2	3.1	0.0	11.7
担任	担任をしている	154	0.0	1.3	11.7	9.7	6.5	5.2	0.0	3.9	0.0	15.6
	担任をしていない	159	0.6	4.4	17.6	8.2	15.1	6.9	1.9	5.0	0.0	9.4

（８）学校施設・設備等で特に充実・改善してほしいもの

問６　学校の施設や設備等について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。（５つまで○）

「冷暖房設備（普通教室以外）」が 50.3％で最も多く、次いで「トイレ」が 50.0％、「電子黒板・大型モニタなどの備品」が 46.5％となっています。



勤務先別に見ると、「校舎」、「普通教室」、「職員室」、「プール」、「トイレ」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「体育館」、「冷暖房設備（普通教室以外）」、「児童生徒用ＰＣ（タブレット含む）」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	校舎	普通教室	特別教室	図書室	職員室	校庭	体育館	プール	トイレ	相談室
全体		314	38.2	19.1	15.0	7.0	10.8	9.2	17.8	12.7	50.0	5.4
勤務先	小学校	151	41.7	22.5	12.6	5.3	14.6	7.9	10.6	19.9	62.3	7.3
勤務先	中学校	163	35.0	16.0	17.2	8.6	7.4	10.4	24.5	6.1	38.7	3.7

		全体	更衣室	冷暖房設備（普通教室以外）	児童生徒用ＰＣ（タブレット含む）	教職員用ＰＣ	電子黒板・大型モニタなどの備品	コピー用紙などの消耗品	コピー機や印刷機などの備品	その他	無回答
全体		314	4.8	50.3	29.3	37.6	46.5	32.8	18.8	7.6	3.5
勤務先	小学校	151	6.0	47.7	24.5	35.8	44.4	31.8	19.9	7.9	2.6
勤務先	中学校	163	3.7	52.8	33.7	39.3	48.5	33.7	17.8	7.4	4.3

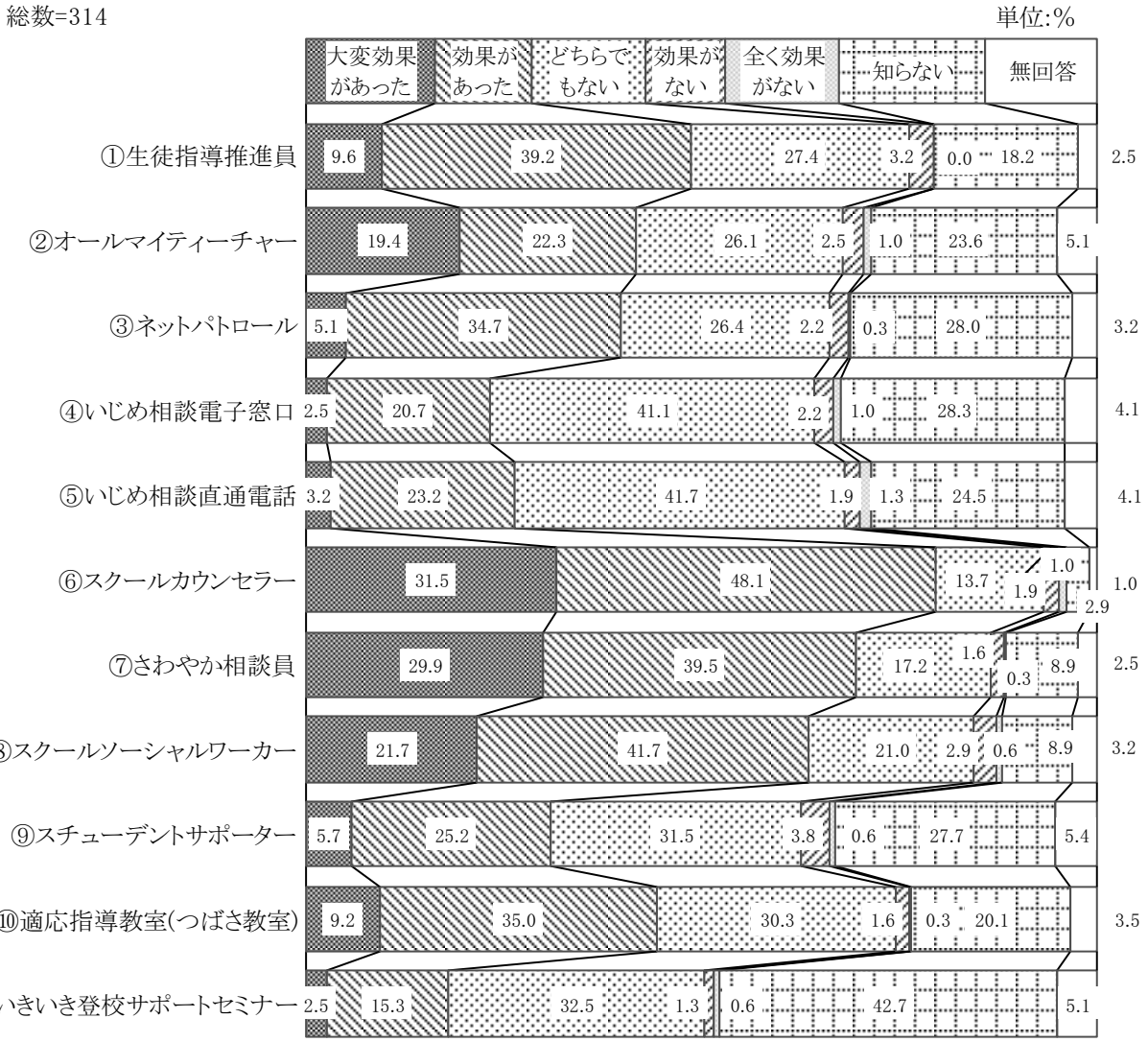
（９）いじめ・不登校対策の取組の効果

問７　いじめ・不登校対策における以下の取組の効果があったと思いますか。（それぞれの項目について１つに○）

『効果があった』（「大変効果があった」＋「効果があった」）という回答は、「⑥スクールカウンセラー」が 79.6%で最も多く、次いで「⑦さわやか相談員」が 69.4%、「⑧スクールソーシャルワーカー」が 63.4%となっています。

一方、『効果がない』（「効果がない」＋「全く効果がない」）という回答は、どの項目も１割未満となっています。

また、「知らない」という回答は、「⑪いきいき登校サポートセミナー」が 42.7%で最も多く、次いで「④いじめ相談電子窓口」が 28.3%、「③ネットパトロール」が 28.0%となっています。



（10）いじめ・不登校対策として取り組むべきこと

問８　いじめ・不登校対策として問７に示された項目のほかに取り組むべき項目があればご自由にお書きください。

有効回収数 314 票中 86 票に意見の記述がありました（１票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 86 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

〇学習支援（４件）

・教科指導補助のサポートがあると助かる。
・小学校の頃から基礎学力指導の徹底。

〇豊かな心の育成（２件）

・辛いことや困難に耐えて打ち勝つことが出来る心の育成。
・自己肯定感や自己有用感を育む取組。

〇特別な支援を必要とする児童生徒への対応（６件）

・特別支援教育の充実。
・各学校に特別支援教室を設置すること。
・生活保護の家庭は、行政が動いてくれないことにはどうにもならない。

〇教職員体制（17 件）

・とにかく教員や支援員を多く配置することが急務である。
・教員の配当数の増加。様々な対応が求められる中、現在の人数でははっきり言って足りない。
・各学校の実態に合わせて対応する教職員を増やして欲しい。
・教員の多忙化の解消。

〇教員の児童生徒指導力の向上（７件）

・教員の生徒指導の力量向上。
・いじめ不登校を未然に防ぐためには教員の資質向上を図る。
・「何となく行きたくない」で学校に来ない児童、来させるつもりもない保護者へどう働きかけるべきかいつも迷う。

〇スクールロイヤー（７件）

・スクールロイヤーの導入。
・スクールロイヤー等、過度な要求等に早めに相談、対応して下さる専門的な立場の方の配置。

〇保護者への対応（11 件）

・いじめる側の保護者や不登校生との保護者への対応。

・保護者に対する働きかけ（行政から子育てに関するアドバイス）を更に積極的に行って欲しいと思います。幼児、あるいは妊娠している時からの子どもへの愛着を持ったかかわりも含めて。
・不登校に関しては子どもだけでなく、家庭や親への支援が必要な場合も多いので、親へのペアレントトレーニング等出来るシステムがあったら良いと思います。

〇家庭・地域との連携（２件）
・家庭、地域のかかわり、声かけ。

〇関係機関・民間団体との連携（６件）
・いじめの事案は警察対応すべきと感じる。
・医療機関との連携。
・フリースクールとの連携。
・様々な立場の方と連携を取りたいが、実際にどんなことを何処までやって貰えるのか、立場が（少なくとも自分は）よく知らなかったので、様々なケースを挙げて連携例を教えていただきたいと思います。

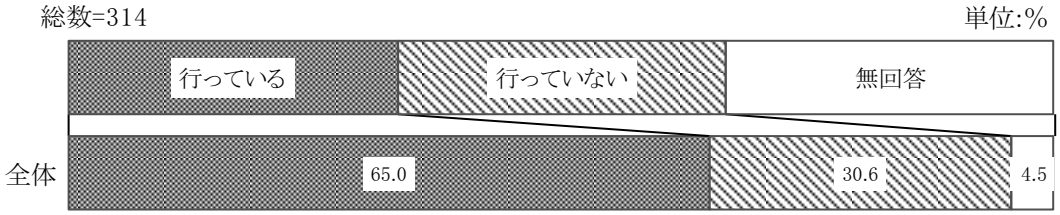
〇既存の取組の充実・拡充（27 件）
・一人一人きめ細やかな指導をしていくために、教員（オールマイティーチャー）の増員。
・スクールカウンセラーの各校配置。
・小学校も不登校児が多いので、さわやか相談員を配置して欲しい。
・適応指導教室は市内の数ヶ所に欲しい。（通学のしやすさを考えると・・・。）
・問７の①～⑪の項目について、各校に出来るだけ配置することの方が優先だと思います。良いとか効果がないとかの判断も難しいです。（見かけないので）。
・こういう物があると知らずに活用出来ていないものもあると思います。周知して現場が活用できる方法を明示して欲しいです。

〇その他（７件）
・小中連携の強化。
・いじめと不登校を同系列に扱うべきではない。いじめではなく犯罪として分類して欲しい。不登校は怠学が多いような気がする。
・不登校児童が増加しているので、支援計画をつくってくれる人がいると助かります。

（11）自己啓発の取組状況

問９　教育指導に必要な知識・技術の習得など、専門性を高めるための自己啓発を行っていますか。（１つに○）

「行っている」が 65.0%、「行っていない」が 30.6%となっています。



教員経験年数別に見ると、「行っている」という回答では 20 年以上 30 年未満の割合が多くなっています。

勤務先別に見ると、「行っている」という回答では小学校の割合が多くなっています。

担任の状況別に見ると、「行っている」という回答では担任をしていないの割合が多くなっています。

		全体	行っている	行っていない	無回答
	全体	314	65.0	30.6	4.5
教員経験年数	５年未満	70	51.4	47.1	1.4
	５年以上10年未満	48	64.6	31.3	4.2
	10年以上20年未満	46	56.5	32.6	10.9
	20年以上30年未満	51	80.4	17.6	2.0
	30年以上	98	70.4	24.5	5.1
勤務先	小学校	151	72.8	23.8	3.3
	中学校	163	57.7	36.8	5.5
担任	担任をしている	154	59.7	37.7	2.6
	担任をしていない	159	69.8	23.9	6.3

（12）行っている自己啓発

【問９で「１．行っている」と答えた方におたずねします。】

問 9－1　あなたが、行っていることはどのような内容か教えてください。

有効回収数 314 票中 202 票に意見の記述がありました（１票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 202 件より多くなっています)。

○自己啓発の種類（303 件）

・研修会・講演会・講習会・セミナーに参加（111 件）
・学習会・研究会・同好会・サークルに参加（31 件）
・大学の研究所、学会等に参加（４件）
・視察（２件）
・授業参観・模擬授業等（９件）
・先輩教員・指導担当者から教わる（10 件）
・教員間・学校間・他業種の方等との情報交換（11 件）
・書籍、雑誌、新聞等を読む（88 件）
・インターネット、メールを活用した学習・情報収集（11 件）
・テレビ・ラジオで情報収集（４件）
・情報収集全般（７件）
・博物館・美術館で知識習得（２件）
・資格試験（３件）
・その他（10 件）

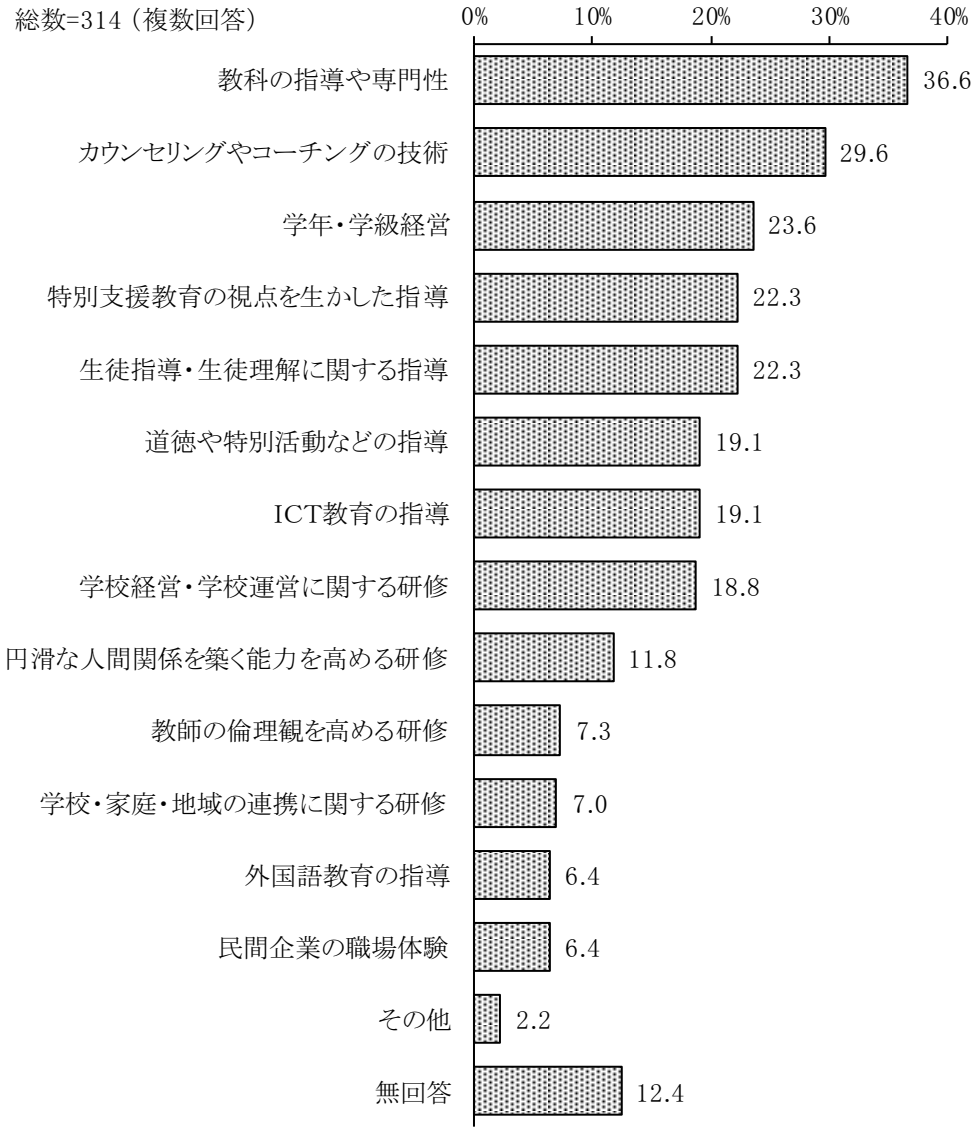
○自己啓発の内容（75 件）

・専門教科・担当教科（22 件）
・教材研究（７件）
・特別活動（３件）
・特別支援教育（７件）
・生徒指導（６件）
・心理、カウンセリング、教育相談、コーチング（８件）
・ＩＣＴ、情報、セキュリティ（６件）
・英語（３件）
・経営、マネジメント（５件）
・教員の倫理観向上（３件）
・その他（５件）

（13）受けたい研修

問 10　どのような研修を受けたいか教えてください。（３つまで○）

「教科の指導や専門性」が 36.6％で最も多く、次いで「カウンセリングやコーチングの技術」が 29.6％、「学年・学級経営」が 23.6％となっています。



教員経験年数別に見ると、「学年・学級経営」、「教科の指導や専門性」という回答では経験年数が増えるにつれて概ね割合が少なくなっています。「道徳や特別活動などの指導」という回答では経験年数が 20 年以上の割合が少なくなっています。「生徒指導・生徒理解に関する指導」という回答では５年未満の割合が多く、「学校経営・学校運営に関する研修」という回答では 20 年以上 30 年未満の割合が多くなっています。「カウンセリングやコーチングの技術」という回答では経験年数が増えるにつれて概ね割合が多くなっています。

勤務先別に見ると、「外国語教育の指導」、「ＩＣＴ教育の指導」、「特別支援教育の視点を生かした指導」、「学校経営・学校運営に関する研修」という回答では小学校の割合がそれぞれ多くなっています。

担任の状況別に見ると、「学年・学級経営」、「教科の指導や専門性」、「外国語教育の指導」、「道徳や特別活動などの指導」、「ＩＣＴ教育の指導」という回答では担任をしているの割合がそれぞれ多く、「特別支援教育の視点を生かした指導」、「教師の倫理観を高める研修」、「円滑な人間関係を築く能力を高める研修」、「学校経営・学校運営に関する研修」、「学校・家庭・地域の連携に関する研修」という回答では担任をしていないの割合がそれぞれ多くなっています。

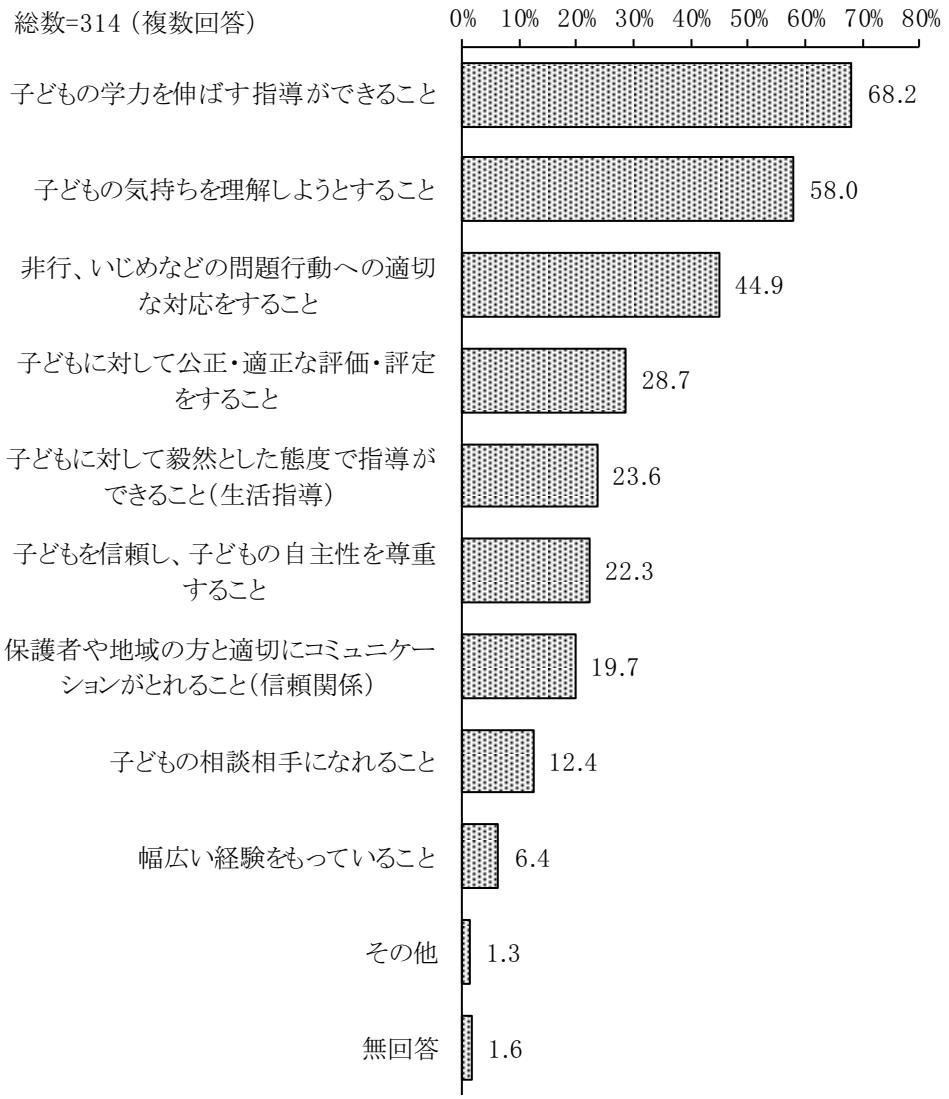
		全体	学年・学級経営	教科の指導や専門性	外国語教育の指導	道徳や特別活動などの指導	ＩＣＴ教育の指導	特別支援教育の視点を生かした指導	生徒指導・生徒理解に関する指導	カウンセリングやコーチングの技術	教師の倫理観を高める研修	円滑な人間関係を築く能力を高める研修
全体		314	23.6	36.6	6.4	19.1	19.1	22.3	22.3	29.6	7.3	11.8
教員経験年数	５年未満	70	52.9	52.9	8.6	34.3	21.4	12.9	34.3	12.9	1.4	4.3
	５年以上10年未満	48	29.2	43.8	8.3	22.9	20.8	16.7	25.0	31.3	2.1	8.3
	10年以上20年未満	46	17.4	30.4	8.7	26.1	23.9	30.4	13.0	26.1	6.5	6.5
	20年以上30年未満	51	7.8	31.4	5.9	5.9	19.6	25.5	19.6	31.4	17.6	11.8
	30年以上	98	11.2	26.5	3.1	10.2	14.3	25.5	18.4	41.8	9.2	21.4
勤務先	小学校	151	23.8	34.4	11.9	17.9	22.5	25.8	24.5	31.8	7.9	13.2
	中学校	163	23.3	38.7	1.2	20.2	16.0	19.0	20.2	27.6	6.7	10.4
担任	担任をしている	154	33.1	44.8	10.4	27.3	26.6	17.5	23.4	27.3	3.2	6.5
	担任をしていない	159	14.5	28.3	2.5	11.3	11.9	26.4	21.4	32.1	11.3	17.0

		全体	民間企業の職場体験	学校経営・学校運営に関する研修	学校・家庭・地域の連携に関する研修	その他	無回答
全体		314	6.4	18.8	7.0	2.2	12.4
教員経験年数	５年未満	70	2.9	0.0	0.0	－	15.7
	５年以上10年未満	48	8.3	6.3	8.3	2.1	10.4
	10年以上20年未満	46	6.5	19.6	8.7	4.3	15.2
	20年以上30年未満	51	5.9	41.2	11.8	2.0	7.8
	30年以上	98	8.2	25.5	8.2	3.1	12.2
勤務先	小学校	151	4.0	24.5	7.3	2.0	8.6
	中学校	163	8.6	13.5	6.7	2.5	16.0
担任	担任をしている	154	5.2	1.9	3.9	2.6	13.6
	担任をしていない	159	7.5	34.6	10.1	1.9	11.3

（14）保護者や地域の方に期待されていると思うこと

問 11　小中学校の教師は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。（３つまで○）

「子どもの学力を伸ばす指導ができること」が 68.2%で最も多く、次いで「子どもの気持ちを理解しようとすること」が 58.0%、「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」が 44.9%となっています。



勤務先別に見ると、「子どもの気持ちを理解しようとすること」、「子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること」という回答では小学校の割合がそれぞれ多くなっています。「子どもの学力を伸ばす指導ができること」、「子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

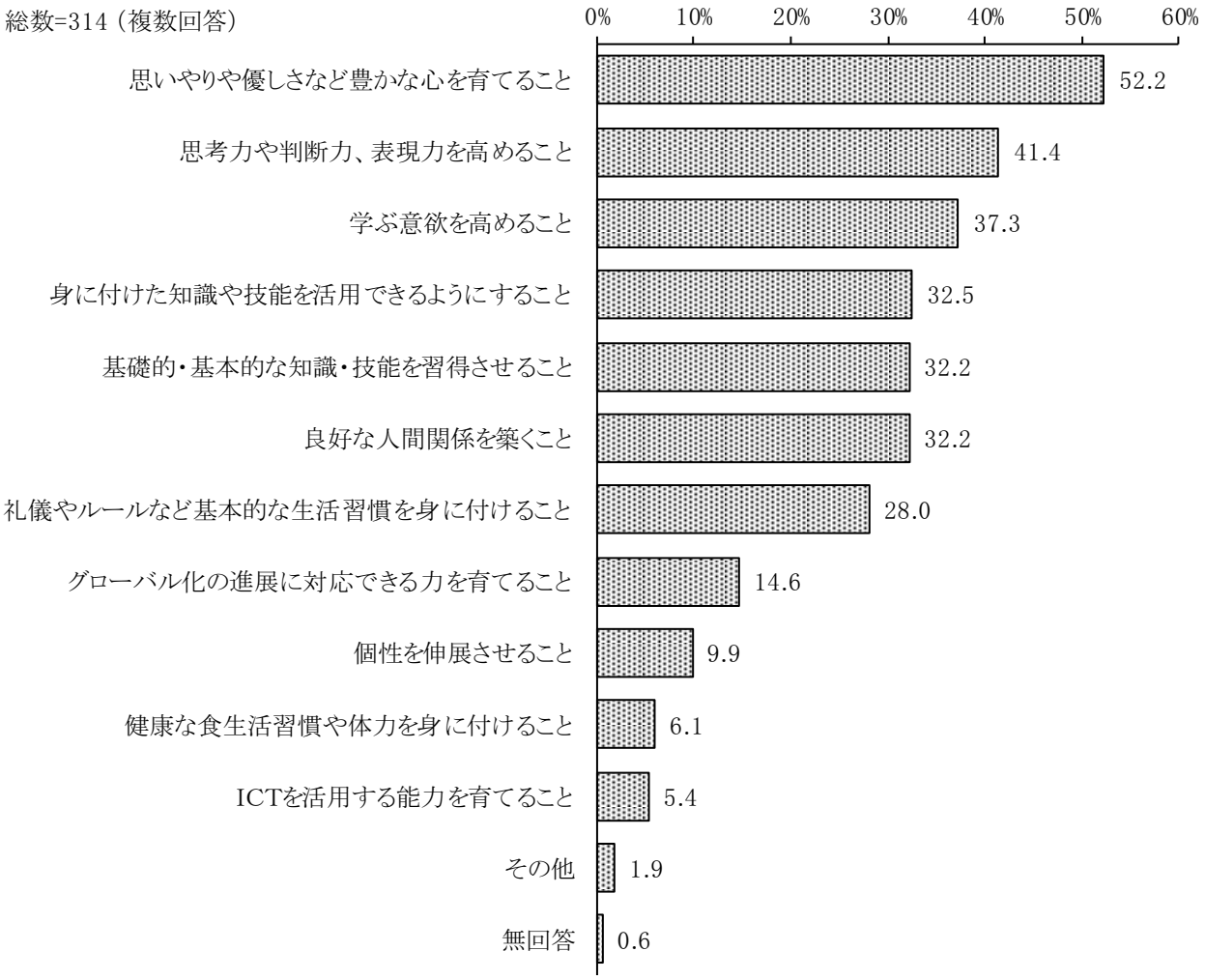
		全体	子どもの気持ちを理解しようとすること	子どもの学力を伸ばす指導ができること	子どもの相談相手になれること	子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること	子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）	幅広い経験をもっていること	その他
全体		314	58.0	68.2	12.4	23.6	44.9	28.7	22.3	19.7	6.4	1.3
勤務先	小学校	151	64.9	63.6	14.6	25.2	47.0	18.5	27.2	17.2	7.3	0.7
	中学校	163	51.5	72.4	10.4	22.1	42.9	38.0	17.8	22.1	5.5	1.8

		全体	無回答
全体		314	1.6
勤務先	小学校	151	2.6
	中学校	163	0.6

（15）これからの学校教育で特に重視すべきこと

問 12　これからの学校教育について特に重視しなければならないのは、どのようなことだと思いますか。（３つまで○）

「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」が 52.2％で最も多く、次いで「思考力や判断力、表現力を高めること」が 41.4％、「学ぶ意欲を高めること」が 37.3％となっています。



勤務先別に見ると、「学ぶ意欲を高めること」、「個性を伸展させること」、「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「身に付けた知識や技能を活用できるようにすること」、「礼儀やルールなど基本的な生活習慣を身に付けること」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

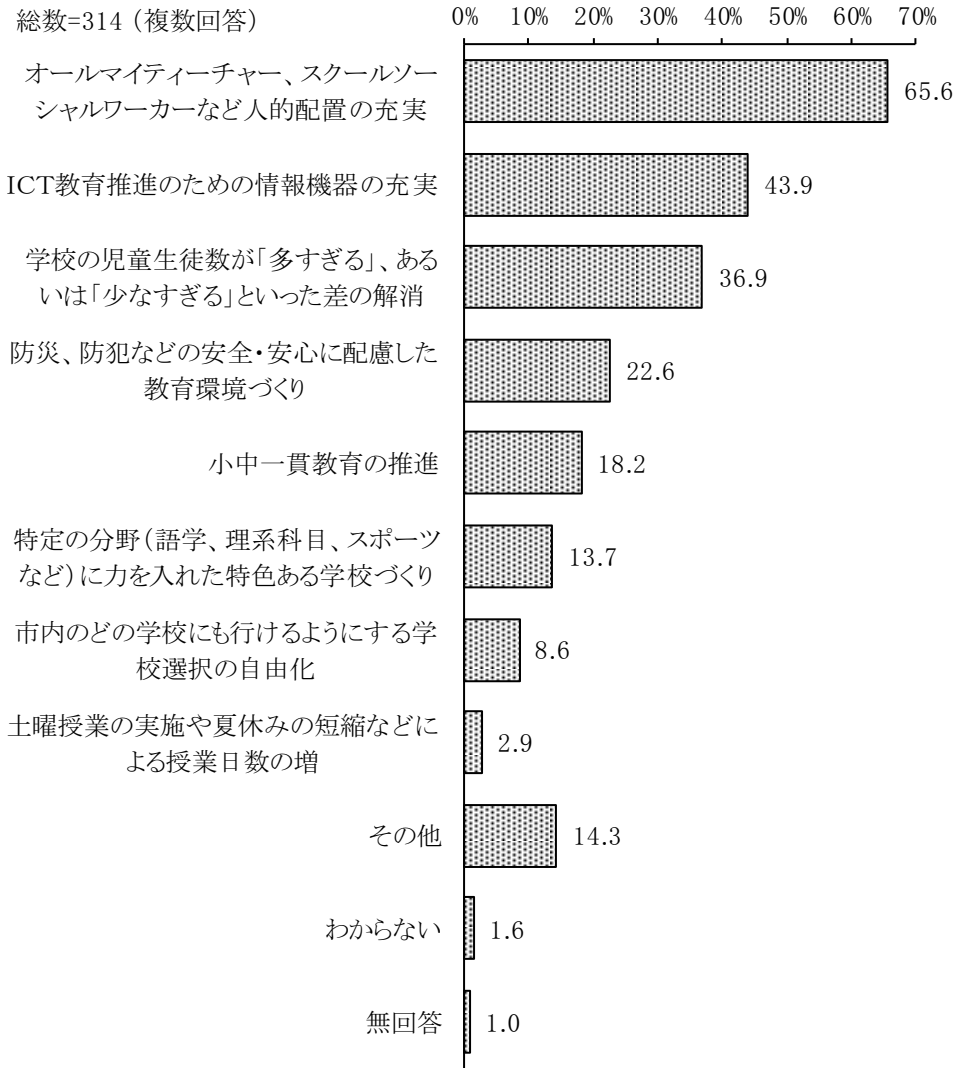
		全体	学ぶ意欲を高めること	基礎的・基本的な知識・技能を習得させること	思考力や判断力、表現力を高めること	健康な食生活習慣や体力を身に付けること	個性を伸展させること	グローバル化の進展に対応できる力を育てること	ＩＣＴを活用する能力を育てること	身に付けた知識や技能を活用できるようにすること	思いやりや優しさなど豊かな心を育てること	礼儀やルールなど基本的な生活習慣を身に付けること
全体		314	37.3	32.2	41.4	6.1	9.9	14.6	5.4	32.5	52.2	28.0
勤務先	小学校	151	42.4	30.5	39.1	5.3	14.6	13.9	6.6	29.1	55.0	25.2
勤務先	中学校	163	32.5	33.7	43.6	6.7	5.5	15.3	4.3	35.6	49.7	30.7

		全体	良好な人間関係を築くこと	その他	無回答
全体		314	32.2	1.9	0.6
勤務先	小学校	151	33.8	0.7	1.3
勤務先	中学校	163	30.7	3.1	0.0

（16）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと

問 13　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（３つまで○）

「オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実」が 65.6%で最も多く、次いで「ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実」が 43.9%、「学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消」が 36.9%となっています。



勤務先別に見ると、「オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実」、「ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実」という回答では小学校の割合がそれぞれ多くなっています。

		全体	学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消	市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化	小中一貫教育の推進	特定の分野（語学、理系科目、スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり	オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実	ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実	防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり	土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増	その他	わからない
全体		314	36.9	8.6	18.2	13.7	65.6	43.9	22.6	2.9	14.3	1.6
勤務先	小学校	151	37.1	6.6	19.9	11.9	72.2	53.6	23.2	2.0	12.6	0.7
勤務先	中学校	163	36.8	10.4	16.6	15.3	59.5	35.0	22.1	3.7	16.0	2.5

		全体	無回答
全体		314	1.0
勤務先	小学校	151	1.3
勤務先	中学校	163	0.6

３　家庭や地域の教育について

（１）学校、家庭、地域の役割

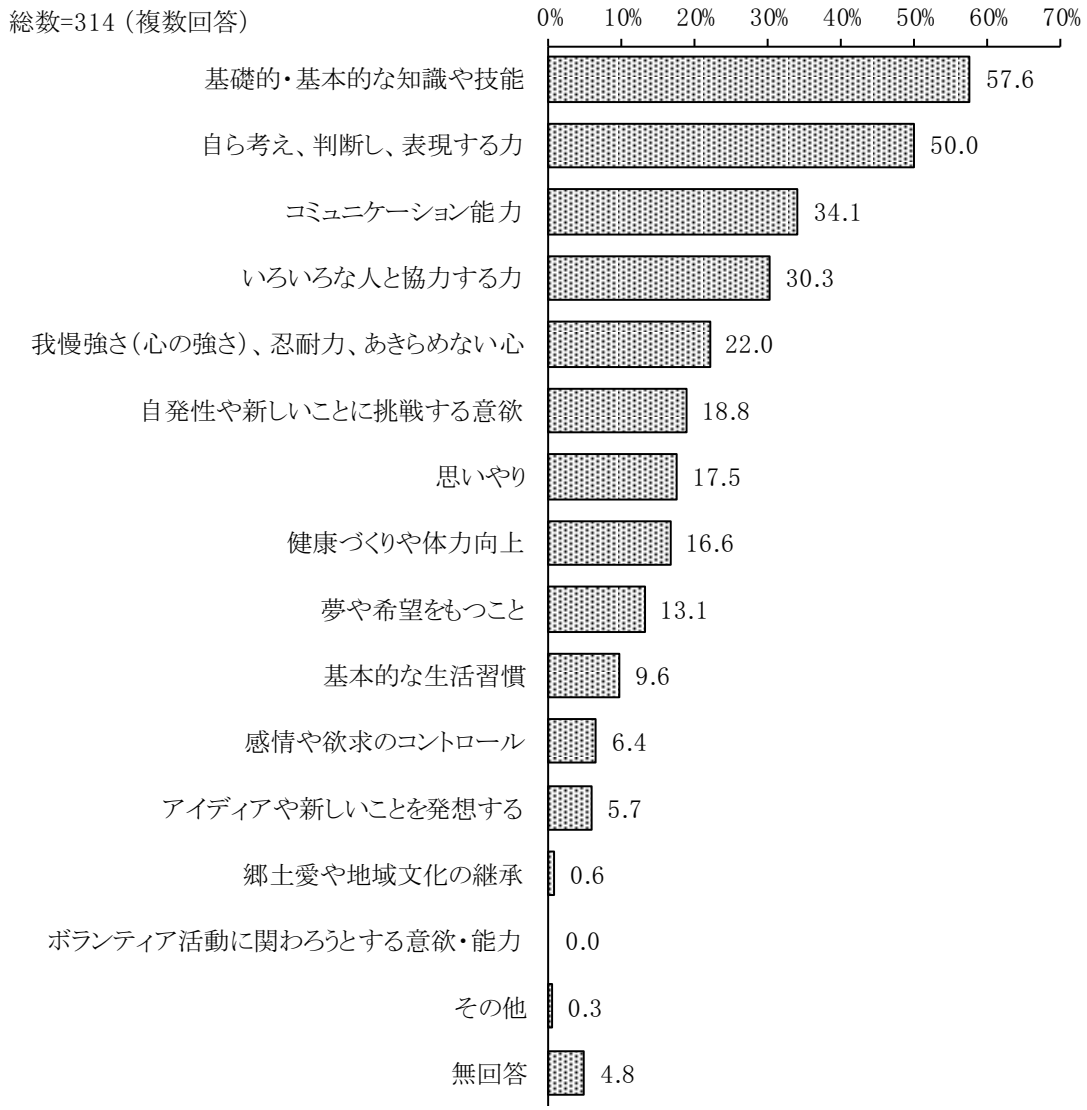
問 14　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ３つまで番号を選んでください）

※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。

※「15. その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割

「基礎的・基本的な知識や技能」が 57.6%で最も多く、次いで「自ら考え、判断し、表現する力」が 50.0%、「コミュニケーション能力」が 34.1%となっています。



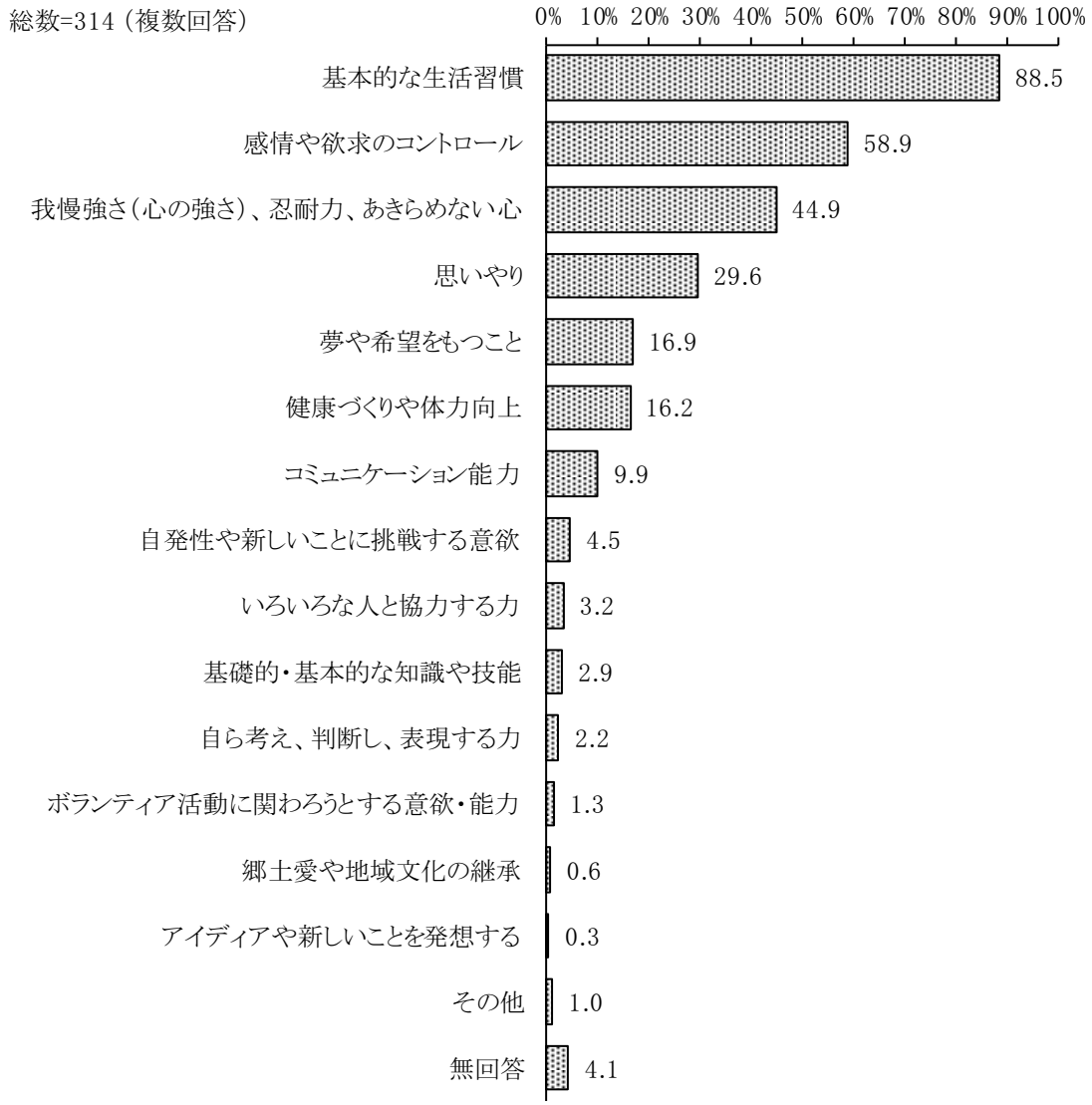
勤務先別に見ると、「コミュニケーション能力」、「基礎的・基本的な知識や技能」、「自ら考え、判断し、表現する力」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」という回答では中学校の割合が多くなっています。

		全体	健康づくりや体力の向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイディアや新しいことを発想する	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		314	16.6	9.6	6.4	5.7	18.8	22.0	17.5	13.1	30.3	0.0
勤務先	小学校	151	16.6	7.9	4.0	5.3	17.2	13.9	17.2	10.6	31.8	0.0
	中学校	163	16.6	11.0	8.6	6.1	20.2	29.4	17.8	15.3	28.8	0.0

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		314	34.1	0.6	57.6	50.0	0.3	4.8
勤務先	小学校	151	39.7	0.7	62.9	54.3	0.7	4.6
	中学校	163	28.8	0.6	52.8	46.0	0.0	4.9

②家庭の役割

「基本的な生活習慣」が 88.5%で最も多く、次いで「感情や欲求のコントロール」が 58.9%、「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」が 44.9%となっています。



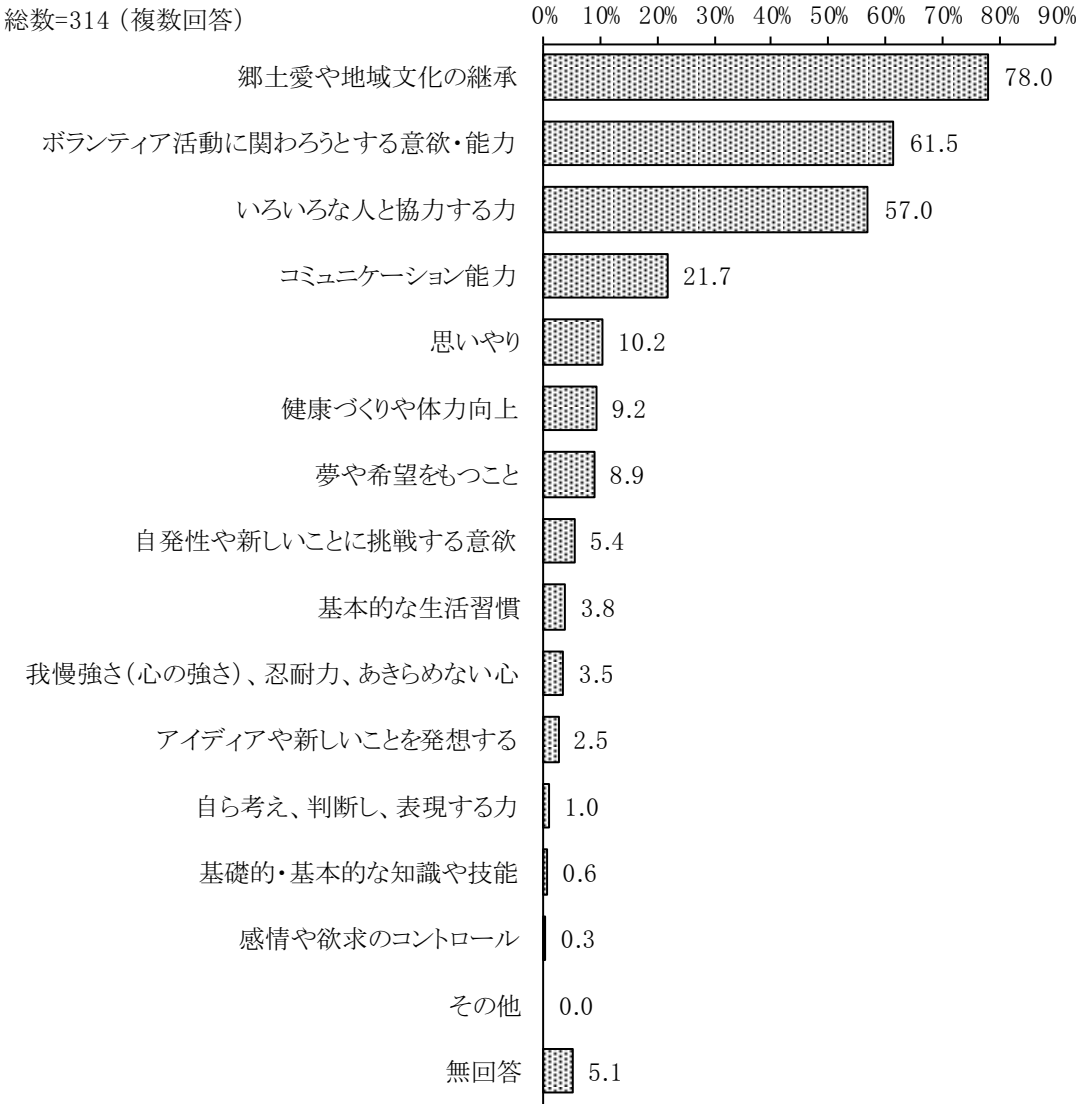
勤務先別に見ると、「感情や欲求のコントロール」、「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「コミュニケーション能力」という回答では中学校の割合が多くなっています。

		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイディアや新しいことを発想する	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		314	16.2	88.5	58.9	0.3	4.5	44.9	29.6	16.9	3.2	1.3
勤務先	小学校	151	15.2	87.4	62.3	0.7	5.3	47.7	29.1	15.2	4.0	0.7
	中学校	163	17.2	89.6	55.8	0.0	3.7	42.3	30.1	18.4	2.5	1.8

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		314	9.9	0.6	2.9	2.2	1.0	4.1
勤務先	小学校	151	6.6	1.3	4.6	0.7	1.3	4.0
	中学校	163	12.9	0.0	1.2	3.7	0.6	4.3

③地域の役割

「郷土愛や地域文化の継承」が 78.0%で最も多く、次いで「ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力」が 61.5%、「いろいろな人と協力する力」が 57.0%となっています。



勤務先別に見ると、「思いやり」、「いろいろな人と協力する力」という回答では小学校の割合が多く、「ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力」という回答では中学校の割合が多くなっています。

		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイディアや新しいことを発想する	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		314	9.2	3.8	0.3	2.5	5.4	3.5	10.2	8.9	57.0	61.5
勤務先	小学校	151	8.6	3.3	0.7	2.0	7.3	2.6	13.9	7.9	63.6	58.3
勤務先	中学校	163	9.8	4.3	0.0	3.1	3.7	4.3	6.7	9.8	50.9	64.4

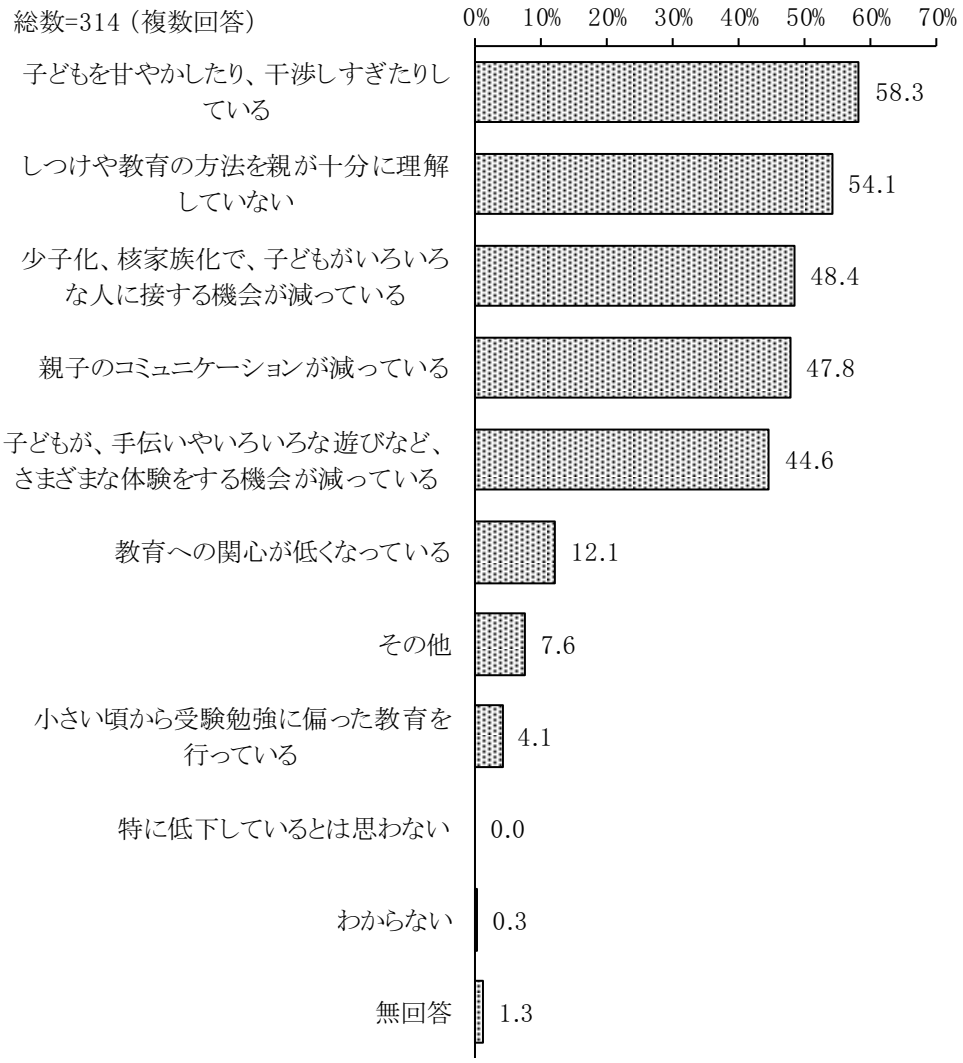
		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		314	21.7	78.0	0.6	1.0	0.0	5.1
勤務先	小学校	151	21.9	78.1	0.7	0.7	0.0	5.3
勤務先	中学校	163	21.5	77.9	0.6	1.2	0.0	4.9

（２）家庭の教育力が低下している原因

問 15　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「家庭の教育力」とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」が 58.3%で最も多く、次いで「しつけや教育の方法を親が十分に理解していない」が 54.1%、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が 48.4%となっています。



勤務先別に見ると、「教育への関心が低くなっている」、「しつけや教育の方法を親が十分に理解していない」、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」という回答では中学校の割合が多くなっています。

		全体	親子のコミュニケーションが減っている	子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている	教育への関心が低くなっている	しつけや教育の方法を親が十分に理解していない	小さい頃から受験勉強に偏った教育を行っている	子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている	少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている	その他	特に低下しているとは思わない	わからない
全体		314	47.8	58.3	12.1	54.1	4.1	44.6	48.4	7.6	0.0	0.3
勤務先	小学校	151	46.4	49.7	17.2	58.9	2.6	42.4	52.3	7.9	0.0	0.0
勤務先	中学校	163	49.1	66.3	7.4	49.7	5.5	46.6	44.8	7.4	0.0	0.6

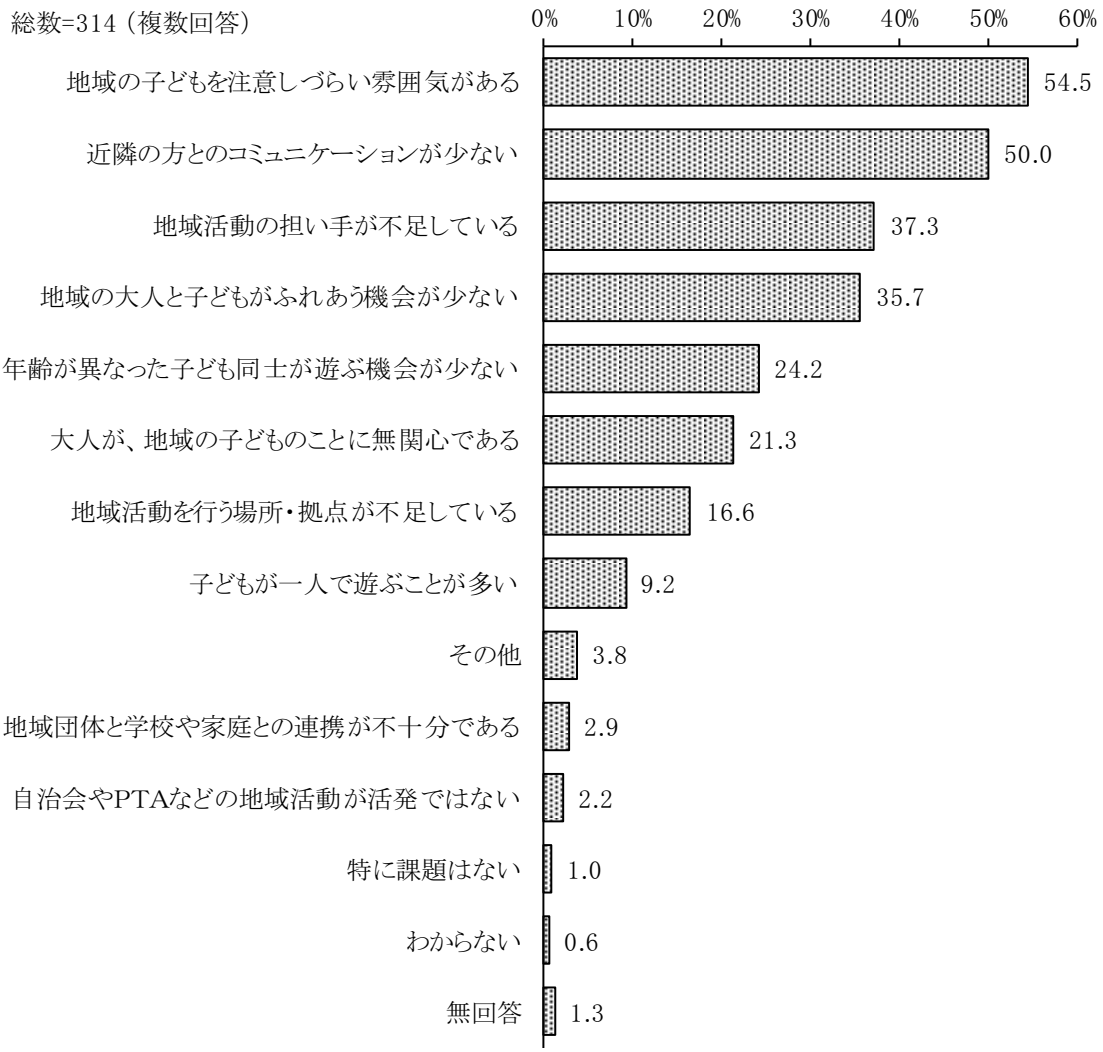
		全体	無回答
全体		314	1.3
勤務先	小学校	151	2.0
勤務先	中学校	163	0.6

（３）地域の教育力についての課題

問 16　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「地域の教育力」とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

「地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある」が 54.5%で最も多く、次いで「近隣の方とのコミュニケーションが少ない」が 50.0%、「地域活動の担い手が不足している」が 37.3%となっています。



勤務先別に見ると、「地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある」、「近隣の方とのコミュニケーションが少ない」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「大人が、地域の子どものことに無関心である」、「地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない」、「子どもが一人で遊ぶことが多い」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

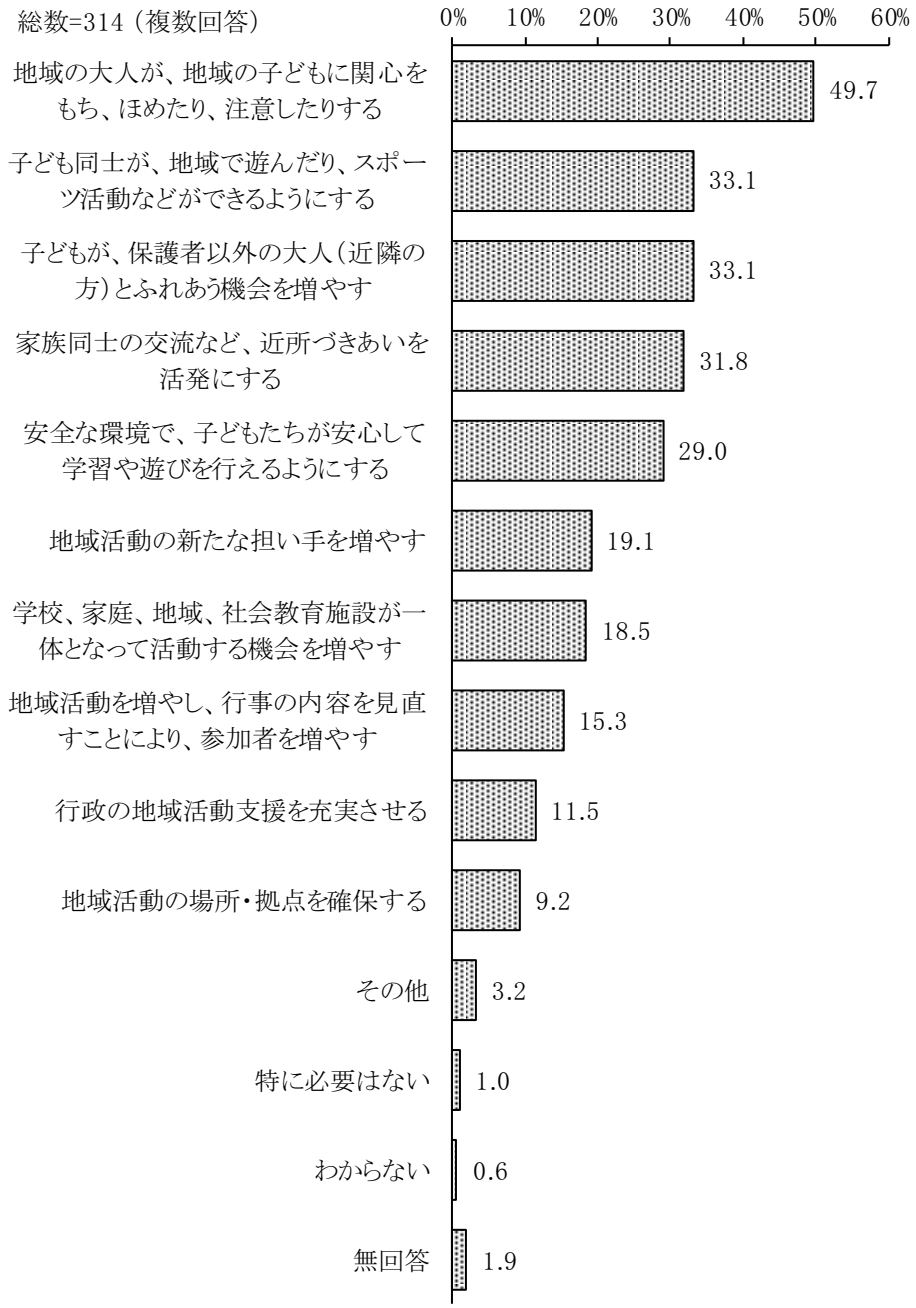
		全体	大人が、地域の子どものことに無関心である	地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある	地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない	地域活動の担い手が不足している	地域活動を行う場所・拠点が不足している	子どもが一人で遊ぶことが多い	年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない	近隣の方とのコミュニケーションが少ない	自治会やPTAなどの地域活動が活発ではない	地域団体と学校や家庭との連携が不十分である
全体		314	21.3	54.5	35.7	37.3	16.6	9.2	24.2	50.0	2.2	2.9
勤務先	小学校	151	18.5	58.9	31.8	37.7	17.9	5.3	23.2	58.3	0.7	2.6
	中学校	163	23.9	50.3	39.3	36.8	15.3	12.9	25.2	42.3	3.7	3.1

		全体	その他	特に課題はない	わからない	無回答
全体		314	3.8	1.0	0.6	1.3
勤務先	小学校	151	4.6	0.7	0.7	1.3
	中学校	163	3.1	1.2	0.6	1.2

（４）地域の教育力向上に必要な取組

問 17　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（３つまで○）

「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」が 49.7%で最も多く、次いで「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」と「子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす」がそれぞれ 33.1%となっています。



勤務先別に見ると、「家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする」、「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」、「子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」、「地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす」という回答では中学校の割合がそれぞれ多くなっています。

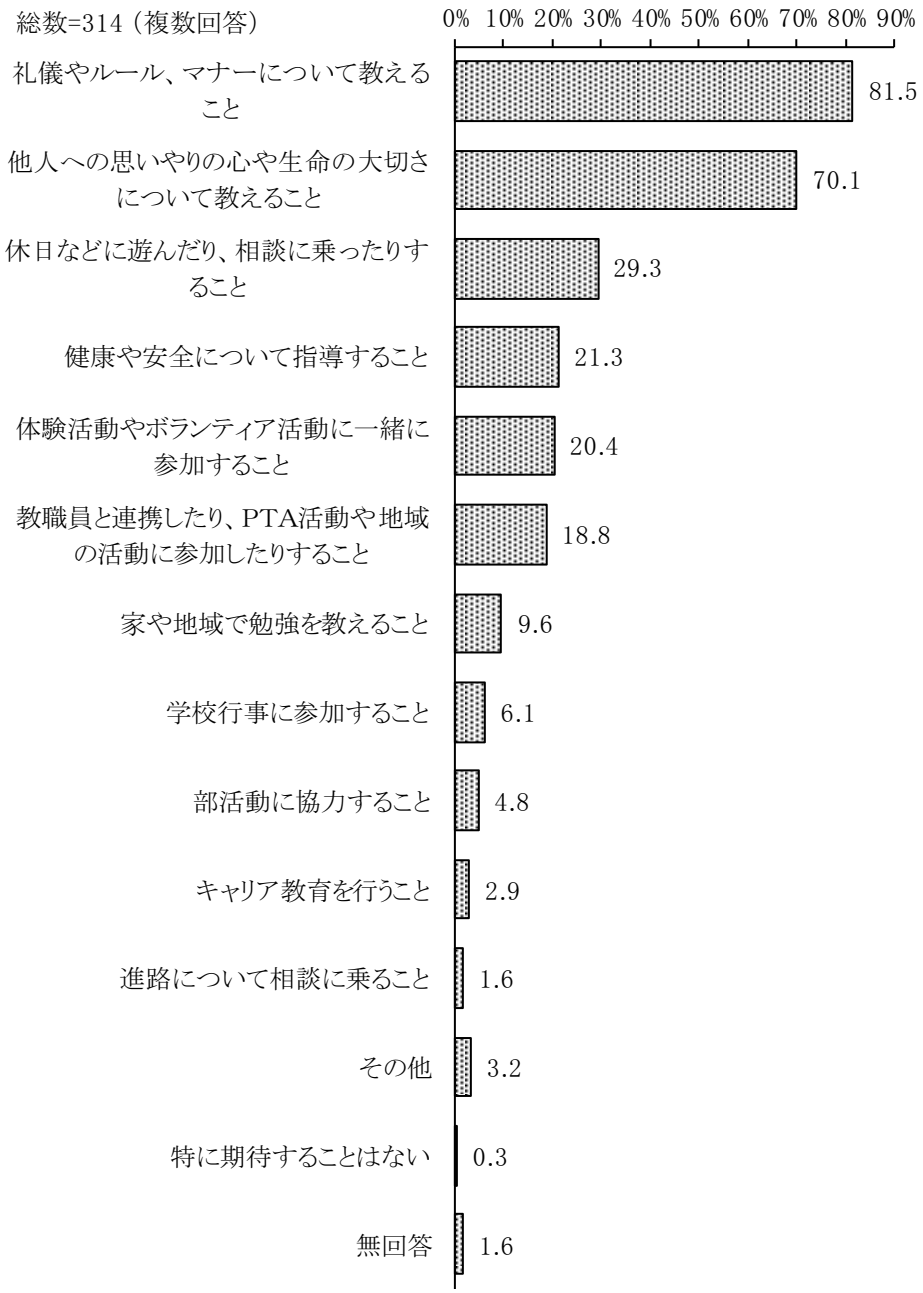
		全体	地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす	地域活動の新たな担い手を増やす	安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする	子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす	学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす	行政の地域活動支援を充実させる	地域活動の場所・拠点を確保する
全体		314	49.7	33.1	31.8	15.3	19.1	29.0	33.1	18.5	11.5	9.2
勤務先	小学校	151	45.7	26.5	40.4	11.3	19.2	35.1	37.1	20.5	9.9	7.9
勤務先	中学校	163	53.4	39.3	23.9	19.0	19.0	23.3	29.4	16.6	12.9	10.4

		全体	その他	特に必要はない	わからない	無回答
全体		314	3.2	1.0	0.6	1.9
勤務先	小学校	151	3.3	0.7	0.7	2.6
勤務先	中学校	163	3.1	1.2	0.6	1.2

（５）保護者、地域の方などに期待すること

問 18　保護者、地域の方などに期待することは何ですか。（３つまで○）

「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 81.5%で最も多く、次いで「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 70.1%、「休日などに遊んだり、相談に乗ったりすること」が 29.3%となっています。



勤務先別に見ると、「休日などに遊んだり、相談に乗ったりすること」、「家や地域で勉強を教えること」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「部活動に協力すること」という回答では中学校の割合が多くなっています。

		全体	礼儀やルール、マナーについて教えること	他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること	健康や安全について指導すること	キャリア教育を行うこと	進路について相談に乗ること	休日などに遊んだり、相談に乗ったりすること	家や地域で勉強を教えること	部活動に協力すること	学校行事に参加すること	体験活動やボランティア活動に一緒に参加すること
全体		314	81.5	70.1	21.3	2.9	1.6	29.3	9.6	4.8	6.1	20.4
勤務先	小学校	151	82.8	69.5	19.2	2.6	0.7	33.8	12.6	0.0	5.3	21.9
勤務先	中学校	163	80.4	70.6	23.3	3.1	2.5	25.2	6.7	9.2	6.7	19.0

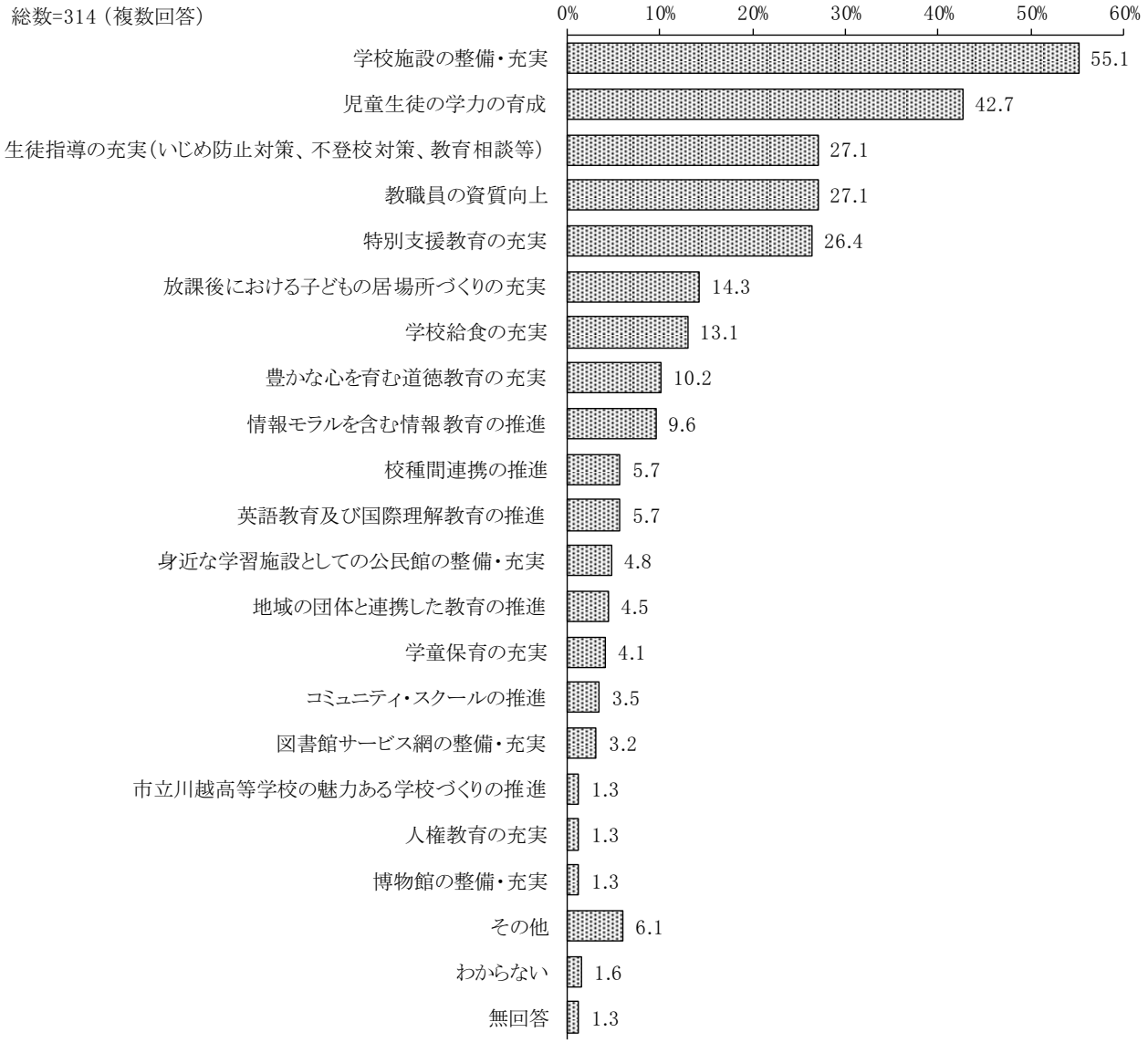
		全体	教職員と連携したり、PTA活動や地域の活動に参加したりすること	その他	特に期待することはない	無回答
全体		314	18.8	3.2	0.3	1.6
勤務先	小学校	151	20.5	4.0	0.0	2.6
勤務先	中学校	163	17.2	2.5	0.6	0.6

４　教育施策について

（１）充実させたほうが良いと思う教育施策

問 19　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。（３つまで○）

「学校施設の整備・充実」が 55.1％で最も多く、次いで「児童生徒の学力の育成」が 42.7％、「生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）」と「教職員の資質向上」がそれぞれ 27.1％となっています。



勤務先別に見ると、「児童生徒の学力の育成」、「特別支援教育の充実」、「生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）」、「教職員の資質向上」という回答では小学校の割合がそれぞれ多く、「学校施設の整備・充実」という回答では中学校の割合が多くなっています。

		全体	児童生徒の学力の育成	校種間連携の推進	英語教育及び国際理解教育の推進	情報モラルを含む情報教育の推進	特別支援教育の充実	豊かな心を育む道徳教育の充実	生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）	教職員の資質向上	学校施設の整備・充実	学校給食の充実	市立川越高等学校の魅力ある学校づくりの推進
	全体	314	42.7	5.7	5.7	9.6	26.4	10.2	27.1	27.1	55.1	13.1	1.3
勤務先	小学校	151	47.7	3.3	7.3	9.3	32.5	11.9	31.1	31.8	47.7	12.6	0.7
勤務先	中学校	163	38.0	8.0	4.3	9.8	20.9	8.6	23.3	22.7	62.0	13.5	1.8

		全体	コミュニティ・スクールの推進	学童保育の充実	放課後における子どもの居場所づくりの充実	地域の団体と連携した教育の推進	人権教育の充実	身近な学習施設としての公民館の整備・充実	図書館サービス網の整備・充実	博物館の整備・充実	その他	わからない	無回答
	全体	314	3.5	4.1	14.3	4.5	1.3	4.8	3.2	1.3	6.1	1.6	1.3
勤務先	小学校	151	5.3	2.0	14.6	4.6	0.0	4.6	2.0	1.3	3.3	1.3	2.0
勤務先	中学校	163	1.8	6.1	14.1	4.3	2.5	4.9	4.3	1.2	8.6	1.8	0.6

（２）公民館・図書館・博物館と学校が連携する取組に関する意見

問 20　公民館・図書館・博物館と学校が連携する取組に関してご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

有効回収数 314 票中 50 票に意見の記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 50 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

公民館（６件）

〇連携の進め方（３件）

・公民館内での子どもを巻き込んだ行事は何でも良いという物ではない。サポート委員会や地区会議はあるものの、何でも学校におんぶに抱っこでは学校が忙しいだけで、働き方の改革としては如何なものか？何でもかんでも学校を巻き込めば良いというものではない。結局学校の職員がボランティアの名のもと働くのである。

・人材教育の委嘱研究は、公民館が主体となって運営して欲しい→公民館区ごとの委嘱だから。事業内容によって何処が主で運営するのか明確にして欲しい。取り敢えず学校にお願いします・・・というのはやめて欲しい。

〇その他（３件）

・公民館で行われている〇〇クラブなど行っている方々に、学校教育（ゲストティーチャーなどとして）に参加していただく。

・公民館、地区によって施設の老朽化が激しく使いにくい状況がある。

図書館（９件）

〇施設・設備（２件）

・とにかく図書館の充実を図ってほしい。小さい物を多く造るのも必要だが、大きなものを川越市で一つ造って欲しい。

〇その他（７件）

・図書館とのブックトーク。

・川越市の図書館が所有している図書を学校でも検索し調べられると図書の利用率が高まるのではないかと思います。

・図書館にある本やＤＶＤを宅配便のように学校に持ってきて貰えると有り難い。

博物館（８件）

〇出前授業、出張授業（４件）

・博物館から出張授業をしに来ていただけるシステムがあると良い。

・出前講座などを積極的に行ってくれると遠くの学校にもメリットがある。

〇その他（４件）

・博物館見学は、今後も続けて欲しいと思います。
・博物館の子ども体験は、安い費用で歴史や文化に触れる質の高い行政サービス。全国的にもこれだけのことをやっている所はない。

全体（27 件）

〇連携の進め方（11 件）

・利用することはとても良いと思うが、準備、打合せなどが大変な部分もある。
・手続や制約等、利用しやすい環境がもっと進めば連携しやすくなると思います。
・博物館との連携では博物館が主体的な役割を果たし、学校への働きかけを行っているため、大きな成果が上がっています。公民館や図書館も受け身ではなく、学校に対して働きかけを行い、学校と連携して取組と良いと思います。
・教員が交渉すれば自由に連携できるようなシステムづくり。管理職が替わる度に、やれるやれない説明が必要等、問題ありすぎ。
・もっと学校に足を運んで貰い、子ども達の学校での様子をよく見て欲しい。
・学校の教員と話しをする場を多く設定し、学校と社会教育施設、両方の距離をもっと縮めた方が良いと思う。
・三者の取組が当校教育の実際に具体的に活かせるような系統表（関連表）等を作成する。

〇出前授業、出張授業（６件）

・社会教育主事、図書館司書、学芸員等の出張授業（可能ならば)。専門家からの授業。
・学校へゲストティーチャーに来て欲しい。それであれば出来る。
・児童、生徒が地域の人や施設に触れ合う機会が少ないと感じる。連携をより強くし、授業等に参加して貰う等の取組があると良い。

〇児童生徒が興味・関心を持てるような取組（２件）

・社会教育の充実は今後の児童の成長には欠かせないものである。学校と連携し出来る限りの最新の資料、情報、本物の体験ができる、環境づくりをして欲しい。
・生徒の興味、関心が高まる魅力ある取組をお願いしたい。

〇備品、資料の貸し出し（２件）

・物品を借りるなど。

〇その他（６件）

・教育課程に位置づけ連携を強化する。
・それぞれがどのような施設で、その様な利用が出来るか等の周知。図書館は分かり易いが、公民館を学校や生徒がどのように活用できるか余り知られていないと思います。

・教育関連のイベントに学校、学級単位で取り組める内容のものを取り入れればと思います。

その他（10 件）

・学校の職員には時間外や休日の勤務に対する手当ては何もありません。職員が自発的に参加するものは別として、基本的に役割や分担を担って、参加させることは難しいです。
・連携することは大切だと思うが、様々な事業について参加の動員や会議への出席等、学校に依頼することを減らして欲しい。（自治会や育英会に直接依頼して欲しい）学校の負担軽減を考えて欲しい。
・本来、コミュニティや自発的な学習の場として、必要な施設の筈ですが、人員、経費予算が圧倒的に少なすぎる。特に職員個人の能力に頼ってしまい、連携への温度差も違いすぎる。もっと大きなビジョンを持って効果的な連携をすべき。人も予算も増やせないのは行政の責任と考える。
・川越市の魅力を活かした、自然や科学を学べる施設があると理科担当としてはとても有り難い。

（３）自由記述

問 21　川越市の教育に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。

有効回収数 314 票中 96 票に意見の記述がありました（１票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 96 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

〇生きる力の育成（６件）

・学力向上のためのプログラム（受験までの）の確立及び補習授業の拡充（時間ではなく中身）を図ること等。
・学力（偏差値）を上げることも大事だが、遠回りでも「川越の歴史や文化」「地域としての遺産」をもっと大切にして、教養を高めるような教育をする事によって、結果的に学力も身についてくると考える。

〇教員の資質能力の向上（６件）

・夏休みの研修が多い。２学期に向けての準備が全く出来ない。
・川越市独自の研修も大切だと思いますが、県の研修も参加することで自身の教育向上にもつながるのではないかと思います。

〇教職員の体制（32 件）

・教員の数を増やして下さい。
・専門性の高い教科は専科制を取り入れた方が良い（外国語、理科、体育、家庭科、書写、音楽)。
・専任の英語教師、IT 関係の教師がいると専門性が高まり、効果があると思います。
・小学校も副担任をつけて欲しい（業務内容が多すぎなので人員を増やして欲しい)。
・人が足りません。１クラス 40 人で、特別支援的な児童や家庭的に問題のある児童も多く、一人一人細かく見られる状況にありません。職員が皆疲れ果てています。早急の対応をお願いしたいです。
・理科実験助手、AET について、前年度中に人、曜日がわかると時間割に組み入れやすいので、お願いしたい。
・人員配置の充実（特に特別支援教育の充実の為)。
・教員が協力して生き生きと仕事が出来る、そんな教員体制づくりをしていただけると良いと思います。

〇学校運営、教育方針（５件）

・土曜授業実施や夏休みの短縮はやめて頂きたい。
・30 人学級（35 人学級）を全学年で実施して欲しい。

〇学校の働き方改革（13 件）

・本当に必要なこと、必要ないことをよく考えて研修や取組事業を見直して欲しい。

・働き方改革が本校の大きな課題になっています。校内でも行事の精選等、取り組んでいますが、市全体として積極的に音頭を取っていただくと、円滑に進むこともあるかと思います。例えば週休日に地域で行うドッヂボール大会等に先生が審判をやるのが当たり前、子どもが参加するのだから教員も来て共に活動するのが当たり前というような地域の方の意識を、学校だけで変えていくのは難しいと感じています。
・業務内容を精選し、子どもと向き合う時間を持てるようにして欲しい（子どもに直接還元されない調査やアンケートの削減）。
・提出すべき書類が多い。
・教員の出張がこんなに多く必要ですか？一校につき必ず一人出すのは正直言って大変です。

〇学校施設・設備、備品・消耗品等（32 件）
・施設の老朽化に伴う校舎の建て替えや大規模改修を、積極的に進めていただきたい。
・施設設備の改修（特にトイレ）。
・避難所としての機能もあるはずなので、多目的トイレの整備も絶対必要だと思います。
・消耗品のやりくりが難しいと感じている。消耗品の増加をしていただけると教育活動への支障も減って来ると思う。
・紙やカラーインクなどもっと自由に使えるようにしていただけると嬉しいです。
・校務用 PC の無線 LAN 化をして頂きたいです。
・小中学校に冷房が導入されましたが、学級のみでなく特別教室にも是非導入していただきたいです。中学では授業を特別教室で行う教科もあるので、異常気象が唱えられている現在、夏の猛暑の中での授業は集中を欠き、生徒にとっても、教員にとっても良いことはないと思います。
・ネット環境が使いづらい部分があります。セキュリティなどの問題があるかと思いますが、必要なときに必要な書類がダウンロードできる接続は欲しいです。
・ＩＣＴ機器や大型テレビの各学級一台の導入。

〇保護者への対応（５件）
・保護者や地域からの多種多様な要望が多い。
・近年保護者対応で教師の労力がかなり奪われている現実があります。会社にも顧問弁護士がいる所が多いと思いますが、これからの時代残念ながら、学校にも法律の専門家が必要だと感じています。全校に一人とは言いませんが、川越市に専任の弁護士をおかれたらかなり理不尽な（→集金等の対応も含めて）保護者対応の手間が省けると考えます。

〇地域対応、地域人材の活用（２件）
・各校への部活動外部指導者を入れるためのボランティア（定額でやって貰える等）登録制度や、月何人や幾らまでなら補助する等、地域人材を活用できる枠作り。幾ら善意でとは言っても、実質やってくれる人の負担が時間的にも金銭的にも大きくなれば、人は集まらないし動かない。将来への投資として、部活での様々な体験も学力面をサポートする、放課後ボランティア学習会なども、やろうと思ったら実質的には、紙代、交通費、場所代等、様々な金銭的な負担がかかる。一人親家庭への家庭教師や月数日の無料塾支援等は良い制度だと思う。しかしそれらが周知されていない部分もある。

〇他市との交流（２件）

・市町村をまたがって色々な所から様々な人との関わりを教員も実行していくべきだと思います。

〇予算（24 件）

・教育予算の増加。

・教育への投資は将来への投資でもある。今の子ども達が社会を支えていく能力資質を身に付けるためにも、教育に於ける費用を増やして、学校教育を充実させるべきである。

・財政の問題もあると思いますが、教育関係、予算が少なく（学校配当分）教育活動に支障があると感じています。

・教育費が毎年削られていってしまっているように感じる。

〇教育施策全般（５件）

・全てにおいて、まんべんなく取り組んでいるものの、逆に特色が見えづらくなっている。全国の中でも先進的な何かに集中していくことも選択肢としてもっていきたい。

・川越市の児童・生徒の為に必要な物は沢山あります。ただしあれもこれもと行うのではなく、重点化を図り、そこに力を集中させて行くことが大切だと考えます。

〇その他（14 件）

・教員が力を入れたいことに力を注げるようになったらいいと思う。

・小規模校が多すぎる。

・生徒の北海道、海外派遣も希望者がなく、人選がとても難航します。

・学校間格差の解消。

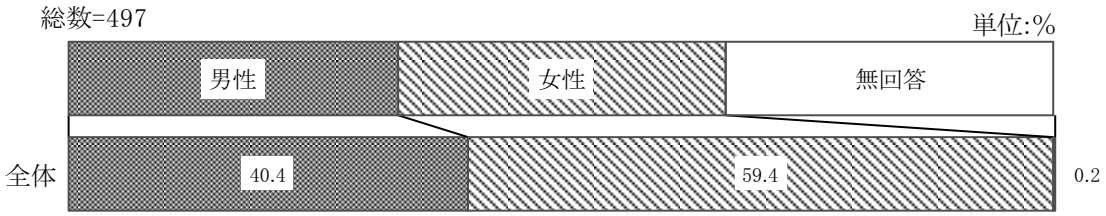
Ⅳ　市民調査の結果

１　回答者の属性について

（１）性別

Ｆ１　あなたの性別はどちらですか。（１つに○）

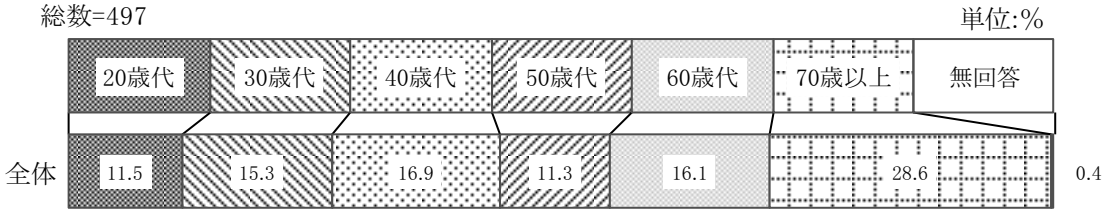
「男性」が 40.4%、「女性」は 59.4%となっています。



（２）年齢

Ｆ２　あなたの年齢は何歳ですか。（１つに○）

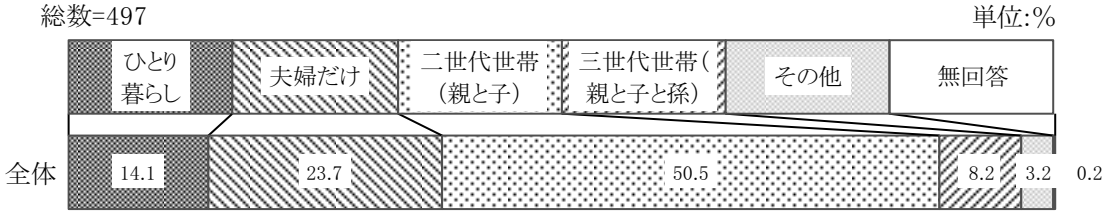
「70 歳以上」が 28.6%で最も多く、次いで「40 歳代」が 16.9%、「60 歳代」が 16.1%となっています。



（３）家族構成

Ｆ３　あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか（１つに○）

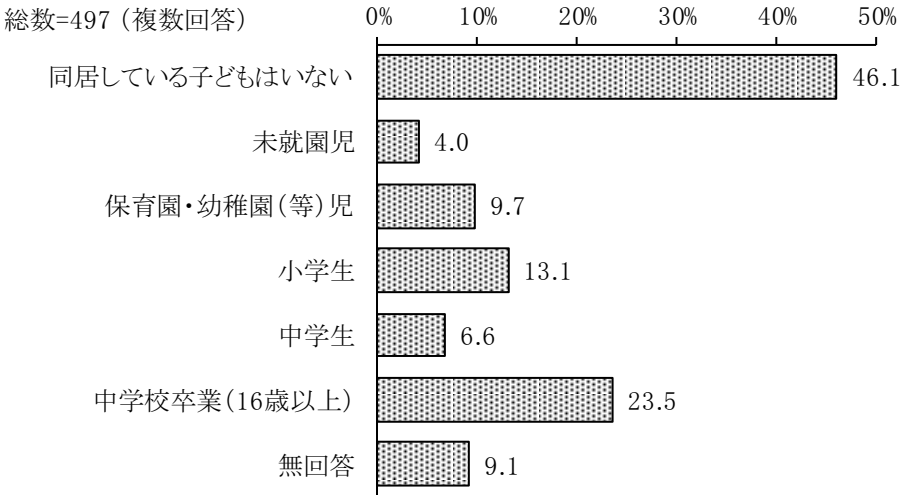
「二世代世帯（親と子)」が 50.5%で最も多く、次いで「夫婦だけ」が 23.7%、「ひとり暮らし」が 14.1%となっています。



（４）同居している子ども

Ｆ４　あなたの同居しているお子さんについて該当するものはどれですか。（○はいくつでも）

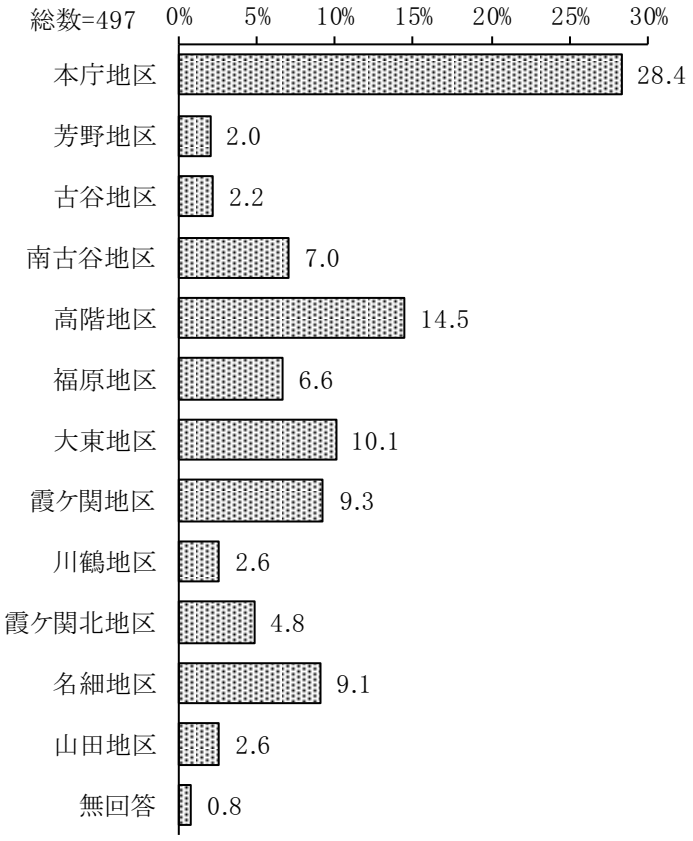
「同居している子どもはいない」が 46.1%で最も多く、次いで「中学校卒業（16 歳以上)」が 23.5%、「小学生」が 13.1%となっています。



（５）居住地区

Ｆ５　あなたはどちらの地区にお住まいですか。お送りした封筒の宛名右上にある名称をご確認の上、選んでください。（１つに○）

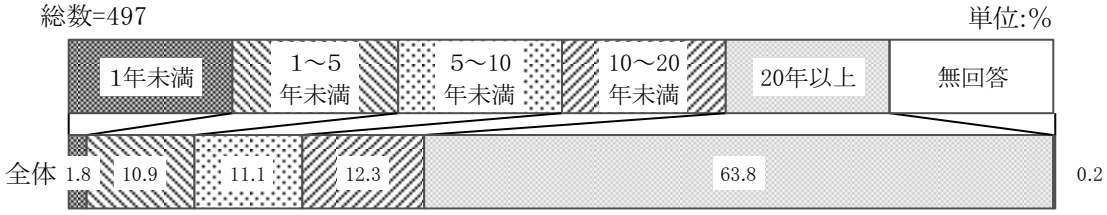
「本庁地区」が 28.4%で最も多く、次いで「高階地区」が 14.5%、「大東地区」が 10.1%となっています。



（６）川越市での居住年数

Ｆ６　あなたは川越市にどのぐらい住んでいますか。（１つに○）

「20 年以上」が 63.8%で最も多く、次いで「10～20 年未満」が 12.3%、「５～10 年未満」が 11.1%となっています。

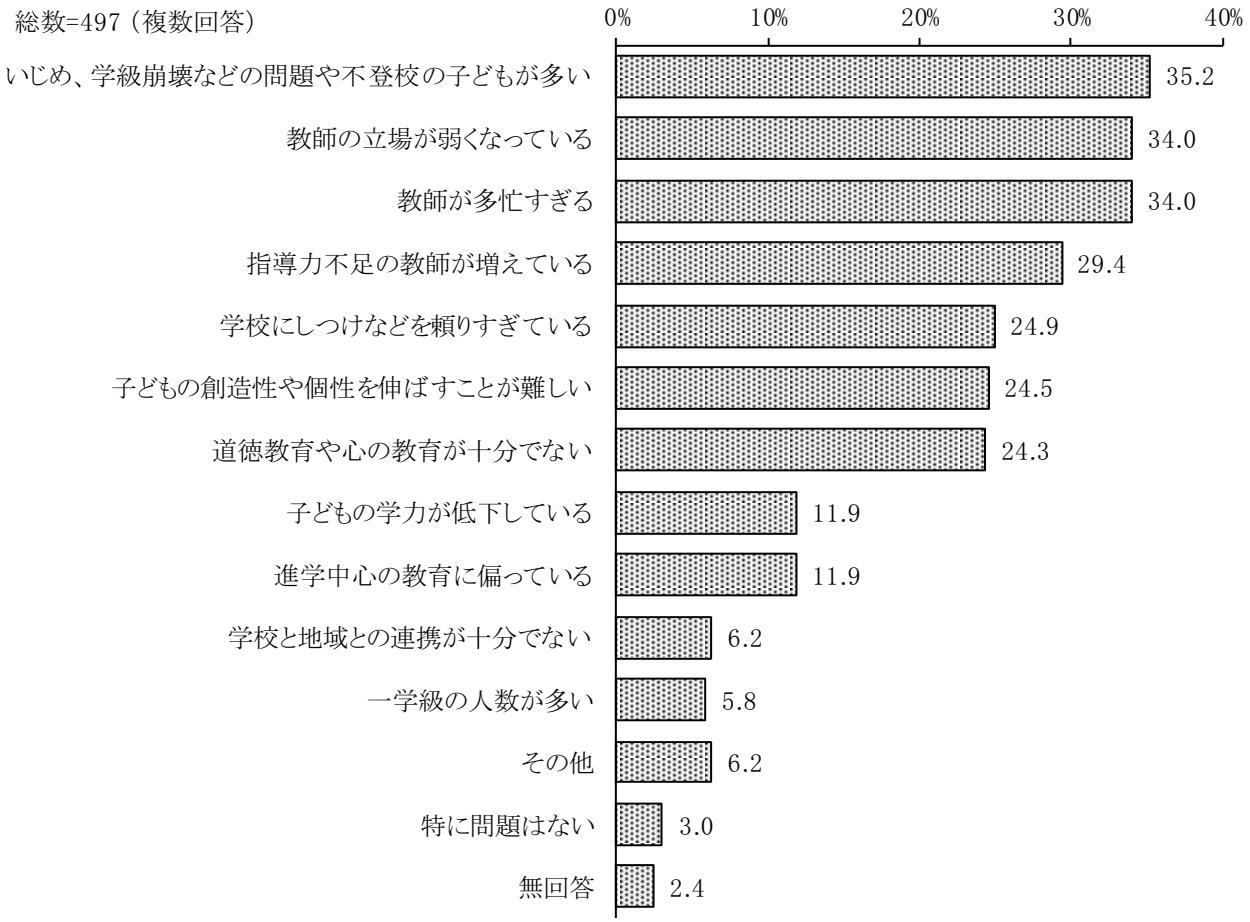


２　学校教育について

（１）現在の学校教育の問題

問１　現在の学校教育について、どのような問題があると思いますか。（３つまで○）

「いじめ、学級崩壊などの問題や不登校の子どもが多い」が 35.2％で最も多く、次いで「教師の立場が弱くなっている」と「教師が多忙すぎる」がそれぞれ 34.0％となっています。



性別に見ると、「教師の立場が弱くなっている」、「教師が多忙すぎる」、「学校にしつけなどを頼りすぎている」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい」、「いじめ、学級崩壊などの問題や不登校の子どもが多い」という回答では20歳代の割合がそれぞれ多くなっています。「指導力不足の教師が増えている」という回答では20歳代から60歳代にかけて割合が多くなっています。「道徳教育や心の教育が十分でない」、「学校にしつけなどを頼りすぎている」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が多くなっています。

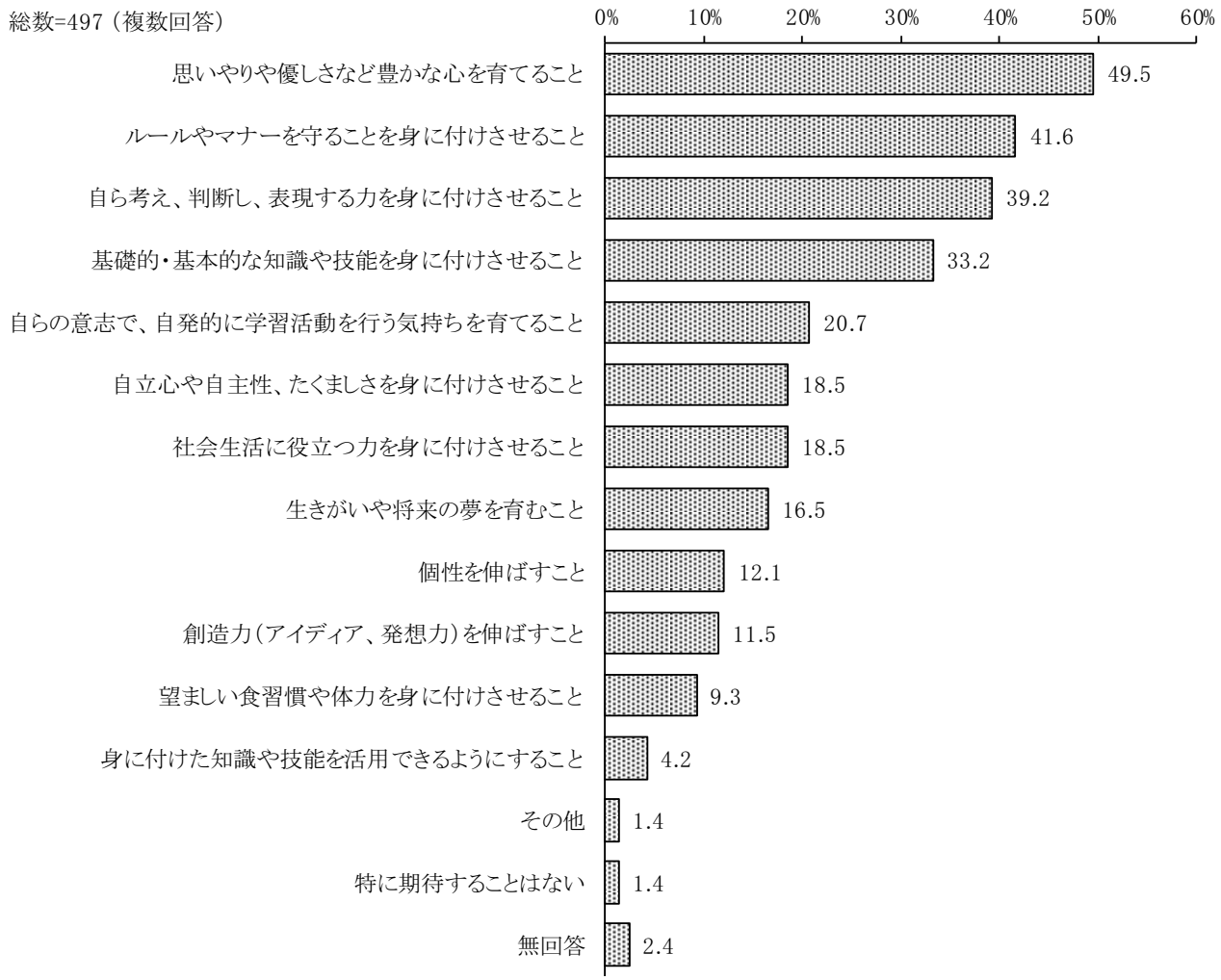
		全体	子どもの学力が低下している	進学中心の教育に偏っている	子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい	いじめ、学級崩壊などの問題や不登校の子どもが多い	教師の立場が弱くなっている	指導力不足の教師が増えている	教師が多忙すぎる	一学級の人数が多い	道徳教育や心の教育が十分でない	学校と地域との連携が十分でない
全体		497	11.9	11.9	24.5	35.2	34.0	29.4	34.0	5.8	24.3	6.2
性別	男性	201	11.4	13.4	17.9	32.8	41.8	27.4	38.8	4.5	23.9	7.5
	女性	295	12.2	10.8	29.2	36.9	28.8	30.8	30.8	6.8	24.7	5.4
年齢	20歳代	57	3.5	14.0	38.6	54.4	35.1	21.1	38.6	3.5	17.5	12.3
	30歳代	76	15.8	5.3	28.9	40.8	36.8	23.7	42.1	5.3	18.4	3.9
	40歳代	84	19.0	9.5	21.4	28.6	29.8	31.0	28.6	14.3	15.5	9.5
	50歳代	56	19.6	7.1	17.9	46.4	37.5	35.7	32.1	3.6	25.0	5.4
	60歳代	80	10.0	13.8	25.0	45.0	28.8	41.3	26.3	6.3	31.3	1.3
	70歳以上	142	6.3	16.9	20.4	19.0	36.6	25.4	36.6	2.8	31.7	6.3

		全体	学校にしつけなどを頼りすぎている	その他	特に問題はない	無回答
全体		497	24.9	6.2	3.0	2.4
性別	男性	201	28.9	6.5	3.0	1.5
	女性	295	22.4	6.1	3.1	2.7
年齢	20歳代	57	19.3	1.8	5.3	0.0
	30歳代	76	19.7	5.3	2.6	2.6
	40歳代	84	19.0	14.3	1.2	1.2
	50歳代	56	25.0	5.4	1.8	0.0
	60歳代	80	27.5	5.0	1.3	2.5
	70歳以上	142	32.4	4.9	4.9	4.2

（２）学校に期待する役割

問２　小中学校が子どもに対してどのような役割を果たすことを期待しますか。（３つまで○）

「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」が 49.5%で最も多く、次いで「ルールやマナーを守ることを身に付けさせること」が 41.6%、「自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること」が 39.2%となっています。



性別に見ると、「生きがいや将来の夢を育むこと」、「ルールやマナーを守ることを身に付けさせること」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「自立心や自主性、たくましさを身に付けさせること」、「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」という回答では女性の割合がそれぞれ多くなっています。

年齢別に見ると、「自らの意志で、自発的に学習活動を行う気持ちを育てること」という回答では30歳代から年齢が上がるにつれて概ね割合が低くなっています。「自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること」という回答では60歳代の割合が多く、「社会生活に役立つ力を身に付けさせること」という回答では20歳代の割合が多くなっています。「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が多くなっています。

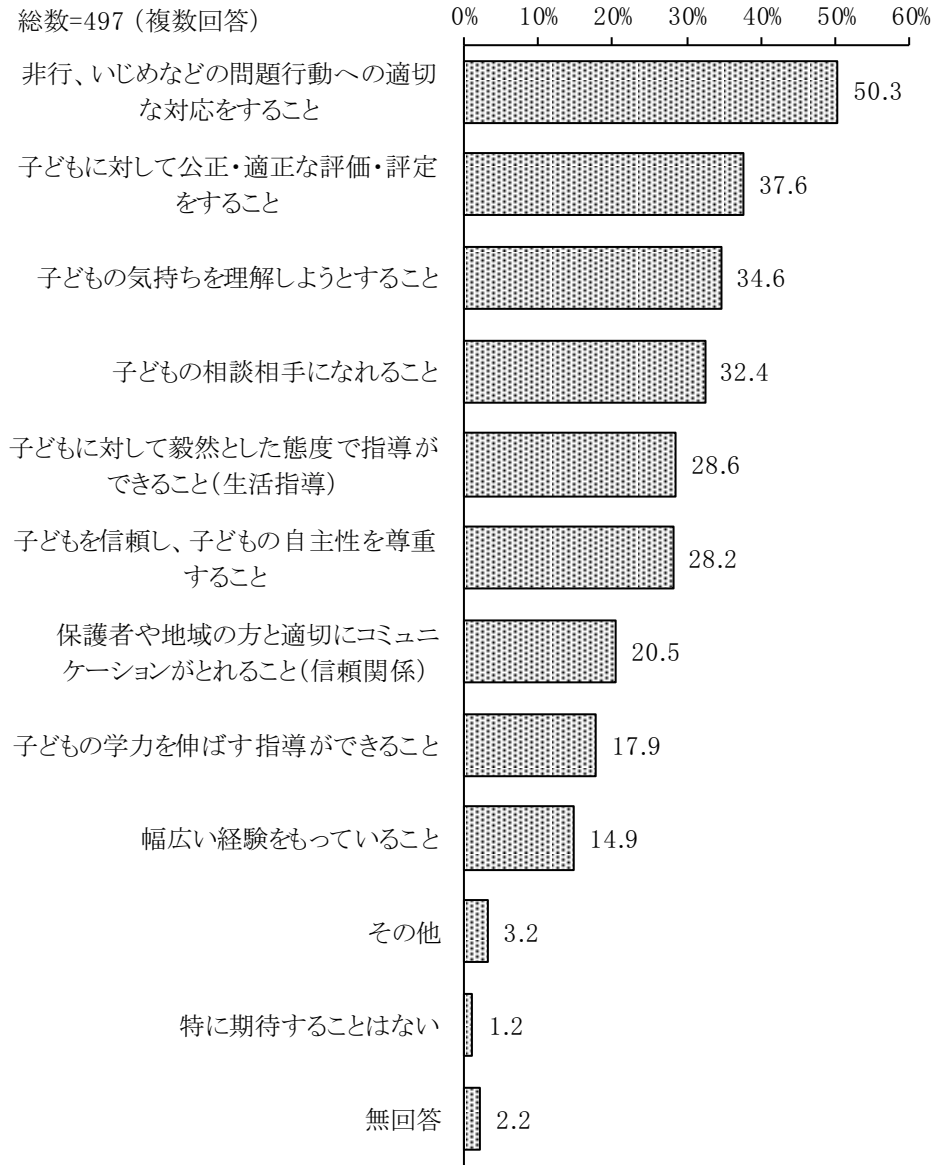
		全体	自らの意志で、自発的に学習活動を行う気持ちを育てること	基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせること	自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること	自立心や自主性、たくましさを身に付けさせること	望ましい食習慣や体力を身に付けさせること	生きがいや将来の夢を育むこと	個性を伸ばすこと	創造力（アイディア、発想力）を伸ばすこと	社会生活に役立つ力を身に付けさせること	身に付けた知識や技能を活用できるようにすること
全体		497	20.7	33.2	39.2	18.5	9.3	16.5	12.1	11.5	18.5	4.2
性別	男性	201	17.9	34.3	36.8	13.9	10.0	21.4	14.9	11.4	19.4	4.5
	女性	295	22.7	32.5	41.0	21.7	8.8	13.2	10.2	11.5	18.0	4.1
年齢	20歳代	57	17.5	35.1	33.3	10.5	10.5	14.0	17.5	12.3	31.6	5.3
	30歳代	76	34.2	28.9	39.5	22.4	6.6	22.4	7.9	11.8	19.7	10.5
	40歳代	84	27.4	40.5	42.9	16.7	8.3	16.7	7.1	11.9	20.2	6.0
	50歳代	56	23.2	41.1	37.5	17.9	5.4	16.1	7.1	12.5	21.4	0.0
	60歳代	80	12.5	40.0	50.0	16.3	8.8	12.5	18.8	8.8	15.0	1.3
	70歳以上	142	14.8	23.2	33.8	22.5	12.7	16.9	13.4	12.0	12.0	2.8

		全体	思いやりや優しさなど豊かな心を育てること	ルールやマナーを守ることを身に付けさせること	その他	特に期待することはない	無回答
全体		497	49.5	41.6	1.4	1.4	2.4
性別	男性	201	45.3	45.3	2.5	0.5	2.5
	女性	295	52.5	39.3	0.7	2.0	2.0
年齢	20歳代	57	40.4	47.4	3.5	1.8	0.0
	30歳代	76	47.4	31.6	1.3	0.0	1.3
	40歳代	84	50.0	39.3	1.2	0.0	0.0
	50歳代	56	51.8	42.9	0.0	1.8	0.0
	60歳代	80	50.0	41.3	1.3	3.8	0.0
	70歳以上	142	53.5	46.5	1.4	1.4	7.0

（３）教師に期待すること

問３　小中学校の教師にどのようなことを期待しますか。（３つまで○）

「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」が 50.3%で最も多く、次いで「子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること」が 37.6%、「子どもの気持ちを理解しようとすること」が 34.6%となっています。



性別に見ると、「子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）」という回答では男性の割合が多く、「子どもの気持ちを理解しようとすること」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「子どもの気持ちを理解しようとすること」、「子どもの学力を伸ばす指導ができること」という回答では30歳代から年齢が上がるにつれて割合が少なくなっています。「子どもの相談相手になれること」という回答では70歳以上の割合が多くなっています。「子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）」という回答では20歳代の割合が少なく、「保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）」という回答では30歳代の割合が少なくなっています。

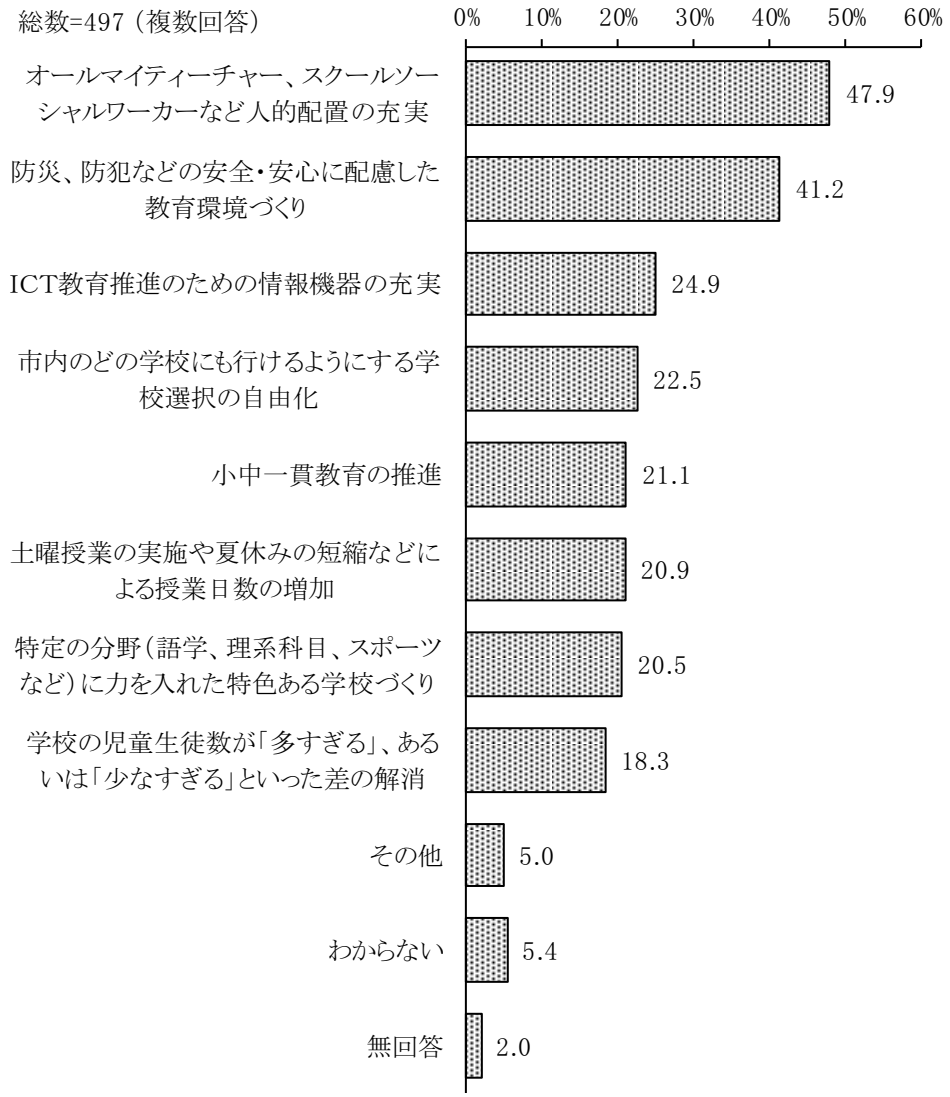
		全体	子どもの気持ちを理解しようとすること	子どもの学力を伸ばす指導ができること	子どもの相談相手になれること	子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）	非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること	子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること	子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること	保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）	幅広い経験をもっていること	その他
全体		497	34.6	17.9	32.4	28.6	50.3	37.6	28.2	20.5	14.9	3.2
性別	男性	201	27.9	17.4	33.8	33.3	52.7	34.8	25.9	22.9	14.4	6.0
	女性	295	39.3	18.0	31.5	25.1	48.8	39.3	29.8	19.0	15.3	1.4
年齢	20歳代	57	38.6	17.5	35.1	15.8	49.1	38.6	33.3	26.3	12.3	1.8
	30歳代	76	48.7	25.0	34.2	27.6	51.3	36.8	26.3	11.8	15.8	5.3
	40歳代	84	39.3	23.8	28.6	34.5	39.3	40.5	21.4	23.8	13.1	6.0
	50歳代	56	37.5	21.4	21.4	30.4	55.4	37.5	28.6	19.6	16.1	3.6
	60歳代	80	36.3	16.3	22.5	28.8	56.3	43.8	18.8	21.3	17.5	3.8
	70歳以上	142	20.4	9.9	43.0	28.9	52.1	31.7	36.6	21.1	14.8	0.7

		全体	特に期待することはない	無回答
全体		497	1.2	2.2
性別	男性	201	0.5	1.5
	女性	295	1.7	2.7
年齢	20歳代	57	1.8	0.0
	30歳代	76	0.0	1.3
	40歳代	84	0.0	0.0
	50歳代	56	1.8	1.8
	60歳代	80	3.8	1.3
	70歳以上	142	0.7	5.6

（４）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと

問４　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（３つまで○）

「オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実」が 47.9％で最も多く、次いで「防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり」が 41.2％、「ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実」が 24.9％となっています。



性別に見ると、「小中一貫教育の推進」、「ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり」、「土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加」という回答では女性の割合がそれぞれ多くなっています。

年齢別に見ると、「市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化」という回答では20歳代の割合が多く、「オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実」という回答では50歳代と60歳代の割合が多く、「土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加」という回答では40歳代の割合が多くなっています。

		全体	学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消	市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化	小中一貫教育の推進	特定の分野（語学、理系科目、スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり	オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実	ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実	防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり	土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加	その他	わからない
全体		497	18.3	22.5	21.1	20.5	47.9	24.9	41.2	20.9	5.0	5.4
性別	男性	201	15.9	23.4	27.9	22.4	46.3	32.8	37.3	14.4	4.5	6.0
	女性	295	19.7	21.7	16.3	19.3	49.2	19.7	44.1	25.4	5.4	5.1
年齢	20歳代	57	22.8	36.8	19.3	19.3	47.4	31.6	35.1	5.3	7.0	7.0
	30歳代	76	17.1	26.3	14.5	25.0	47.4	35.5	46.1	17.1	6.6	2.6
	40歳代	84	22.6	16.7	20.2	20.2	46.4	19.0	35.7	35.7	11.9	3.6
	50歳代	56	12.5	17.9	19.6	19.6	58.9	14.3	44.6	23.2	3.6	5.4
	60歳代	80	18.8	18.8	20.0	21.3	58.8	32.5	37.5	17.5	2.5	7.5
	70歳以上	142	16.2	21.8	26.8	19.0	38.7	20.4	45.8	21.8	1.4	6.3

		全体	無回答
全体		497	2.0
性別	男性	201	1.5
	女性	295	2.4
年齢	20歳代	57	0.0
	30歳代	76	2.6
	40歳代	84	0.0
	50歳代	56	0.0
	60歳代	80	1.3
	70歳以上	142	4.9

３　家庭や地域の教育について

（１）学校、家庭、地域の役割

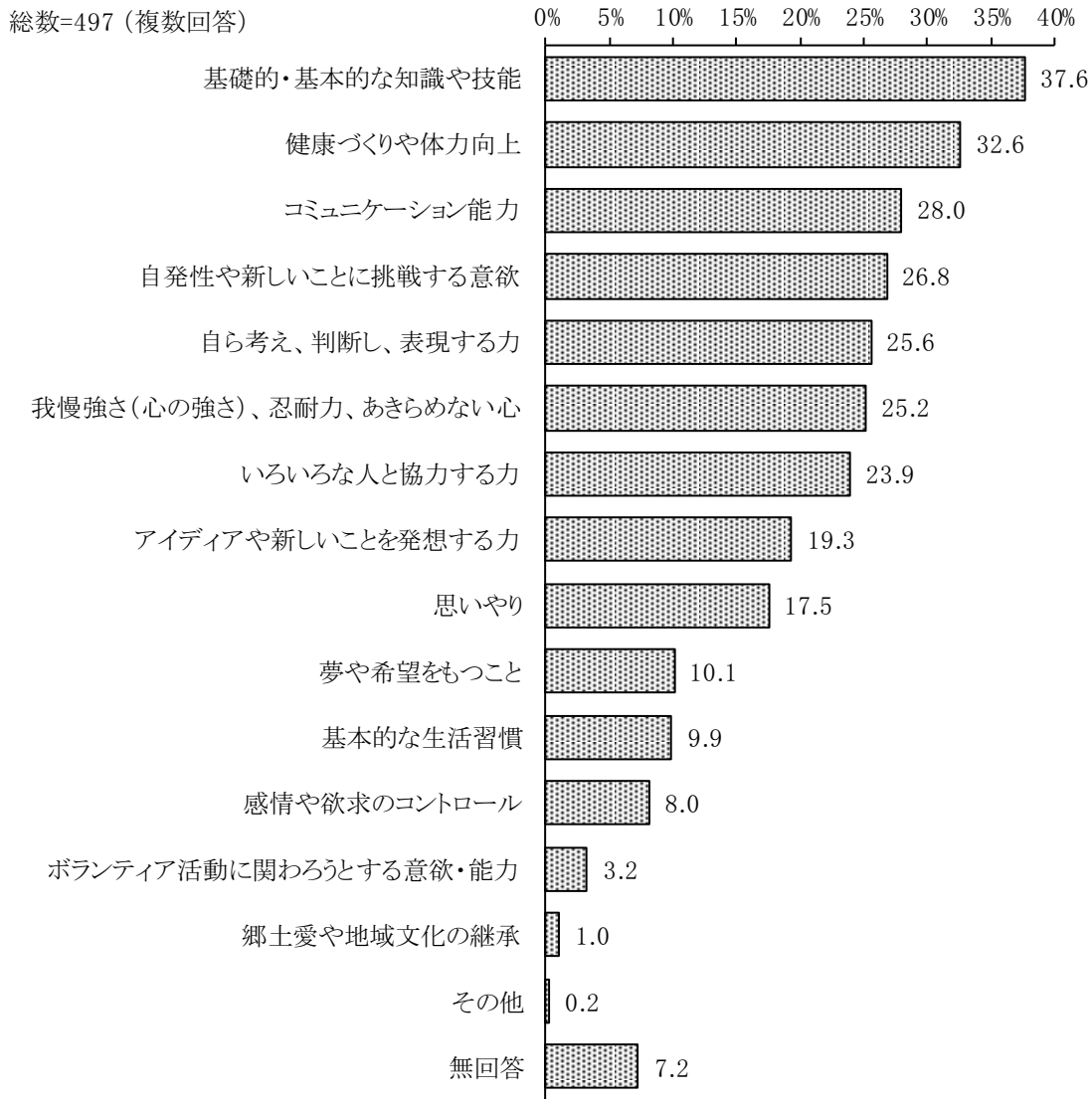
問５　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ３つまで番号を選んでください）

※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。
なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。

※「15. その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割

「基礎的・基本的な知識や技能」が 37.6％で最も多く、次いで「健康づくりや体力向上」が 32.6％、「コミュニケーション能力」が 28.0％となっています。



性別に見ると、「基本的な生活習慣」、「感情や欲求のコントロール」、「アイディアや新しいことを発想する力」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「いろいろな人と協力する力」、「自ら考え、判断し、表現する力」という回答では女性の割合がそれぞれ多くなっています。

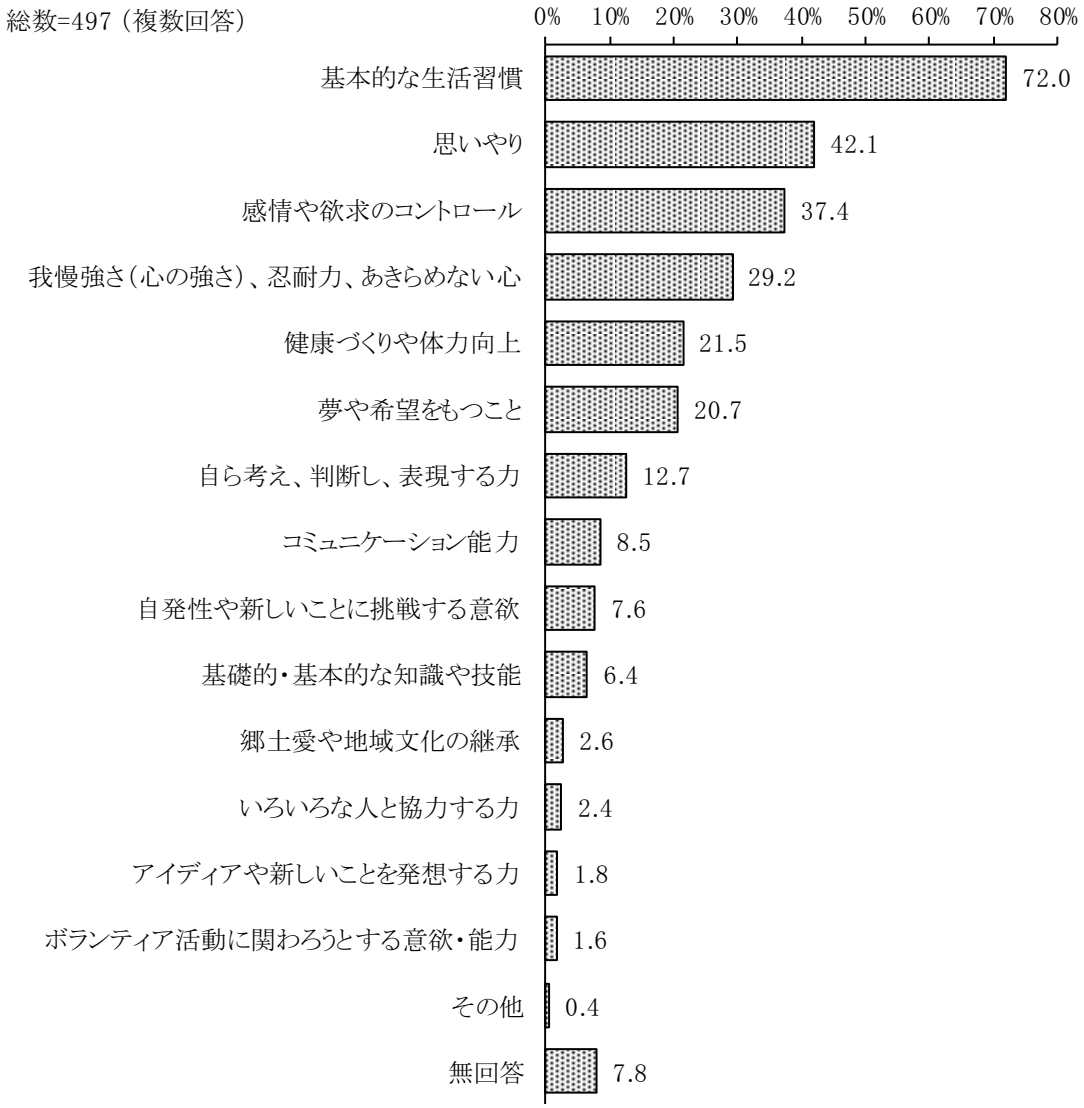
年齢別に見ると、「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」という回答では 40 歳代の割合が多く、「基礎的・基本的な知識や技能」という回答では 50 歳代の割合が多くなっています。「いろいろな人と協力する力」という回答では 30 歳代から年齢が上がるにつれて割合が少なくなっています。「コミュニケーション能力」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。

		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイディアや新しいことを発想する力	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		497	32.6	9.9	8.0	19.3	26.8	25.2	17.5	10.1	23.9	3.2
性別	男性	201	34.3	12.9	10.9	22.9	25.9	23.4	14.4	9.0	20.9	4.5
	女性	295	31.5	7.8	5.8	16.9	27.5	26.4	19.3	10.8	26.1	2.4
年齢	20歳代	57	26.3	3.5	15.8	15.8	22.8	29.8	24.6	5.3	28.1	5.3
	30歳代	76	31.6	7.9	9.2	17.1	19.7	28.9	19.7	11.8	34.2	0.0
	40歳代	84	26.2	8.3	8.3	15.5	26.2	35.7	25.0	9.5	33.3	3.6
	50歳代	56	37.5	8.9	8.9	19.6	26.8	23.2	10.7	16.1	26.8	1.8
	60歳代	80	31.3	13.8	2.5	22.5	30.0	21.3	16.3	10.0	16.3	2.5
	70歳以上	142	38.7	12.7	6.3	22.5	31.0	18.3	12.0	9.2	14.1	4.9

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		497	28.0	1.0	37.6	25.6	0.2	7.2
性別	男性	201	25.9	2.0	35.8	20.9	0.0	8.5
	女性	295	29.5	0.3	38.6	28.8	0.3	6.4
年齢	20歳代	57	43.9	0.0	40.4	24.6	0.0	3.5
	30歳代	76	40.8	1.3	36.8	27.6	0.0	3.9
	40歳代	84	36.9	1.2	40.5	20.2	0.0	1.2
	50歳代	56	21.4	0.0	48.2	25.0	0.0	3.6
	60歳代	80	28.8	2.5	35.0	32.5	1.3	8.8
	70歳以上	142	12.0	0.7	31.7	23.9	0.0	14.8

②家庭の役割

「基本的な生活習慣」が 72.0%で最も多く、次いで「思いやり」が 42.1%、「感情や欲求のコントロール」が 37.4%となっています。



性別に見ると、「基本的な生活習慣」、「思いやり」という回答では女性の割合がそれぞれ多くなっています。

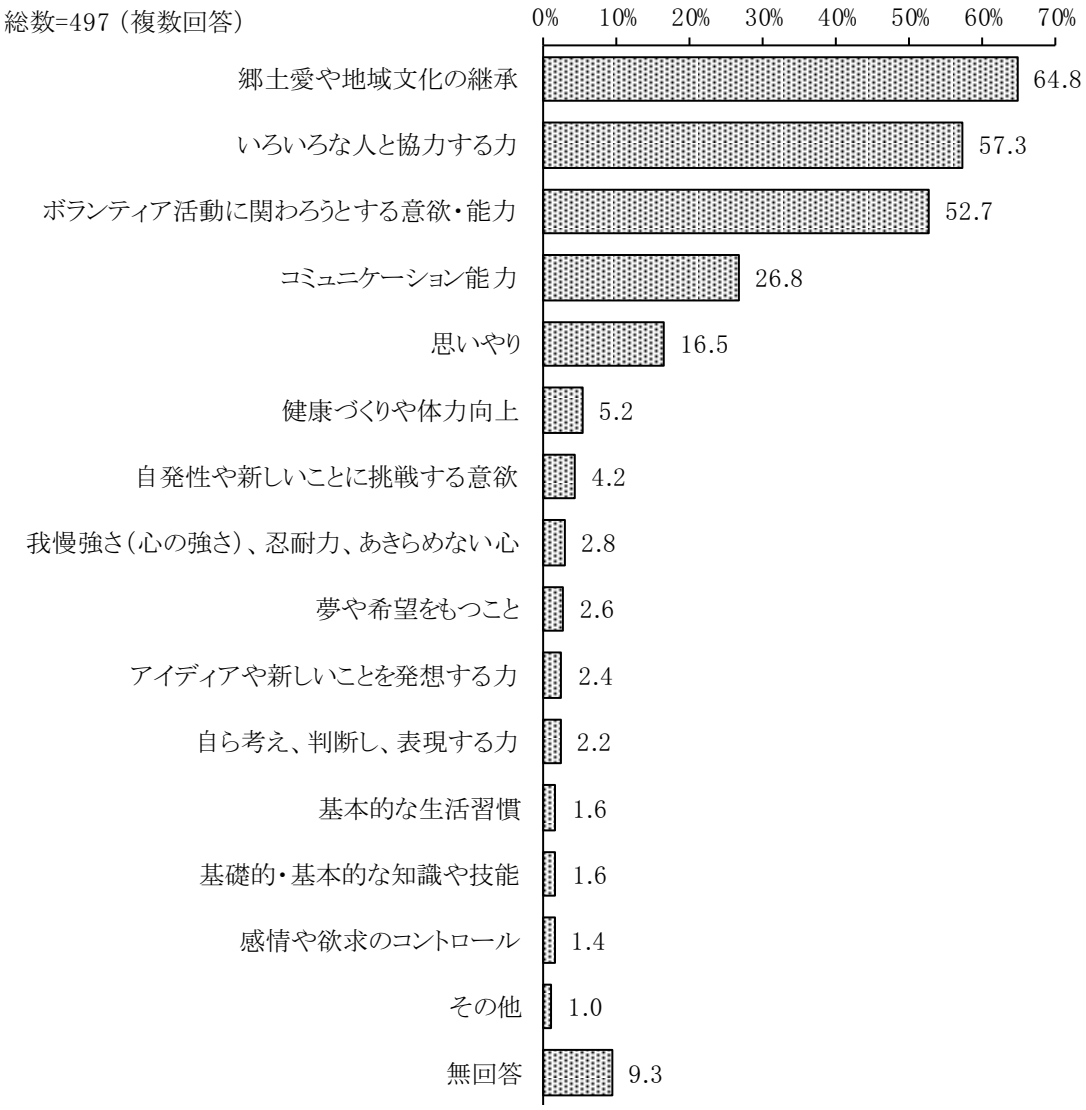
年齢別に見ると、「基本的な生活習慣」、「感情や欲求のコントロール」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が多くなっています。「思いやり」という回答では50歳代の割合が多くなっています。

		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイデアや新しいことを発想する力	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		497	21.5	72.0	37.4	1.8	7.6	29.2	42.1	20.7	2.4	1.6
性別	男性	201	20.9	66.2	36.3	2.5	10.0	29.9	35.3	20.4	2.5	3.0
	女性	295	22.0	75.9	38.0	1.4	6.1	28.8	46.4	21.0	2.4	0.7
年齢	20歳代	57	15.8	87.7	52.6	1.8	14.0	12.3	38.6	21.1	0.0	0.0
	30歳代	76	21.1	80.3	42.1	2.6	3.9	23.7	47.4	27.6	2.6	1.3
	40歳代	84	29.8	72.6	51.2	2.4	9.5	22.6	39.3	22.6	3.6	2.4
	50歳代	56	12.5	78.6	41.1	0.0	5.4	28.6	57.1	19.6	1.8	1.8
	60歳代	80	21.3	70.0	32.5	3.8	8.8	36.3	41.3	13.8	1.3	0.0
	70歳以上	142	23.2	59.2	21.1	0.7	6.3	39.4	36.6	20.4	3.5	2.8

		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		497	8.5	2.6	6.4	12.7	0.4	7.8
性別	男性	201	9.5	4.0	7.5	14.9	0.0	9.5
	女性	295	7.8	1.7	5.8	11.2	0.7	6.8
年齢	20歳代	57	12.3	1.8	10.5	12.3	1.8	3.5
	30歳代	76	9.2	2.6	6.6	11.8	0.0	3.9
	40歳代	84	11.9	0.0	6.0	16.7	0.0	2.4
	50歳代	56	10.7	1.8	5.4	12.5	0.0	3.6
	60歳代	80	3.8	3.8	10.0	15.0	1.3	8.8
	70歳以上	142	5.6	4.2	3.5	9.9	0.0	16.2

③地域の役割

「郷土愛や地域文化の継承」が 64.8%で最も多く、次いで「いろいろな人と協力する力」が 57.3%、「ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力」が 52.7%となっています。



性別に見ると、「ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「いろいろな人と協力する力」という回答では30歳代から年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。「コミュニケーション能力」という回答では20歳代の割合が多くなっています。「郷土愛や地域文化の継承」という回答では60歳代、70歳以上の割合がそれぞれ少なくなっています。

		全体	健康づくりや体力向上	基本的な生活習慣	感情や欲求のコントロール	アイデアや新しいことを発想する力	自発性や新しいことに挑戦する意欲	我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	思いやり	夢や希望をもつこと	いろいろな人と協力する力	ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
全体		497	5.2	1.6	1.4	2.4	4.2	2.8	16.5	2.6	57.3	52.7
性別	男性	201	5.5	2.5	2.0	2.5	4.0	4.5	15.9	2.0	56.7	47.8
	女性	295	5.1	0.7	1.0	2.4	4.4	1.7	16.6	3.1	57.6	56.3
年齢	20歳代	57	8.8	0.0	0.0	1.8	5.3	0.0	12.3	3.5	59.6	47.4
	30歳代	76	2.6	1.3	0.0	1.3	5.3	3.9	15.8	5.3	67.1	52.6
	40歳代	84	2.4	0.0	1.2	3.6	3.6	1.2	17.9	0.0	65.5	56.0
	50歳代	56	7.1	3.6	1.8	0.0	3.6	7.1	10.7	0.0	55.4	58.9
	60歳代	80	1.3	3.8	2.5	0.0	7.5	2.5	20.0	7.5	60.0	50.0
	70歳以上	142	7.7	0.7	2.1	4.9	2.1	2.8	16.9	0.7	45.8	52.8

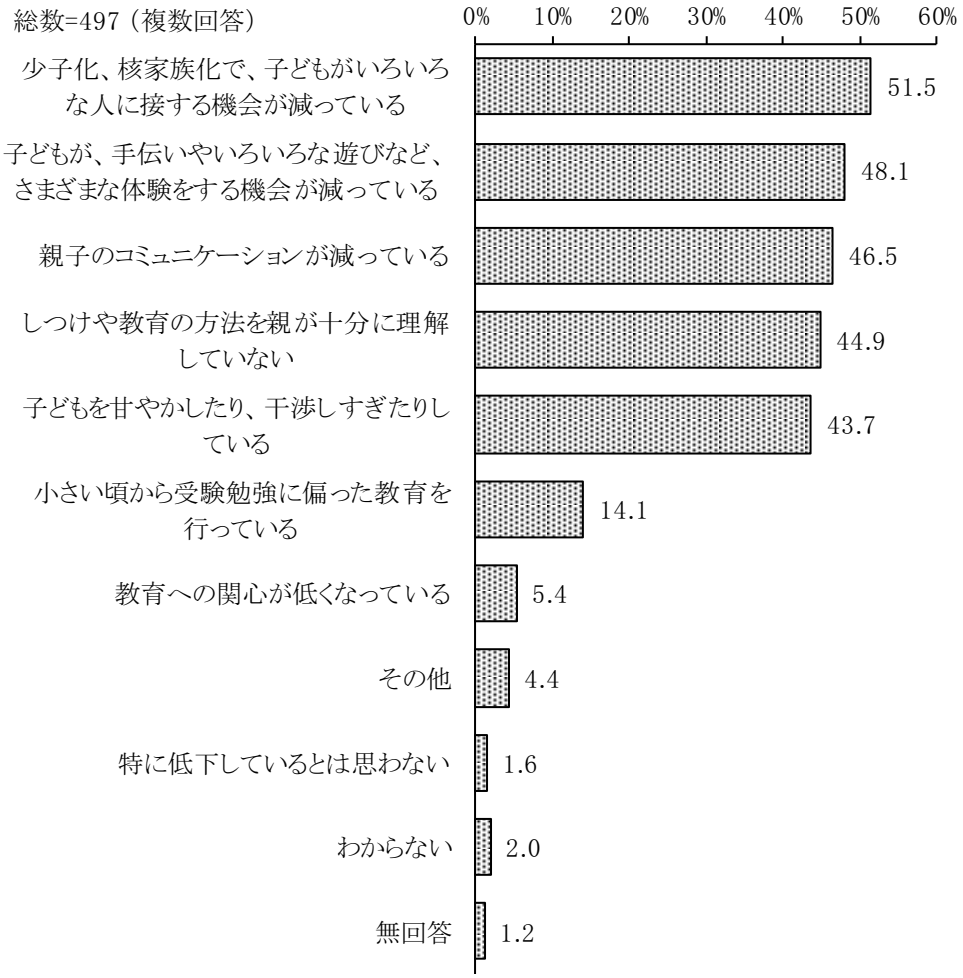
		全体	コミュニケーション能力	郷土愛や地域文化の継承	基礎的・基本的な知識や技能	自ら考え、判断し、表現する力	その他	無回答
全体		497	26.8	64.8	1.6	2.2	1.0	9.3
性別	男性	201	25.4	63.2	1.0	2.0	0.0	11.4
	女性	295	27.8	66.1	2.0	2.4	1.7	7.8
年齢	20歳代	57	42.1	70.2	1.8	1.8	1.8	5.3
	30歳代	76	27.6	68.4	1.3	5.3	0.0	6.6
	40歳代	84	36.9	72.6	1.2	1.2	2.4	2.4
	50歳代	56	16.1	76.8	0.0	0.0	0.0	5.4
	60歳代	80	23.8	57.5	1.3	1.3	2.5	8.8
	70歳以上	142	20.4	55.6	2.8	2.8	0.0	18.3

（２）家庭の教育力が低下している原因

問６　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「家庭の教育力」とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が 51.5％で最も多く、次いで「子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている」が 48.1％、「親子のコミュニケーションが減っている」が 46.5％となっています。



性別に見ると、「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」、「しつけや教育の方法を親が十分に理解していない」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている」、「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」という回答では女性の割合がそれぞれ多くなっています。

年齢別に見ると、「親子のコミュニケーションが減っている」という回答では20歳代の割合が多くなっています。「しつけや教育の方法を親が十分に理解していない」という回答では40歳代、20歳代の割合が少なくなっています。「子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている」という回答では40歳代から年齢が上がるにつれて割合が多くなっています。

		全体	親子のコミュニケーションが減っている	子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている	教育への関心が低くなっている	しつけや教育の方法を親が十分に理解していない	小さい頃から受験勉強に偏った教育を行っている	子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている	少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている	その他	特に低下しているとは思わない	わからない
全体		497	46.5	43.7	5.4	44.9	14.1	48.1	51.5	4.4	1.6	2.0
性別	男性	201	45.3	46.8	6.0	48.8	16.9	41.8	45.8	4.5	1.5	2.5
	女性	295	47.1	41.7	5.1	42.4	12.2	52.2	55.3	4.4	1.7	1.7
年齢	20歳代	57	63.2	42.1	5.3	38.6	10.5	49.1	47.4	3.5	0.0	3.5
	30歳代	76	48.7	43.4	7.9	50.0	7.9	39.5	46.1	2.6	2.6	3.9
	40歳代	84	46.4	45.2	8.3	33.3	16.7	32.1	57.1	8.3	4.8	0.0
	50歳代	56	42.9	50.0	8.9	53.6	7.1	37.5	58.9	3.6	0.0	3.6
	60歳代	80	41.3	42.5	3.8	46.3	17.5	53.8	55.0	6.3	1.3	1.3
	70歳以上	142	42.3	41.5	2.1	47.9	18.3	62.7	47.2	2.8	0.7	1.4

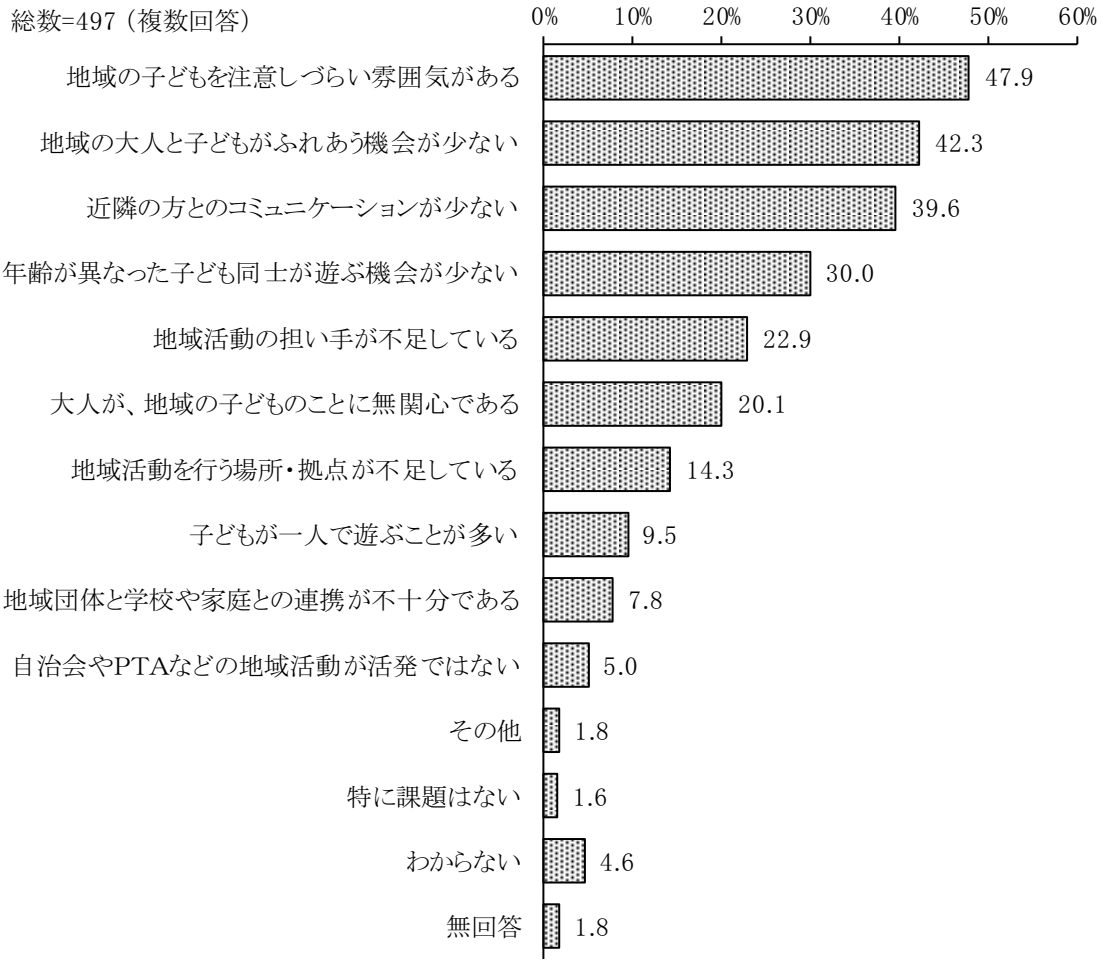
		全体	無回答
全体		497	1.2
性別	男性	201	1.0
	女性	295	1.4
年齢	20歳代	57	0.0
	30歳代	76	0.0
	40歳代	84	1.2
	50歳代	56	0.0
	60歳代	80	0.0
	70歳以上	142	3.5

（３）地域の教育力についての課題

問７　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「地域の教育力」とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

「地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある」が 47.9%で最も多く、次いで「地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない」が 42.3%、「近隣の方とのコミュニケーションが少ない」が 39.6%となっています。



性別に見ると、「大人が、地域の子どものことに無関心である」、「子どもが一人で遊ぶことが多い」という回答では男性の割合がそれぞれ多くなっています。

年齢別に見ると、「年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない」という回答では40歳代から年齢が上がるにつれて割合が多くなっています。「近隣の方とのコミュニケーションが少ない」という回答では20歳代の割合が多くなっています。

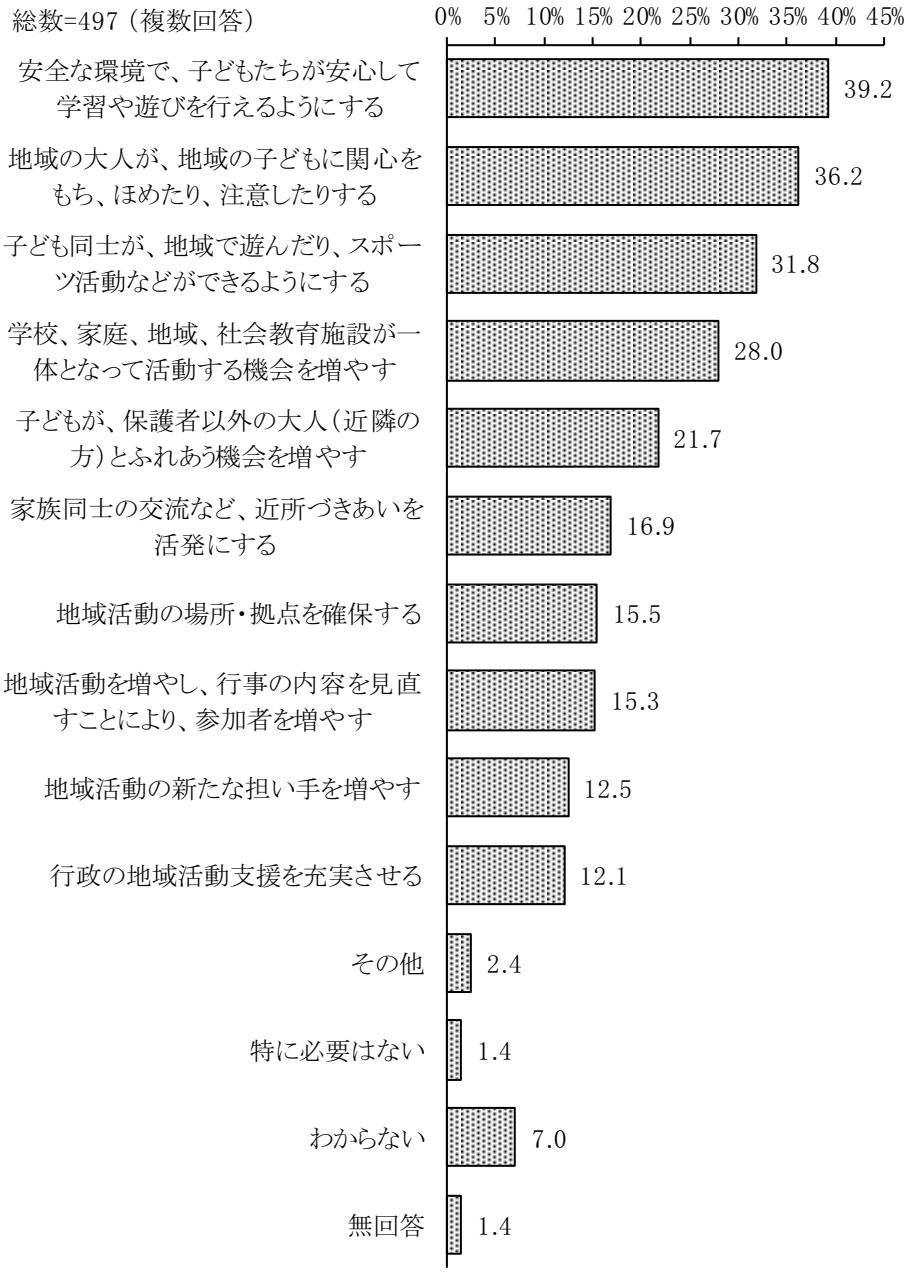
		全体	大人が、地域の子どものことに無関心である	地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある	地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない	地域活動の担い手が不足している	地域活動を行う場所・拠点が不足している	子どもが一人で遊ぶことが多い	年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない	近隣の方とのコミュニケーションが少ない	自治会やPTAなどの地域活動が活発ではない	地域団体と学校や家庭との連携が不十分である
全体		497	20.1	47.9	42.3	22.9	14.3	9.5	30.0	39.6	5.0	7.8
性別	男性	201	23.4	49.8	40.3	20.9	13.4	12.9	28.9	41.3	4.5	8.0
	女性	295	18.0	46.8	43.7	24.1	14.9	7.1	30.8	38.3	5.1	7.8
年齢	20歳代	57	19.3	47.4	45.6	29.8	10.5	5.3	22.8	50.9	3.5	12.3
	30歳代	76	15.8	51.3	40.8	22.4	15.8	9.2	23.7	34.2	1.3	6.6
	40歳代	84	25.0	47.6	39.3	19.0	9.5	9.5	19.0	40.5	3.6	10.7
	50歳代	56	17.9	51.8	44.6	28.6	12.5	3.6	30.4	33.9	3.6	5.4
	60歳代	80	22.5	46.3	43.8	23.8	11.3	13.8	36.3	41.3	3.8	7.5
	70歳以上	142	19.7	45.8	42.3	19.0	20.4	11.3	38.7	38.7	9.2	6.3

		全体	その他	特に課題はない	わからない	無回答
全体		497	1.8	1.6	4.6	1.8
性別	男性	201	2.0	0.5	6.0	2.0
	女性	295	1.7	2.4	3.7	1.7
年齢	20歳代	57	0.0	0.0	5.3	0.0
	30歳代	76	5.3	3.9	9.2	2.6
	40歳代	84	2.4	3.6	3.6	0.0
	50歳代	56	0.0	0.0	8.9	0.0
	60歳代	80	3.8	0.0	2.5	1.3
	70歳以上	142	0.0	1.4	2.1	4.2

（４）地域の教育力向上に必要な取組

問８　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（３つまで○）

「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」が 39.2%で最も多く、次いで「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」が 36.2%、「子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする」が 31.8%となっています。



性別に見ると、「地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす」、「学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」という回答では70歳以上の割合が多くなっています。「地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす」という回答では60歳代の割合が多くなっています。「学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす」という回答では20歳代、50歳代の割合が多くなっています。

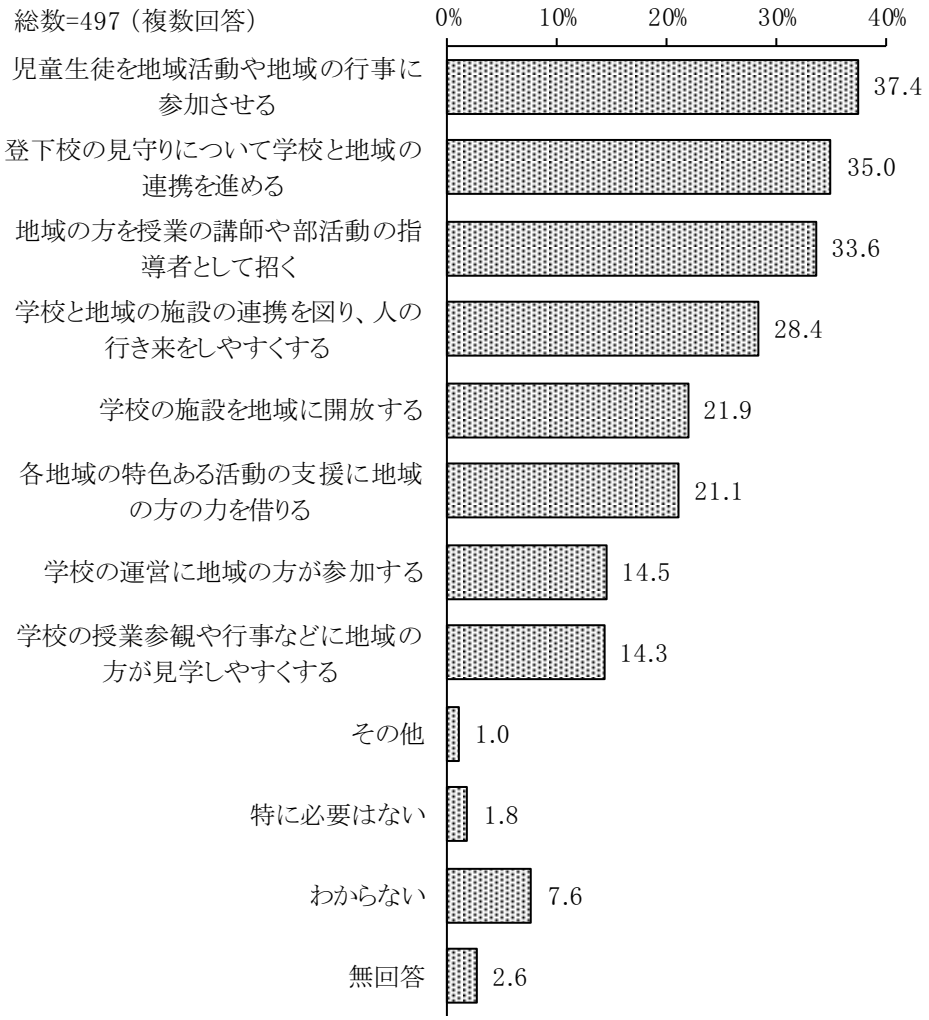
		全体	地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする	子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする	家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする	地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす	地域活動の新たな担い手を増やす	安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする	子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす	学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす	行政の地域活動支援を充実させる	地域活動の場所・拠点を確保する
全体		497	36.2	31.8	16.9	15.3	12.5	39.2	21.7	28.0	12.1	15.5
性別	男性	201	37.3	29.4	18.9	19.9	12.9	35.3	21.9	30.8	13.9	14.4
	女性	295	35.3	33.6	15.6	12.2	11.9	42.0	21.7	25.8	10.8	16.3
年齢	20歳代	57	31.6	31.6	17.5	17.5	14.0	35.1	28.1	38.6	14.0	8.8
	30歳代	76	26.3	36.8	22.4	13.2	9.2	43.4	21.1	22.4	6.6	15.8
	40歳代	84	34.5	27.4	14.3	9.5	7.1	46.4	22.6	28.6	11.9	17.9
	50歳代	56	39.3	30.4	8.9	14.3	14.3	41.1	10.7	37.5	16.1	16.1
	60歳代	80	28.8	33.8	11.3	26.3	16.3	36.3	20.0	28.8	16.3	11.3
	70歳以上	142	47.2	31.0	21.8	13.4	13.4	35.9	23.9	21.8	10.6	18.3

		全体	その他	特に必要はない	わからない	無回答
全体		497	2.4	1.4	7.0	1.4
性別	男性	201	2.5	1.5	8.0	1.0
	女性	295	2.4	1.4	6.4	1.7
年齢	20歳代	57	1.8	1.8	5.3	0.0
	30歳代	76	1.3	3.9	10.5	2.6
	40歳代	84	1.2	1.2	8.3	0.0
	50歳代	56	0.0	0.0	7.1	0.0
	60歳代	80	6.3	2.5	5.0	0.0
	70歳以上	142	2.8	0.0	6.3	3.5

（５）学校と地域の連携で重要なこと

問９　学校と地域の連携についてどのような考え方が重要と思いますか。（３つまで○）

「児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる」が 37.4％で最も多く、次いで「登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める」が 35.0％、「地域の方を授業の講師や部活動の指導者として招く」が 33.6％となっています。



性別に見ると、「学校と地域の施設の連携を図り、人の行き来をしやすくする」という回答では男性の割合が多く、「地域の方を授業の講師や部活動の指導者として招く」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「地域の方を授業の講師や部活動の指導者として招く」という回答では50歳代、20歳代の割合が多く、「学校と地域の施設の連携を図り、人の行き来をしやすくする」という回答では60歳代の割合が多く、「児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる」という回答では50歳代の割合が多く、「登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める」という回答では20歳代、30歳代の割合が多くなっています。

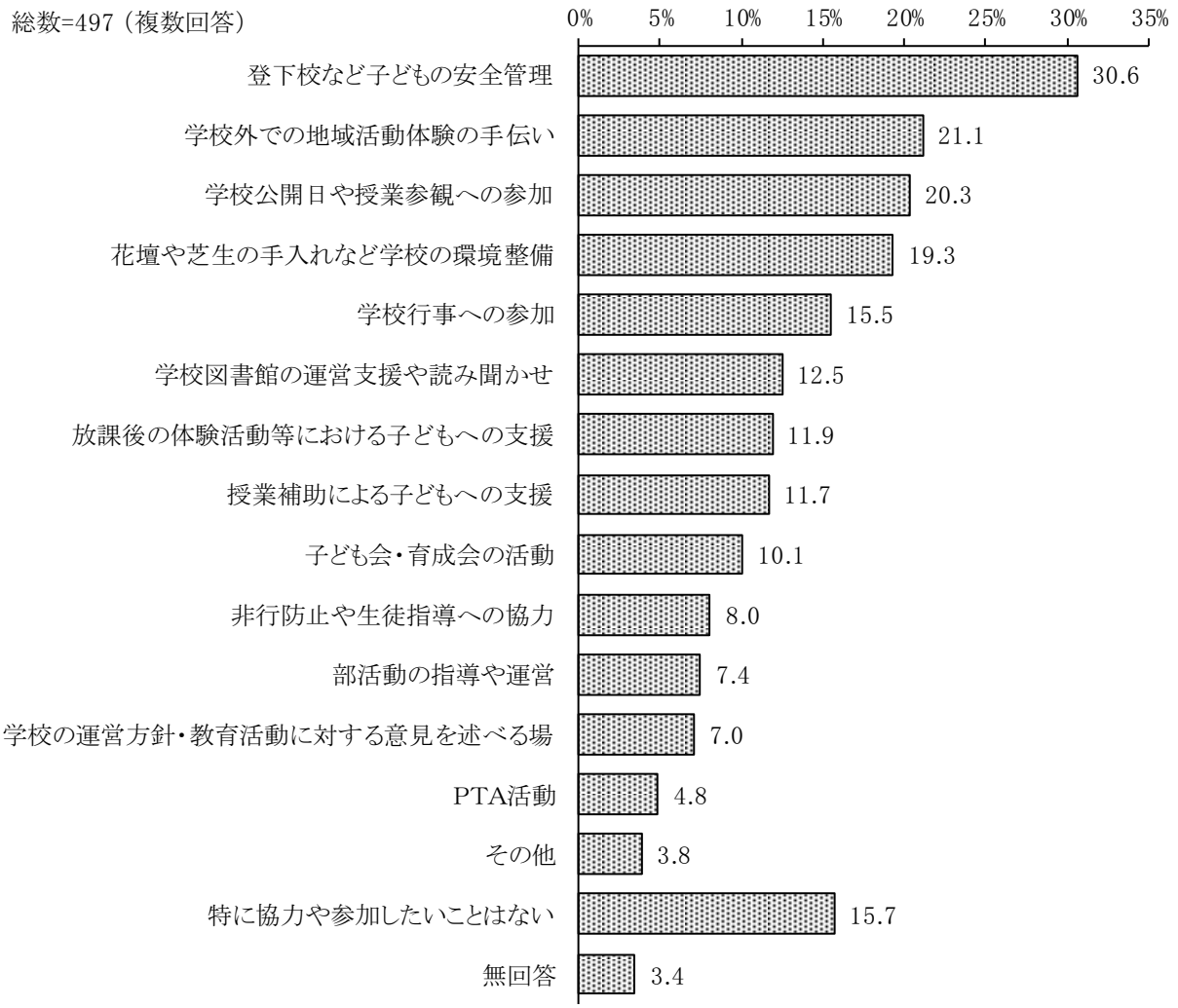
		全体	学校の運営に地域の方が参加する	地域の方を授業の講師や部活動の指導者として招く	学校の授業参観や行事などに地域の方が見学しやすくする	学校の施設を地域に開放する	学校と地域の施設の連携を図り、人の行き来をしやすくする	児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる	登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める	各地域の特色ある活動の支援に地域の方の力を借りる	その他	特に必要はない
全体		497	14.5	33.6	14.3	21.9	28.4	37.4	35.0	21.1	1.0	1.8
性別	男性	201	16.9	27.9	14.9	21.4	32.8	39.3	32.8	23.4	2.0	2.0
	女性	295	12.5	37.6	13.9	22.4	25.1	35.9	36.6	19.7	0.3	1.7
年齢	20歳代	57	22.8	45.6	14.0	17.5	24.6	35.1	43.9	24.6	0.0	1.8
	30歳代	76	15.8	21.1	17.1	17.1	23.7	44.7	43.4	17.1	0.0	1.3
	40歳代	84	16.7	36.9	11.9	20.2	28.6	27.4	29.8	21.4	2.4	1.2
	50歳代	56	7.1	46.4	16.1	17.9	26.8	50.0	30.4	17.9	0.0	1.8
	60歳代	80	8.8	32.5	12.5	27.5	36.3	33.8	33.8	23.8	1.3	3.8
	70歳以上	142	14.8	29.6	14.8	26.1	28.2	36.6	33.1	21.1	1.4	1.4

		全体	わからない	無回答
全体		497	7.6	2.6
性別	男性	201	7.0	3.5
	女性	295	8.1	2.0
年齢	20歳代	57	3.5	0.0
	30歳代	76	9.2	3.9
	40歳代	84	8.3	0.0
	50歳代	56	10.7	0.0
	60歳代	80	1.3	1.3
	70歳以上	142	10.6	6.3

（６）協力・参加してもよいと思う行事・活動

問 10　次のような行事・活動の中で今後、あなたが学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。（３つまで○）

「登下校など子どもの安全管理」が 30.6%で最も多く、次いで「学校外での地域活動体験の手伝い」が 21.1%、「学校公開日や授業参観への参加」が 20.3%となっています。



性別に見ると、「部活動の指導や運営」、「非行防止や生徒指導への協力」、「学校の運営方針・教育活動に対する意見を述べる場」、「子ども会・育成会の活動」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備」、「学校図書館の運営支援や読み聞かせ」という回答では女性の割合がそれぞれ多くなっています。

年齢別に見ると、「授業補助による子どもへの支援」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。「学校行事への参加」、「学校公開日や授業参観への参加」という回答では30歳代から年齢が上がるにつれてそれぞれ割合が少なくなっています。「花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備」という回答では20歳代から60歳代にかけて割合が多くなっています。「放課後の体験活動等における子どもへの支援」という回答では20歳代の割合が多く、「子ども会・育成会の活動」という回答では40歳代の割合が多く、「学校外での地域活動体験の手伝い」という回答では50歳代、60歳代の割合が多くなっています。

		全体	PTA活動	授業補助による子どもへの支援	放課後の体験活動等における子どもへの支援	部活動の指導や運営	登下校など子どもの安全管理	非行防止や生徒指導への協力	学校行事への参加	花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備	学校図書館の運営支援や読み聞かせ	学校の運営方針・教育活動に対する意見を述べる場
全体		497	4.8	11.7	11.9	7.4	30.6	8.0	15.5	19.3	12.5	7.0
性別	男性	201	4.5	10.9	14.4	11.9	28.4	10.9	15.9	13.9	6.5	11.4
	女性	295	5.1	12.2	10.2	4.4	31.9	5.8	15.3	23.1	16.6	4.1
年齢	20歳代	57	3.5	21.1	22.8	14.0	24.6	5.3	21.1	7.0	21.1	7.0
	30歳代	76	10.5	14.5	9.2	7.9	31.6	2.6	26.3	11.8	10.5	11.8
	40歳代	84	13.1	13.1	6.0	9.5	17.9	2.4	23.8	16.7	8.3	4.8
	50歳代	56	0.0	8.9	12.5	3.6	37.5	5.4	12.5	23.2	19.6	1.8
	60歳代	80	2.5	12.5	15.0	5.0	32.5	5.0	8.8	30.0	8.8	11.3
	70歳以上	142	0.7	6.3	10.6	6.3	35.9	17.6	7.7	22.5	12.0	5.6

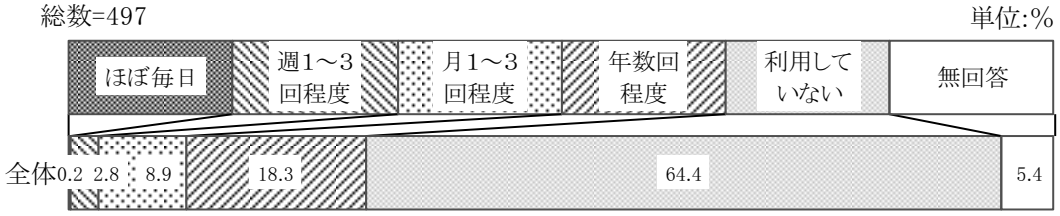
		全体	学校公開日や授業参観への参加	子ども会・育成会の活動	学校外での地域活動体験の手伝い	その他	特に協力や参加したいことはない	無回答
全体		497	20.3	10.1	21.1	3.8	15.7	3.4
性別	男性	201	18.9	15.4	20.4	3.0	16.9	3.5
	女性	295	21.4	6.4	21.7	4.1	14.9	3.4
年齢	20歳代	57	15.8	10.5	21.1	1.8	12.3	0.0
	30歳代	76	40.8	9.2	10.5	2.6	18.4	1.3
	40歳代	84	32.1	19.0	19.0	2.4	15.5	0.0
	50歳代	56	21.4	10.7	32.1	3.6	14.3	3.6
	60歳代	80	15.0	8.8	32.5	1.3	13.8	1.3
	70歳以上	142	7.0	5.6	17.6	7.0	16.9	9.2

４　公民館・図書館・博物館について

（１）公民館の利用頻度

問 11　川越市の公民館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）に川越市の公民館をどのくらい利用しましたか。（１つに○）

「利用していない」が 64.4%で最も多く、次いで「年数回程度」が 18.3%、「月１～３回程度」が 8.9%となっています。



性別に見ると、大きな違いは見られません。

年齢別に見ると、「利用していない」という回答は年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。

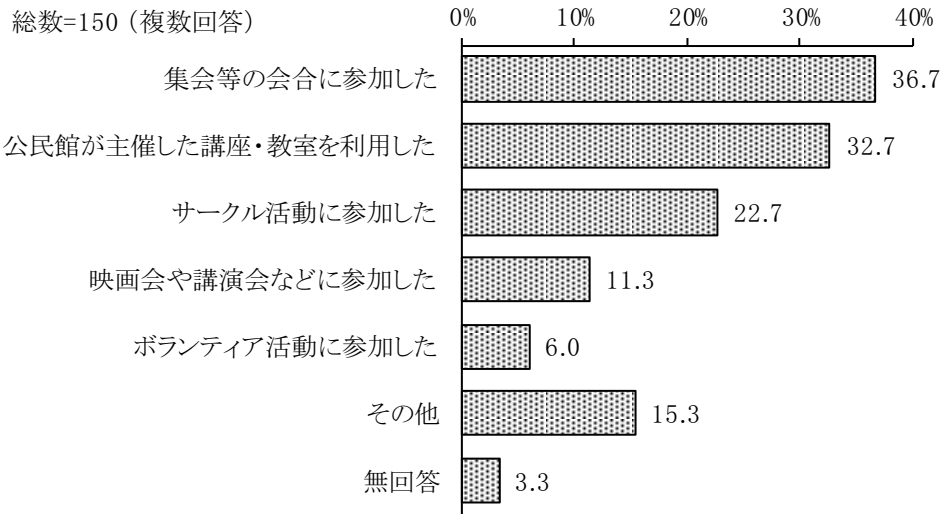
		全体	ほぼ毎日	週1～3回程度	月1～3回程度	年数回程度	利用していない	無回答
全体		497	0.2	2.8	8.9	18.3	64.4	5.4
性別	男性	201	0.0	2.5	10.0	18.4	62.7	6.5
	女性	295	0.3	3.1	8.1	18.3	65.4	4.7
年齢	20歳代	57	0.0	0.0	5.3	8.8	84.2	1.8
	30歳代	76	0.0	1.3	5.3	26.3	64.5	2.6
	40歳代	84	0.0	1.2	7.1	20.2	67.9	3.6
	50歳代	56	0.0	0.0	7.1	14.3	73.2	5.4
	60歳代	80	0.0	6.3	10.0	21.3	61.3	1.3
	70歳以上	142	0.7	4.9	12.7	16.9	52.8	12.0

（２）公民館の利用目的

【問 11 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 11－1　あなたは、公民館を利用してどのようなことを行いましたか。（○はいくつでも）

「集会等の会合に参加した」が 36.7%で最も多く、次いで「公民館が主催した講座・教室を利用した」が 32.7%、「サークル活動に参加した」が 22.7%となっています。



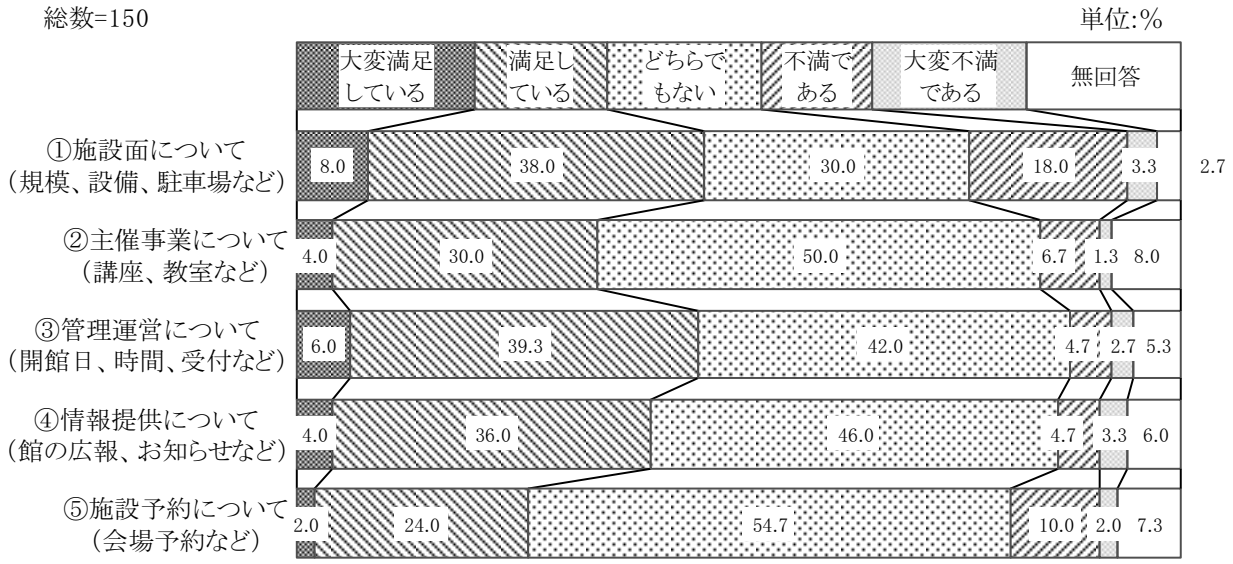
（３）公民館に対する満足度

【問 11 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 11－2　あなたは、公民館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について１つに○）

『満足している』（「大変満足している」＋「満足している」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 46.0%で最も多く、次いで「③管理運営について（開館日、時間、受付など）」が 45.3%、「④情報提供について（館の広報、お知らせなど）」が 40.0%となっています。

一方、『不満である』（「大変不満である」＋「不満である」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 21.3%で最も多く、次いで「⑤施設予約について（会場予約など）」が 12.0%、それ以外の項目は１割未満となっています。

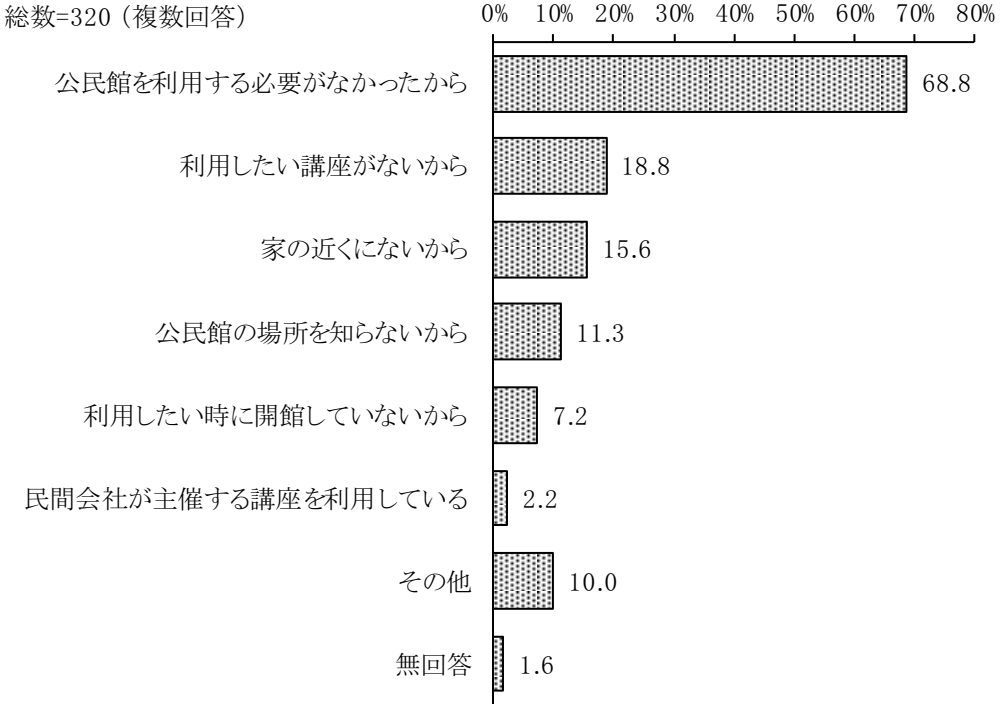


（４）公民館を利用しない理由

【問 11 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 11－3　あなたが、公民館を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

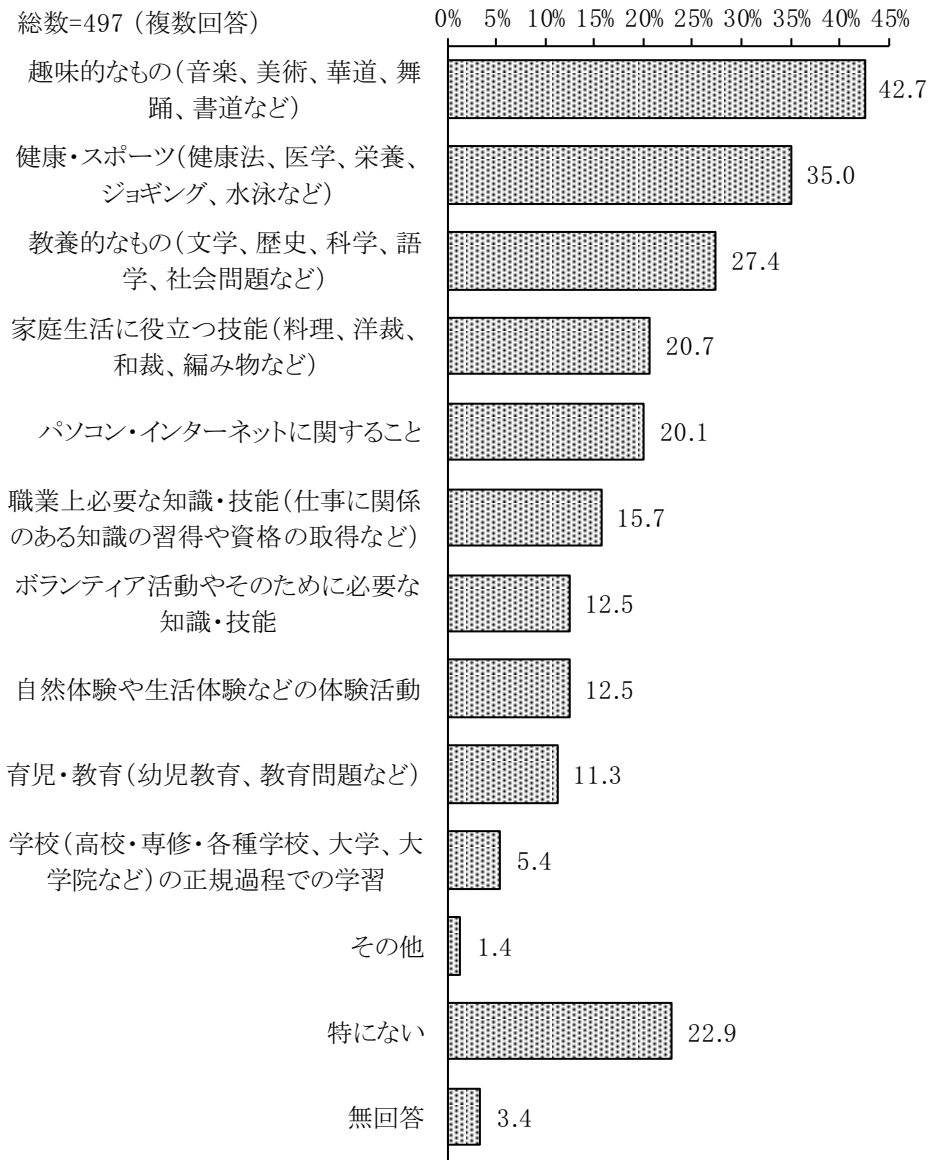
「公民館を利用する必要がなかったから」が 68.8%で最も多く、次いで「利用したい講座がないから」が 18.8%、「家の近くにないから」が 15.6%となっています。



（５）公民館で学びたいこと

問 12　あなたは、公民館においてどんなことを学びたいですか。（○はいくつでも）

「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」が 42.7％で最も多く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」が 35.0％、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）」が 27.4％となっています。



性別に見ると、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）」という回答では男性の割合が多く、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」という回答では20歳代から60歳代にかけて割合が多くなっています。「育児・教育（幼児教育、教育問題など）」、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」という回答では30歳代の割合がそれぞれ多くなっています。「ボランティア活動やそのために必要な知識・技能」という回答では50歳代の割合が多くなっています。

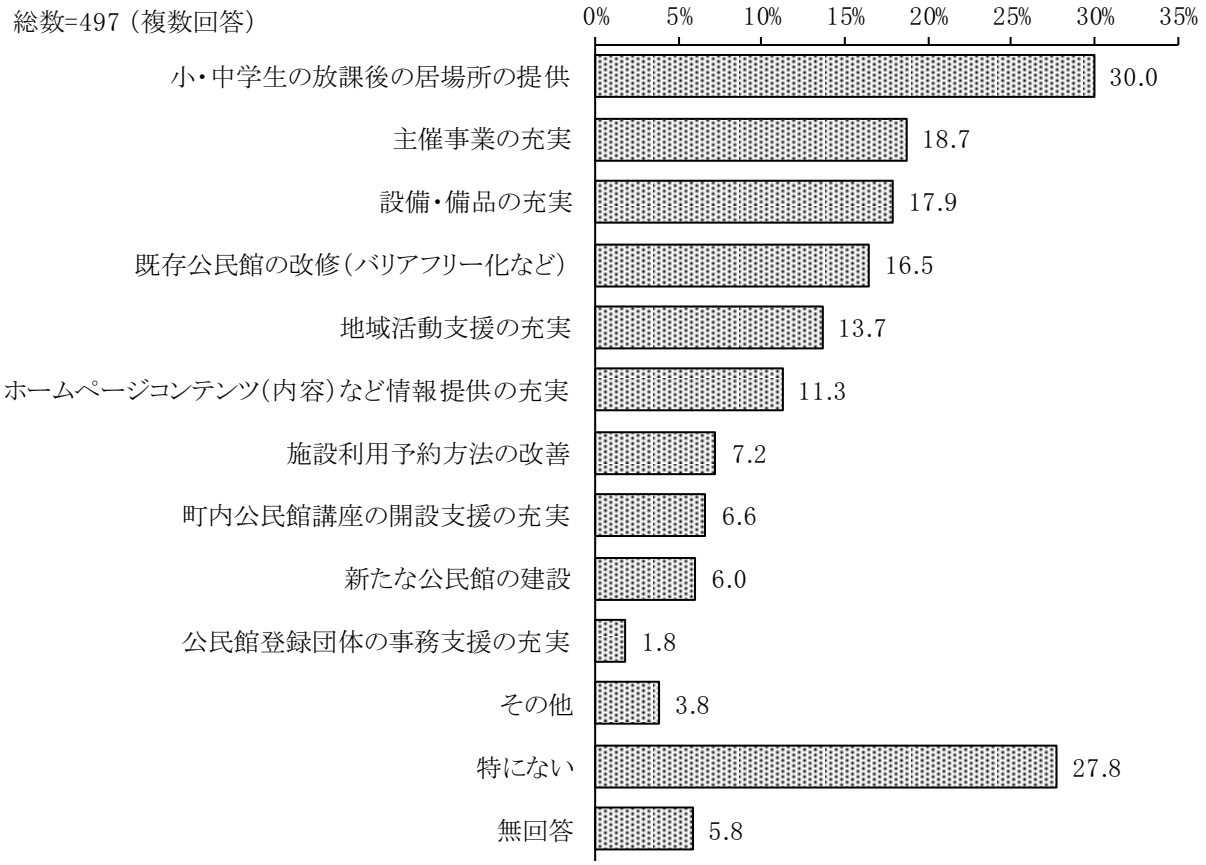
		全体	趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	育児・教育（幼児教育、教育問題など）	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	パソコン・インターネットに関すること	ボランティア活動やそのために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校（高校・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規過程での学習
全体		497	42.7	27.4	35.0	20.7	11.3	15.7	20.1	12.5	12.5	5.4
性別	男性	201	40.8	30.8	32.8	10.0	8.5	13.4	21.9	13.9	10.4	5.0
	女性	295	43.7	24.7	36.6	28.1	13.2	17.3	18.6	11.5	13.9	5.8
年齢	20歳代	57	31.6	26.3	29.8	17.5	15.8	19.3	10.5	5.3	14.0	5.3
	30歳代	76	38.2	31.6	28.9	25.0	31.6	34.2	21.1	10.5	13.2	9.2
	40歳代	84	48.8	28.6	38.1	22.6	17.9	20.2	17.9	13.1	20.2	6.0
	50歳代	56	50.0	37.5	46.4	23.2	7.1	17.9	23.2	25.0	7.1	7.1
	60歳代	80	56.3	26.3	38.8	21.3	1.3	10.0	17.5	16.3	12.5	2.5
	70歳以上	142	34.5	20.4	32.4	17.6	2.1	4.2	24.6	9.2	8.5	4.2

		全体	その他	特にない	無回答
全体		497	1.4	22.9	3.4
性別	男性	201	0.5	24.9	3.0
	女性	295	2.0	21.7	3.7
年齢	20歳代	57	1.8	36.8	0.0
	30歳代	76	0.0	22.4	1.3
	40歳代	84	1.2	20.2	0.0
	50歳代	56	3.6	8.9	5.4
	60歳代	80	2.5	22.5	0.0
	70歳以上	142	0.7	25.4	9.2

（６）公民館への要望

問 13　これからの公民館に要望したいことは何ですか。（３つまで○）

「小・中学生の放課後の居場所の提供」が 30.0％で最も多く、次いで「主催事業の充実」が 18.7％、「設備・備品の充実」が 17.9％となっています。



性別に見ると、「ホームページコンテンツ（内容）など提供情報の充実」という回答では男性の割合が多く、「小・中学生の放課後の居場所の提供」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「ホームページコンテンツ（内容）など提供情報の充実」という回答では40歳代の割合が多くなっています。「小・中学生の放課後の居場所の提供」という回答では30歳代から年齢が上がるにつれて割合が少なくなっています。

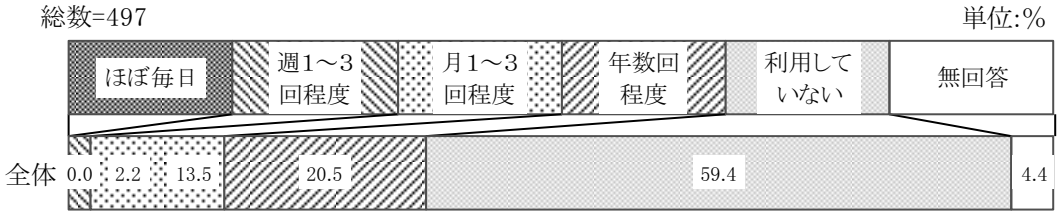
		全体	新たな公民館の建設	既存公民館の改修（バリアフリー化など）	設備・備品の充実	主催事業の充実	公民館登録団体の事務支援の充実	町内公民館講座の開設支援の充実	地域活動支援の充実	ホームページコンテンツ（内容）など提供情報の充実	施設利用予約方法の改善	小・中学生の放課後の居場所の提供
全体		497	6.0	16.5	17.9	18.7	1.8	6.6	13.7	11.3	7.2	30.0
性別	男性	201	6.5	15.4	20.4	19.4	2.0	8.0	14.9	14.9	6.0	23.9
	女性	295	5.8	17.3	16.3	18.3	1.7	5.8	12.9	8.8	8.1	34.2
年齢	20歳代	57	7.0	12.3	21.1	17.5	1.8	8.8	12.3	1.8	10.5	24.6
	30歳代	76	6.6	14.5	25.0	9.2	0.0	3.9	7.9	14.5	10.5	43.4
	40歳代	84	8.3	14.3	25.0	21.4	1.2	1.2	19.0	21.4	6.0	42.9
	50歳代	56	1.8	10.7	12.5	25.0	0.0	3.6	19.6	14.3	14.3	33.9
	60歳代	80	11.3	20.0	20.0	21.3	1.3	8.8	16.3	12.5	2.5	23.8
	70歳以上	142	2.8	20.4	9.9	19.0	4.2	10.6	10.6	5.6	4.9	19.7

		全体	その他	特にない	無回答
全体		497	3.8	27.8	5.8
性別	男性	201	4.5	27.9	6.0
	女性	295	3.4	27.5	5.8
年齢	20歳代	57	5.3	38.6	0.0
	30歳代	76	1.3	26.3	3.9
	40歳代	84	4.8	19.0	1.2
	50歳代	56	5.4	23.2	8.9
	60歳代	80	3.8	23.8	3.8
	70歳以上	142	3.5	33.1	12.0

（７）図書館の利用頻度

問 14　川越市の図書館についておたずねします。あなたは、川越市の図書館をこの１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい利用しましたか。（１つに○）

「利用していない」が 59.4％で最も多く、次いで「年数回程度」が 20.5％、「月１～３回程度」が 13.5％となっています。



性別、年齢別では、大きな違いは見られません。

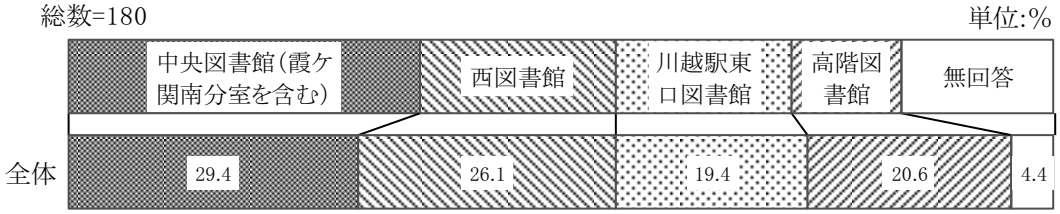
		全体	ほぼ毎日	週1～3回程度	月1～3回程度	年数回程度	利用していない	無回答
全体		497	0.0	2.2	13.5	20.5	59.4	4.4
性別	男性	201	0.0	3.5	15.9	19.4	57.2	4.0
	女性	295	0.0	1.4	11.9	21.4	60.7	4.7
年齢	20歳代	57	0.0	5.3	10.5	19.3	63.2	1.8
	30歳代	76	0.0	1.3	11.8	22.4	61.8	2.6
	40歳代	84	0.0	2.4	17.9	21.4	54.8	3.6
	50歳代	56	0.0	0.0	12.5	26.8	57.1	3.6
	60歳代	80	0.0	0.0	17.5	20.0	57.5	5.0
	70歳以上	142	0.0	3.5	11.3	17.6	60.6	7.0

（８）最も利用する図書館

【問 14 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 14－1　あなたが、最も利用する図書館は、次のどの図書館ですか。（１つに○）

「中央図書館（霞ケ関南分室を含む）」が 29.4％で最も多く、次いで「西図書館」が 26.1％、「高階図書館」が 20.6％となっています。

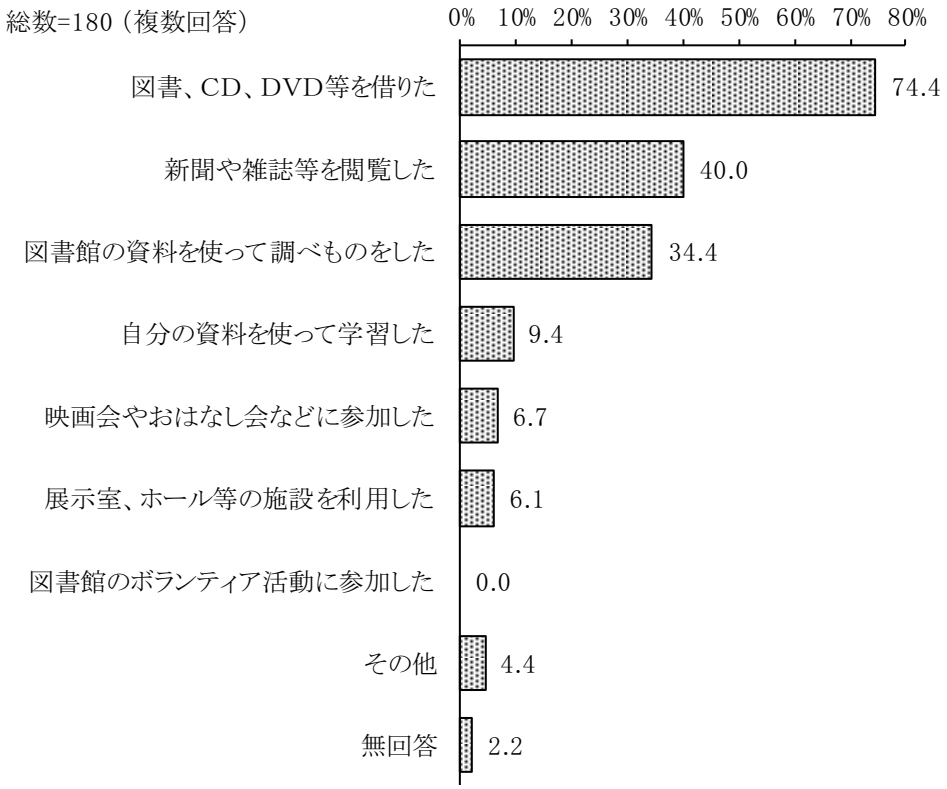


（９）図書館の利用目的

【問 14 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 14－2　あなたは、図書館に行ってどのようなことをしましたか。（○はいくつでも）

「図書、ＣＤ、ＤＶＤ等を借りた」が 74.4％で最も多く、次いで「新聞や雑誌等を閲覧した」が 40.0％、「図書館の資料を使って調べものをした」が 34.4％となっています。



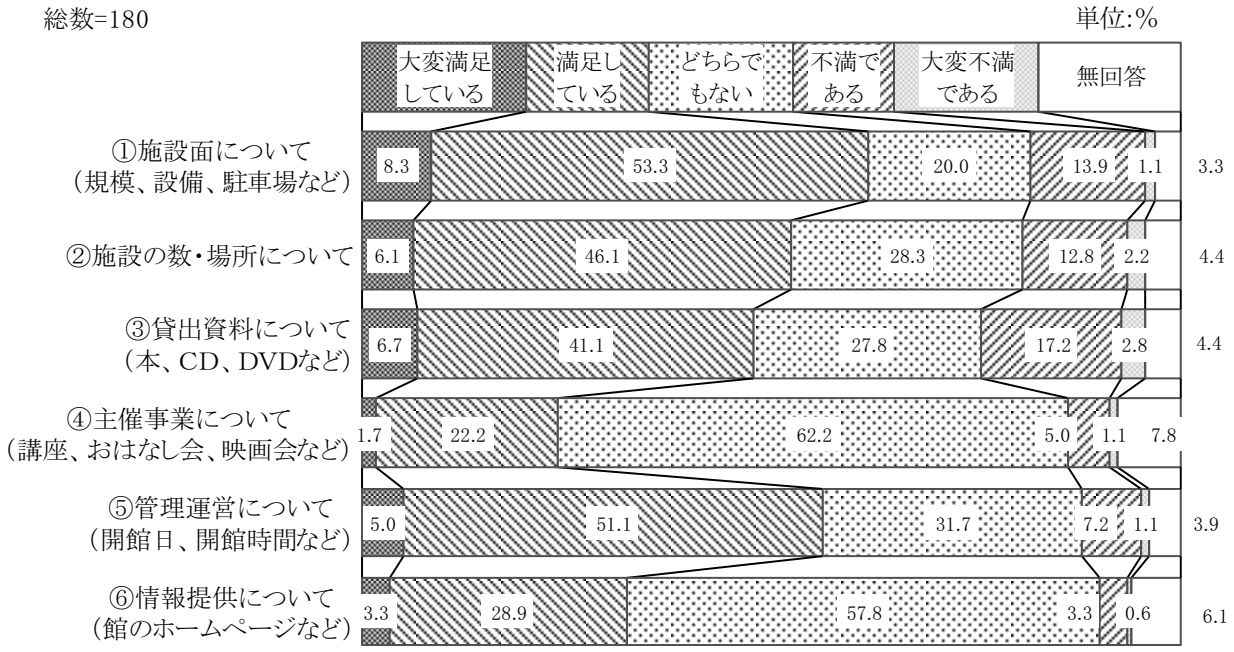
（10）図書館に対する満足度

【問 14 で「１～４」と答えた方におたずねします。】

問 14－3　あなたは、図書館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について、１つに○）

『満足している』（「大変満足している」＋「満足している」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 61.6%で最も多く、次いで「⑤管理運営について（開館日、開館時間など）」が 56.1%、「②施設の数・場所について」が 52.2%となっています。

一方、『不満である』（「大変不満である」＋「不満である」）という回答は、「③貸出資料について（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）」が 20.0%で最も多く、次いで「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」と「②施設の数・場所について」がそれぞれ 15.0%となっています。

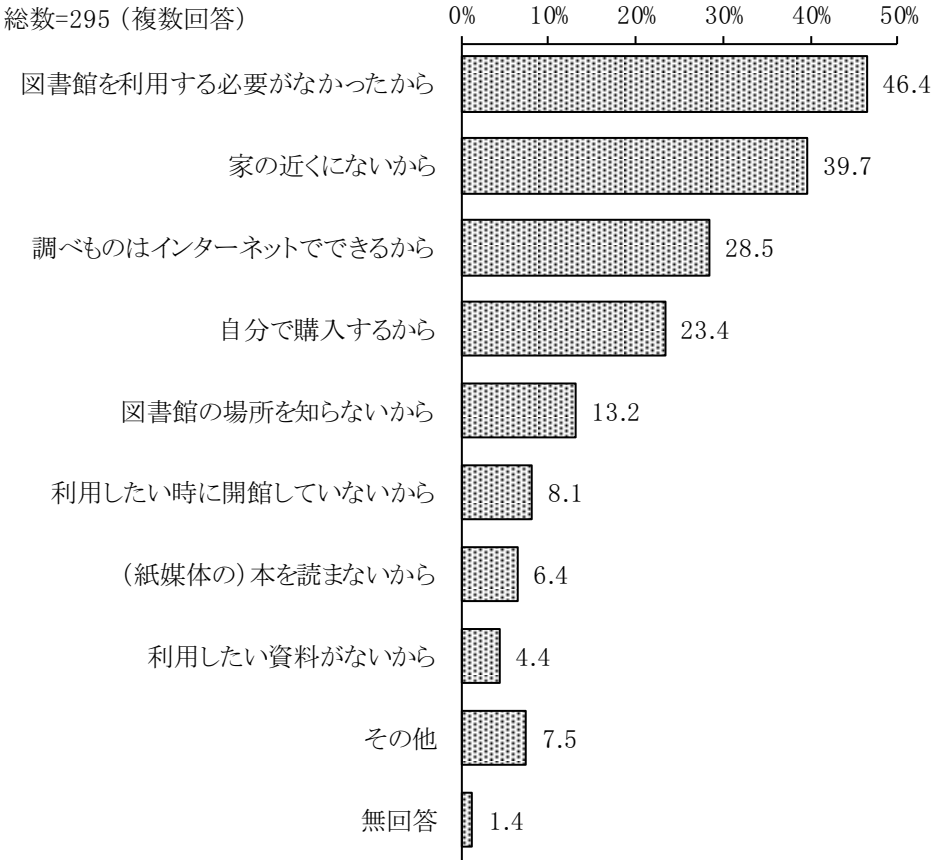


（11）図書館を利用しない理由

【問 14 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 14－4　あなたが、図書館を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

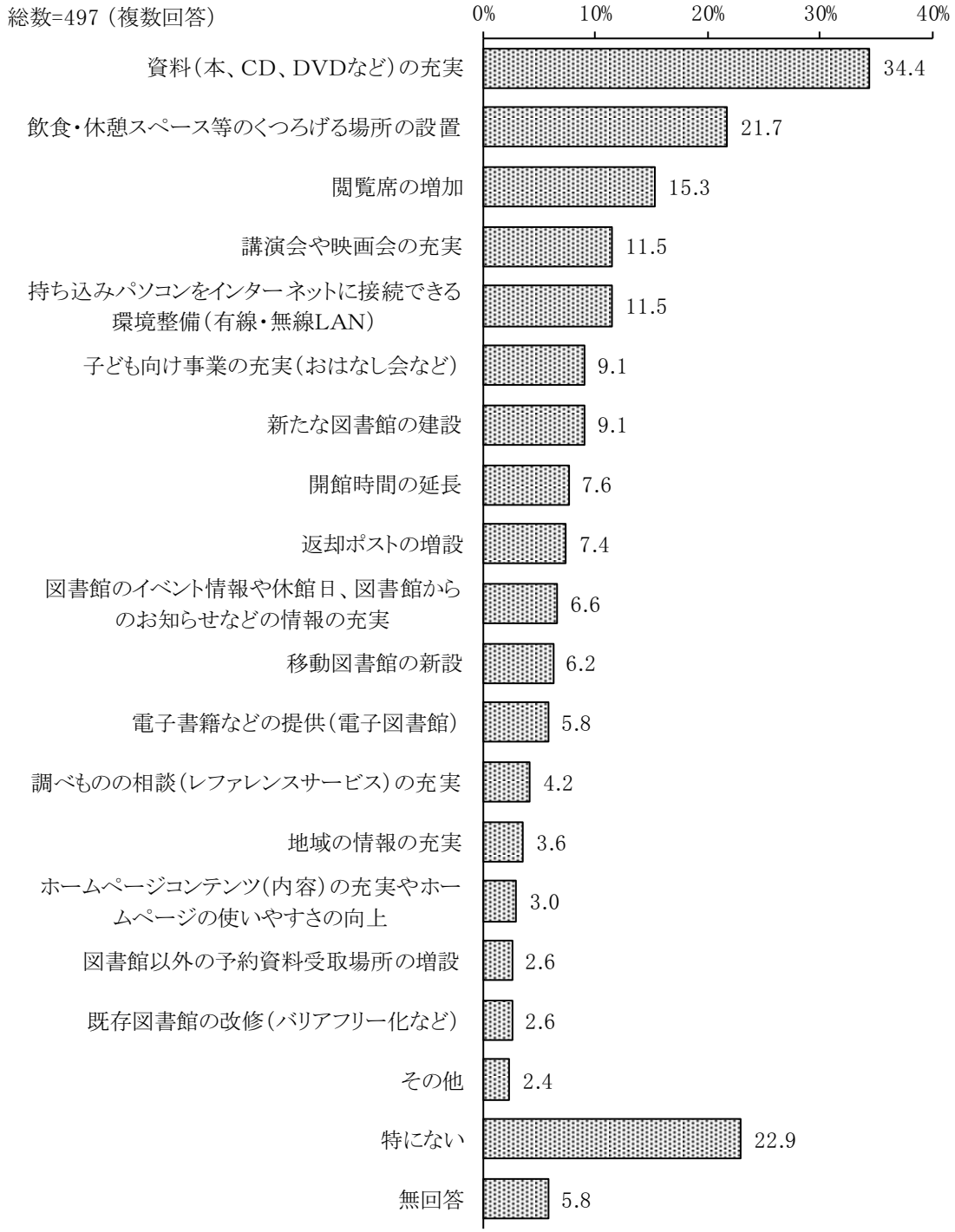
「図書館を利用する必要がなかったから」が 46.4％で最も多く、次いで「家の近くにないから」が 39.7％、「調べものはインターネットでできるから」が 28.5％となっています。



（12）図書館への要望

問 15　これからの図書館に要望したいことは何ですか。（３つまで○）

「資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実」が 34.4％で最も多く、次いで「飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置」が 21.7％、「閲覧席の増加」が 15.3％となっています。



性別に見ると、「資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実」、「持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備（有線・無線ＬＡＮ）」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「移動図書館の新設」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実」という回答では 50 歳代、40 歳代の割合が多く、「持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備（有線・無線ＬＡＮ）」という回答では 20 歳代の割合が多くなっています。「飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。

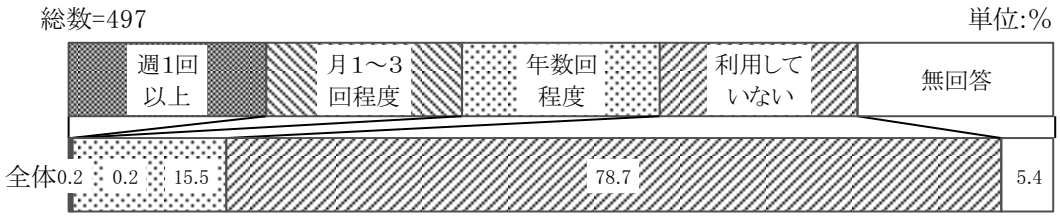
		全体	資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実	講演会や映画会の充実	調べものの相談（レファレンスサービス）の充実	子ども向け事業の充実（おはなし会など）	図書館のイベント情報や休館日、図書館からのお知らせなどの情報の充実	閲覧席の増加	電子書籍などの提供（電子図書館）	地域の情報の充実	持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備（有線・無線ＬＡＮ）	返却ポストの増設
全体		497	34.4	11.5	4.2	9.1	6.6	15.3	5.8	3.6	11.5	7.4
性別	男性	201	37.8	10.4	3.5	7.0	7.0	15.4	5.5	6.5	14.9	5.5
	女性	295	32.2	12.2	4.7	10.5	6.4	15.3	6.1	1.7	9.2	8.8
年齢	20歳代	57	33.3	8.8	0.0	8.8	3.5	19.3	8.8	1.8	28.1	8.8
	30歳代	76	35.5	3.9	2.6	17.1	6.6	15.8	9.2	5.3	14.5	11.8
	40歳代	84	46.4	10.7	3.6	10.7	4.8	20.2	9.5	2.4	7.1	6.0
	50歳代	56	48.2	14.3	8.9	16.1	3.6	16.1	5.4	3.6	17.9	14.3
	60歳代	80	33.8	13.8	6.3	6.3	10.0	10.0	3.8	3.8	8.8	7.5
	70歳以上	142	22.5	14.1	4.2	2.8	8.5	13.4	2.1	4.2	4.9	2.8

		全体	図書館以外の予約資料受取場所の増設	新たな図書館の建設	移動図書館の新設	既存図書館の改修（バリアフリー化など）	飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置	開館時間の延長	ホームページコンテンツ（内容）の充実やホームページの使いやすさの向上	その他	特にない	無回答
全体		497	2.6	9.1	6.2	2.6	21.7	7.6	3.0	2.4	22.9	5.8
性別	男性	201	0.5	7.5	2.0	3.5	22.9	9.0	4.5	1.5	23.4	5.0
	女性	295	4.1	10.2	9.2	2.0	21.0	6.8	2.0	3.1	22.4	6.4
年齢	20歳代	57	3.5	8.8	0.0	1.8	31.6	10.5	1.8	1.8	21.1	3.5
	30歳代	76	2.6	15.8	0.0	5.3	25.0	3.9	2.6	3.9	23.7	2.6
	40歳代	84	4.8	14.3	9.5	1.2	21.4	13.1	6.0	4.8	14.3	1.2
	50歳代	56	3.6	7.1	8.9	5.4	19.6	14.3	1.8	0.0	12.5	1.8
	60歳代	80	1.3	8.8	8.8	1.3	22.5	6.3	3.8	1.3	25.0	5.0
	70歳以上	142	1.4	3.5	7.7	2.1	16.9	3.5	2.1	1.4	31.0	13.4

（13）博物館の利用頻度

問 16　川越市立博物館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい入館しましたか。（１つに○）

「利用していない」が 78.7%で最も多く、次いで「年数回程度」が 15.5%、「週１回以上」と「月１～３回程度」がそれぞれ 0.2%となっています。



性別に見ると、大きな違いは見られません。

年齢別に見ると、「利用していない」という回答では 20 歳代、30 歳代の割合が多くなっています。

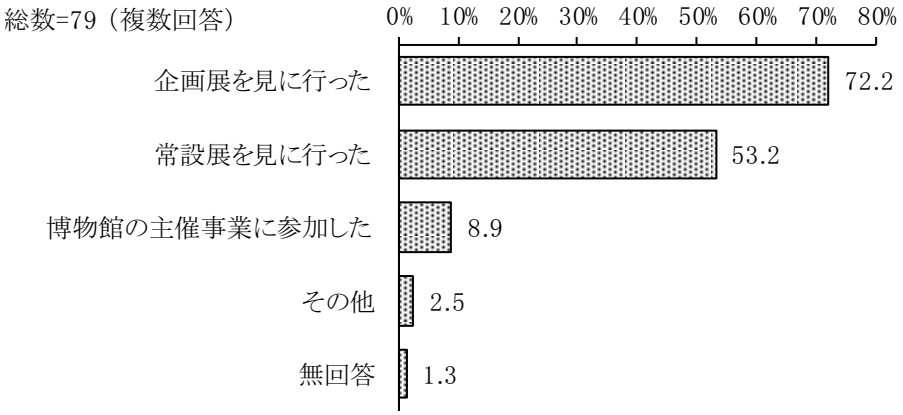
		全体	週1回以上	月1～3回程度	年数回程度	利用していない	無回答
全体		497	0.2	0.2	15.5	78.7	5.4
性別	男性	201	0.0	0.0	14.4	79.6	6.0
	女性	295	0.3	0.3	16.3	78.0	5.1
年齢	20歳代	57	0.0	0.0	8.8	89.5	1.8
	30歳代	76	0.0	0.0	9.2	88.2	2.6
	40歳代	84	1.2	0.0	17.9	75.0	6.0
	50歳代	56	0.0	0.0	14.3	78.6	7.1
	60歳代	80	0.0	0.0	20.0	75.0	5.0
	70歳以上	142	0.0	0.7	17.6	73.9	7.7

（14）博物館の利用目的

【問 16 で「１～３」と答えた方におたずねします。】

問 16－1　あなたは、博物館にどのような目的で行きましたか。（○はいくつでも）

「企画展を見に行った」が 72.2％で最も多く、次いで「常設展を見に行った」が 53.2％、「博物館の主催事業に参加した」が 8.9％となっています。



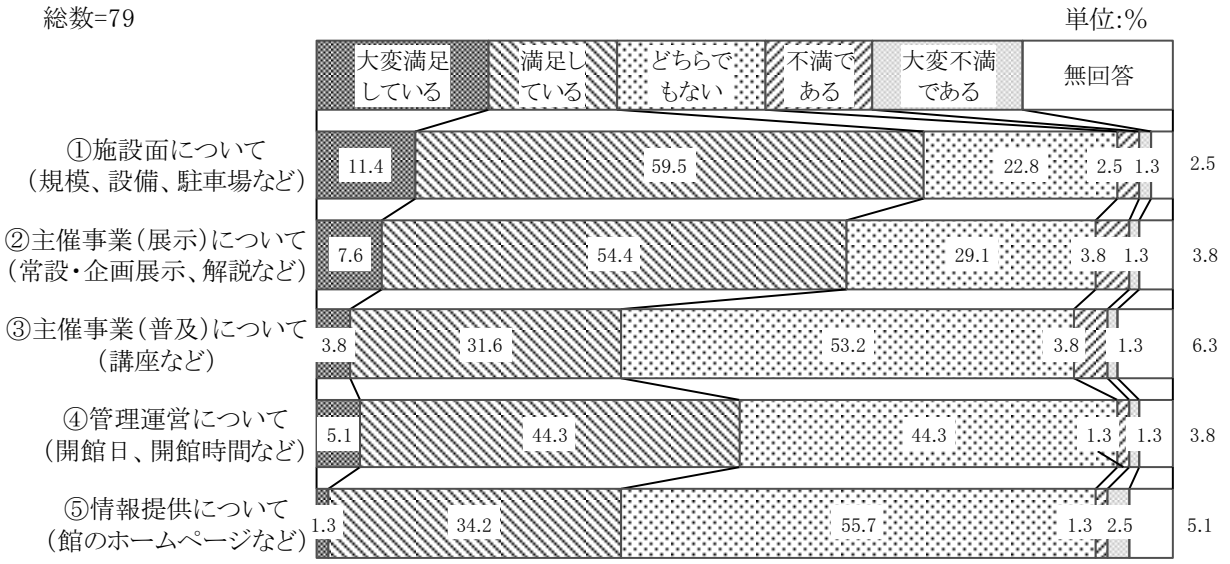
（15）博物館に対する満足度

【問 16 で「１～３」と答えた方におたずねします。】

問 16－2　あなたは、博物館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について、１つに○）

『満足している』（「大変満足している」＋「満足している」）という回答は、「①施設面について（規模、設備、駐車場など）」が 70.9%で最も多く、次いで「②主催事業（展示）について（常設・企画展示、解説など）」が 62.0%、「④管理運営について（開館日、開館時間など）」が 49.4%となっています。

一方、『不満である』（「大変不満である」＋「不満である」）という回答は、どの項目は１割未満となっています。

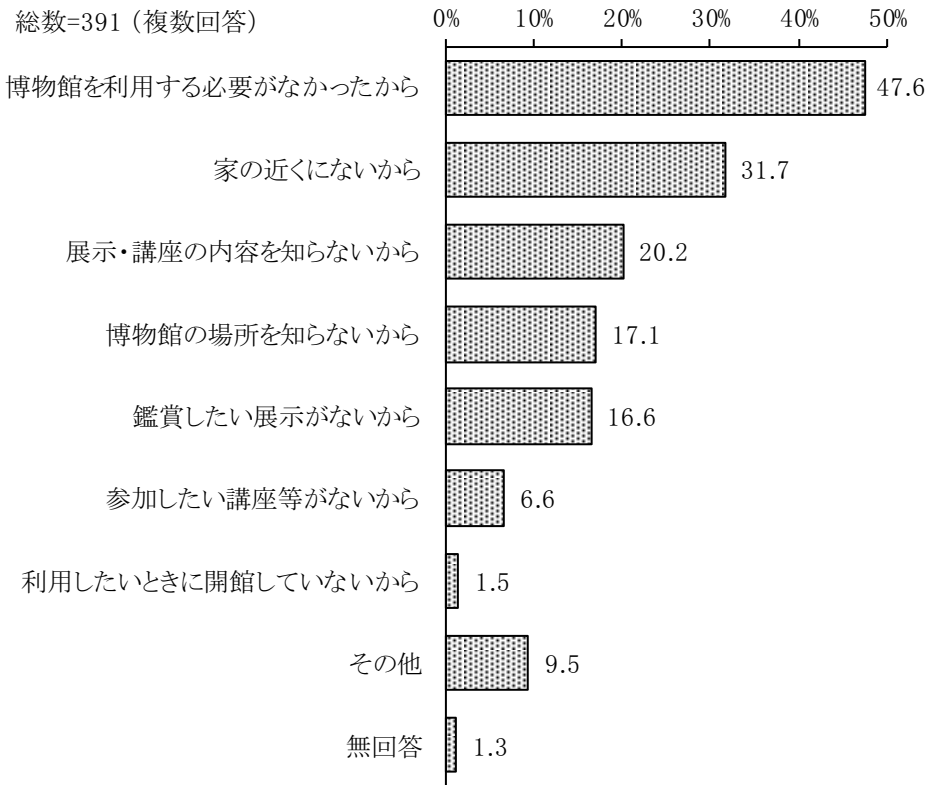


（16）博物館を利用しない理由

【問 16 で「４．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 16－3　あなたが、博物館を利用しない理由を教えてください。（○はいくつでも）

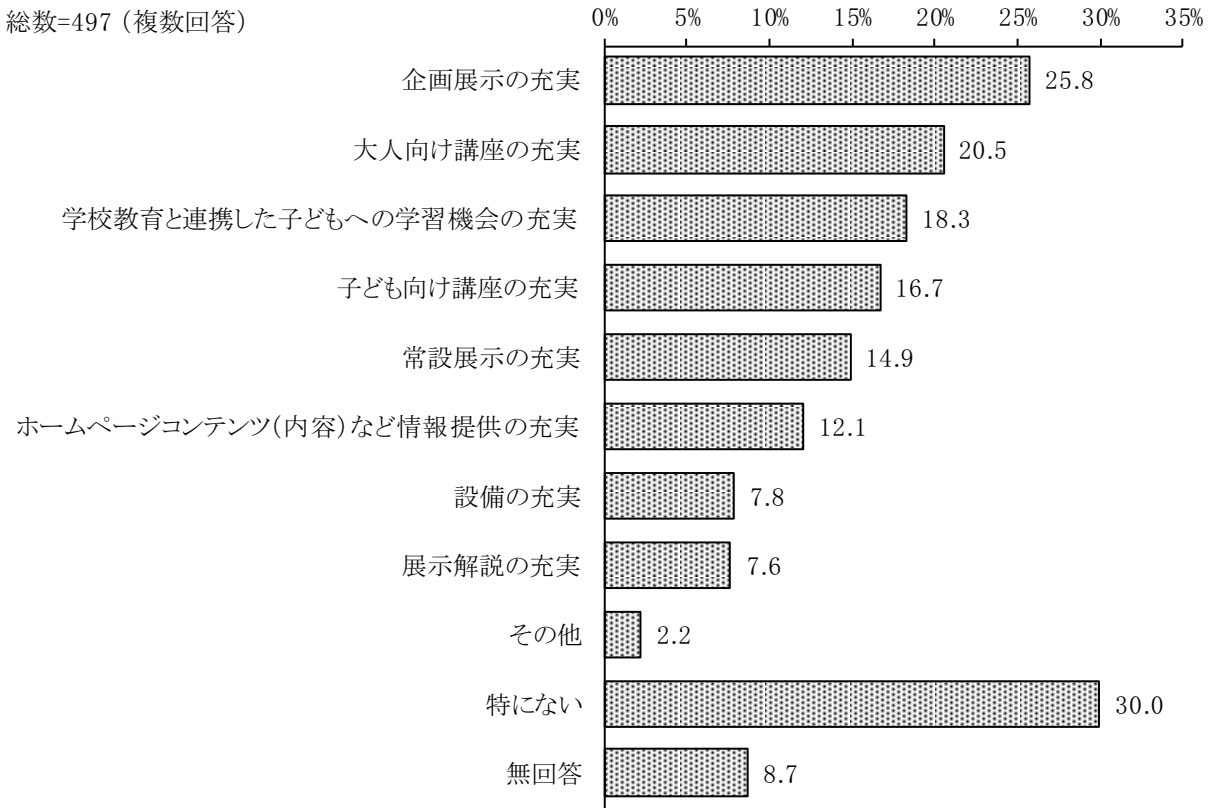
「博物館を利用する必要がなかったから」が 47.6％で最も多く、次いで「家の近くにないから」が 31.7％、「展示・講座の内容を知らないから」が 20.2％となっています。



（17）博物館への要望

問 17　これからの博物館に要望したいことは何ですか。（３つまで○）

「企画展示の充実」が 25.8%で最も多く、次いで「大人向け講座の充実」が 20.5%、「学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実」が 18.3%となっています。



性別に見ると、「設備の充実」という回答では男性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「企画展示の充実」という回答では 50 歳代の割合が多くなっています。「子ども向け講座の充実」という回答では 30 歳代から、「学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実」という回答では 40 歳代から年齢が上がるにつれてそれぞれ割合が少なくなっています。

		全体	設備の充実	常設展示の充実	企画展示の充実	展示解説の充実	大人向け講座の充実	子ども向け講座の充実	学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実	ホームページコンテンツ（内容）など情報提供の充実	その他	特にない
全体		497	7.8	14.9	25.8	7.6	20.5	16.7	18.3	12.1	2.2	30.0
性別	男性	201	10.9	17.4	27.9	7.0	22.4	14.9	16.9	12.4	3.5	30.3
	女性	295	5.8	13.2	24.4	8.1	19.3	18.0	19.3	11.9	1.4	29.5
年齢	20歳代	57	15.8	21.1	31.6	5.3	21.1	12.3	12.3	15.8	0.0	29.8
	30歳代	76	11.8	9.2	19.7	3.9	22.4	38.2	22.4	10.5	2.6	26.3
	40歳代	84	8.3	11.9	29.8	6.0	15.5	27.4	32.1	14.3	3.6	22.6
	50歳代	56	3.6	14.3	41.1	10.7	19.6	16.1	23.2	10.7	1.8	30.4
	60歳代	80	5.0	15.0	27.5	11.3	23.8	11.3	15.0	15.0	3.8	33.8
	70歳以上	142	5.6	17.6	16.9	8.5	21.1	4.2	10.6	9.2	1.4	33.8

		全体	無回答
全体		497	8.7
性別	男性	201	6.5
	女性	295	10.2
年齢	20歳代	57	1.8
	30歳代	76	5.3
	40歳代	84	1.2
	50歳代	56	5.4
	60歳代	80	6.3
	70歳以上	142	20.4

（18）公民館・図書館・博物館についての意見・要望

問 18　川越市の公民館・図書館・博物館についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

有効回収数 497 票中 79 票に意見の記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 79 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

公民館（20 件）

〇施設・設備（６件）

・霞ケ関北公民館の子育てサロンに何度か参加させて頂きました。公民館の方やサロンの方は優しく丁寧に対応して下さりありがとうございました。ただ、施設が古いため、寒い時期になると床が冷たく、０歳の子どもと床で遊ぶ（マットは敷いて下さっているのですが・・・）のが辛くなり、足が遠のいてしまいました。改修していただけると有難いです。
・公民館のトイレが使いづらい。
・北公民館でサークル活動に参加しています。全身が見える鏡をつけて下さい。

〇子どもの居場所・学習スペース（３件）

・子どもが行きやすい環境が出来たらもっと学習意欲を持てたり、友達同士のコミュニケーション能力も向上すると思いますので、是非子ども目線の環境を整えて頂けると有り難いと思います。
・居場所がない子どもの避難所になって欲しい。放課後「ただいま～」と入れるアットホームな感じを希望します。

〇使用料（２件）

・使用料を無料にして頂きたい。

〇その他（９件）

・公民館は決まった人が決まって利用している感じなので、オープンな感じはしないです。もっと色んな人が使ったり、使っても注意されない（良く注意された記憶があります）ようにしたら交流の場になると思う。
・高齢者が集える（気兼ねなく）場所にして欲しい。
・地域の公民館では市が主催する健康体操を計画して欲しい。

図書館（36 件）

〇施設・設備（11 件）

・図書館の数が市内には少ないと思う。近所に図書館が無いため気軽に本を借りたり、利用したりと言ったことが出来なくて困る。特に住んでいる古谷地区や南古谷地区にはない。新たな図書館を設置して欲しい。新しくできることで利用したくても出来なかった人達が行くようになると思う。

・図書館は自習スペース（閲覧スペース）の拡充をして欲しいです。例えば衝立を机につけ、個人スペースが確保されたり、コンセントやwifiなどあるとより快適になると思いました。明るい雰囲気にして欲しいです。
・図書館について児童書コーナーを区切ったり休憩スペースを造るなど、小さな子どもからお年寄りまで、ゆったり気兼ねなく過ごせる図書館が増えたら良いなと思います。
・市民が各図書館でもコピーが出来るようお願いします。

〇図書の充実（９件）
・図書館の本を充実して欲しい。
・図書館について新刊やリクエストしても購入できないとのことで予算がすくないのでしょうか？
・貴重な図書館の本や地図の古い資料があると思いますが、他の図書館でやっているように、それをデジタル化してインターネットなどで公開して欲しいです。

〇近くにないので利用しづらい（５件）
・図書館は遠いため利用しようとは思いません。
・子どもの学区内にないので、中々利用できませんでした。特に夏休み等、子ども達が利用できる場所があると良いなと思っています。

〇開館時間（２件）
・図書館など開館時間の延長を希望。

〇その他（９件）
・昔、移動図書館を利用させて貰っていたのですが、何時の日からかなくなって、図書館が遠くて、中々利用する機会が減りました。本音は移動図書館を再開して頂けたら嬉しいです。
・学生のうちは本を買うお金もあまりなく、図書館で色々な本に触れることはとても大切だと思うので、小学校と図書館の連携を強化し、図書館を身近な存在にすると良いのかなと思います。
・利用者には目に見えない仕事があるかもしれないが、図書館の職員は多いような気がする。

博物館（８件）
〇近くにないので利用しづらい（３件）
・特に博物館には行きたいです。でも近くにないです。
・博物館は展示内容も面白くて良かったのですが、場所が駅から遠いので行きづらいです。もっと簡単に行ける場所にあれば行きたいです。

〇展示物（２件）
・展示の内容を広くアピールして欲しい。

〇その他（３件）
・市立博物館はもっと広く（施設を拡大）してビデオ上映、ミニシアターなど設置するなど工夫充

実をして欲しい。博物館自体でお城の様なものにして、その周りに売店（飲食ブース）等を設置して、賑わいスペースを造る。

全体（32 件）

〇広報・情報発信（５件）

・図書館や博物館があるとは知らなかったです。知らない方が多いと思いますので告知する機会が有った方がよいと思います。
・ＨＰを見やすいものにデザインしなおして欲しい。デザインも古い。情報発信力が低い。

〇施設・設備（４件）

・地域によって施設の充実度が違いすぎる。
・施設の規模や設備には問題を感じませんが、駐車場は不足していると思います。
・フリースペースの拡充。

〇近くにないので利用しづらい（４件）

・年寄りが気軽にいけると良い。遠すぎる。
・家の近くに有れば是非利用する。

〇子どもの居場所・学習スペース（３件）

・共働き家庭が多く子どもが放課後の居場所が不足している。
・近所の子ども達受験生達が、ほぼ毎日勉強できる部屋を開放して欲しい。

〇休館日（３件）

・12 月に休みが多すぎる。
・一部を除き月曜日の休館日が多い。曜日をバラバラにして欲しい。又は月 2 回くらいは月曜日開館にして欲しい。月曜日仕事が休みの人も多勢いると思う。正月の休館日ももっと短くして欲しい。例えば、午前中（9～12 時）だけとか、やり方は色々あると思うが・・・。サービス業の方は正月も働いているのに、役所関係が全て休みというのは難しい。正月休みしか博物館等に行けない人もいると思う。

〇講座・イベント（２件）

・全て老人ホーム化されていて、若い人達が少ないのが残念です。もっと若い人達が集まるようなイベントを週末に開いて欲しいです。

〇その他（11 件）

・子供の頃に通う機会､触れ合う機会が増えれば大人になっても利用する機会が増えると思います。
・これ以上の充実は日頃の利用者（ごく少数市民）への財政支出となり、大多数市民にとって負担増となる。
・特色がないように思います。

・災害時、ペットを飼っている方々が避難できなかったと多々聞きました。ペットを飼っている方のスペースを確保することも考慮して頂けたらと思いました。

その他（５件）

・今後は子ども達の為に努力して下さい。時代時代で変わりますから・・・。

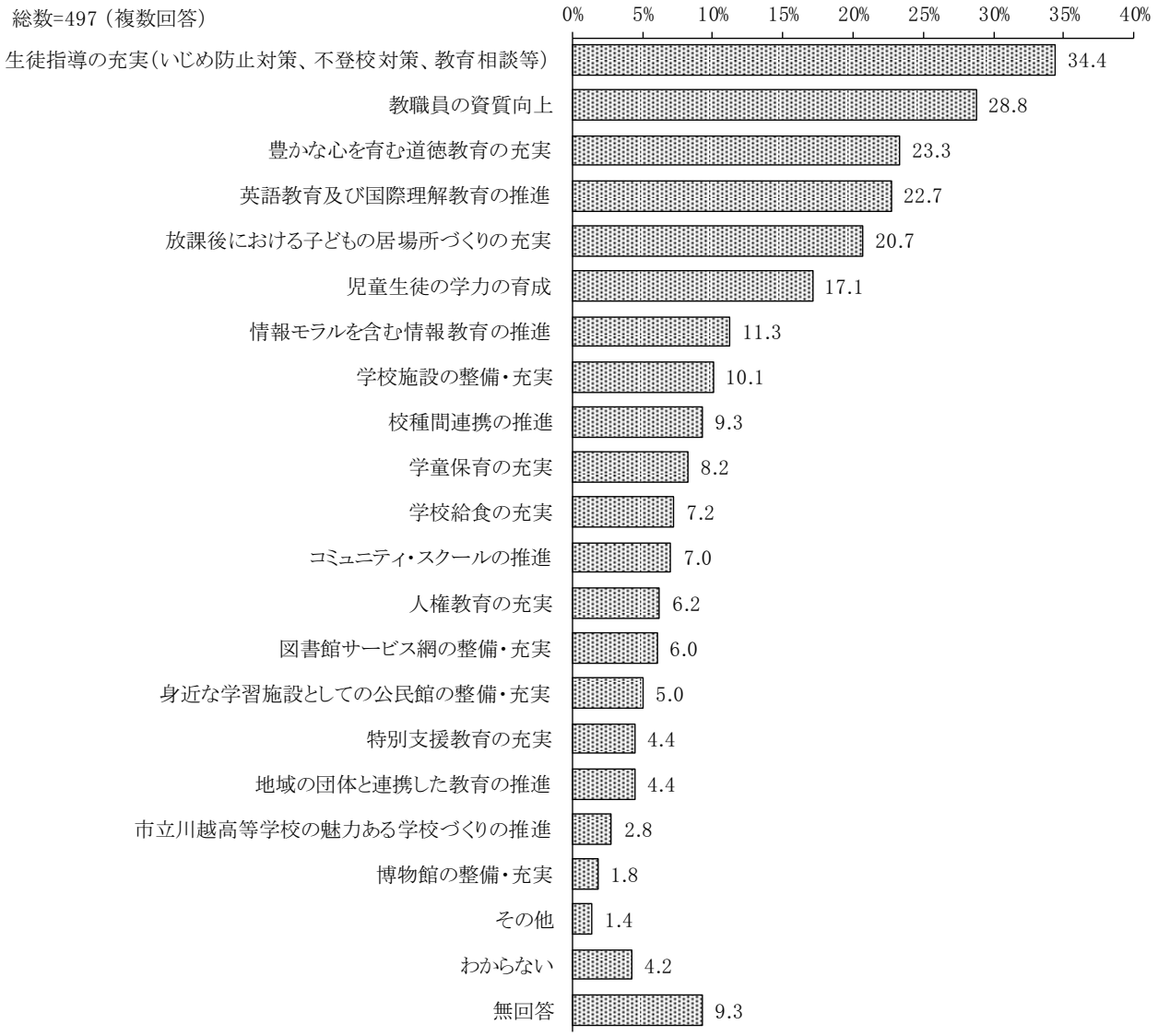
・市民センターもウエスタ川越も、4～6 歳の子が心おきなく遊べる所は屋内にありません。かろうじて東口図書館の上の児童館くらいです。大東地区からは遠いです。もっと色々な子ども達（親連れですが）が屋内で、（雨の日や暑い日、寒い日、蚊の出る季節は外で遊べない）遊べる場所を造って欲しい。子供らが遊べないからコミュニケーション力は育たないし、親同士のコミュニケーションも育たない。幼稚園で育てればいいのか？という事でしょうか？又、何かを食べられるようにして欲しい。おやつタイムは親子や友達の最大のコミュニケーションの場なので。

５　教育施策について

（１）充実させたほうが良いと思う教育施策

問 19　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。（３つまで○）

「生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）」が 34.4%で最も多く、次いで「教職員の資質向上」が 28.8%、「豊かな心を育む道徳教育の充実」が 23.3%となっています。



性別に見ると、「英語教育及び国際理解教育の推進」、「生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）」、「人権教育の充実」という回答では男性の割合がそれぞれ多く、「放課後における子どもの居場所づくりの充実」という回答では女性の割合が多くなっています。

年齢別に見ると、「児童生徒の学力の育成」という回答では30歳代、40歳代の割合が多く、「英語教育及び国際理解教育の推進」という回答では30歳代の割合が多くなっています。「豊かな心を育む道徳教育の充実」という回答では年齢が上がるにつれて概ね割合が多くなっています。「放課後における子どもの居場所づくりの充実」という回答では30歳代から年齢が上がるにつれて概ね割合が少なくなっています。

		全体	児童生徒の学力の育成	校種間連携の推進	英語教育及び国際理解教育の推進	情報モラルを含む情報教育の推進	特別支援教育の充実	豊かな心を育む道徳教育の充実	生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）	教職員の資質向上	学校施設の整備・充実	学校給食の充実	市立川越高等学校の魅力ある学校づくりの推進
全体		497	17.1	9.3	22.7	11.3	4.4	23.3	34.4	28.8	10.1	7.2	2.8
性別	男性	201	15.9	8.0	25.9	12.9	4.0	25.9	38.3	27.4	8.5	6.0	4.5
	女性	295	17.6	10.2	20.3	10.2	4.7	21.4	31.9	29.8	11.2	8.1	1.7
年齢	20歳代	57	14.0	12.3	14.0	14.0	7.0	14.0	29.8	24.6	14.0	15.8	3.5
	30歳代	76	27.6	11.8	31.6	15.8	2.6	17.1	36.8	27.6	15.8	7.9	0.0
	40歳代	84	28.6	8.3	19.0	15.5	3.6	9.5	19.0	25.0	9.5	9.5	1.2
	50歳代	56	12.5	8.9	23.2	10.7	7.1	23.2	42.9	32.1	5.4	3.6	0.0
	60歳代	80	12.5	8.8	25.0	6.3	5.0	31.3	38.8	28.8	10.0	6.3	3.8
	70歳以上	142	9.9	7.7	21.1	8.5	3.5	33.8	38.7	31.7	7.7	4.2	5.6

		全体	コミュニティ・スクールの推進	学童保育の充実	放課後における子どもの居場所づくりの充実	地域の団体と連携した教育の推進	人権教育の充実	身近な学習施設としての公民館の整備・充実	図書館サービス網の整備・充実	博物館の整備・充実	その他	わからない	無回答
全体		497	7.0	8.2	20.7	4.4	6.2	5.0	6.0	1.8	1.4	4.2	9.3
性別	男性	201	6.0	10.9	11.9	4.5	10.0	3.5	5.0	2.0	2.0	4.0	9.0
	女性	295	7.8	6.4	26.8	4.4	3.7	6.1	6.8	1.7	1.0	4.4	9.5
年齢	20歳代	57	8.8	7.0	15.8	5.3	12.3	3.5	10.5	3.5	−	5.3	7.0
	30歳代	76	6.6	14.5	30.3	1.3	3.9	1.3	6.6	0.0	3.9	1.3	1.3
	40歳代	84	10.7	10.7	23.8	4.8	4.8	9.5	7.1	3.6	3.6	6.0	11.9
	50歳代	56	5.4	7.1	25.0	8.9	5.4	3.6	7.1	1.8	−	3.6	7.1
	60歳代	80	10.0	5.0	17.5	3.8	6.3	7.5	3.8	2.5	−	1.3	11.3
	70歳以上	142	3.5	6.3	16.2	4.2	6.3	4.2	4.2	0.7	0.7	6.3	12.7

（２）自由記述

問 20　川越市の教育に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。

有効回収数 497 票中 87 票に意見の記述がありました（1 票の中に複数の分野にまたがる回答もあるため、各項目の回答件数の合計は 87 件より多くなっています)。以下に回答内容の中から一部を抜粋・調整し、掲載しました。

＜主な回答内容＞

〇生きる力の育成（23 件）

・地域によって基礎学力に差が出ないようにしていただけると嬉しいです。
・一クラスにネイティブの先生を付けてほしい。もっと英語に力を入れて欲しい。
・基本的人権の教育の充実。
・とにかく言えるのは、子ども達のマナーの悪さが非常に強く感じます。勉強も大切ですが、先ずはルールやマナーを身につけさせることが第一だと思います。
・学校以外に塾に行っている子どもが多いと聞きました。学校教育だけで小学校、中学校、高校まで十分な学習ができる教育をして頂けると有難いです。塾に行かせるお金がありません。
・近年、小さい頃からスマホを扱う子ども達が増えています。便利なスマホですが、危険な面もあります。しかし、子ども達はその危険な面を知らずにスマホを利用していると感じています。インターネット上に個人情報を載せる恐ろしさ・・・リスク、事件に巻き込まれる可能性など、スマホやインターネットを利用する際に注意するなど子ども達に教えて欲しいと、個人的に思っています。
・子ども達のことを第一に考え、より良い環境の中で成長していけるよう取組をお願いしたいです。

〇いじめ・不登校（８件）

・いじめに対してはスクールカウンセラーや弁護士等、外部の力を借りて被害者を守って欲しいです。
・最近、いじめ問題があります。増えていると言うより表面に出て来たような気がします。無くすのは無理でもいじめ問題に目をつぶらず真正面から向かっていって頂きたいです。
・中学校に登校できない子どもの多さに驚きました。理由は様々だと思いますが、中学校生活に馴染めない、学校が楽しくないなどが考えられるとしたら、もっと子ども達の気持ちにより添った教育があるのではないかと思います。

〇特別支援教育（３件）

・特別支援学級において、臨採の教員が多く、専門性が低くなってしまう事に加え、毎年入れ替わりの激しい環境です。特に特別支援学級の生徒達は長期的に自立に向けて支援をしていく必要があるため、その様な環境では、小中連携や情報共有するのがとても大変です。特別支援教育における専門性を持つ人材の育成は重要なことだと思います。
・特別支援学級に通う子どもが通えず、普通学級にいることは子どもにとってとても良いこととは思えません（本人も周りの子も)。きちんとした基準を作っていかないと周りも本人も十分な教育が受けられなくなると思います。

〇部活動（２件）

・教員の負担を減らし、部活動は専門のコーチに任せるなどした方がよい。

〇教職員（19 件）

・教職員を増員して多忙な状況を改善できれば、教職員の創意工夫した教育が充実していくと思います。

・教師は煩雑な学校事務に追われ、児童、生徒に向き合う時間が少なくなっているのでは。パソコンに向き合うより児童、生徒に本気で向き合う時間を確保すべきだと思う。

・子どもは小学校２年生ですが、学校側の教育の取組方には満足しています。ただ先生方がいつもとても忙しそうです。また、一クラスに 35～36 人なのでもう少し一クラスの人数を少なくして、子どもも先生方ももっとゆったりと勉強に取り組めるように、教職員の増員の充実を検討して欲しいです。

・今の学校現場は経験の浅い若い教師が多くなっているようなので、教育への情熱を持ち、生徒の能力を引き出し、伸ばせる指導力のある教師の育成が急務だと思う。

・マナールールが守れない子どもが多く困ることが多い。直接学校に問い合わせても役に立ちそうにない教師の対応にも疑問を感じる。そういった教師が指導しているのでは教育は良くならないと感じる。神戸市の小学校のように教師間での酷いいじめがあると良くなるものも良くならない。先ずは教師への指導徹底を行って頂きたい。

・教師だけでなくカウンセラーの充実。

〇学校運営、教育方針（７件）

・自分の子どもが未就学児のため、教育事情がわからないけれど、おそらく色々な取組をしているのかなと思います。学校だけで孤立せず、地域や家庭と積極的に連携を取っていくべきです。

・クーラーが入っても夏休みを短くするのは止めて別の方法で授業時間を確保して貰いたい。

・教科書等、自宅に持ち帰るのが負担に感じている子どももいるので、学校に置きっぱなしにしても良いようにして欲しい。

・ブラック校則を改善して欲しいです。

〇学校施設・設備（３件）

・学校の教育の中心施設であるが、地域としての防災拠点や地域とのコミュニケーションの中心としての拠点としての位置づけを確立し、設備を充実させるべき。

・南古谷小学校は児童数が多く校庭が狭いと苦慮しているとのことですので、小学校を大字久下戸前田辺に移転すると良いと思います。

〇給食（２件）

・給食の残飯が多いと聞いたことがあります。私も一度試食したのですが、もっと工夫が必要ではと感じました。予算のこともあるかもしれませんが、給食を美味しく食べられ、しかも残飯が減るように考えて貰えると良いと思います。

〇中高一貫教育（２件）

・中高一貫教育の推進。

〇家庭教育（２件）

・とにかく家庭教育が大事です。親子でしっかり話し合いが出来るように、又、子どもは親に何でも話せるように親自身もしっかり成長して貰いたいです。

〇保育所（２件）

・徒歩で通える保育園を増やして欲しい。

〇学童保育（３件）

・働いている父親、母親が増えている為、学童保育も更に充実させ、かつ入れる枠を増やした方がよいと思います。

・学童保育の充実を強く望む。18:30 までの開設では迎えが間に合わない。近隣の自治体では 19：00 まで開設している所もある。30 分延長するだけで多くの母親が助かると思う。どうかどうか 19：00 まで延長して頂きたい。

〇教育委員会（２件）

・ニュースで見る非道教育委員会ではなくきちんと仕事をしている教育委員会であって欲しいと思います。

〇教育施策全般（11 件）

・変化の多い時代、教育に関する分野も多岐にわたり、市政でご苦労も多々あると思います。予算も関わってくる事項でもあり、優先順位も検討し、進めて下さればと思います。

・様々な課題に対し、組織をあげて取り組んでいると思っています。更なる上を目指して課題を搾って地道な方法で取り組んで貰えたら良い。使える力を大いに利用して欲しい。

・透明度の高い教育を推進して下さい。

・施策として何をしているのか分からない。もっと発信していって欲しい。

〇その他（８件）

・図書館を民間に委託したところに通っていましたが、社員の入れ替わりが多く、地域の事も知らない社員の方では、調べ物をするのに役に立たないと感じました。

・共働き世帯のため、PTA 活動等に参加するのが難しいです。私の娘はまだ小学校に行ってないので詳しくは知らないのですが、出来る限り不要そうな PTA 活動を無くして欲しいです。

・すみませんが子どもも成人になり小学校、中学校はいませんので余り関心がなく申し訳ありません。

Ⅴ　共通設問の比較

この章では、保護者調査、教員調査、市民調査の共通または関連する設問のうち、下表の項目について比較を行いました。

項目	保護者調査	教員調査	市民調査
1　学校に期待する役割	問２	－	問２
2　教師に期待すること（保護者、市民） 保護者や地域の方に期待されていると思うこと（教員）	問３	問 11	問３
3　いじめ・不登校対策の取組の効果	問５	問７	－
4　教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと	問７	問 13	問４
5　学校、家庭、地域の役割	問８	問 14	問５
6　家庭の教育力が低下している原因	問 11	問 15	問６
7　地域の教育力についての課題	問 13	問 16	問７
8　地域の教育力向上に必要な取組	問 14	問 17	問８
9　協力・参加してもよいと思う行事・活動	問 15	－	問 10
10　充実させたほうが良いと思う教育施策	問 24	問 19	問 19

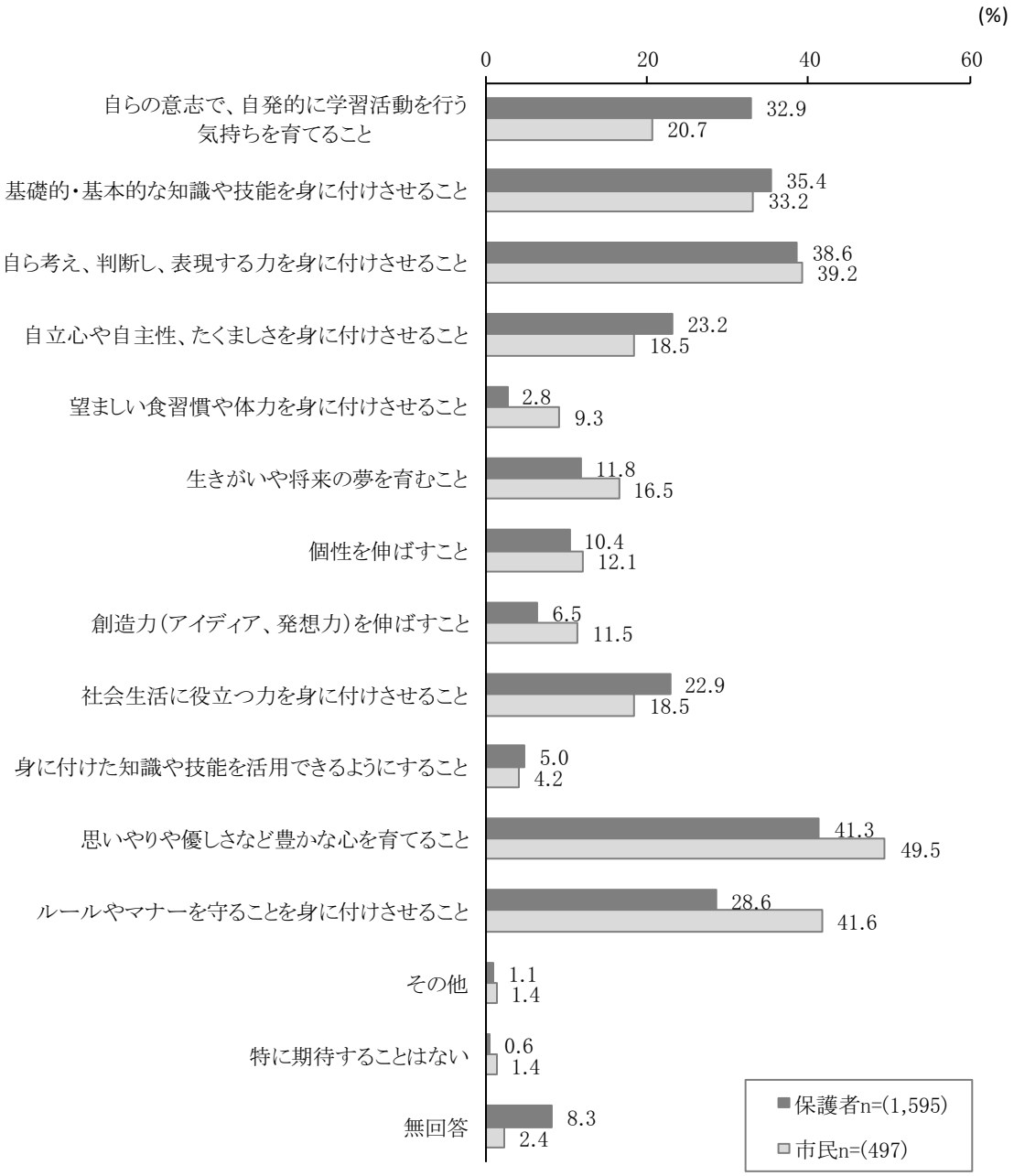
１　学校教育について

（１）学校に期待する役割【保護者 問２】【市民 問２】

設問　小中学校が、お子さんに対してどのような役割を果たすことを期待しますか。（３つまで○）

保護者、市民とも「思いやりや優しさなど豊かな心を育てること」が最も多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、「自らの意志で、自発的に学習活動を行う気持ちを育てること」では保護者の割合が、「ルールやマナーを守ることを身に付けさせること」では市民の割合が、それぞれ 10 ポイント以上多くなっています。

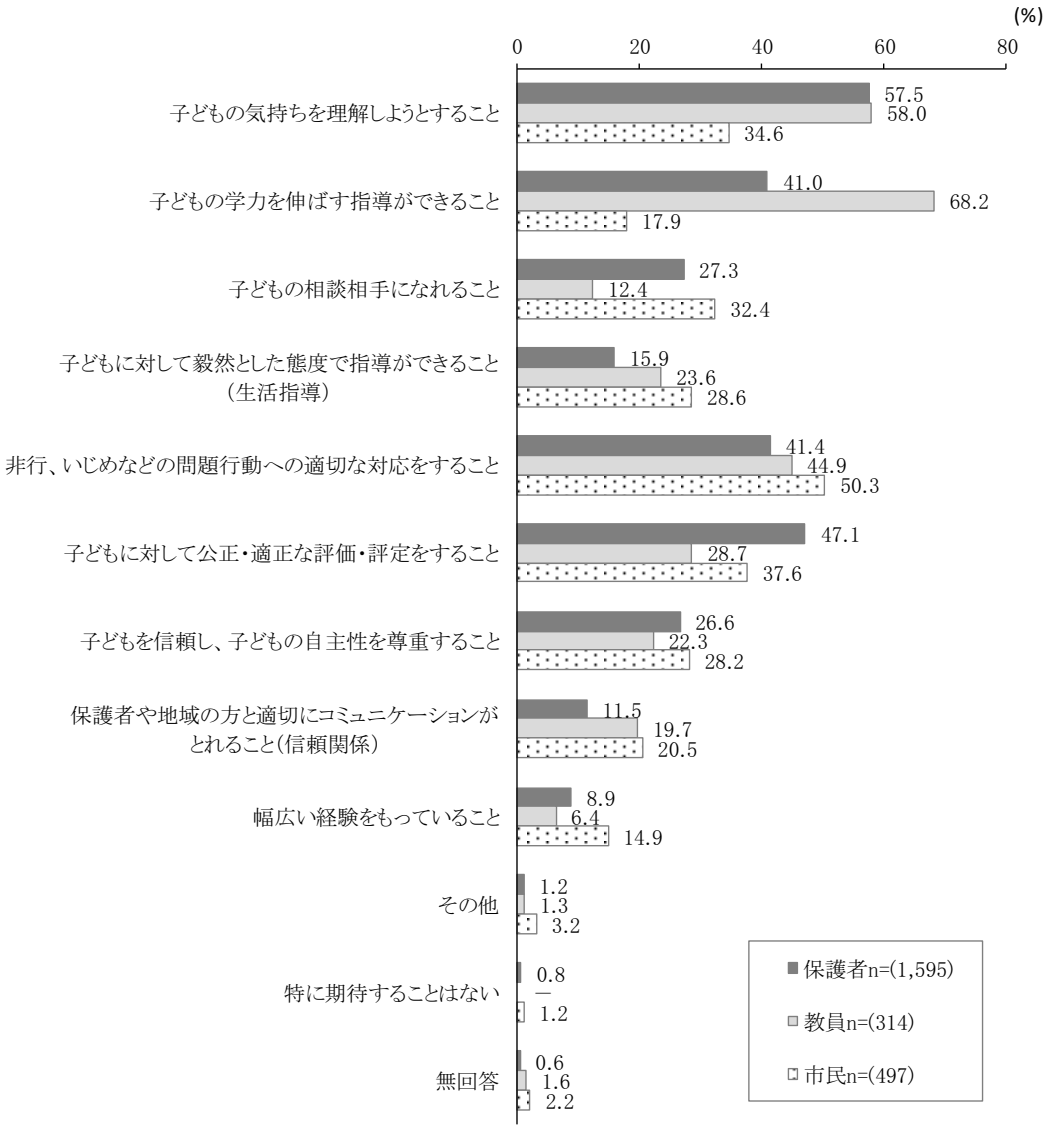


（２）教師に期待すること【保護者 問３】【市民 問３】
保護者や地域の方に期待されていると思うこと【教員 問 11】

設問【保護者】【市民】　小中学校の教師にどのようなことを期待しますか。（３つまで○）
【教員】　小中学校の教師は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。（３つまで○）

教師に期待することで、保護者は「子どもの気持ちを理解しようとすること」、市民は「非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること」が最も多くなっています。一方、教師が保護者や地域の方に期待されていると思うことで、教員は「子どもの学力を伸ばす指導ができること」が最も多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、「子どもの気持ちを理解しようとすること」では市民が 34.6%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。「子どもの学力を伸ばす指導ができること」では教員が 68.2%、保護者が 41.0%、市民が 17.9%と、三者の割合の差が大きくなっています。「子どもの相談相手になれること」では教員が 12.4%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。



（３）いじめ・不登校対策の取組の効果【保護者 問５】【教員 問７】

設問　いじめ・不登校対策における以下の取組の効果があったと思いますか。（それぞれの項目について１つに○）

すべての取組において、『効果があった』は教員の割合が多くなっています。特にスクールカウンセラー、⑧スクールソーシャルワーカーでは 50 ポイント以上、「⑦さわやか相談員」では 40 ポイント以上教員の割合が多くなっています。

一方、『効果がない』では大きな違いは見られませんが、「知らない」はすべての取組において保護者の割合が多くなっています。

①生徒指導推進員

		全体	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
対象	保護者	1,595	10.6	27.1	3.1	56.6	2.7
	教員	314	48.8	27.4	3.2	18.2	2.5

②オールマイティーチャー

	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
保護者	9.8	24.3	2.5	60.9	2.4
教員	41.7	26.1	3.5	23.6	5.1

③ネットパトロール

		全体	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
対象	保護者	1,595	9.3	24.8	3.5	59.5	2.8
	教員	314	39.8	26.4	2.5	28.0	3.2

④いじめ相談電子窓口

	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
保護者	11.7	35.8	3.8	46.1	2.5
教員	23.2	41.1	3.2	28.3	4.1

⑤いじめ相談直通電話

		全体	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
対象	保護者	1,595	13.5	41.6	3.9	38.2	2.7
	教員	314	26.4	41.7	3.2	24.5	4.1

⑥スクールカウンセラー

	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
保護者	23.5	37.5	3.8	32.5	2.6
教員	79.6	13.7	2.9	2.9	1.0

⑦さわやか相談員

		全体	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
対象	保護者	1,595	21.0	35.2	3.2	38.2	2.4
	教員	314	69.4	17.2	1.9	8.9	2.5

⑧スクールソーシャルワーカー

	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
保護者	11.1	29.8	1.9	54.7	2.5
教員	63.4	21.0	3.5	8.9	3.2

⑨スチューデントサポーター

		全体	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
対象	保護者	1,595	7.1	24.1	2.1	64.2	2.5
	教員	314	30.9	31.5	4.4	27.7	5.4

⑩適応指導教室（つばさ教室）

『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
13.0	25.0	2.3	57.6	2.3
44.2	30.3	1.9	20.1	3.5

⑪いきいき登校サポートセミナー

		全体	『効果があった』	どちらでもない	『効果がない』	知らない	無回答
対象	保護者	1,595	7.1	23.6	1.4	65.5	2.3
	教員	314	17.8	32.5	1.9	42.7	5.1

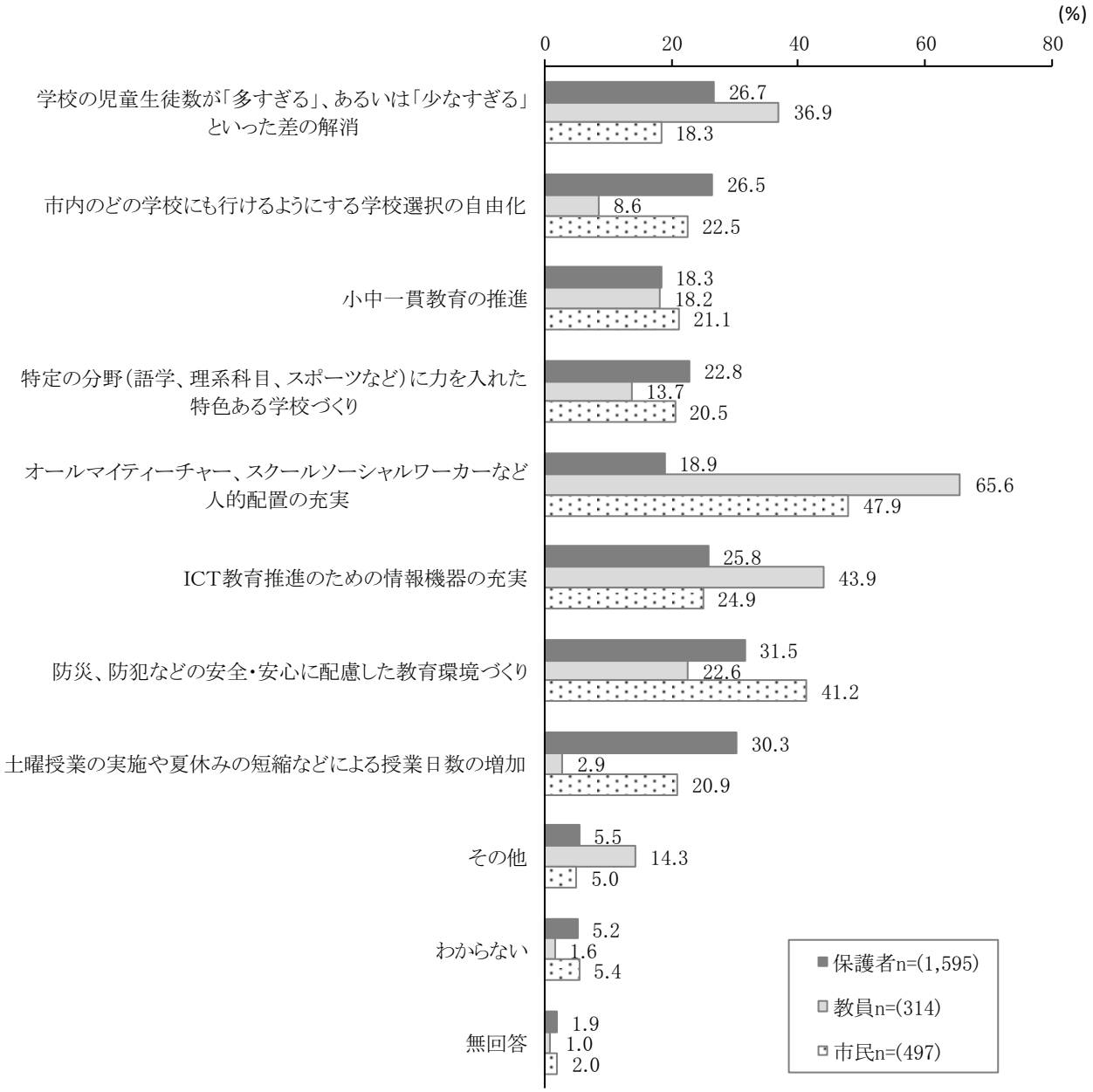
※『効果があった』は、「大変効果があった」と「効果があった」の合計。
『効果がない』は、「効果がない」と「全く効果がない」の合計。

（４）教育環境の変化に対応するために取り組むべきこと
【保護者 問７】【教員 問 13】【市民 問４】

設問　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（３つまで○）

保護者は「防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり」、教員と市民は「オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど」が最も多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、教員で「学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消」が 36.9%と、他の調査対象と比較して多くなっている一方、「市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化」が 8.6%、「土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加」が 2.9%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。「オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実」では教員が 65.6%、市民が 47.9%、保護者が 18.9%と、三者の割合の差が大きくなっています。



２　家庭や地域の教育について

（１）学校、家庭、地域の役割【保護者 問８】【教員 問 14】【市民 問５】

設問　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ３つまで番号を選んでください）

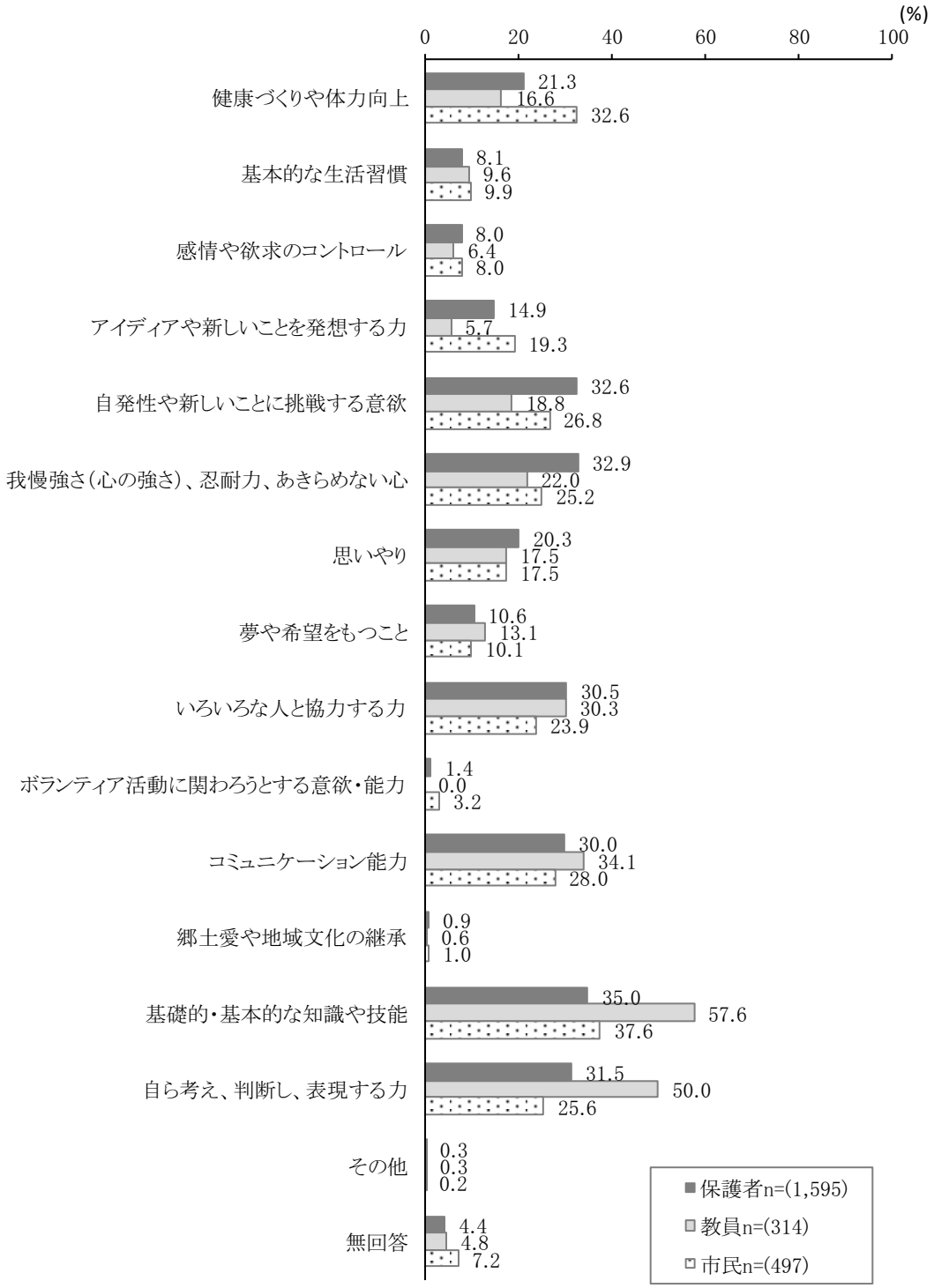
※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。
なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。

※「15. その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割

保護者、教員、市民とも「基礎的・基本的な知識や技能」が最も多くなっています。

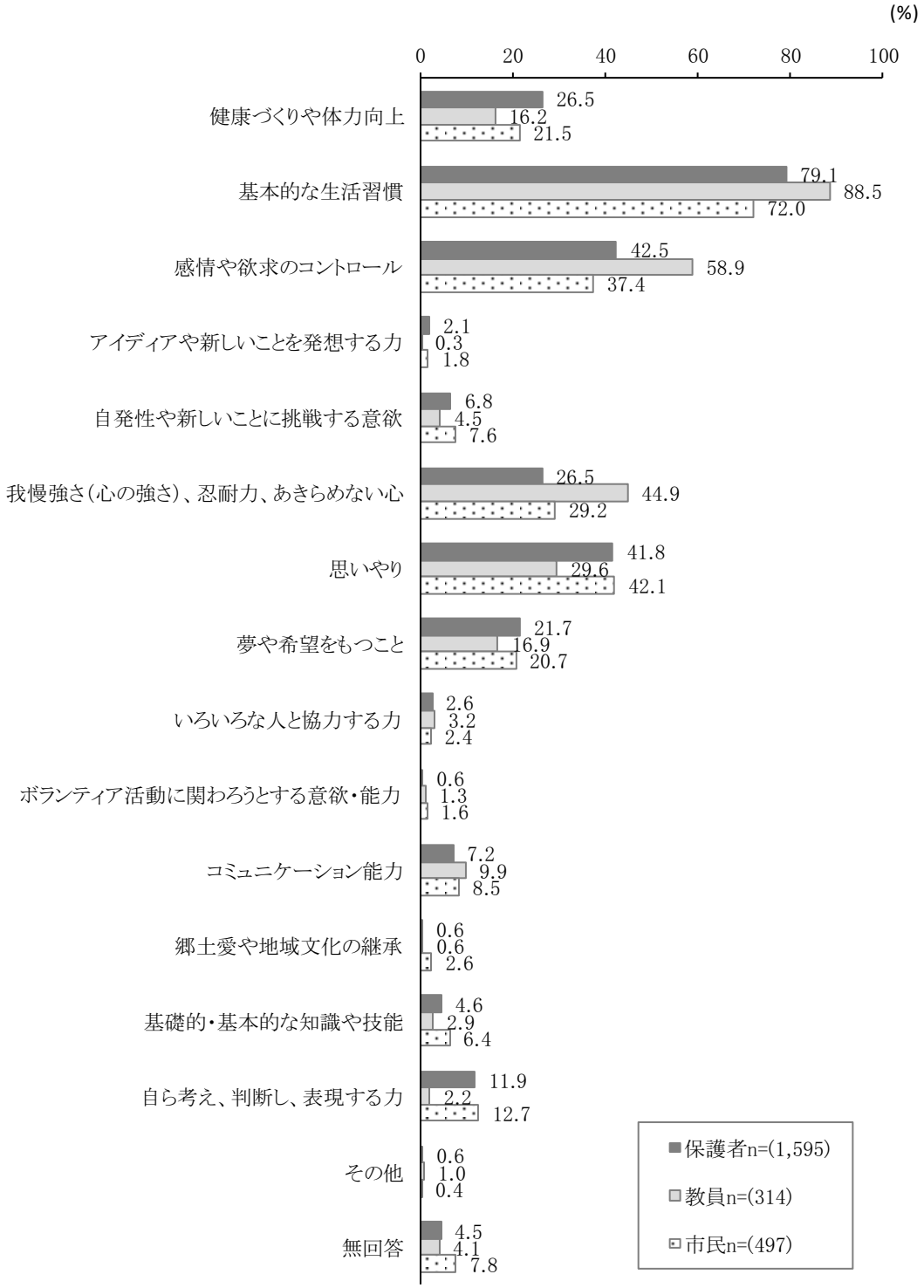
調査対象別の割合の差が大きかった回答では、教員で「基礎的・基本的な知識や技能」が 57.6%、「自ら考え、判断し、表現する力」が 50.0%と、他の調査対象と比較して多くなっています。市民で「健康づくりや体力向上」が 32.6%と、他の調査対象と比較して多くなっています。


(%)
0
20
40
60
80
100
健康づくりや体力向上
21.3
16.6
32.6
基本的な生活習慣
8.1
9.6
9.9
感情や欲求のコントロール
8.0
6.4
8.0
アイディアや新しいことを発想する力
14.9
5.7
19.3
自発性や新しいことに挑戦する意欲
32.6
18.8
26.8
我慢強さ(心の強さ)、忍耐力、あきらめない心
32.9
22.0
25.2
思いやり
20.3
17.5
17.5
夢や希望をもつこと
10.6
13.1
10.1
いろいろな人と協力する力
30.5
30.3
23.9
ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
1.4
0.0
3.2
コミュニケーション能力
30.0
34.1
28.0
郷土愛や地域文化の継承
0.9
0.6
1.0
基礎的・基本的な知識や技能
35.0
57.6
37.6
自ら考え、判断し、表現する力
31.5
50.0
25.6
その他
0.3
0.3
0.2
無回答
4.4
4.8
7.2
保護者n=(1,595)
教員n=(314)
市民n=(497)

②家庭の役割

保護者、教員、市民とも「基本的な生活習慣」が最も多くなっています。

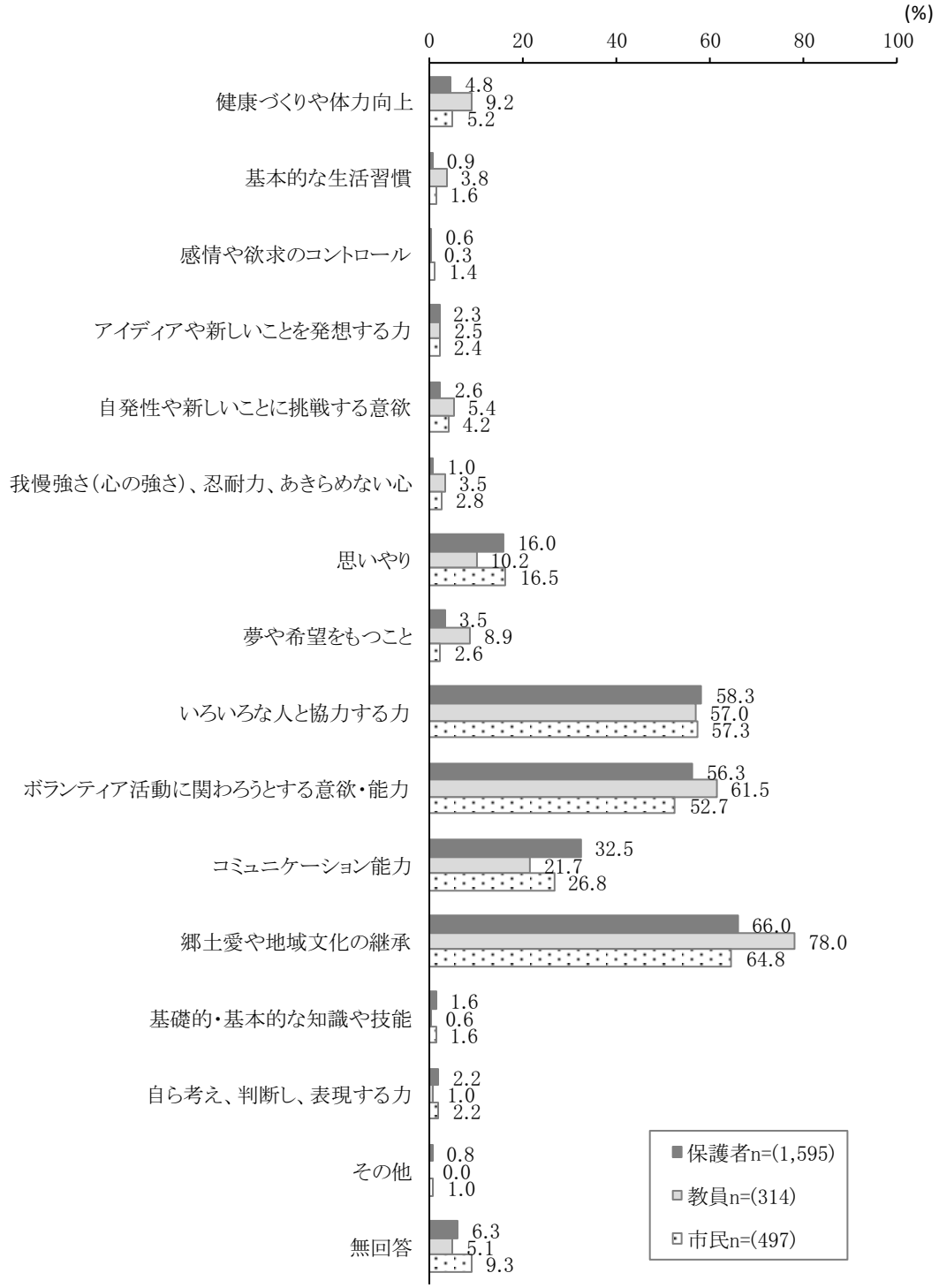
調査対象別の割合の差が大きかった回答では、教員で「感情や欲求のコントロール」が 58.9%、「我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心」が 44.9%と、他の調査対象と比較して多くなっている一方、「思いやり」が 29.6%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。



③地域の役割

保護者、教員、市民とも「郷土愛や地域文化の継承」が最も多く、次いで「いろいろな人と協力する力」または「ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力」が第２位または第３位となっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、「郷土愛や地域文化の継承」では教員が 78.0％と、他の調査対象と比較して多くなっています。



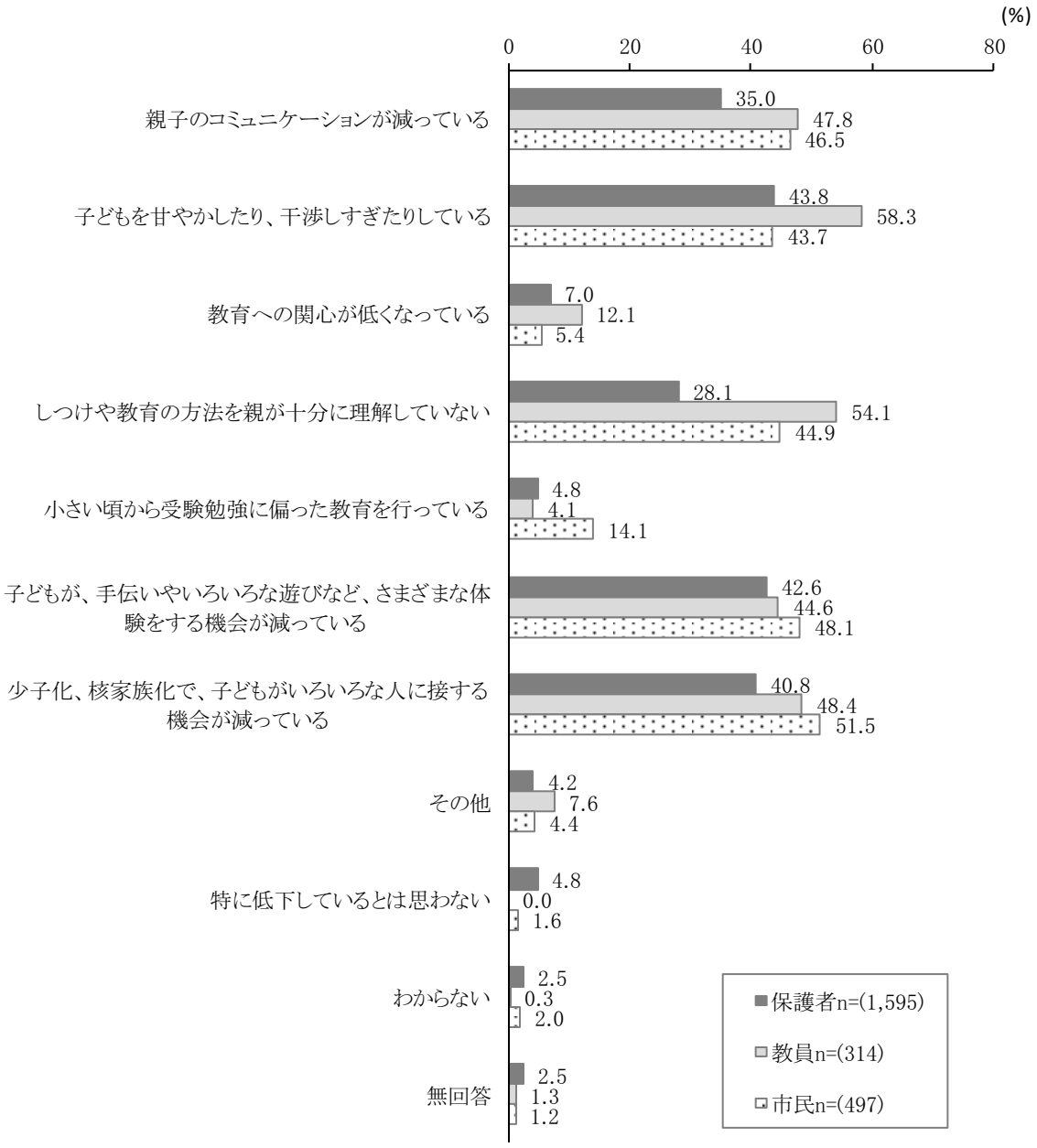
（２）家庭の教育力が低下している原因【保護者 問 11】【教員 問 15】【市民 問６】

設問　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「家庭の教育力」とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

保護者、教員は「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」、市民は「少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている」が最も多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、保護者で「親子のコミュニケーションが減っている」が 35.0%、「しつけや教育の方法を親が十分に理解していない」が 28.1%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。「子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている」では教員が 58.3%と、他の調査対象と比較して多くなっています。



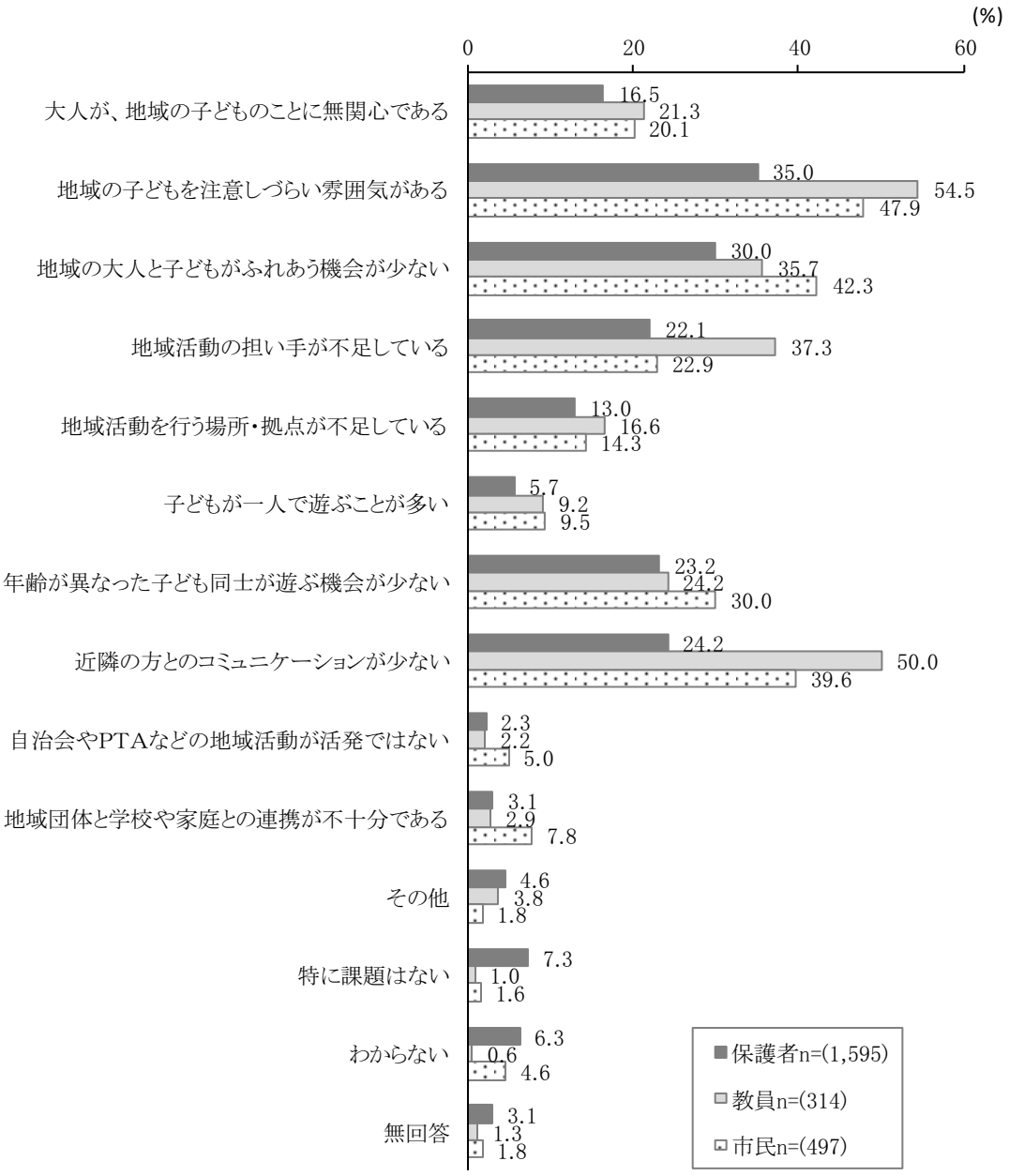
（３）地域の教育力についての課題【保護者 問 13】【教員 問 16】【市民 問７】

設問　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（３つまで○）

※（用語説明）「地域の教育力」とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

保護者、教員、市民とも「地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある」が最も多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、「地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある」では保護者が 35.0%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。「地域活動の担い手が不足している」では教員が 37.3%と、他の調査対象と比較して多くなっています。「近隣の方とのコミュニケーションが少ない」では教員が 50.0%、市民が 39.6%、保護者が 24.2%と、三者の割合の差が大きくなっています。

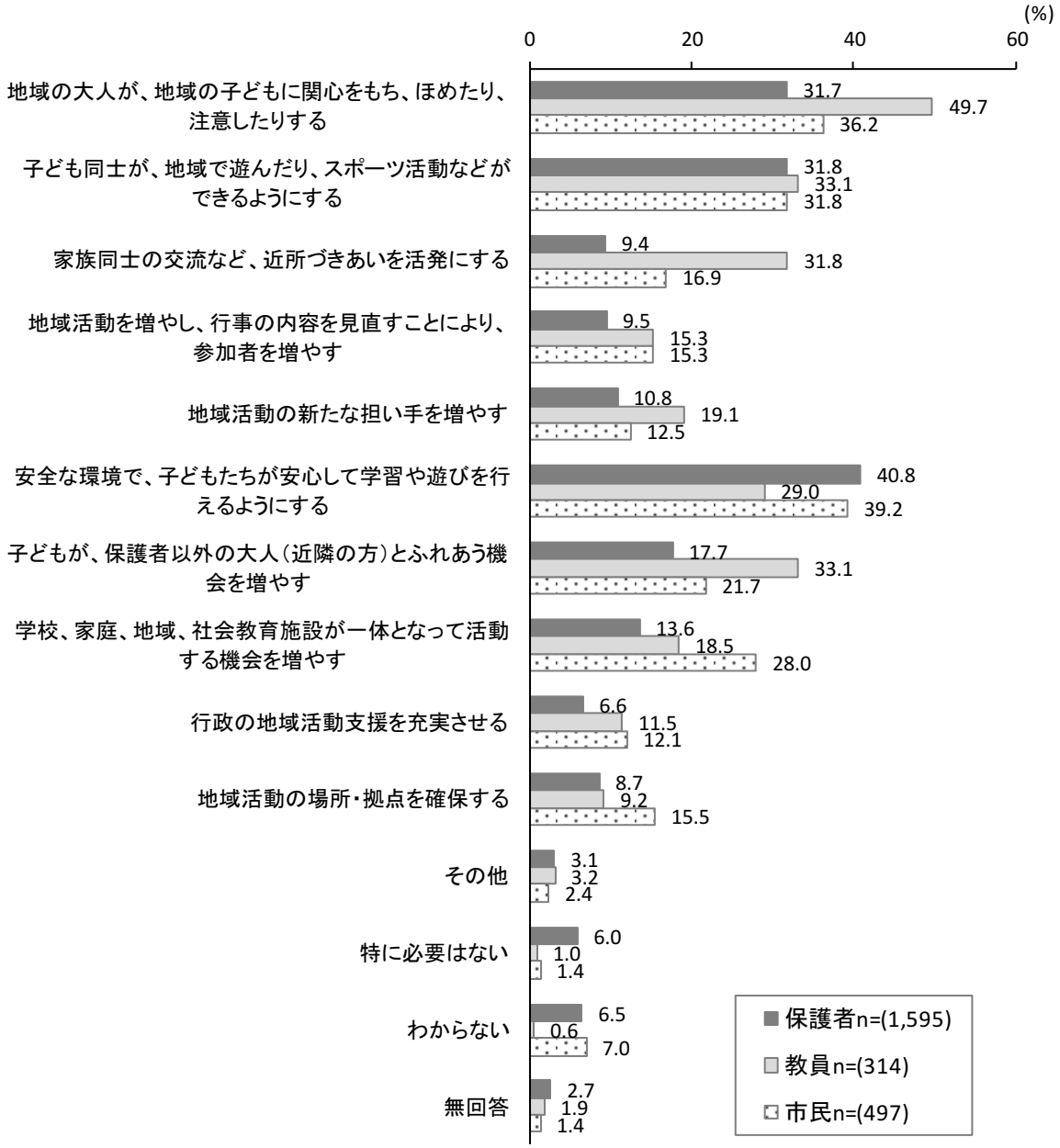


（４）地域の教育力向上に必要な取組【保護者 問 14】【教員 問 17】【市民 問８】

設問　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（３つまで○）

保護者、市民は「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」、教員は「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」が最も多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、教員で「地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする」が 49.7%、「家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする」が 31.8%、「子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす」が 33.1%と、他の調査対象と比較して多くなっている一方、「安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする」が 29.0%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。

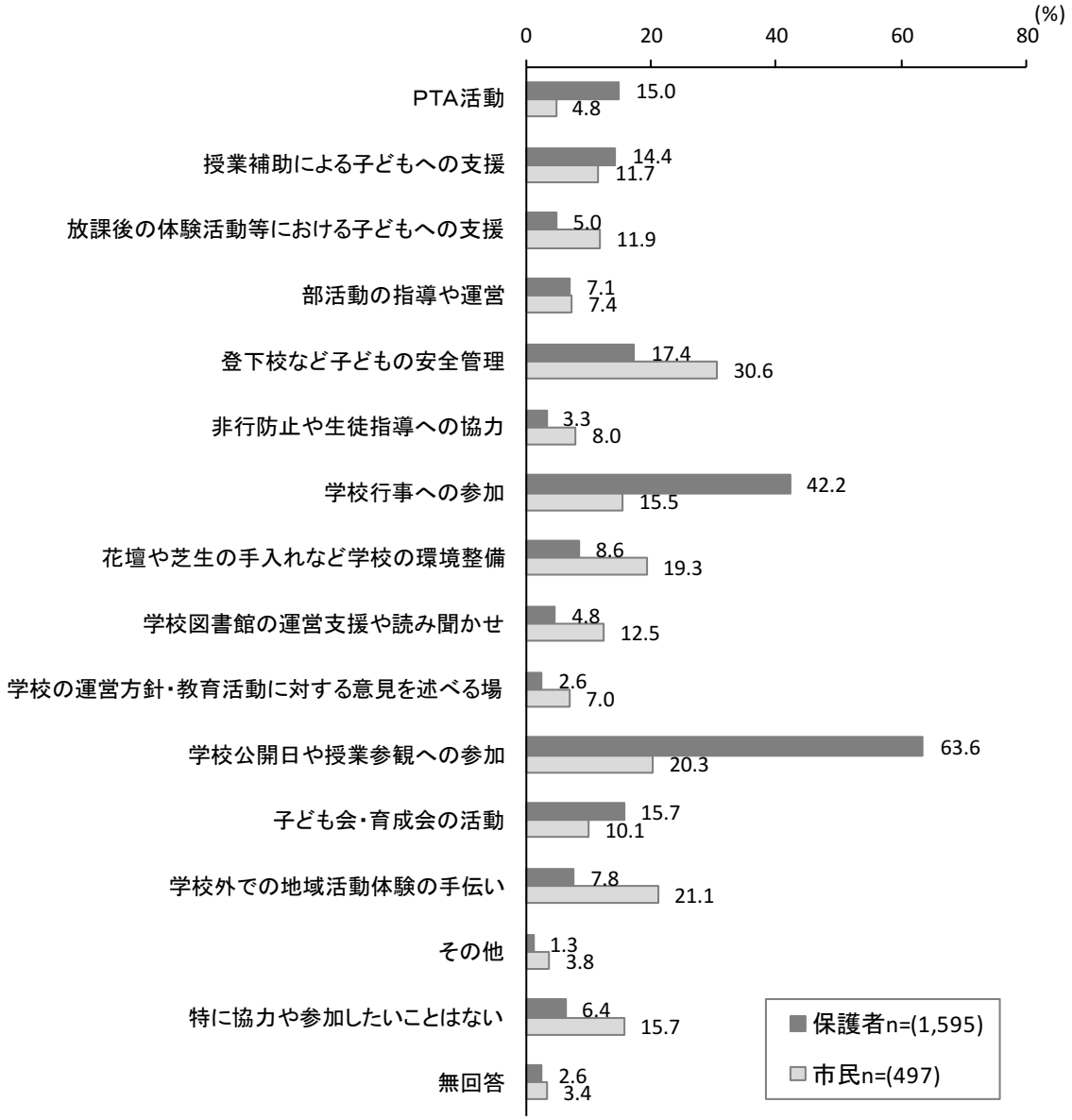


（５）協力・参加してもよいと思う行事・活動【保護者 問 15】【市民 問 10】

設問　次のような行事・活動の中で今後、あなたが学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。（３つまで○）

保護者は「学校公開日や授業参観への参加」、次いで「学校行事への参加」、市民は「登下校など子どもの安全管理」、次いで「学校外での地域活動体験の手伝い」が多くなっています。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、「ＰＴＡ活動」、「学校行事への参加」、「学校公開日や授業参観への参加」では保護者の割合が、「登下校など子どもの安全管理」、「花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備」、「学校外での地域活動体験の手伝い」では市民の割合が、それぞれ 10 ポイント以上多くなっています。



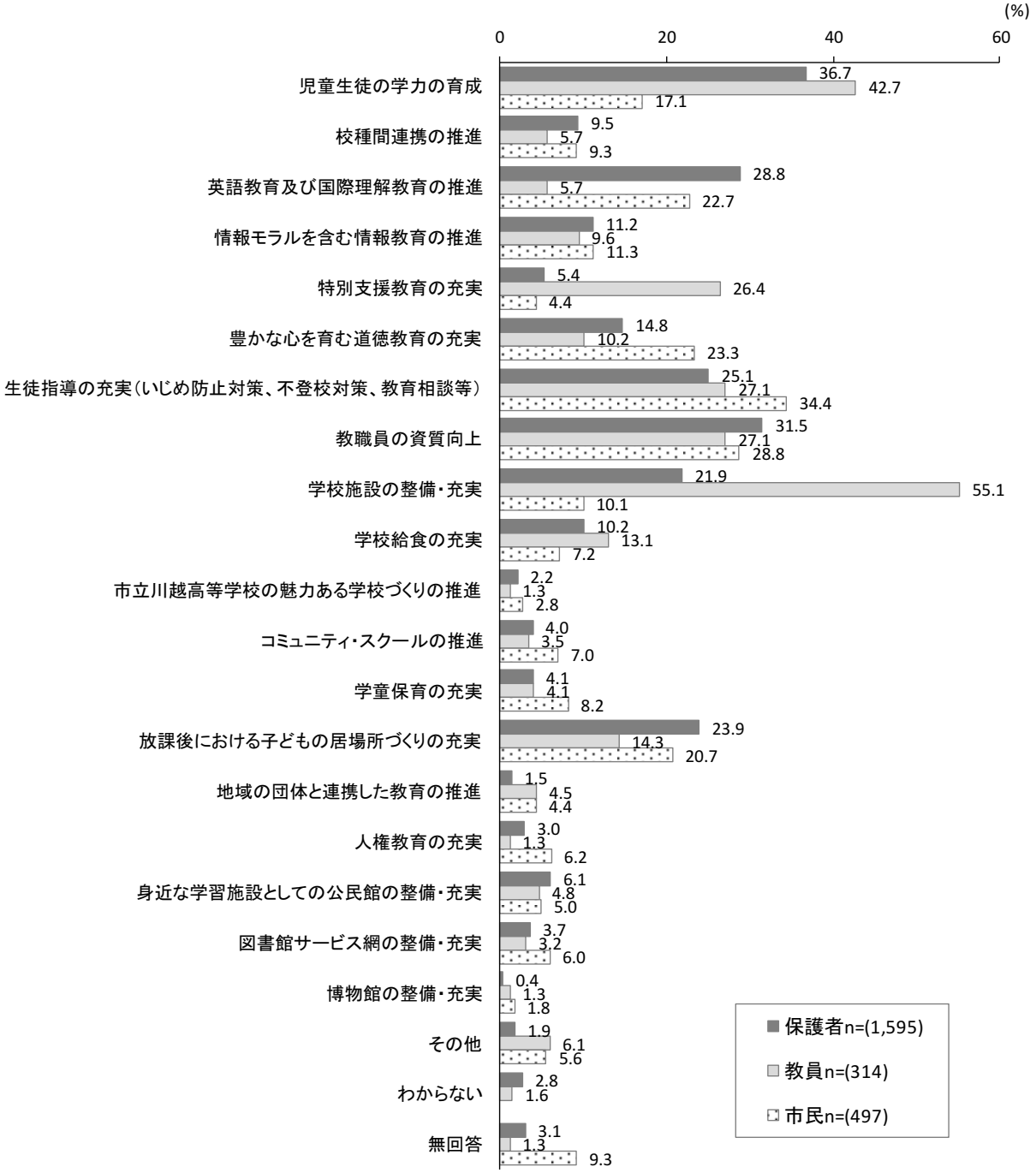
３　教育施策について

（１）充実させたほうが良いと思う教育施策【保護者 問 24】【教員 問 19】【市民 問 19】

設問　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。（３つまで○）

保護者は「児童生徒の学力の育成」、教員は「学校施設の整備・充実」、市民は「生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）」が最も多く、ばらつきが見られます。

調査対象別の割合の差が大きかった回答では、「児童生徒の学力の育成」では市民が 17.1%、「英語教育及び国際理解教育の推進」では教員が 5.7%と、他の調査対象と比較して少なくなっています。教員で「特別支援教育の充実」が 26.4%、「学校施設の整備・充実」が 55.1%と、他の調査対象と比較して多くなっています。



資料編

小学校５年生・中学校２年生の保護者の皆様へ

次期川越市教育振興基本計画に係るアンケート調査ご協力のお願い

市立小学校及び中学校に通う児童生徒の保護者の皆様におかれましては、日ごろより川越市の教育にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、川越市教育委員会では、平成23年２月に「川越市教育振興基本計画」を策定し、平成28年度からは「第二次川越市教育振興基本計画」において、「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念として掲げ、さまざまな施策を推進してまいりました。

第二次計画が令和２年度で計画期間を終えることから、次期川越市教育振興基本計画の策定を進めております。

このアンケートでは、保護者の皆様（小学校５年生・中学校２年生の保護者の皆様）、校長及び教員の皆様、市民の皆様の教育に対するお考えやご意見をいただき、計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただくとともに、今後の教育施策の推進に活用していくことを目的にしております。

大変お忙しい中、恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月　川越市教育委員会

※「第二次川越市教育振興基本計画」は、川越市のホームページからご覧いただけます。
https://www.city.kawagoe.saitama.jp/smph/shisei/seisakushisaku/kyoikugyosei/dainijikeikaku.html

ご記入にあたってのお願い

○この調査票は、配布されたお子さんの保護者の方が記入してください。
○回答は、最初から１問ずつ順に、回答欄の該当番号に○を付けてください。
○各設問とも、当てはまる番号に○を付けてください。また、回答する○の数は、各設問の内容に従ってください。
○回答が、「その他」に当てはまる場合は、その内容を（　　）にご記入ください。
○黒いボールペンや濃い鉛筆ではっきりと記入してください。
○ご回答いただきました調査票は、調査票が入っていた封筒に入れて封をし、１１月８日（金）までに、お子さんを通して学校に提出してください。

その他留意事項

○この調査は、無記名で行っており、調査結果は、コンピュータで統計的に処理しますので、回答いただいた個人のお考えが公表されることは一切ございません。

問い合わせ先

川越市教育委員会　教育総務課　企画調整担当
電話０４９－２２４－６０７４（直通）E-mail：kyoikusomu@city.kawagoe.saitama.jp
（電話によるお問い合わせは、月～金曜日（祝日を除く）午前８時30分～午後５時15分）

１．あなたご自身について

F1　あなたの性別はどちらですか。（１つに○）

１．男性	２．女性

F2　あなたの年齢は何歳ですか。（１つに○）

１．20歳代	４．50歳代
２．30歳代	５．60歳代
３．40歳代	６．70歳以上

２．学校教育について

問１　あなたは、お子さんの通っている学校にどのくらい満足していますか。（**１つに**○）

１．満足	**問1−1へ**	４．やや不満	**問1−1へ**
２．ほぼ満足		５．不満	
３．どちらでもない → **問２へ**		６．わからない → **問２へ**	

【問１で「１、２、４、５」と答えた方におたずねします。】

問１−１　あなたが、「満足、ほぼ満足」または「やや不満、不満」だと思う主な理由となっているものを選んでください。（**３つまで**○）

１．学習指導	６．友人関係
２．教育方針	７．学校行事、課外活動
３．子ども、保護者への相談体制	８．学校施設・設備
４．子どもの安全管理や健康管理	９．その他
５．学校から家庭への情報提供	（　　）

問２　小中学校が、お子さんに対してどのような役割を果たすことを期待しますか。（**３つまで**○）

１．自らの意志で、自発的に学習活動を行う気持ちを育てること
２．基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせること
３．自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること
４．自立心や自主性、たくましさを身に付けさせること
５．望ましい食習慣や体力を身に付けさせること
６．生きがいや将来の夢を育むこと
７．個性を伸ばすこと
８．創造力（アイディア、発想力）を伸ばすこと
９．社会生活に役立つ力を身に付けさせること
10．身に付けた知識や技能を活用できるようにすること
11．思いやりや優しさなど豊かな心を育てること
12．ルールやマナーを守ることを身に付けさせること
13．その他（　　）
14．特に期待することはない

問３　小中学校の教師にどのようなことを期待しますか。（**３つまで**○）

１．子どもの気持ちを理解しようとすること
２．子どもの学力を伸ばす指導ができること
３．子どもの相談相手になれること
４．子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）
５．非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること
６．子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること
７．子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること
８．保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）
９．幅広い経験をもっていること
10．その他（　　）
11．特に期待することはない

問４　あなたは、学校教育における児童生徒に対する指導について、特にどのようなことが大切であると思いますか。（**３つまで**○）

１．学習規律（私語をしない、時間を守る等）、クラスの秩序をきちんとすること
２．児童生徒が興味をもてるような、楽しく、わかりやすい授業をすること
３．繰り返し学習などで基礎的・基本的な内容を身に付けさせること
４．知識や技術を活用する力を身に付けさせること
５．ノートのとり方や予習・復習の仕方など、学習方法に関する指導を充実させること
６．自分で調べたり、体験を通じて「気づき」が得られたりするような指導を充実させること
７．受験等への対応として、「解法テクニック」などの指導を充実させること
８．クラスやグループで助け合ったり、教え合ったりする機会を充実させること
９．児童生徒の個性を見つけ、一人ひとりを伸ばす指導を充実させること
10．ルールを守る、思いやりの心をもつ、目標に向かって努力することなど、人として大切なことを教えること
11．生活で心がけるべきこと、気を付けるべきことなどを教える生活指導を充実させること
12．その他（　　）

問５　いじめ・不登校対策における以下の取組について効果があったと思いますか。（それぞれの項目について**１つに**○）

取　　組	大変効果があった	効果があった	どちらでもない	効果がない	全く効果がない	知らない
①生徒指導推進員	1	2	3	4	5	6
②オールマイティーチャー	1	2	3	4	5	6
③ネットパトロール	1	2	3	4	5	6
④いじめ相談電子窓口	1	2	3	4	5	6
⑤いじめ相談直通電話	1	2	3	4	5	6
⑥スクールカウンセラー	1	2	3	4	5	6
⑦さわやか相談員	1	2	3	4	5	6
⑧スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5	6
⑨スチューデントサポーター	1	2	3	4	5	6
⑩適応指導教室（つばさ教室）	1	2	3	4	5	6
⑪いきいき登校サポートセミナー	1	2	3	4	5	6

※事業説明

	取　　組	説　　明
①	生徒指導推進員	いじめ問題や非行・問題行動、学級がうまく機能しない状況、不登校児童生徒の増加など、さまざまな生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人ひとりに対する細やかな指導・支援のため、市内小中学校に配置された推進員。
②	オールマイティーチャー	積極的な生徒指導を推進し、子どもたちの心の教育・学力の向上・いじめの未然防止・少人数学級編制等、各学校におけるさまざまな課題を解決するため、配置される市費による教員。
③	ネットパトロール	子どもたちのインターネット上のいじめ等を早期発見し、早期対応するため、市立中、高等学校の生徒等が関わる学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を行い、問題事案に適切に対処する。
④	いじめ相談電子窓口	学校内外やインターネット上のいじめ問題を未然に防ぎ、早期のいじめ解決を図るためのメールによるいじめ相談窓口の開設。
⑤	いじめ相談直通電話	いじめ・不登校に対する電話相談。
⑥	スクールカウンセラー	教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名、および当該の任に就く者。
⑦	さわやか相談員	いじめ・不登校等の問題で悩んでいる児童生徒や保護者に相談・援助するため、市内全中学校に配置された相談員。
⑧	スクールソーシャルワーカー	教育分野と社会福祉等の専門的な知識・経験を有し、いじめ・不登校等の課題を抱える児童生徒について、その背景にある生活環境への働きかけ及び改善を図る者。

⑨	スチューデントサポーター	地元の大学で心理学を学ぶ学生が不登校児童生徒の支援を行うため、学校・家庭等に派遣される。
⑩	適応指導教室（つばさ教室）	教育センター分室（リベーラ）において不登校児童生徒への学習支援や体験学習を通してよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための指導や援助を行う。
⑪	いきいき登校サポートセミナー	不登校またはその傾向の児童生徒の保護者を対象にした座談会や個別相談を行う。

問６　いじめ・不登校対策として問５に示された項目のほかに取り組むべき項目があればご自由にお書きください。

問７　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（**３つまで**○）

1．学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消（※1）
2．市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化
3．小中一貫教育の推進（※2）
4．特定の分野（語学、理系科目、スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり
5．オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実
6．ＩＣＴ（※3）教育推進のための情報機器の充実
7．防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり
8．土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増加
9．その他（　　）
10．わからない

※１：地域の人口差により、各小中学校の児童生徒数に大きな差が生じている状況。
※２：小中学校の９年間の教育を一貫して行う制度。小学校から中学校に上がったときの学校生活環境の変化に対応できない、いわゆる「中一ギャップ」の解消や、異年齢交流の促進、小中学校の教職員の人的交流による指導力の向上などを目的としている。
※３：情報通信技術の総称。

３．家庭や地域の教育について

問８　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ**３つまで**番号を選んでください）

１．健康づくりや体力向上	８．夢や希望をもつこと
２．基本的な生活習慣	９．いろいろな人と協力する力
３．感情や欲求のコントロール	10．ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
４．アイディアや新しいことを発想する力	11．コミュニケーション能力
５．自発性や新しいことに挑戦する意欲	12．郷土愛や地域文化の継承
６．我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	13．基礎的・基本的な知識や技能
７．思いやり	14．自ら考え、判断し、表現する力
	15．その他（　　）

※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。
なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。
※「15．その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割			②家庭の役割			③地域の役割		

問９　家庭での教育について困っていることはありますか。（○は**いくつでも**）

１．子どもの学力や学習状況に不安を感じる
２．子どもの体力や健康に不安を感じる
３．子どもの素行や生活態度に不安を感じる
４．家庭でのしつけや教育方法に不安を感じる
５．子どもと接する時間がなかなかとれない
６．教育について気軽に相談できる場所がわからない
７．保護者同士の交流が少なく、情報交換ができない
８．学校の雰囲気や子どもの様子がよくわからない
９．子どもの教育費に負担を感じる
10．携帯電話やスマートフォン、インターネット、ゲーム機などの使い方に不安を感じる
11．その他（　　）
12．特にない

問10　家庭での教育で困ったことについて誰に相談しますか。（○は**いくつでも**）

１．学校	８．友人
２．市や県の相談窓口	９．塾の先生
３．民生児童委員	10．その他の専門機関など
４．家族	11．誰に相談してよいかわからない
５．親族・親戚	12．誰かに相談しようとは思わない
６．他の保護者	13．その他（　　）
７．近隣の方	

問11　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（**３つまで**○）

※（用語説明）**「家庭の教育力」**とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

１．親子のコミュニケーションが減っている
２．子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている
３．教育への関心が低くなっている
４．しつけや教育の方法を親が十分に理解していない
５．小さい頃から受験勉強に偏った教育を行っている
６．子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている
７．少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
８．その他（　　）
９．特に低下しているとは思わない
10．わからない

問12　家庭での教育力向上に必要な取組は何ですか。（**３つまで**○）

１．子どもへの教育方法や親（保護者）としての心構えを学ぶ機会の設定
２．保護者同士の情報交換の場の設定やネットワークの構築
３．しつけや教育について相談できる場の充実
４．子どもと保護者が一緒に体験できる機会の充実
５．子どもと保護者が一緒に読書を行う機会の充実
６．食事を通した家族だんらんの場の設定
７．携帯電話やスマートフォンなど情報機器に対する適切な使い方の理解
８．その他（　　）
９．特に必要はない
10．わからない

問 13　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（**3つまで**○）

※（用語説明）**「地域の教育力」**とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

1．大人が、地域の子どものことに無関心である
2．地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある
3．地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない
4．地域活動の担い手が不足している
5．地域活動を行う場所・拠点が不足している
6．子どもが一人で遊ぶことが多い
7．年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない
8．近隣の方とのコミュニケーションが少ない
9．自治会やＰＴＡなどの地域活動が活発ではない
10．地域団体と学校や家庭との連携が不十分である
11．その他（　　）
12．特に課題はない
13．わからない

問 14　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（**3つまで**○）

1．地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする
2．子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする
3．家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする
4．地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす
5．地域活動の新たな担い手を増やす
6．安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする
7．子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす
8．学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす
9．行政の地域活動支援を充実させる
10．地域活動の場所・拠点を確保する
11．その他（　　）
12．特に必要はない
13．わからない

問 15　次のような行事・活動の中で今後、あなたが学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。（**3つまで**○）

1．ＰＴＡ活動
2．授業補助による子どもへの支援
3．放課後の体験活動等における子どもへの支援
4．部活動の指導や運営
5．登下校など子どもの安全管理
6．非行防止や生徒指導への協力
7．学校行事への参加
8．花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備
9．学校図書館の運営支援や読み聞かせ
10．学校の運営方針・教育活動に対する意見を述べる場
11．学校公開日や授業参観への参加
12．子ども会・育成会の活動
13．学校外での地域活動体験の手伝い
14．その他（　　）
15．特に協力や参加したいことはない

４．公民館、図書館、博物館について

※ここからは、社会教育施設（公民館、図書館、博物館）に関する内容についてお答えください。

問 16　川越市の公民館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）に川越市の公民館をどのくらい利用しましたか。（**1つに**○）

1．ほぼ毎日
2．週１～３回程度
3．月１～３回程度
4．年数回程度
→ **問 16－1 へ**

5．利用していない　→　**問 16－3 へ**

【問 16 で「１～４」と答えた方におたずねします。（問 16－1 と問 16－2）】

問 16－1　あなたは、公民館を利用してどのようなことを行いましたか。（○は**いくつでも**）

1．公民館が主催した講座・教室を利用した
2．サークル活動に参加した
3．映画会や講演会などに参加した
4．ボランティア活動に参加した
5．集会等の会合に参加した
6．その他（　　）

問 16－2　あなたは、公民館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について**１つに**○）

項　目	大変満足している	満足している	どちらでもない	不満である	大変不満である
①施設面について（規模、設備、駐車場など）	1	2	3	4	5
②主催事業について（講座、教室など）	1	2	3	4	5
③管理運営について（開館日、時間、受付など）	1	2	3	4	5
④情報提供について（館の広報、お知らせなど）	1	2	3	4	5
⑤施設予約について（会場予約など）	1	2	3	4	5

【問 16 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 16－3　あなたが、公民館を利用しない理由を教えてください。（○は**いくつでも**）

1．公民館の場所を知らないから
2．家の近くにないから
3．利用したい時に開館していないから
4．利用したい講座がないから
5．民間会社が主催する講座を利用しているから
6．公民館を利用する必要がなかったから
7．その他（　　）

問 17　あなたは、公民館においてどんなことを学びたいですか。（○は**いくつでも**）

1．趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
2．教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）
3．健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
4．家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
5．育児・教育（幼児教育、教育問題など）
6．職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
7．パソコン・インターネットに関すること
8．ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
9．自然体験や生活体験などの体験活動
10．学校（高校・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規過程での学習
11．その他（　　）
12．特にない

問 18　これからの公民館に要望したいことは何ですか。（**３つまで**○）

1．新たな公民館の建設
2．既存公民館の改修（バリアフリー化など）
3．設備・備品の充実
4．主催事業の充実
5．公民館登録団体の事務支援の充実
6．町内公民館講座の開設支援の充実
7．地域活動支援の充実
8．ホームページコンテンツ（内容）など提供情報の充実
9．施設利用予約方法の改善
10．小・中学生の放課後の居場所の提供
11．その他（　　）
12．特にない

問 19　川越市の図書館についておたずねします。あなたは、川越市の図書館をこの１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい利用しましたか。（**１つに**○）

1．ほぼ毎日
2．週１～３回程度
3．月１～３回程度
4．年数回程度
→ **問 19－1 へ**

5．利用していない　→　**問 19－4 へ**

【問 19 で「１～４」と答えた方におたずねします。（問 19－1 から問 19－3 まで）】

問 19－1　あなたが、最も利用する図書館は、次のどの図書館ですか。（**１つに**○）

1．中央図書館（霞ケ関南分室を含む）
2．西図書館
3．川越駅東口図書館
4．高階図書館

問 19－2　あなたは、図書館に行ってどのようなことをしましたか。（○は**いくつでも**）

1．図書、ＣＤ、ＤＶＤなどを借りた
2．図書館の資料を使って調べものをした
3．自分の資料を使って学習した
4．映画会やおはなし会などに参加した
5．図書館のボランティア活動に参加した
6．展示室、ホール等の施設を利用した
7．新聞や雑誌等を閲覧した
8．その他（　　）

問 19－3　あなたは、図書館の以下のことについて、満足していますか。(それぞれの項目について、**1つに○**)

項　目	大変満足している	満足している	どちらでもない	不満である	大変不満である
①施設面について（規模、設備、駐車場など）	1	2	3	4	5
②施設の数・場所について	1	2	3	4	5
③貸出資料について（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）	1	2	3	4	5
④主催事業について（講座、おはなし会、映画会など）	1	2	3	4	5
⑤管理運営について（開館日、開館時間など）	1	2	3	4	5
⑥情報提供について（館のホームページなど）	1	2	3	4	5

【問 19 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 19－4　あなたが、図書館を利用しない理由を教えてください。(○は**いくつでも**)

1．図書館の場所を知らないから
2．家の近くにないから
3．利用したい時に開館していないから
4．利用したい資料がないから
5．自分で購入するから
6．(紙媒体の) 本を読まないから
7．調べものはインターネットでできるから
8．図書館を利用する必要がなかったから
9．その他（　　）

問 20　これからの図書館に要望したいことは何ですか。(**3つまで**○)

1．資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実
2．講演会や映画会の充実
3．調べものの相談（レファレンスサービス）の充実
4．子ども向け事業の充実（おはなし会など）
5．図書館のイベント情報や休館日、図書館からのお知らせなどの情報の充実
6．閲覧席の増加
7．電子書籍などの提供（電子図書館）
8．地域の情報の充実
9．持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備（有線・無線ＬＡＮ）
10．返却ポストの増設
11．図書館以外の予約資料受取場所の増設
12．新たな図書館の建設
13．移動図書館の新設
14．既存図書館の改修（バリアフリー化など）
15．飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置
16．開館時間の延長
17．ホームページコンテンツ（内容）の充実やホームページの使いやすさの向上
18．その他（　　）
19．特にない

問 21　川越市立博物館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい来館しましたか。(**1つに**○)

1．週１回以上
2．月１～３回程度
3．年数回程度
→ **問 21－1 へ**

4．利用していない　→　**問 21－4 へ**

【問 21 で「１～３」と答えた方におたずねします。(問 21－1 から問 21－2 まで)】

問 21－1　あなたは、博物館にどのような目的で行きましたか。(○は**いくつでも**)

1．常設展を見に行った
2．企画展を見に行った
3．博物館の主催事業に参加した
4．その他（　　）

問 21－2　あなたは、博物館の以下のことについて、満足していますか。(それぞれの項目について、**1つに○**)

項　目	大変満足している	満足している	どちらでもない	不満である	大変不満である
①施設面について（規模、設備、駐車場など）	1	2	3	4	5
②主催事業（展示）について（常設・企画展示、解説など）	1	2	3	4	5
③主催事業（普及）について（講座など）	1	2	3	4	5
④管理運営について（開館日、開館時間など）	1	2	3	4	5
⑤情報提供について（館のホームページなど）	1	2	3	4	5

【問 21 で「4．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 21－3　あなたが、博物館を利用しない理由を教えてください。(○は**いくつでも**)

1．博物館の場所を知らないから
2．家の近くにないから
3．利用したいときに開館していないから
4．鑑賞したい展示がないから
5．参加したい講座等がないから
6．展示・講座の内容を知らないから
7．博物館を利用する必要がなかったから
8．その他
（　　）

問 22　これからの博物館に要望したいことは何ですか。(**3つまで○**)

1．設備の充実
2．常設展示の充実
3．企画展示の充実
4．展示解説の充実
5．大人向け講座の充実
6．子ども向け講座の充実
7．学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実
8．ホームページコンテンツ（内容）など情報提供の充実
9．その他
（　　）
10．特にない

問 23　川越市の公民館・図書館・博物館について、学校との連携を含めご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

5．教育施策について

問 24　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。(**3つまで○**)

1．児童生徒の学力の育成
2．校種間連携の推進(※1)
3．英語教育及び国際理解教育の推進
4．情報モラルを含む情報教育の推進
5．特別支援教育の充実
6．豊かな心を育む道徳教育の充実
7．生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）
8．教職員の資質向上
9．学校施設の整備・充実
10．学校給食の充実
11．市立川越高等学校の魅力ある学校づくりの推進
12．コミュニティ・スクール(※2)の推進
13．学童保育の充実
14．放課後における子どもの居場所づくりの充実
15．地域の団体と連携した教育の推進
16．人権教育の充実
17．身近な学習施設としての公民館の整備・充実
18．図書館サービス網の整備・充実
19．博物館の整備・充実
20．その他（　　）
21．わからない

※1：子どもが進学する際に、新しい環境での生活や学習に円滑に移行・接続できるよう、校種間（幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校）で十分連携を図る取組。

※2：保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、学校・保護者・地域が協力して子どもたちの成長を支えていくための仕組み。

問 25　川越市の教育に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。

校長及び教員の皆様へ

次期川越市教育振興基本計画に係るアンケート調査ご協力のお願い

市立小学校及び中学校の校長及び教員の皆様におかれましては、日ごろより川越市の教育にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、川越市教育委員会では、平成23年２月に「川越市教育振興基本計画」を策定し、平成28年度からは「第二次川越市教育振興基本計画」において、「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念として掲げ、さまざまな施策を推進してまいりました。

第二次計画が令和２年度で計画期間を終えることから、次期川越市教育振興基本計画の策定を進めております。

このアンケートでは、校長及び教員の皆様、保護者の皆様（小学校５年生・中学校２年生の保護者の皆様）、市民の皆様の教育に対するお考えやご意見をいただき、計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただくとともに、今後の教育施策の推進に活用していくことを目的にしております。

大変お忙しい中、恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月　川越市教育委員会

※「第二次川越市教育振興基本計画」は、川越市のホームページからご覧いただけます。
https://www.city.kawagoe.saitama.jp/smph/shisei/seisakushisaku/kyoikugyosei/dainijikeikaku.html

ご記入にあたってのお願い

○この調査票は、配布されたご本人が記入してください。
○回答は、最初から１問ずつ順に、回答欄の該当番号に○をつけてください。
○各設問とも、当てはまる番号に○を付けてください。また、回答する○の数は、各設問の内容に従ってください。
○回答が、「その他」に当てはまる場合は、その内容を（　　）にご記入ください。
○黒いボールペンや濃い鉛筆ではっきりと記入してください。
○ご回答いただきました調査票は、**１１月８日（金）までに**、学校に提出してください。

その他留意事項

○この調査は、無記名で行っており、調査結果は、コンピュータで統計的に処理しますので、回答いただいた個人のお考えが公表されることは一切ございません。

問い合わせ先

川越市教育委員会　教育総務課　企画調整担当
電話０４９－２２４－６０７４（直通）E-mail：kyoikusomu@city.kawagoe.saitama.jp
（電話によるお問い合わせは、月～金曜日（祝日を除く）午前８時30分～午後５時15分）

１．あなたご自身について

F1　あなたの年齢は何歳ですか。（１つに○）

１．20歳代	３．40歳代	５．60歳以上
２．30歳代	４．50歳代	

F2　あなたの教員経験年数は何年ですか。（１つに○）

１．５年未満	３．10年以上20年未満	５．30年以上
２．５年以上10年未満	４．20年以上30年未満	

F3　あなたの勤務先はどちらですか。（１つに○）

１．小学校	２．中学校

F4　現在、あなたは、担任をしていますか。（１つに○）

１．担任をしている	２．担任をしていない

２．学校教育について

問１　あなたは勤務していて次のようなことを感じますか。（○はいくつでも）

１．生活指導が必要な児童生徒が増加した
２．一人ひとりに応じた学習指導が以前よりも求められるようになった
３．授業の工夫が以前よりも求められるようになった
４．放課後や土曜日も指導が求められるようになった
５．対応が難しい苦情や、無理難題のような要望が増加した
６．保護者や地域住民への対応が増加した
７．会議の時間が増加した
８．作成しなければならない事務関係の書類が増加した
９．校務分掌が増加した
10．教育委員会や管理職からの指示・伝達が増加した
11．研修等の出張の回数が増加した
12．校内外の見回りなど安全性確保の時間が増加した
13．教材作成などの授業準備の時間が増加した
14．児童生徒の学習評価に費やす時間が増加した
15．以前よりも時間的に余裕ができた
16．その他（　　）

問２　あなた自身の職務について忙しいと感じていますか。（**１つに**○）

１．常に忙しい
２．時期によって忙しい　→ **問２−１へ**
４．忙しくない　→ **問３へ**
３．あまり忙しくない　→ **問３へ**

【問２で「１または２」と回答された方におたずねします。】

問２−１　職務の多忙感を解消するために必要なこととしてあてはまることを教えてください。（○は**いくつでも**）

１．教員を増やすなど、仕事を分担し個々の教員の仕事量を減らす
２．調査や事務関係の書類の提出を少なくする
３．部活動の指導の負担軽減を図る
４．教師間の連携を密にし、共通理解を図る
５．少人数学級の実現を図る
６．ノー残業デー等を徹底する
７．校務分掌の見直しなど校務の効率化を図る
８．教員の職務は特有のため多忙感の解消は期待できない
９．その他（　　）

問３　直近１年間でストレスは増加しましたか。（**１つに**○）

１．増加した
２．少し増加した　→ **問３−１へ**
３．あまり増加していない
４．増加していない
５．わからない　→ **問４へ**

【問３で「１または２」と回答された方におたずねします。】

問３−１　その主な理由はどのようなことか教えてください。

問４　学校の教員として生きがいを感じるか教えてください。（**１つに**○）

１．感じる
２．どちらかといえば感じる
３．あまり感じない
４．感じない
５．わからない

問５　日々の職務の中で課題と感じることは何ですか。（**３つまで**○）

１．児童生徒の基礎学力の向上
２．児童生徒の思考力・判断力・表現力の向上
３．児童生徒の道徳心や規範意識などの育成
４．児童生徒の健康状態や体力の向上
５．児童生徒の基本的な生活習慣の乱れ
６．児童生徒の問題行動
７．児童生徒のいじめ
８．児童生徒の不登校
９．児童生徒のコミュニケーション能力の低下
10．地域や家庭環境などによる児童生徒の教育格差
11．家庭の教育力の低下
12．地域の教育力の低下
13．学校・家庭・地域の連携
14．学校の施設や設備
15．授業など学習指導
16．教職員の心身の健康状態
17．教職員間の人間関係
18．防災教育の充実
19．その他（　　）
20．特に感じない

問６　学校の施設や設備等について、特に充実・改善してほしいものは何ですか。（**５つまで**○）

１．校舎
２．普通教室
３．特別教室
４．図書室
５．職員室
６．校庭
７．体育館
８．プール
９．トイレ
10．相談室
11．更衣室
12．冷暖房設備（普通教室以外）
13．児童生徒用ＰＣ（タブレット含む）
14．教職員用ＰＣ
15．電子黒板・大型モニタなどの備品
16．コピー用紙などの消耗品
17．コピー機や印刷機などの備品
18．その他（　　）

問７　いじめ・不登校対策における以下の取組の効果があったと思いますか。（それぞれの項目について**１つに**○）

取　　組	大変効果があった	効果があった	どちらでもない	効果がない	全く効果がない	知らない
①生徒指導推進員	1	2	3	4	5	6
②オールマイティーチャー	1	2	3	4	5	6
③ネットパトロール	1	2	3	4	5	6
④いじめ相談電子窓口	1	2	3	4	5	6
⑤いじめ相談直通電話	1	2	3	4	5	6
⑥スクールカウンセラー	1	2	3	4	5	6
⑦さわやか相談員	1	2	3	4	5	6
⑧スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5	6
⑨スチューデントサポーター	1	2	3	4	5	6
⑩適応指導教室(つばさ教室)	1	2	3	4	5	6
⑪いきいき登校サポートセミナー	1	2	3	4	5	6

※事業説明

	取　　組	説　　明
①	生徒指導推進員	いじめ問題や非行・問題行動、学級がうまく機能しない状況、不登校児童生徒の増加など、さまざまな生徒指導上の諸課題への対応と児童生徒一人ひとりに対する細やかな指導・支援のため、市内小中学校に配置された推進員。
②	オールマイティーチャー	積極的な生徒指導を推進し、子どもたちの心の教育・学力の向上・いじめの未然防止・少人数学級編制等、各学校におけるさまざまな課題を解決するため、配置される市費による教員。
③	ネットパトロール	子どもたちのインターネット上のいじめ等を早期発見し、早期対応するため、市立中、高等学校の生徒等が関わる学校非公式サイト等の検索及び書き込み等の監視を行い、問題事案に適切に対処する。
④	いじめ相談電子窓口	学校内外やインターネット上のいじめ問題を未然に防ぎ、早期のいじめ解決を図るためのメールによるいじめ相談窓口の開設。
⑤	いじめ相談直通電話	いじめ・不登校に対する電話相談。
⑥	スクールカウンセラー	教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名、および当該の任に就く者。
⑦	さわやか相談員	いじめ・不登校等の問題で悩んでいる児童生徒や保護者に相談・援助するため、市内全中学校に配置された相談員。
⑧	スクールソーシャルワーカー	教育分野と社会福祉等の専門的な知識・経験を有し、いじめ・不登校等の課題を抱える児童生徒について、その背景にある生活環境への働きかけ及び改善を図る者。
⑨	スチューデントサポーター	地元の大学で心理学を学ぶ学生が不登校児童生徒の支援を行うため、学校・家庭等に派遣される。

⑩	適応指導教室(つばさ教室)	教育センター分室（リベーラ）において不登校児童生徒への学習支援や体験学習を通してよりよい成長と自立を促し、学校復帰を目指すための指導や援助を行う。
⑪	いきいき登校サポートセミナー	不登校またはその傾向の児童生徒の保護者を対象にした座談会や個別相談を行う。

問８　いじめ・不登校対策として問７に示された項目のほかに取り組むべき項目があればご自由にお書きください。

問９　教育指導に必要な知識・技術の習得など、専門性を高めるための自己啓発を行っていますか。（**１つに**○）

１．行っている　→　**問９−１へ**　　２．行っていない　→　**問 10 へ**

【問９で「１．行っている」と答えた方におたずねします。】

問９−１　あなたが、行っていることはどのような内容か教えてください。

問 10　どのような研修を受けたいか教えてください。（**３つまで**○）

１．学年・学級経営	８．カウンセリングやコーチングの技術
２．教科の指導や専門性	９．教師の倫理観を高める研修
３．外国語教育の指導	10．円滑な人間関係を築く能力を高める研修
４．道徳や特別活動などの指導	11．民間企業の職場体験
５．ＩＣＴ教育の指導	12．学校経営・学校運営に関する研修
６．特別支援教育の視点を生かした指導	13．学校・家庭・地域の連携に関する研修
７．生徒指導・生徒理解に関する指導	14．その他
	（　　）

問 11　小中学校の教師は、保護者や地域の方にどのようなことを期待されていると思いますか。（**3つまで**○）

1．子どもの気持ちを理解しようとすること
2．子どもの学力を伸ばす指導ができること
3．子どもの相談相手になれること
4．子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）
5．非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること
6．子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること
7．子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること
8．保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）
9．幅広い経験をもっていること
10．その他（　　）

問 12　これからの学校教育について特に重視しなければならないのは、どのようなことだと思いますか。（**3つまで**○）

1．学ぶ意欲を高めること
2．基礎的・基本的な知識・技能を習得させること
3．思考力や判断力、表現力を高めること
4．健康な食生活習慣や体力を身に付けること
5．個性を伸展させること
6．グローバル化の進展に対応できる力を育てること
7．ＩＣＴを活用する能力を育てること
8．身に付けた知識や技能を活用できるようにすること
9．思いやりや優しさなど豊かな心を育てること
10．礼儀やルールなど基本的な生活習慣を身に付けること
11．良好な人間関係を築くこと
12．その他（　　）

問 13　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（**3つまで**○）

1．学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消（※1）
2．市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化
3．小中一貫教育の推進（※2）
4．特定の分野（語学、理系科目、スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり
5．オールマイティーチャー、スクールソーシャルワーカーなど人的配置の充実
6．ＩＣＴ教育推進のための情報機器の充実
7．防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり
8．土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増
9．その他（　　）
10．わからない

※１：地域の人口差により、各小中学校の児童生徒数に大きな差が生じている状況。
※２：小中学校の９年間の教育を一貫して行う制度。小学校から中学校に上がったときの学校生活環境の変化に対応できない、いわゆる「中一ギャップ」の解消や、異年齢交流の促進、小中学校の教職員の人的交流による指導力の向上などを目的としている。

３．家庭や地域の教育について

問 14　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ**3つまで**番号を選んでください）

1．健康づくりや体力向上
2．基本的な生活習慣
3．感情や欲求のコントロール
4．アイディアや新しいことを発想する
5．自発性や新しいことに挑戦する意欲
6．我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心
7．思いやり
8．夢や希望をもつこと
9．いろいろな人と協力する力
10．ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
11．コミュニケーション能力
12．郷土愛や地域文化の継承
13．基礎的・基本的な知識や技能
14．自ら考え、判断し、表現する力
15．その他
（　　）

※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。
なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。
※「15．その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割			②家庭の役割			③地域の役割		

問 15　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（**3つまで**○）

※（用語説明）**「家庭の教育力」**とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

1．親子のコミュニケーションが減っている
2．子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている
3．教育への関心が低くなっている
4．しつけや教育の方法を親が十分に理解していない
5．小さい頃から受験勉強に偏った教育を行っている
6．子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている
7．少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
8．その他（　　）
9．特に低下しているとは思わない
10．わからない

問 16　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（**3つまで**○）

※（用語説明）**「地域の教育力」**とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

1．大人が、地域の子どものことに無関心である
2．地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある
3．地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない
4．地域活動の担い手が不足している
5．地域活動を行う場所・拠点が不足している
6．子どもが一人で遊ぶことが多い
7．年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない
8．近隣の方とのコミュニケーションが少ない
9．自治会やＰＴＡなどの地域活動が活発ではない
10．地域団体と学校や家庭との連携が不十分である
11．その他（　　）
12．特に課題はない
13．わからない

問 17　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（**3つまで**○）

1．地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする
2．子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする
3．家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする
4．地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす
5．地域活動の新たな担い手を増やす
6．安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする
7．子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす
8．学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす
9．行政の地域活動支援を充実させる
10．地域活動の場所・拠点を確保する
11．その他（　　）
12．特に必要はない
13．わからない

問 18　保護者、地域の方などに期待することは何ですか。（**3つまで**○）

1．礼儀やルール、マナーについて教えること
2．他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること
3．健康や安全について指導すること
4．キャリア教育を行うこと
5．進路について相談に乗ること
6．休日などに遊んだり、相談に乗ったりすること
7．家や地域で勉強を教えること
8．部活動に協力すること
9．学校行事に参加すること
10．体験活動やボランティア活動に一緒に参加すること
11．教職員と連携したり、ＰＴＡ活動や地域の活動に参加したりすること
12．その他（　　）
13．特に期待することはない

４．教育施策について

問 19　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。（**<u>３つまで</u>**○）

１．児童生徒の学力の育成
２．校種間連携の推進（※1）
３．英語教育及び国際理解教育の推進
４．情報モラルを含む情報教育の推進
５．特別支援教育の充実
６．豊かな心を育む道徳教育の充実
７．生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）
８．教職員の資質向上
９．学校施設の整備・充実
10．学校給食の充実
11．市立川越高等学校の魅力ある学校づくりの推進
12．コミュニティ・スクール（※2）の推進
13．学童保育の充実
14．放課後における子どもの居場所づくりの充実
15．地域の団体と連携した教育の推進
16．人権教育の充実
17．身近な学習施設としての公民館の整備・充実
18．図書館サービス網の整備・充実
19．博物館の整備・充実
20．その他（　　）
21．わからない

※１：子どもが進学する際に、新しい環境での生活や学習に円滑に移行・接続できるよう、校種間（幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校）で十分連携を図る取組。

※２：保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、学校・保護者・地域が協力して子どもたちの成長を支えていくための仕組み。

問 20　公民館・図書館・博物館と学校が連携する取組に関してご意見などがあれば、ご自由にお書きください。

問 21　川越市の教育に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。

市民の皆様へ

次期川越市教育振興基本計画に係るアンケート調査ご協力のお願い

市民の皆様におかれましては、日ごろより川越市の教育にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、川越市教育委員会では、平成23年2月に「川越市教育振興基本計画」を策定し、平成28年度からは「第二次川越市教育振興基本計画」において、「生きる力と学びを育む川越市の教育」を基本理念として掲げ、さまざまな施策を推進してまいりました。

第二次計画が令和2年度で計画期間を終えることから、次期川越市教育振興基本計画の策定を進めております。

このアンケートは、市民の皆様の教育に対するお考えやご意見をいただき、計画策定にあたっての貴重な資料とさせていただくとともに、今後の教育施策の推進に活用していくことを目的に行うもので、住民基本台帳に登録されている20歳以上の市民の方から、1,500人を無作為に選ばせていただき、お願いしております。

大変お忙しい中、恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年10月　川越市教育委員会

※「第二次川越市教育振興基本計画」は、川越市のホームページからご覧いただけます。
https://www.city.kawagoe.saitama.jp/smph/shisei/seisakushisaku/kyoikugyosei/dainijikeikaku.html

ご記入にあたってのお願い

○この調査票は、配布されたご本人が記入してください。
○回答は、最初から1問ずつ順に、回答欄の該当番号に○をつけてください。
○各設問とも、当てはまる番号に○を付けてください。また、回答する○の数は、各設問の内容に従ってください。
○回答が、「その他」に当てはまる場合は、その内容を（　　）にご記入ください。
○黒いボールペンや濃い鉛筆ではっきりと記入してください。
○ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒にて、**１１月８日（金）までに**、ご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

その他留意事項

○この調査は、無記名で行っており、調査結果は、コンピュータで統計的に処理しますので、回答いただいた個人のお考えが公表されることは一切ございません。

問い合わせ先

川越市教育委員会　教育総務課　企画調整担当
電話０４９－２２４－６０７４（直通）E-mail：kyoikusomu@city.kawagoe.saitama.jp
（電話によるお問い合わせは、月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分）

１．あなたご自身について

F1　あなたの性別はどちらですか。（１つに○）

１．男性	２．女性

F2　あなたの年齢は何歳ですか。（１つに○）

１．20歳代	３．40歳代	５．60歳代
２．30歳代	４．50歳代	６．70歳以上

F3　あなたの家族構成は、この中のどれにあたりますか（１つに○）

１．ひとり暮らし	４．三世代世帯（親と子と孫）
２．夫婦だけ	５．その他（　　）
３．二世代世帯（親と子）	

F4　あなたの同居しているお子さんについて該当するものはどれですか。（○はいくつでも）

１．同居している子どもはいない	４．小学生
２．未就園児	５．中学生
３．保育園・幼稚園（等）児	６．中学校卒業（16歳以上）

F5　あなたはどちらの地区にお住まいですか。お送りした封筒の宛名右上にある名称をご確認の上、選んでください。（１つに○）

１．本庁地区	５．高階地区	９．川鶴地区
２．芳野地区	６．福原地区	10．霞ケ関北地区
３．古谷地区	７．大東地区	11．名細地区
４．南古谷地区	８．霞ケ関地区	12．山田地区

F6　あなたは川越市にどのぐらい住んでいますか。（１つに○）

１．１年未満	３．５～10年未満	５．20年以上
２．１～５年未満	４．10～20年未満	

２．学校教育について

問１　現在の学校教育について、どのような問題があると思いますか。（３つまで○）

１．子どもの学力が低下している
２．進学中心の教育に偏っている
３．子どもの創造性や個性を伸ばすことが難しい
４．いじめ、学級崩壊などの問題や不登校の子どもが多い
５．教師の立場が弱くなっている
６．指導力不足の教師が増えている
７．教師が多忙すぎる
８．一学級の人数が多い
９．道徳教育や心の教育が十分でない
10．学校と地域との連携が十分でない
11．学校にしつけなどを頼りすぎている
12．その他（　　）
13．特に問題はない

問２　小中学校が子どもに対してどのような役割を果たすことを期待しますか。（３つまで○）

１．自らの意志で、自発的に学習活動を行う気持ちを育てること
２．基礎的・基本的な知識や技能を身に付けさせること
３．自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせること
４．自立心や自主性、たくましさを身に付けさせること
５．望ましい食習慣や体力を身に付けさせること
６．生きがいや将来の夢を育むこと
７．個性を伸ばすこと
８．創造力（アイディア、発想力）を伸ばすこと
９．社会生活に役立つ力を身に付けさせること
10．身に付けた知識や技能を活用できるようにすること
11．思いやりや優しさなど豊かな心を育てること
12．ルールやマナーを守ることを身に付けさせること
13．その他（　　）
14．特に期待することはない

問３　小中学校の教師にどのようなことを期待しますか。（３つまで○）

１．子どもの気持ちを理解しようとすること
２．子どもの学力を伸ばす指導ができること
３．子どもの相談相手になれること
４．子どもに対して毅然とした態度で指導ができること（生活指導）
５．非行、いじめなどの問題行動への適切な対応をすること
６．子どもに対して公正・適正な評価・評定をすること
７．子どもを信頼し、子どもの自主性を尊重すること
８．保護者や地域の方と適切にコミュニケーションがとれること（信頼関係）
９．幅広い経験をもっていること
10．その他（　　）
11．特に期待することはない

問４　学校施設の老朽化や将来的な子どもの減少など、教育環境の変化に対応していくため、川越市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（３つまで○）

１．学校の児童生徒数が「多すぎる」、あるいは「少なすぎる」といった差の解消（※１）
２．市内のどの学校にも行けるようにする学校選択の自由化
３．小中一貫教育の推進（※２）
４．特定の分野（語学、理系科目、スポーツなど）に力を入れた特色ある学校づくり
５．オールマイティーチャー（※３）、スクールソーシャルワーカー（※４）など人的配置の充実
６．ＩＣＴ（※５）教育推進のための情報機器の充実
７．防災、防犯などの安全・安心に配慮した教育環境づくり
８．土曜授業の実施や夏休みの短縮などによる授業日数の増
９．その他（　　）
10．わからない

※１：地域の人口差により、各小中学校の児童生徒数に大きな差が生じている状況。
※２：小中学校の９年間の教育を一貫して行う制度。小学校から中学校に上がったときの学校生活環境の変化に対応できない、いわゆる「中一ギャップ」の解消や、異年齢交流の促進、小中学校の教職員の人的交流による指導力の向上などを目的としている。
※３：積極的な生徒指導を推進し、子どもたちの心の教育・学力の向上・いじめの未然防止・少人数学級編制等、各学校におけるさまざまな課題を解決するため、配置される市費による教員。
※４：教育分野と社会福祉等の専門的な知識・経験を有し、いじめ・不登校等の課題を抱える児童生徒について、その背景にある生活環境への働きかけ及び改善を図る者。
※５：情報通信技術の総称。

３．家庭や地域の教育について

問５　学校、家庭、地域のそれぞれの役割として、子どものどのようなところを育てていくべきだとお考えですか。（特に重要であることをそれぞれ**３つまで**番号を選んでください）

１．健康づくりや体力向上	８．夢や希望をもつこと
２．基本的な生活習慣	９．いろいろな人と協力する力
３．感情や欲求のコントロール	10．ボランティア活動に関わろうとする意欲・能力
４．アイディアや新しいことを発想する力	11．コミュニケーション能力
５．自発性や新しいことに挑戦する意欲	12．郷土愛や地域文化の継承
６．我慢強さ（心の強さ）、忍耐力、あきらめない心	13．基礎的・基本的な知識や技能
７．思いやり	14．自ら考え、判断し、表現する力
	15．その他（　　）

※①学校の役割、②家庭の役割、③地域の役割のそれぞれに上記の番号を記入してください。
なお、同じ番号を①、②、③にご記入いただいても構いません。
※「15．その他」を選択される場合には、上記の（　　）に内容を記入してください。

①学校の役割			②家庭の役割			③地域の役割		

問６　家庭の教育力が一般的に低下していると言われていますが、どんなことが原因だと思いますか。（**３つまで**○）

※（用語説明）**「家庭の教育力」**とは、家庭での生活の中で必要な規範や行動能力を身に付ける教育機能のこと。

１．親子のコミュニケーションが減っている
２．子どもを甘やかしたり、干渉しすぎたりしている
３．教育への関心が低くなっている
４．しつけや教育の方法を親が十分に理解していない
５．小さい頃から受験勉強に偏った教育を行っている
６．子どもが、手伝いやいろいろな遊びなど、さまざまな体験をする機会が減っている
７．少子化、核家族化で、子どもがいろいろな人に接する機会が減っている
８．その他（　　）
９．特に低下しているとは思わない
10．わからない

問７　地域の教育力についてどのような課題があると思いますか。（**３つまで**○）

※（用語説明）**「地域の教育力」**とは、地域社会の中で子どもたちが大人や異年齢の友人との交流を通じたさまざまな体験などができる教育機能のこと。

１．大人が、地域の子どものことに無関心である
２．地域の子どもを注意しづらい雰囲気がある
３．地域の大人と子どもがふれあう機会が少ない
４．地域活動の担い手が不足している
５．地域活動を行う場所・拠点が不足している
６．子どもが一人で遊ぶことが多い
７．年齢が異なった子ども同士が遊ぶ機会が少ない
８．近隣の方とのコミュニケーションが少ない
９．自治会やＰＴＡなどの地域活動が活発ではない
10．地域団体と学校や家庭との連携が不十分である
11．その他（　　）
12．特に課題はない
13．わからない

問８　地域の教育力を高めるためにどのような取組が必要だと思いますか。（**３つまで**○）

１．地域の大人が、地域の子どもに関心をもち、ほめたり、注意したりする
２．子ども同士が、地域で遊んだり、スポーツ活動などができるようにする
３．家族同士の交流など、近所づきあいを活発にする
４．地域活動を増やし、行事の内容を見直すことにより、参加者を増やす
５．地域活動の新たな担い手を増やす
６．安全な環境で、子どもたちが安心して学習や遊びを行えるようにする
７．子どもが、保護者以外の大人（近隣の方）とふれあう機会を増やす
８．学校、家庭、地域、社会教育施設が一体となって活動する機会を増やす
９．行政の地域活動支援を充実させる
10．地域活動の場所・拠点を確保する
11．その他（　　）
12．特に必要はない
13．わからない

問 9　学校と地域の連携についてどのような考え方が重要と思いますか。（**3つまで○**）

1．学校の運営に地域の方が参加する
2．地域の方を授業の講師や部活動の指導者として招く
3．学校の授業参観や行事などに地域の方が見学しやすくする
4．学校の施設を地域に開放する
5．学校と地域の施設の連携を図り、人の行き来をしやすくする
6．児童生徒を地域活動や地域の行事に参加させる
7．登下校の見守りについて学校と地域の連携を進める
8．各地域の特色ある活動の支援に地域の方の力を借りる
9．その他（　　）
10．特に必要はない
11．わからない

問 10　次のような行事・活動の中で今後、あなたが学校と協力したり、参加したりしてもよいと思われるものはありますか。（**3つまで○**）

1．ＰＴＡ活動
2．授業補助による子どもへの支援
3．放課後の体験活動等における子どもへの支援
4．部活動の指導や運営
5．登下校など子どもの安全管理
6．非行防止や生徒指導への協力
7．学校行事への参加
8．花壇や芝生の手入れなど学校の環境整備
9．学校図書館の運営支援や読み聞かせ
10．学校の運営方針・教育活動に対する意見を述べる場
11．学校公開日や授業参観への参加
12．子ども会・育成会の活動
13．学校外での地域活動体験の手伝い
14．その他（　　）
15．特に協力や参加したいことはない

4．公民館、図書館、博物館について

※ここからは、社会教育施設（公民館、図書館、博物館）に関する内容についてお答えください。

問 11　川越市の公民館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）に川越市の公民館をどのくらい利用しましたか。（**1つに○**）

1．ほぼ毎日
2．週１～３回程度
3．月１～３回程度
4．年数回程度
→ **問 11－1 へ**

5．利用していない　→　**問 11－3 へ**

【問 11 で「１～４」と答えた方におたずねします。（問 11－1 と問 11－2）】

問 11－1　あなたは、公民館を利用してどのようなことを行いましたか。（○は**いくつでも**）

1．公民館が主催した講座・教室を利用した
2．サークル活動に参加した
3．映画会や講演会などに参加した
4．ボランティア活動に参加した
5．集会等の会合に参加した
6．その他（　　）

問 11－2　あなたは、公民館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について**1つに○**）

項　目	大変満足している	満足している	どちらでもない	不満である	大変不満である
①施設面について（規模、設備、駐車場など）	1	2	3	4	5
②主催事業について（講座、教室など）	1	2	3	4	5
③管理運営について（開館日、時間、受付など）	1	2	3	4	5
④情報提供について（館の広報、お知らせなど）	1	2	3	4	5
⑤施設予約について（会場予約など）	1	2	3	4	5

【問 11 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 11－3　あなたが、公民館を利用しない理由を教えてください。（○は**いくつでも**）

1．公民館の場所を知らないから
2．家の近くにないから
3．利用したい時に開館していないから
4．利用したい講座がないから
5．民間会社が主催する講座を利用しているから
6．公民館を利用する必要がなかったから
7．その他（　　）

問 12　あなたは、公民館においてどんなことを学びたいですか。（○は**いくつでも**）

1．趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
2．教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）
3．健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
4．家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
5．育児・教育（幼児教育、教育問題など）
6．職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）
7．パソコン・インターネットに関すること
8．ボランティア活動やそのために必要な知識・技能
9．自然体験や生活体験などの体験活動
10．学校（高校・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規過程での学習
11．その他（　　）
12．特にない

問 13　これからの公民館に要望したいことは何ですか。（**３つまで**○）

1．新たな公民館の建設
2．既存公民館の改修（バリアフリー化など）
3．設備・備品の充実
4．主催事業の充実
5．公民館登録団体の事務支援の充実
6．町内公民館講座の開設支援の充実
7．地域活動支援の充実
8．ホームページコンテンツ（内容）など提供情報の充実
9．施設利用予約方法の改善
10．小・中学生の放課後の居場所の提供
11．その他（　　）
12．特にない

問 14　川越市の図書館についておたずねします。あなたは、川越市の図書館をこの１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい利用しましたか。（**１つに**○）

1．ほぼ毎日
2．週１～３回程度
3．月１～３回程度
4．年数回程度
→ **問 14−1 へ**

5．利用していない　→　**問 14−4 へ**

【問 14 で「１～４」と答えた方におたずねします。（問 14−1 から問 14−3 まで）】

問 14−1　あなたが、最も利用する図書館は、次のどの図書館ですか。（**１つに**○）

1．中央図書館（霞ケ関南分室を含む）
2．西図書館
3．川越駅東口図書館
4．高階図書館

問 14−2　あなたは、図書館に行ってどのようなことをしましたか。（○は**いくつでも**）

1．図書、ＣＤ、ＤＶＤ等を借りた
2．図書館の資料を使って調べものをした
3．自分の資料を使って学習した
4．映画会やおはなし会などに参加した
5．図書館のボランティア活動に参加した
6．展示室、ホール等の施設を利用した
7．新聞や雑誌等を閲覧した
8．その他（　　）

問 14−3　あなたは、図書館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について、**１つに**○）

項　目	大変満足している	満足している	どちらでもない	不満である	大変不満である
①施設面について（規模、設備、駐車場など）	1	2	3	4	5
②施設の数・場所について	1	2	3	4	5
③貸出資料について（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）	1	2	3	4	5
④主催事業について（講座、おはなし会、映画会など）	1	2	3	4	5
⑤管理運営について（開館日、開館時間など）	1	2	3	4	5
⑥情報提供について（館のホームページなど）	1	2	3	4	5

【問 14 で「５．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 14－4　あなたが、図書館を利用しない理由を教えてください。（○は**いくつでも**）

1．図書館の場所を知らないから
2．家の近くにないから
3．利用したい時に開館していないから
4．利用したい資料がないから
5．自分で購入するから
6．（紙媒体の）本を読まないから
7．調べものはインターネットでできるから
8．図書館を利用する必要がなかったから
9．その他（　　）

問 15　これからの図書館に要望したいことは何ですか。（**３つまで**○）

1．資料（本、ＣＤ、ＤＶＤなど）の充実
2．講演会や映画会の充実
3．調べものの相談（レファレンスサービス）の充実
4．子ども向け事業の充実（おはなし会など）
5．図書館のイベント情報や休館日、図書館からのお知らせなどの情報の充実
6．閲覧席の増加
7．電子書籍などの提供（電子図書館）
8．地域の情報の充実
9．持ち込みパソコンをインターネットに接続できる環境整備（有線・無線ＬＡＮ）
10．返却ポストの増設
11．図書館以外の予約資料受取場所の増設
12．新たな図書館の建設
13．移動図書館の新設
14．既存図書館の改修（バリアフリー化など）
15．飲食・休憩スペース等のくつろげる場所の設置
16．開館時間の延長
17．ホームページコンテンツ（内容）の充実やホームページの使いやすさの向上
18．その他（　　）
19．特にない

問 16　川越市立博物館についておたずねします。あなたは、この１年間（平成 30 年 10 月から令和元年９月）にどのくらい入館しましたか。（**１つに**○）

1．週１回以上
2．月１～３回程度
3．年数回程度
→ **問 16－1 へ**

4．利用していない　→　**問 16－3 へ**

【問 16 で「１～３」と答えた方におたずねします。（問 16－1 と問 16－2）】

問 16－1　あなたは、博物館にどのような目的で行きましたか。（○は**いくつでも**）

1．常設展を見に行った
2．企画展を見に行った
3．博物館の主催事業に参加した
4．その他（　　）

問 16－2　あなたは、博物館の以下のことについて、満足していますか。（それぞれの項目について、**１つに**○）

項　目	大変満足している	満足している	どちらでもない	不満である	大変不満である
①施設面について（規模、設備、駐車場など）	1	2	3	4	5
②主催事業（展示）について（常設・企画展示、解説など）	1	2	3	4	5
③主催事業（普及）について（講座など）	1	2	3	4	5
④管理運営について（開館日、開館時間など）	1	2	3	4	5
⑤情報提供について（館のホームページなど）	1	2	3	4	5

【問 16 で「４．利用していない」と答えた方におたずねします。】

問 16－3　あなたが、博物館を利用しない理由を教えてください。（○は**いくつでも**）

1．博物館の場所を知らないから
2．家の近くにないから
3．利用したいときに開館していないから
4．鑑賞したい展示がないから
5．参加したい講座等がないから
6．展示・講座の内容を知らないから
7．博物館を利用する必要がなかったから
8．その他（　　）

問 17　これからの博物館に要望したいことは何ですか。（**3つまで**○）

1．設備の充実
2．常設展示の充実
3．企画展示の充実
4．展示解説の充実
5．大人向け講座の充実
6．子ども向け講座の充実
7．学校教育と連携した子どもへの学習機会の充実
8．ホームページコンテンツ（内容）など情報提供の充実
9．その他（　　）
10．特にない

問 18　川越市の公民館・図書館・博物館についてご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

5．教育施策について

問 19　川越市が現在取り組んでいる以下の教育施策において、あなたが充実させたほうが良いと思うものはありますか。（**3つまで**○）

1．児童生徒の学力の育成
2．校種間連携の推進（※1）
3．英語教育及び国際理解教育の推進
4．情報モラルを含む情報教育の推進
5．特別支援教育の充実
6．豊かな心を育む道徳教育の充実
7．生徒指導の充実（いじめ防止対策、不登校対策、教育相談等）
8．教職員の資質向上
9．学校施設の整備・充実
10．学校給食の充実
11．市立川越高等学校の魅力ある学校づくりの推進
12．コミュニティ・スクール（※2）の推進
13．学童保育の充実
14．放課後における子どもの居場所づくりの充実
15．地域の団体と連携した教育の推進
16．人権教育の充実
17．身近な学習施設としての公民館の整備・充実
18．図書館サービス網の整備・充実
19．博物館の整備・充実
20．その他（　　）
21．わからない

※1：子どもが進学する際に、新しい環境での生活や学習に円滑に移行・接続できるよう、校種間（幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校）で十分連携を図る取組。

※2：保護者や地域が学校の様々な課題解決に参画し、学校・保護者・地域が協力して子どもたちの成長を支えていくための仕組み。

問 20　川越市の教育に関してご意見などがありましたら、ご記入ください。

次期川越市教育振興基本計画に係るアンケート調査報告書

令和２年３月

【編集・発行】川越市教育委員会　教育総務課　企画調整担当
〒350－8601　埼玉県川越市元町１丁目３番地１
電話 049－224－6074（直通）